

平成31年度 第1回 豊橋市子ども・子育て会議

日時：平成31年4月19日（金）

午前10時～12時（予定）

場所：豊橋市役所東館8階 86会議室

- 1 あいさつ

- 2 子ども・子育て支援に関するニーズ調査の報告について
 - (1) 調査結果報告書 総括 . . . 資料1
 - (2) 〃 本編 . . . 事前送付
 - (3) 単純集計表（就学前、就学後） . . . 事前送付

- 3 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出について . . . 資料2

- 4 子ども・子育て応援プランの骨子について . . . 資料3

- 5 今後のスケジュールについて . . . 資料4

- 6 その他

豊橋市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
調査結果報告書

平成31年3月

豊 橋 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
	(1) 子どもと家族の状況	2
	(2) 子どもの育ちをめぐる環境	9
	(3) 保護者の就労状況	12
	(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	38
	(5) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	46
	(6) 病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）	49
	(7) 不定期の教育・保育事業等の利用	62
	(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方	81
	(9) 育児休業の取得状況	97
	(10) 出産や子育ての考え方	106
	(11) 子育てに関する悩みや不安感	113
	(12) 地域との関わり	119
	(13) 子育て環境や子育て支援サービス全般	122
	(14) 個別の子育て支援施策に関すること	132
III	自由意見	154
1	就学前児童	154
2	就学児童	158

IV	総括	161
1	家庭環境	161
2	乳幼児期の教育・保育	161
3	学校以外の子どもの居場所	162
4	仕事と子育ての両立	162
5	出産や子育てについて	163
6	経済的状況について	163
7	豊橋市の子育て環境・子育て支援サービス	164

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画の見直しにあたっての基礎資料として、市民の子育て支援に関する生活実態や要望、意見等を幅広く把握することを目的としています。

2 調査対象

市内在住の 0～11 歳の子どものいる世帯から無作為に抽出

3 調査期間

平成 30 年 10 月 1 日から平成 30 年 10 月 31 日

4 調査方法

0～2 歳・・・郵送による配布・回収


3～5 歳・・・園による配布・回収

就学児・・・小学校による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	5,610 通	3,104 通	55.3%
就学児童保護者	4,400 通	3,241 通	73.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・グラフ内で数値が「-」で表記されている部分は、その選択肢がなかったことを表しています。

II 調査結果

(1) 子どもと家族の状況

問 お住まいの小学校区を記入してください。
 分からない場合は、お住まいの町名を記入してください。
 (就学前児童：問1、就学児童：問1)

小学校区

【就学前児童】 N = 3,104

【就学児童】 N = 3,241

単位：左段は実数(件)、右段は割合(%)

	就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童	
西郷	6	0.2	1	0.0	松葉	68	2.2	44	1.4	幸	99	3.2	111	3.4
賀茂	5	0.2	-	-	八町	13	0.4	20	0.6	天伯	16	0.5	1	0.0
玉川	27	0.9	74	2.3	花田	53	1.7	66	2.0	二川	93	3	120	3.7
嵩山	5	0.2	1	0.0	羽根井	100	3.2	55	1.7	二川南	77	2.5	159	4.9
石巻	11	0.4	48	1.5	岩田	108	3.5	99	3.1	谷川	36	1.2	27	0.8
下条	6	0.2	-	-	豊	45	1.4	50	1.5	大崎	14	0.5	16	0.5
牛川	120	3.9	137	4.2	多米	124	4.0	73	2.3	植田	51	1.6	96	3.0
東田	90	2.9	59	1.8	飯村	122	3.9	73	2.3	大清水	91	2.9	50	1.5
旭	28	0.9	23	0.7	岩西	49	1.6	62	1.9	野依	57	1.8	122	3.8
鷹丘	94	3.0	171	5.3	吉田方	165	5.3	121	3.7	杉山	17	0.5	44	1.4
大村	55	1.8	50	1.5	牟呂	93	3.0	87	2.7	老津	20	0.6	6	0.2
下地	41	1.3	111	3.4	汐田	76	2.4	103	3.2	小沢	5	0.2	21	0.6
津田	17	0.5	59	1.8	福岡	74	2.4	84	2.6	細谷	8	0.3	30	0.9
前芝	76	2.4	46	1.4	栄	80	2.6	101	3.1	高根	35	1.1	47	1.5
松山	26	0.8	36	1.1	磯辺	117	3.8	49	1.5	豊南	39	1.3	27	0.8
新川	34	1.1	42	1.3	中野	51	1.6	52	1.6	富士見	89	2.9	108	3.3
向山	42	1.4	51	1.6	高師	191	6.2	102	3.1	その他	11	0.4	1	0.0
つつしが丘	49	1.6	58	1.8	芦原	54	1.7	2	0.1	無回答	31	1.0	45	1.4

中学校区

【就学前児童】 N = 3,104

【就学児童】 N = 3,241

単位：左段は実数（件）、右段は割合（％）

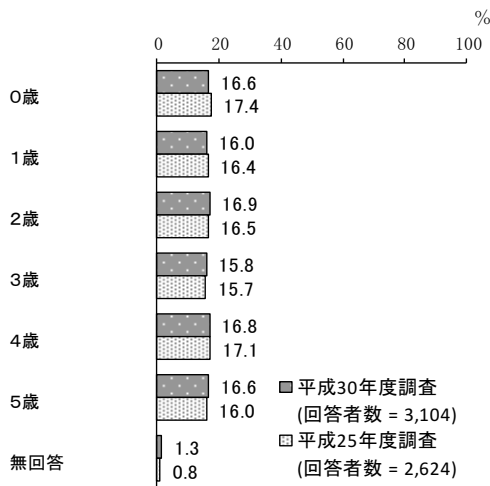
	就学前児童		就学児童			就学前児童		就学児童	
石巻	54	1.7	124	3.8	牟呂	169	5.4	190	5.9
青陵	244	7.9	219	6.8	南部	154	5.0	185	5.7
東陵	94	3.0	171	5.3	南陽	168	5.4	101	3.1
北部	113	3.6	220	6.8	本郷	245	7.9	104	3.2
前芝	76	2.4	46	1.4	高師台	115	3.7	112	3.5
中部	151	4.9	187	5.8	二川	206	6.6	306	9.4
豊城	81	2.6	64	2.0	南稜	213	6.9	284	8.8
羽田	153	4.9	121	3.7	章南	37	1.2	50	1.5
豊岡	153	4.9	149	4.6	五並	13	0.4	51	1.6
東陽	124	4.0	73	2.3	高豊	163	5.3	182	5.6
東部	171	5.5	135	4.2	その他	11	0.4	1	0.0
吉田方	165	5.3	121	3.7	無回答	31	1.0	45	1.4

問 あて名のお子さんの生年月を記入してください。
 ([] 内に数字で記入してください。)(就学前児童：問2、就学児童：問2)

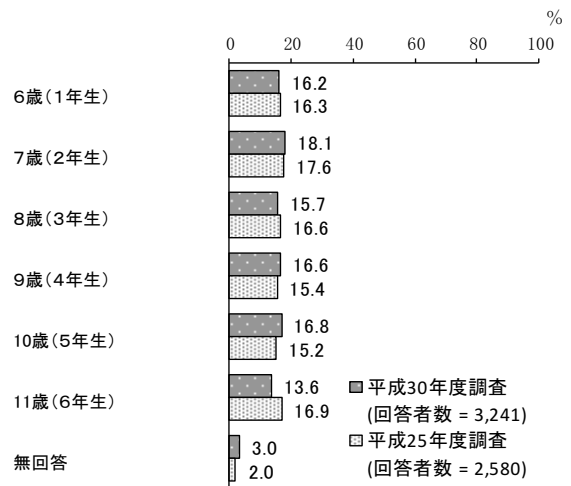
就学前児童では、「2歳」の割合が16.9%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.8%、「0歳」、「5歳」の割合が16.6%となっています。

就学児童では、「7歳(2年生)」の割合が18.1%と最も高く、次いで「10歳(5年生)」の割合が16.8%、「9歳(4年生)」の割合が16.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 あて名のお子さんを含め、生計を一にする世帯人数は何人ですか。
 そのうち、お子さんの人数は何人ですか。[] 内に数字でご記入ください。
 (就学前児童：問3、就学児童：問3)

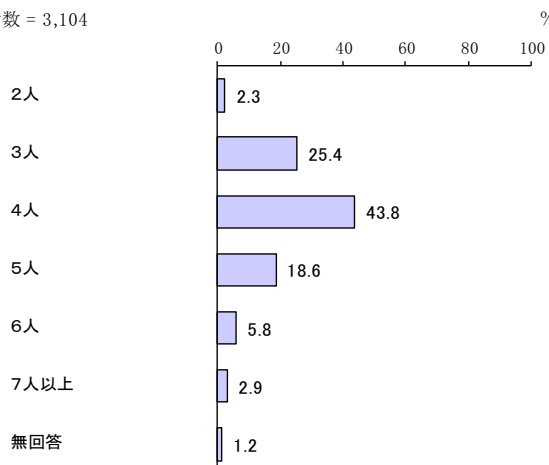
ア 世帯人数

就学前児童では、「4人」の割合が43.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が25.4%、「5人」の割合が18.6%となっています。

就学児童では、「4人」の割合が42.6%と最も高く、次いで「5人」の割合が26.6%、「3人」の割合が13.2%となっています。

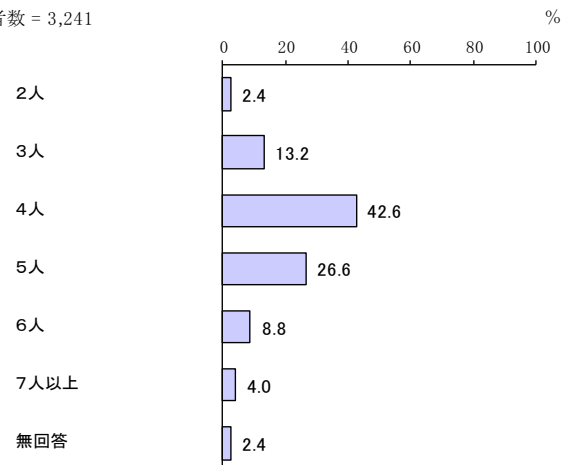
【就学前児童】

回答者数 = 3,104



【就学児童】

回答者数 = 3,241

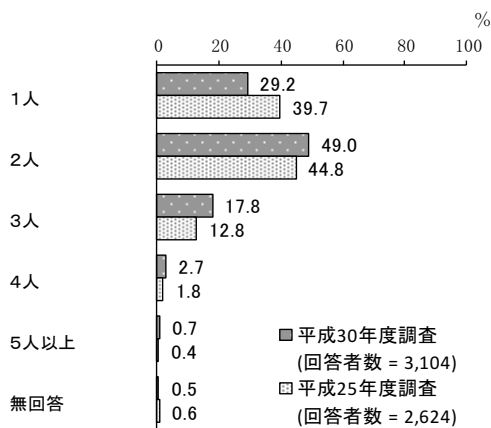


イ お子さんの数

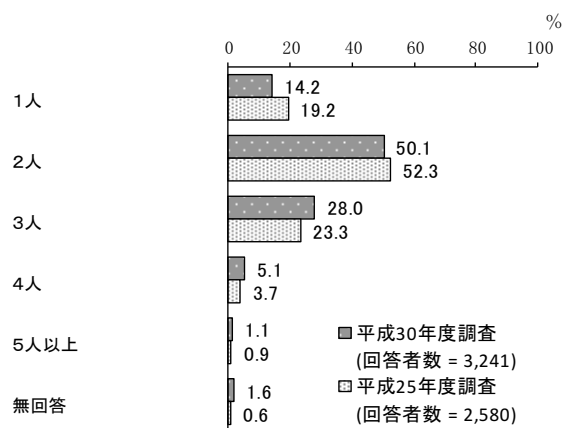
就学前児童では、「2人」の割合が49.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が29.2%、「3人」の割合が17.8%となっています。

就学児童では、「2人」の割合が50.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.0%、「1人」の割合が14.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

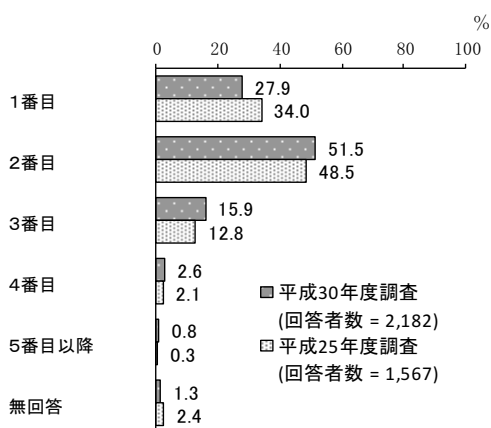


ウ (2人きょうだい以上の場合) 何番目の子どもか

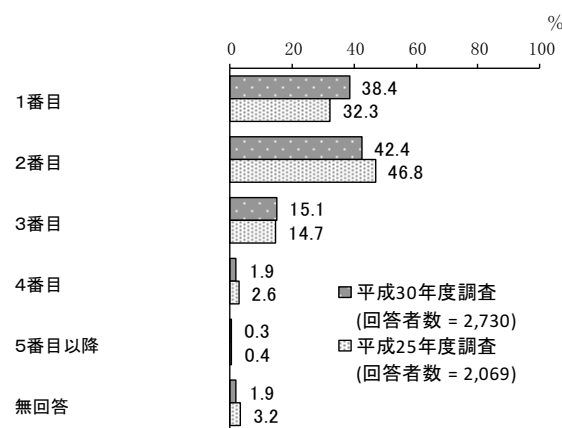
就学前児童では、「2番目」の割合が51.5%と最も高く、次いで「1番目」の割合が27.9%、「3番目」の割合が15.9%となっています。

就学児童では、「2番目」の割合が42.4%と最も高く、次いで「1番目」の割合が38.4%、「3番目」の割合が15.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

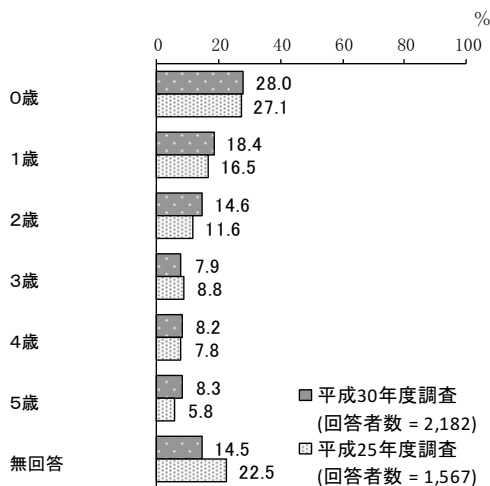


エ (2人きょうだい以上の場合) 末子の年齢

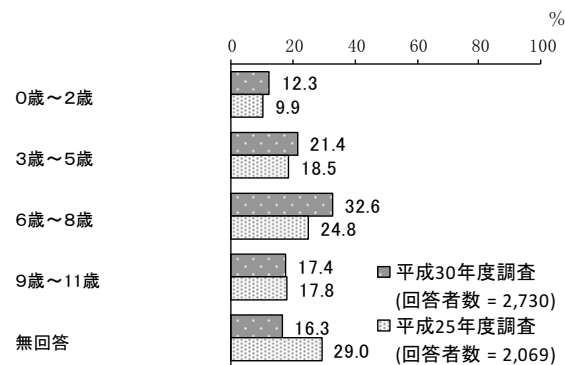
就学前児童では、「0歳」の割合が28.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が18.4%、「2歳」の割合が14.6%となっています。

就学児童では、「6歳～8歳」の割合が32.6%と最も高く、次いで「3歳～5歳」の割合が21.4%、「9歳～11歳」の割合が17.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

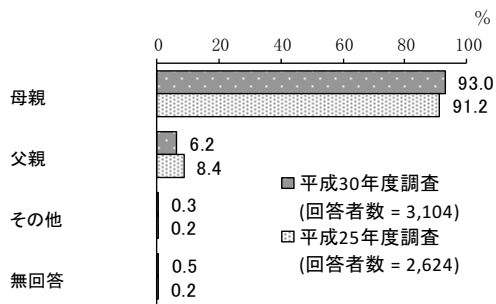


問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
 あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (就学前児童：問4、就学児童：問4)

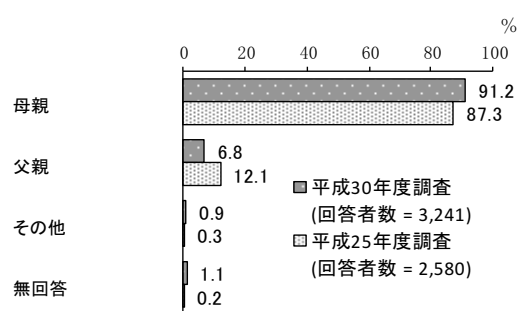
就学前児童では、「母親」の割合が93.0%、「父親」の割合が6.2%となっています。

就学児童では、「母親」の割合が91.2%、「父親」の割合が6.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

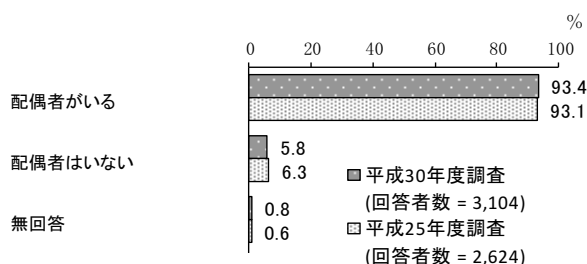


問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問5、就学児童：問5)

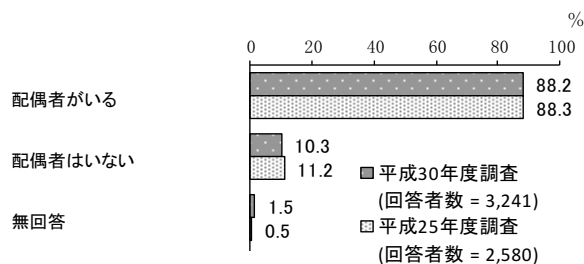
就学前児童では、「配偶者がいる」の割合が93.4%、「配偶者はいない」の割合が5.8%となっています。

就学児童では、「配偶者がいる」の割合が88.2%、「配偶者はいない」の割合が10.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

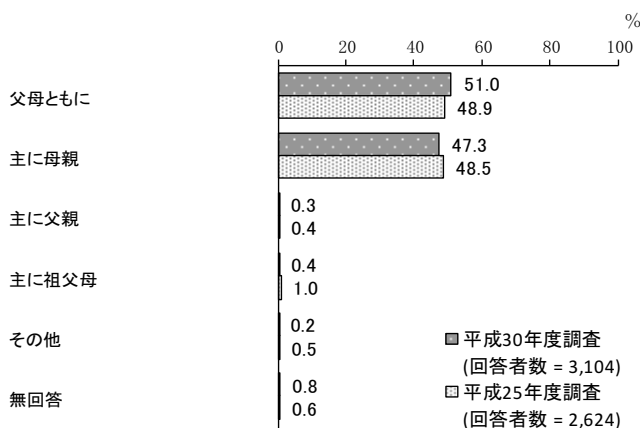


問 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問6、就学児童：問6)

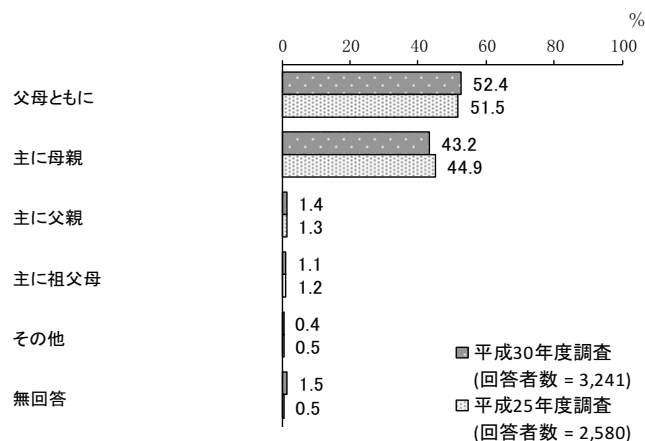
就学前児童では、「父母ともに」の割合が51.0%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が47.3%となっています。

就学児童では、「父母ともに」の割合が52.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が43.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



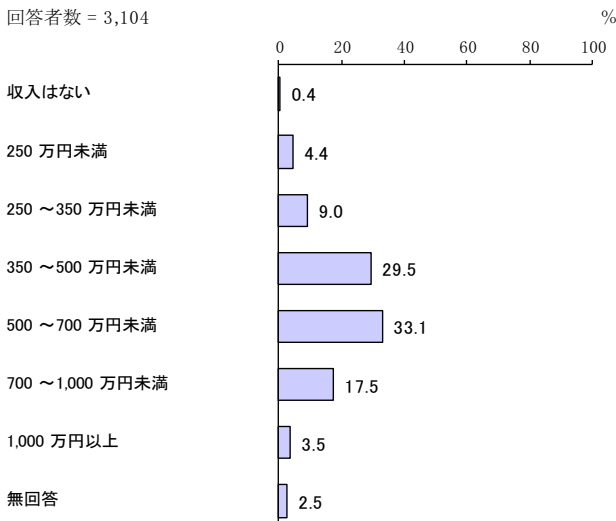
問 あなたの世帯全員の収入を合わせた「世帯の収入（年間のボーナスを含む手取り額）」を教えてください。（就学前児童：問7、就学児童：問7）

就学前児童では、「500～700万円未満」の割合が33.1%と最も高く、次いで「350～500万円未満」の割合が29.5%、「700～1,000万円未満」の割合が17.5%となっています。

就学児童では、「500～700万円未満」の割合が32.0%と最も高く、次いで「350～500万円未満」の割合が21.9%、「700～1,000万円未満」の割合が21.0%となっています。

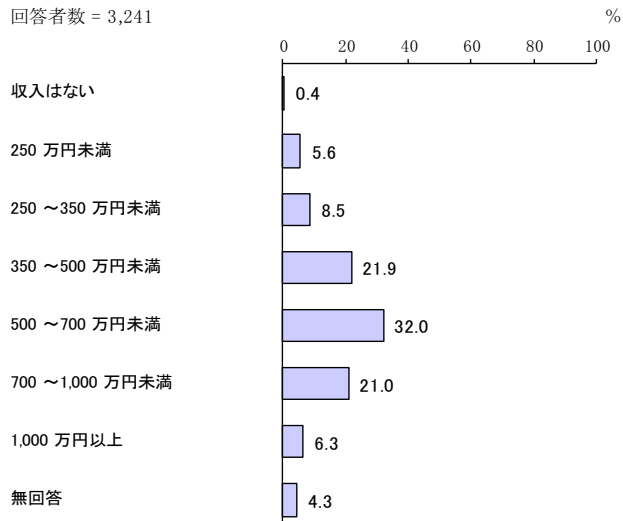
【就学前児童】

回答者数 = 3,104



【就学児童】

回答者数 = 3,241



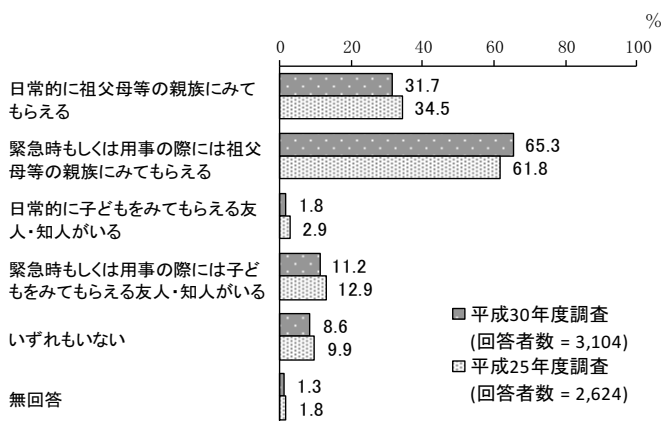
(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる祖父母等の親族や知人はいますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問8、就学児童：問8)

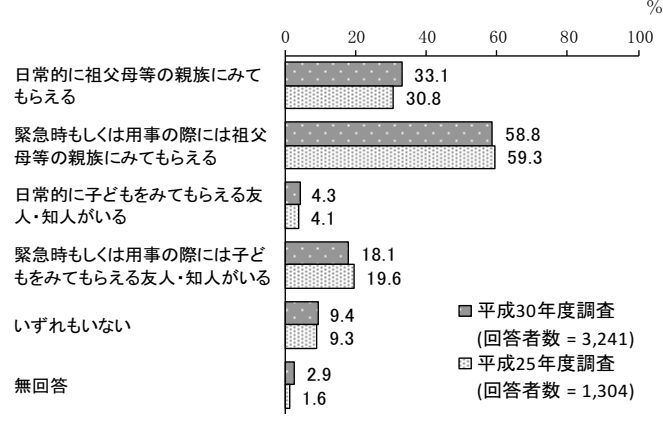
就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が65.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が31.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が11.2%となっています。

就学児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が58.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が33.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 P. 9（就学前児童：問 8、就学児童：問 8）で「1. ～ 4.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらう時の心配や不安について、それぞれ当てはまる番号すべてに○を記入してください。

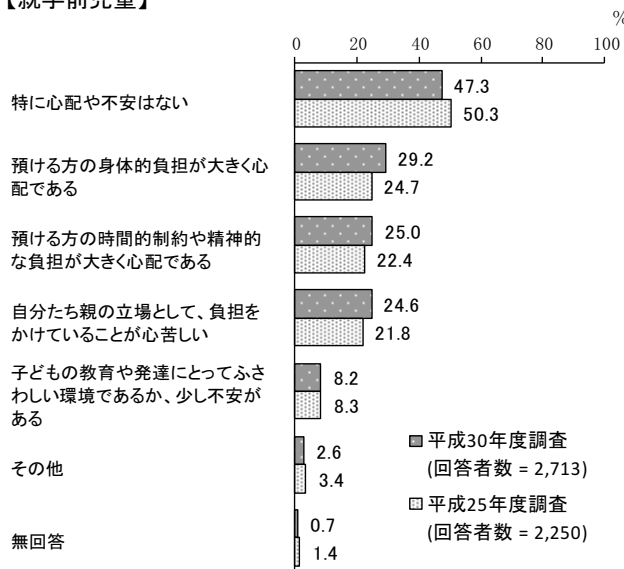
（就学前児童：問 8-1、就学児童：問 8-1）

（1）祖父母等の親族にみてもらうと答えた方

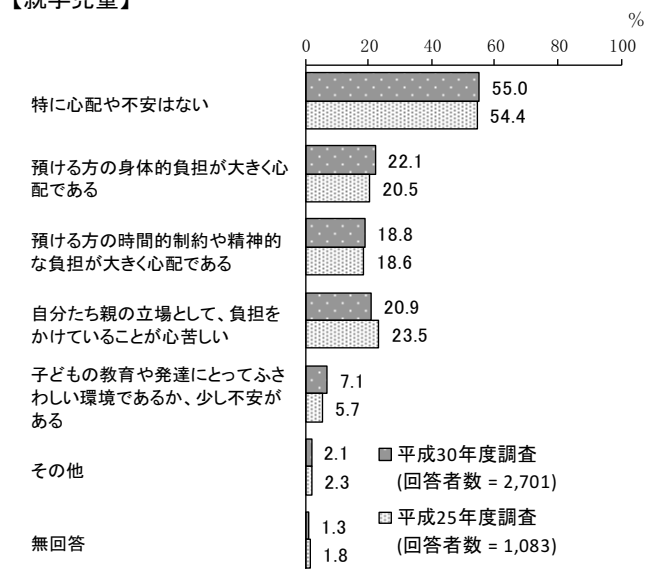
就学前児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「預ける方の身体的負担が大きく心配である」の割合が 29.2%、「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が 25.0%となっています。

就学児童では、「特に心配や不安はない」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「預ける方の身体的負担が大きく心配である」の割合が 22.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が 20.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

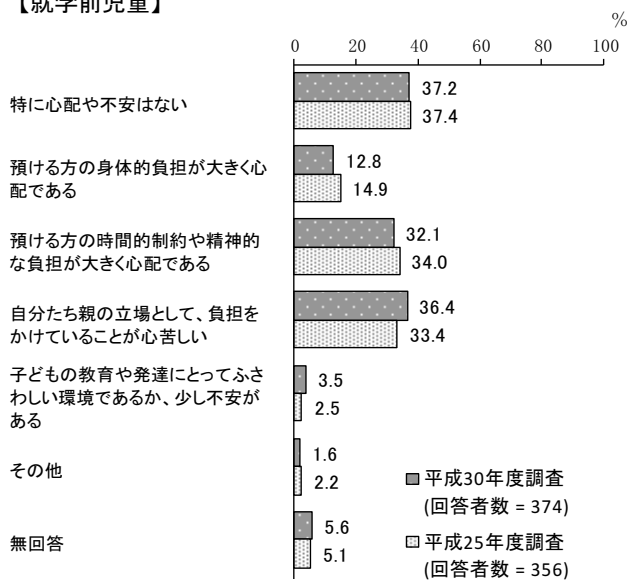


(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方

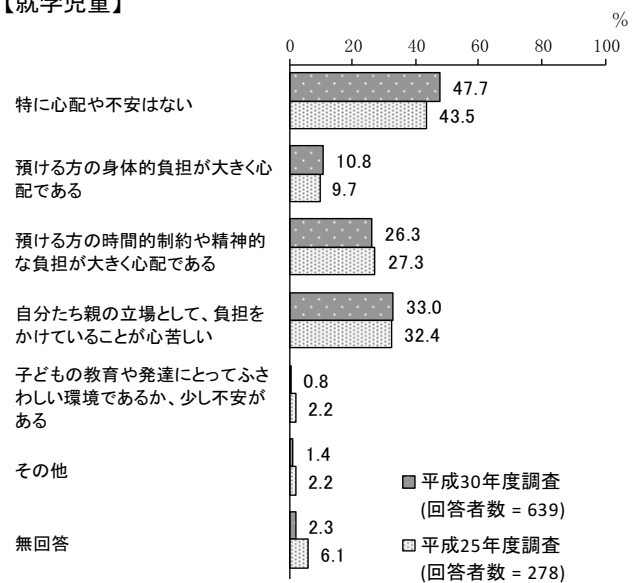
就学前児童では、「特に心配や不安はない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が36.4%、「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が32.1%となっています。

就学児童では、「特に心配や不安はない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が33.0%、「預ける方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が26.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



(3) 保護者の就労状況

問 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について
うかがいます。

「1.」～「6.」のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。

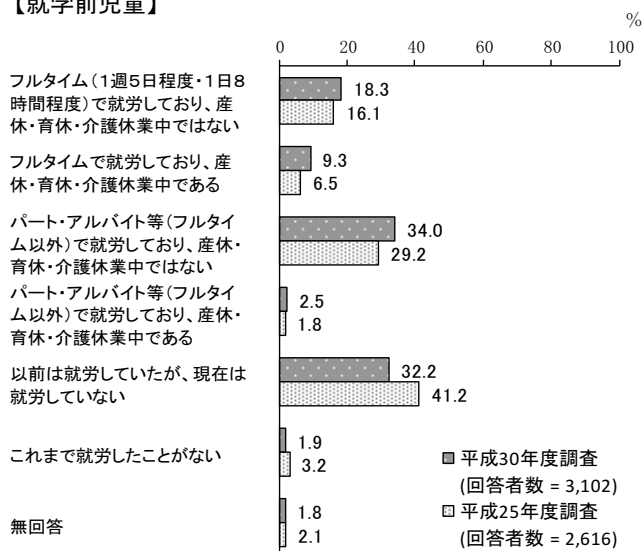
（就学前児童：問9、就学児童：問9）

(1) 母親

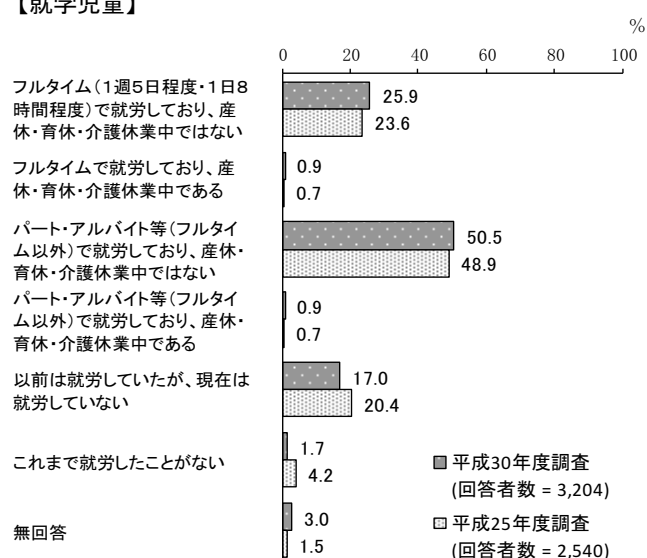
就学前児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が34.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が32.2%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が18.3%となっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が50.5%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が25.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が17.0%となっています。

【就学前児童】



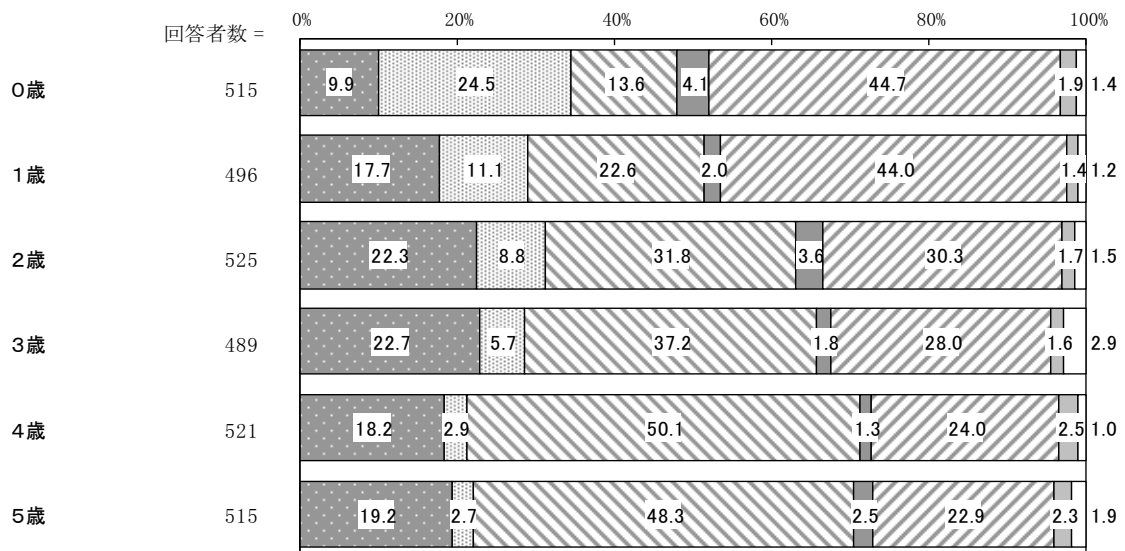
【就学児童】



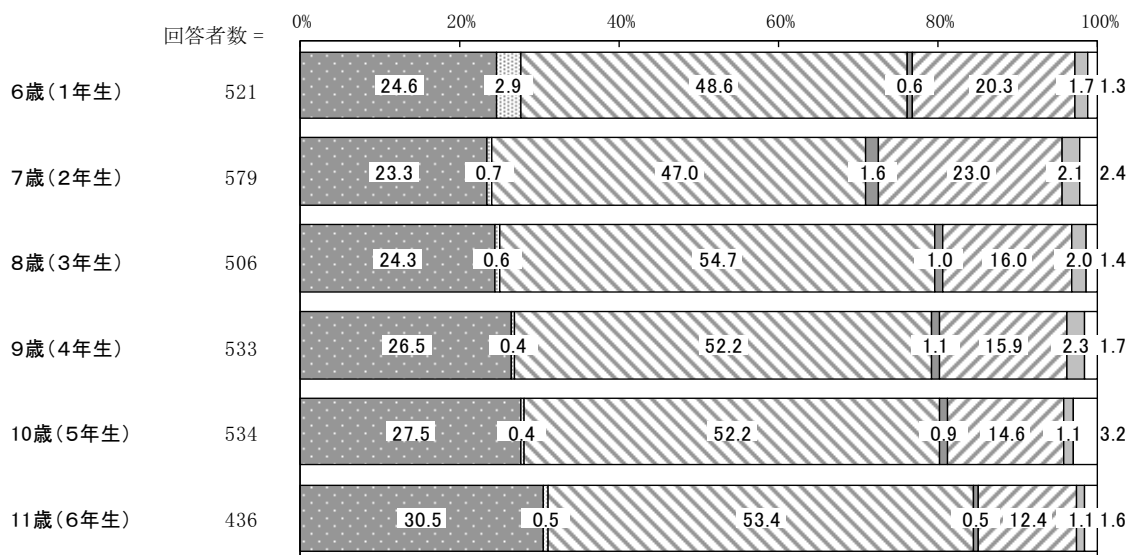
【子ども年齢別】

子ども年齢別でみると、就学前児童では、年齢が上がるにつれ「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなる傾向にあります。就学児童では、年齢が上がるにつれ「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなる傾向にあります。

【就学前児童】



【就学児童】

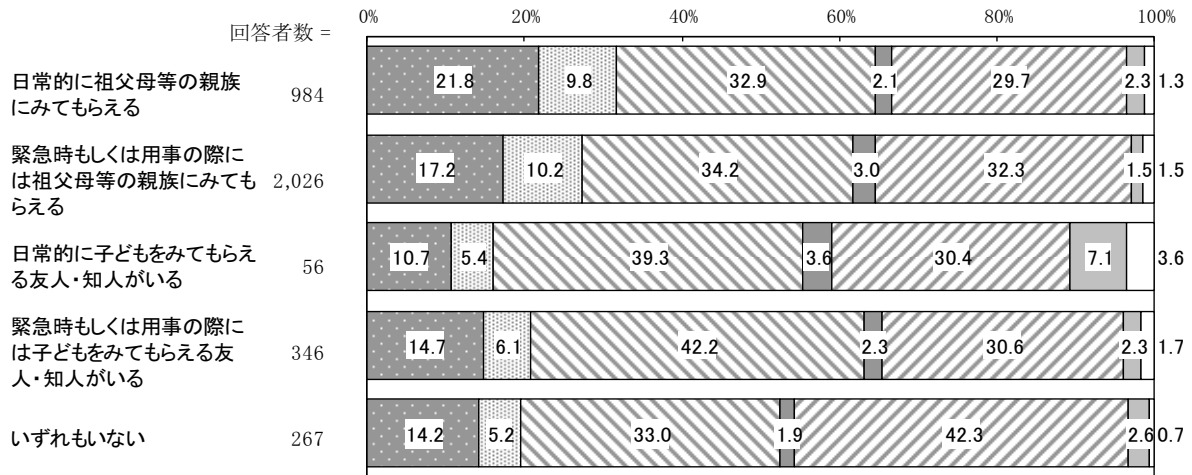


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▧ パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▩ パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▦ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

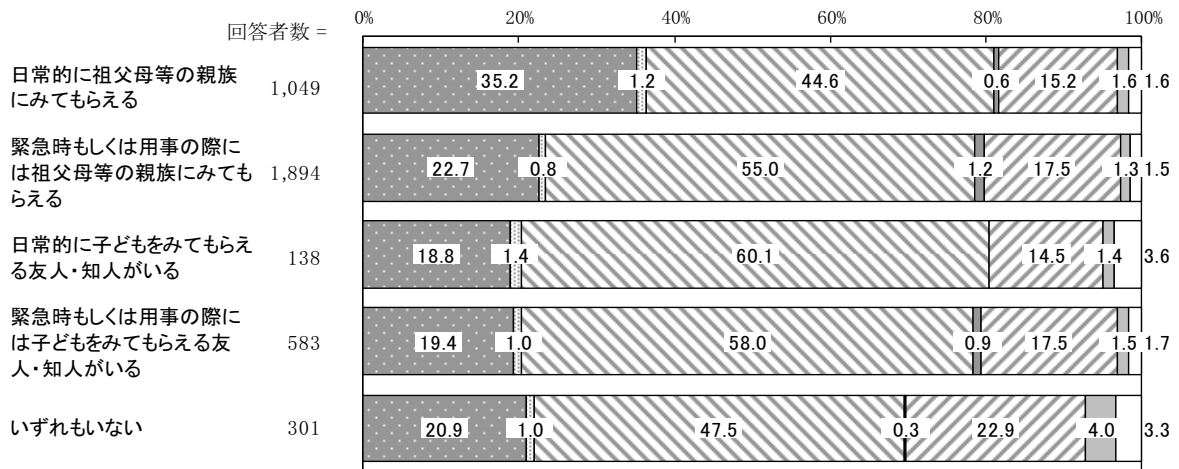
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる人で「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- ▨ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

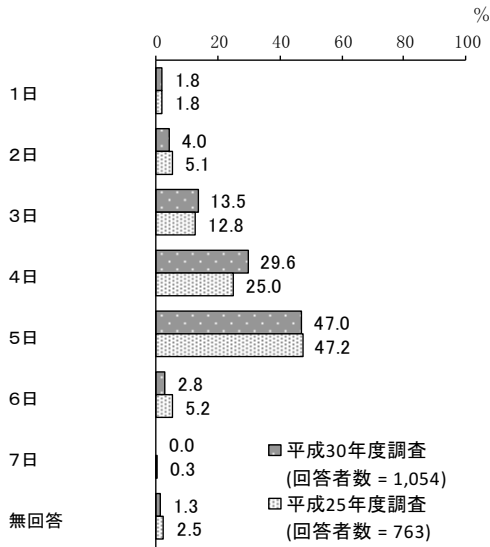
(ア) 母親のパート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労

① 母親の1週あたりの就労日数

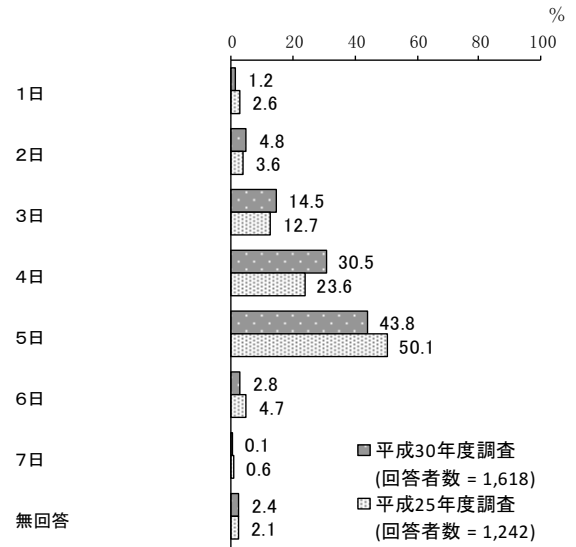
就学前児童では、「5日」の割合が47.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が29.6%、「3日」の割合が13.5%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が43.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が30.5%、「3日」の割合が14.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

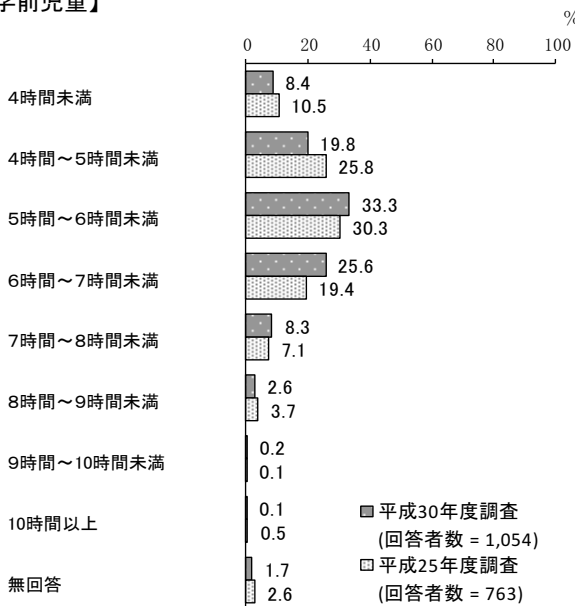


② 母親の1日あたりの就労時間

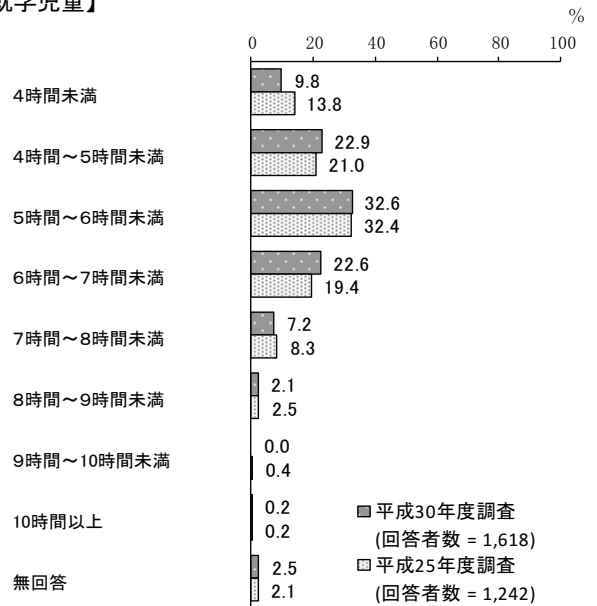
就学前児童では、「5時間～6時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が25.6%、「4時間～5時間未満」の割合が19.8%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が32.6%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が22.9%、「6時間～7時間未満」の割合が22.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

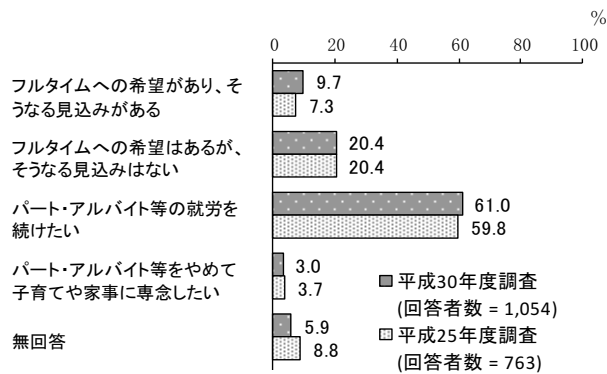


③フルタイムへの希望の有無

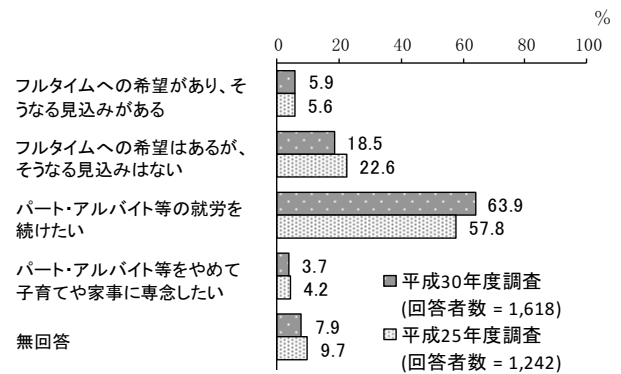
就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が61.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が20.4%となっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が63.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が18.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



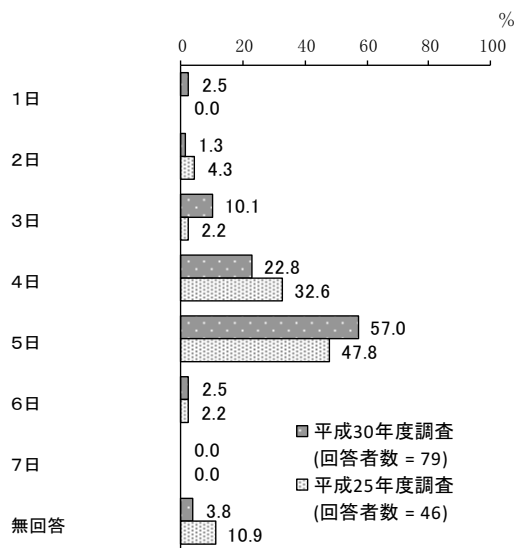
(イ) パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労、産休・育休・介護休業中

①母親の1週あたりの就労日数（休業前）

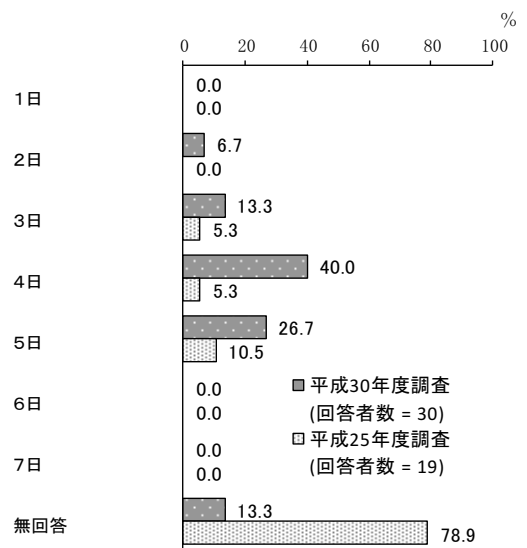
就学前児童では、「5日」の割合が57.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が22.8%、「3日」の割合が10.1%となっています。

就学児童では、「4日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が26.7%、「3日」の割合が13.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

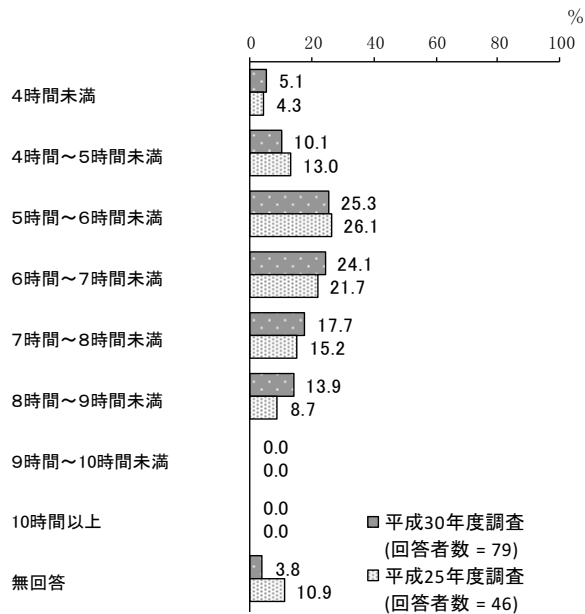


②母親の1日あたりの就労時間（休業前）

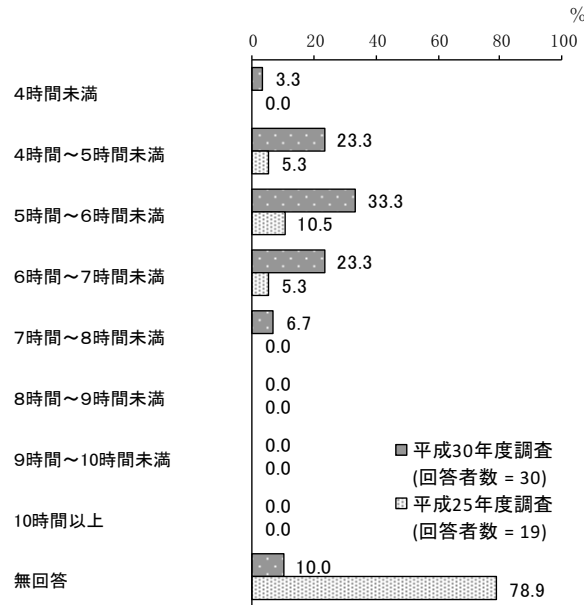
就学前児童では、「5時間～6時間未満」の割合が25.3%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が24.1%、「7時間～8時間未満」の割合が17.7%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」、「6時間～7時間未満」の割合が23.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

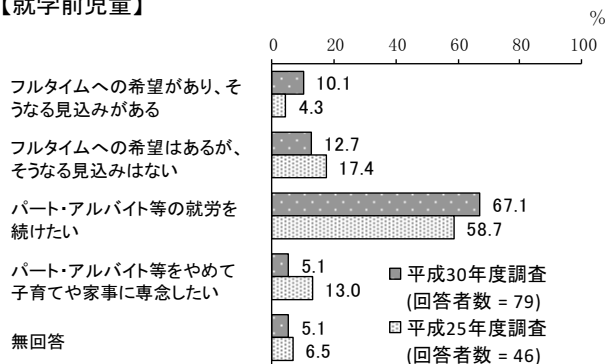


③フルタイムへの希望の有無

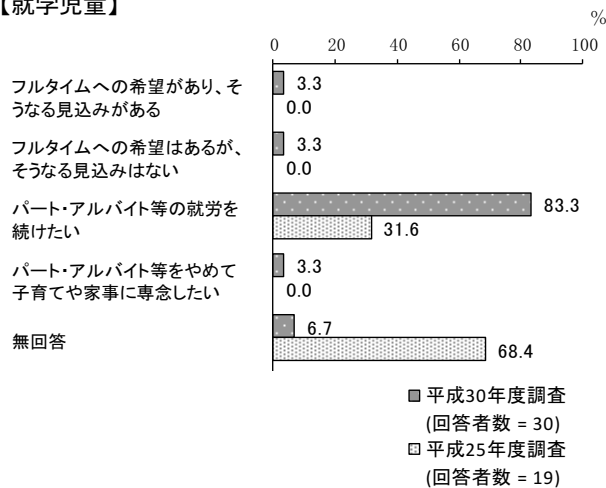
就学前児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が67.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」の割合が12.7%、「フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある」の割合が10.1%となっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が83.3%と最も高くなっています。

【就学前児童】



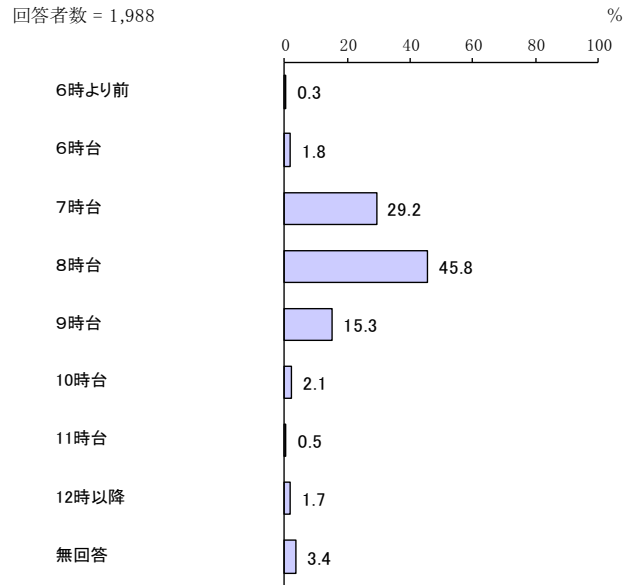
【就学児童】



(ウ) 母親が家を出る時刻と帰宅時刻（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況）

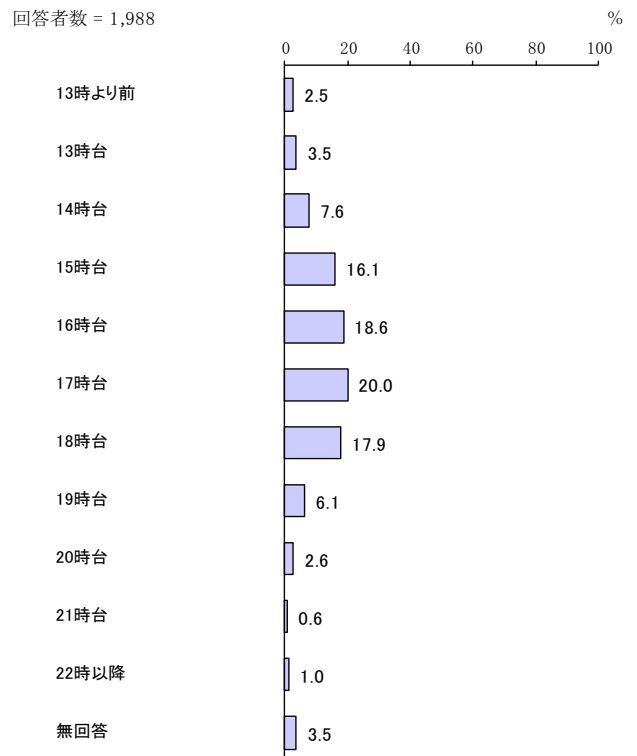
① 母親の家を出る時刻

就学前児童では、「8時台」の割合が45.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が29.2%、「9時台」の割合が15.3%となっています。



② 母親の帰宅時刻

就学前児童では、「17時台」の割合が20.0%と最も高く、次いで「16時台」の割合が18.6%、「18時台」の割合が17.9%となっています。

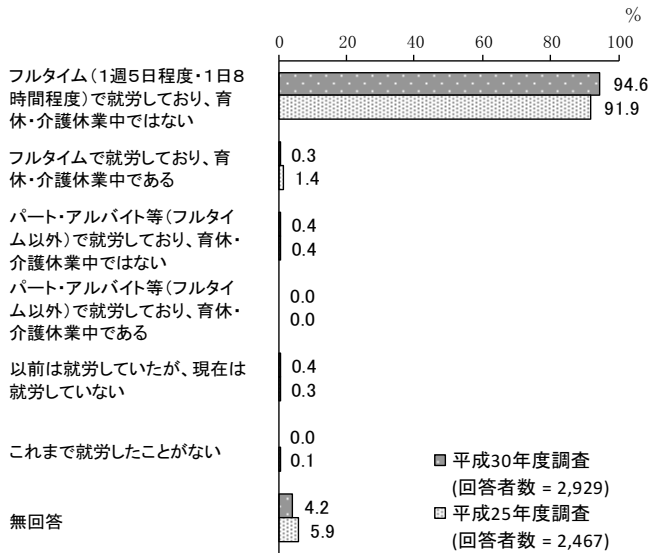


(2) 父親

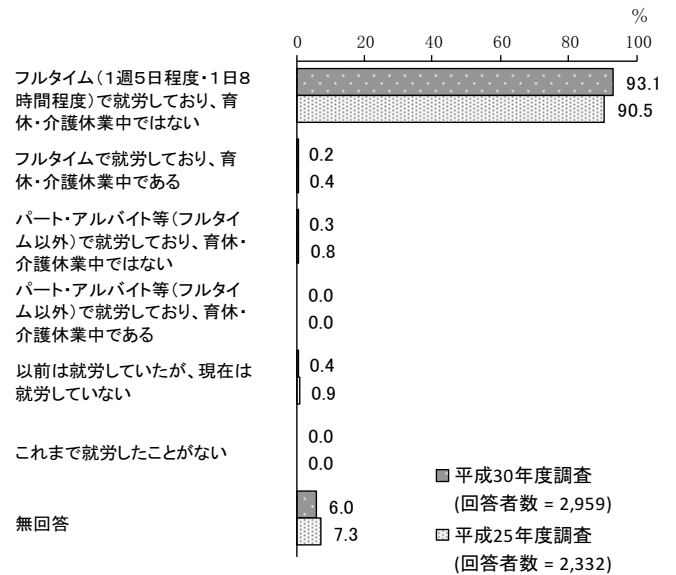
就学前児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が94.6%と最も高くなっています。

就学児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が93.1%と最も高くなっています。

【就学前児童】



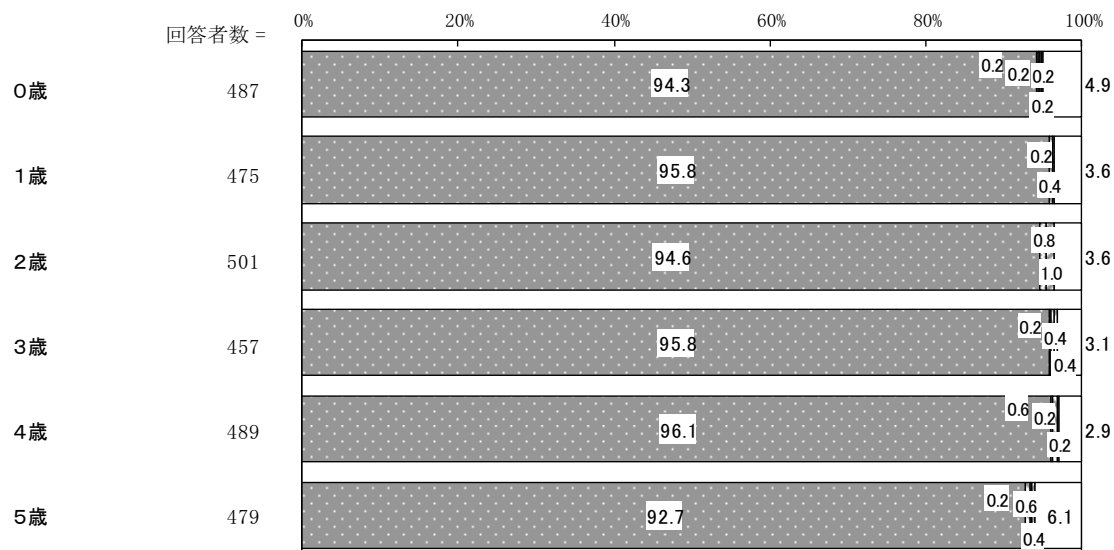
【就学児童】



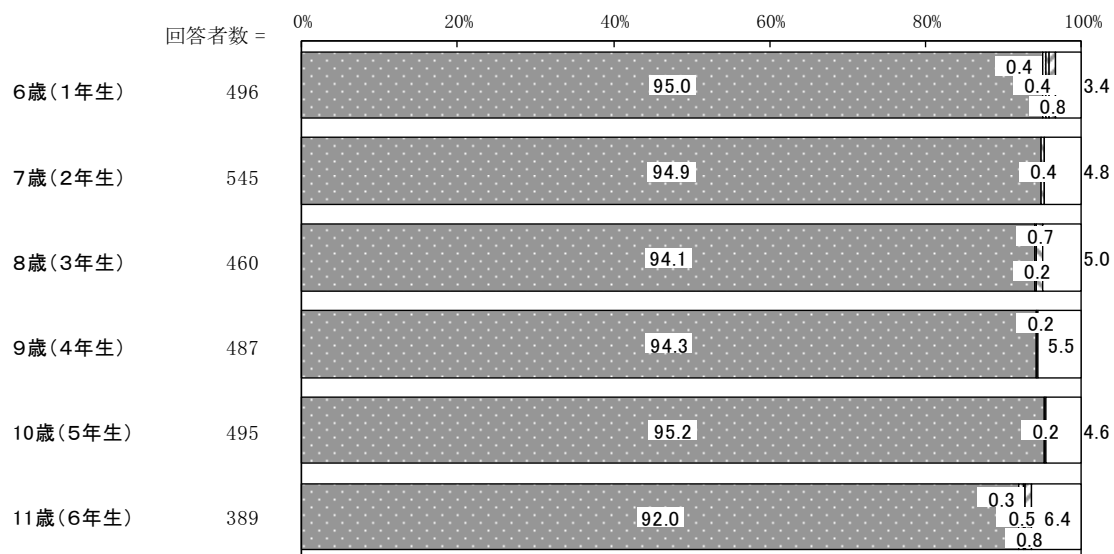
【子ども年齢別】

子ども年齢別でみると、大きな差異はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】

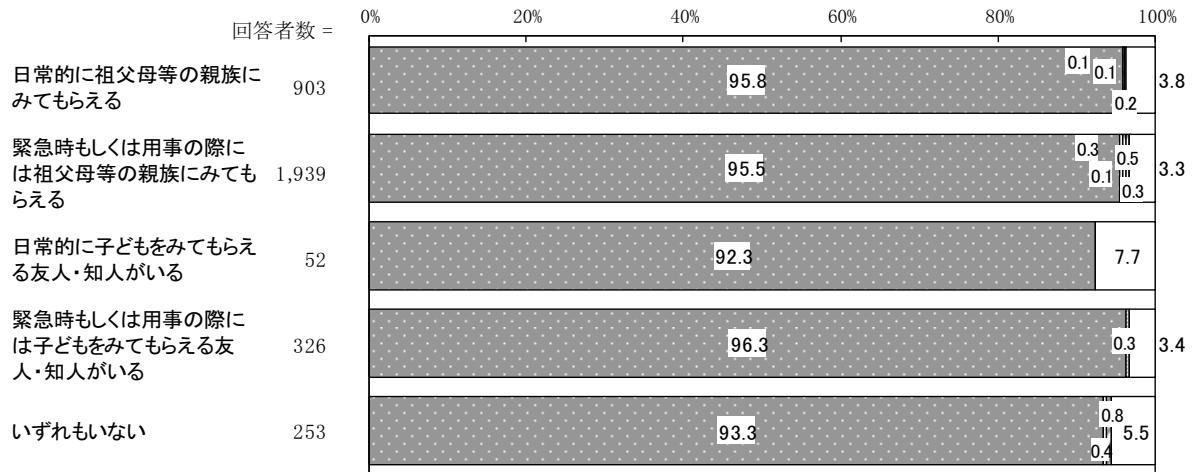


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

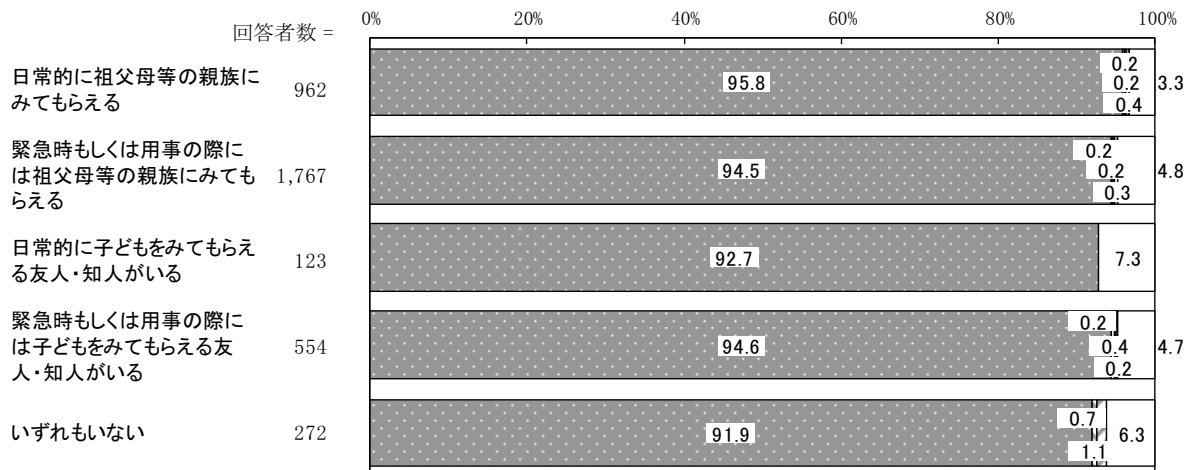
【支援状況別】

支援状況別でみると、大きな差異はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

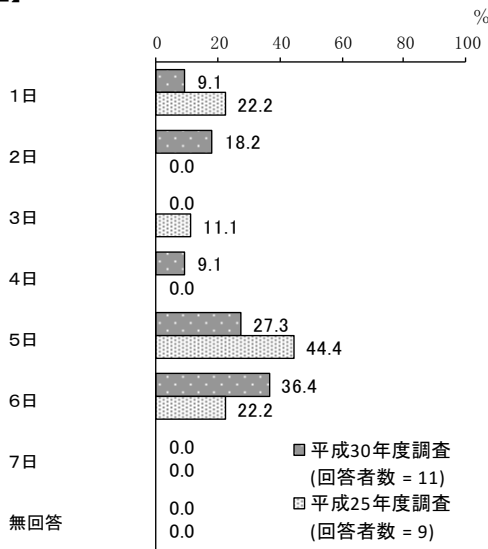
(ア) パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労

①父親の1週あたりの就労日数

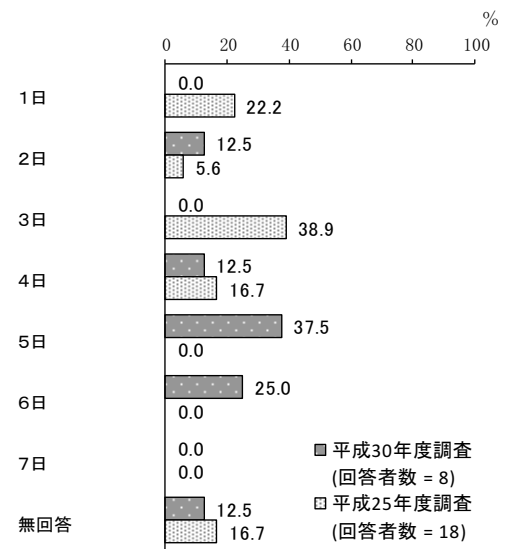
就学前児童では、「6日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「5日」の割合が27.3%、「2日」の割合が18.2%となっています。

就学児童では、「5日」が37.5%（3件）となっています。「6日」が25.0%（2件）、「2日」、「4日」が12.5%（1件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

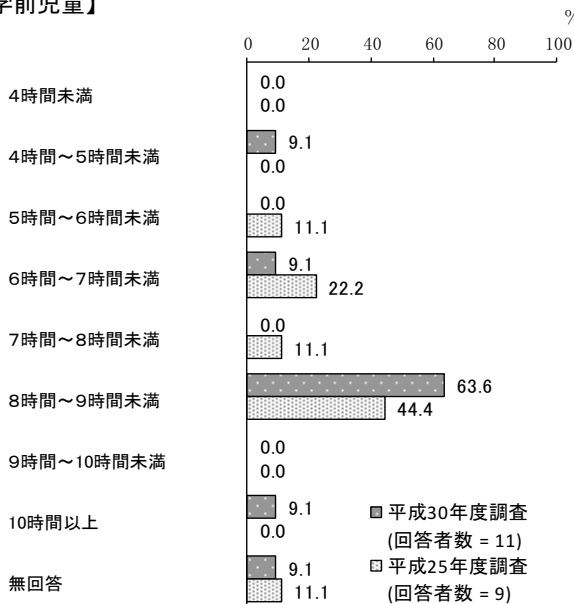


②父親の1日あたりの就労時間

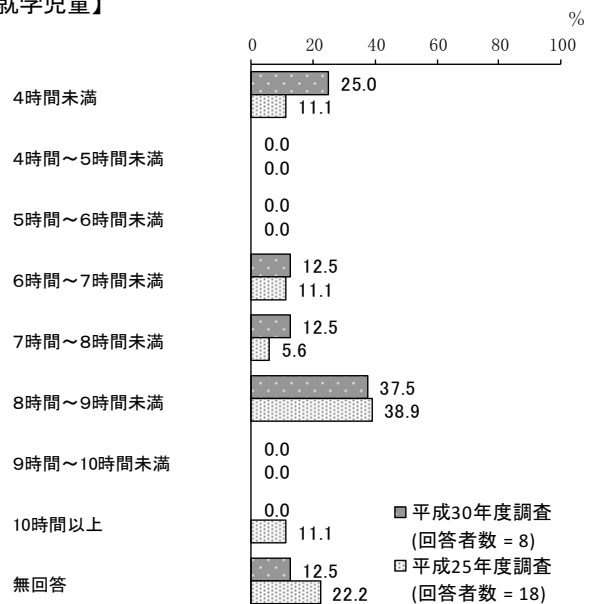
就学前児童では、「8時間～9時間未満」の割合が63.6%と最も高くなっています。

就学児童では、「8時間～9時間未満」が37.5%（3件）となっています。「4時間未満」が25.0%（2件）、「6時間～7時間未満」、「7時間～8時間未満」が12.5%（1件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

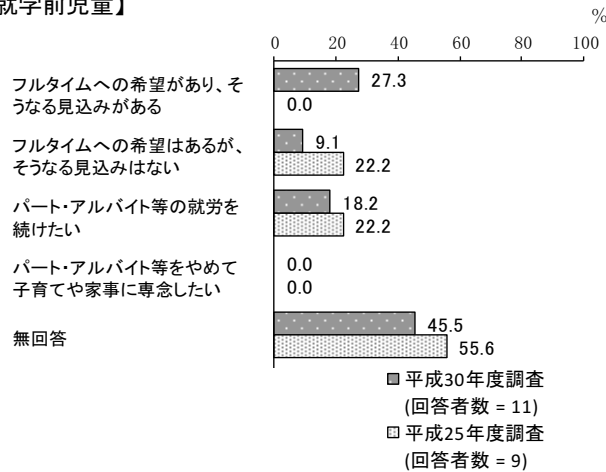


③フルタイムへの希望の有無

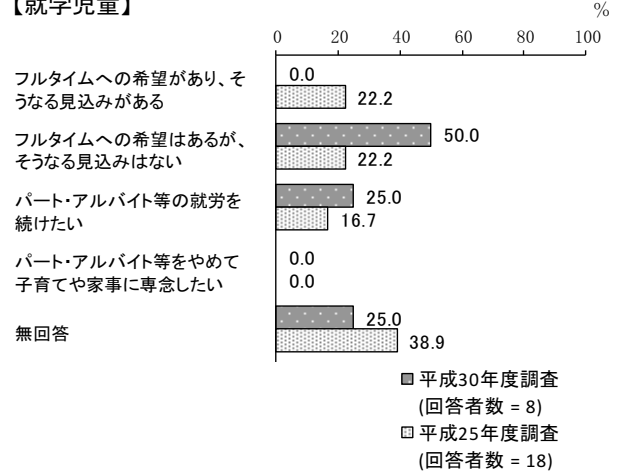
就学前児童では、「フルタイムへの希望があり、そうなる見込みがある」の割合が27.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けたい」の割合が18.2%となっています。

就学児童では、「フルタイムへの希望はあるが、そうなる見込みはない」が50.0%（4件）となっています。「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が25.0%（2件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



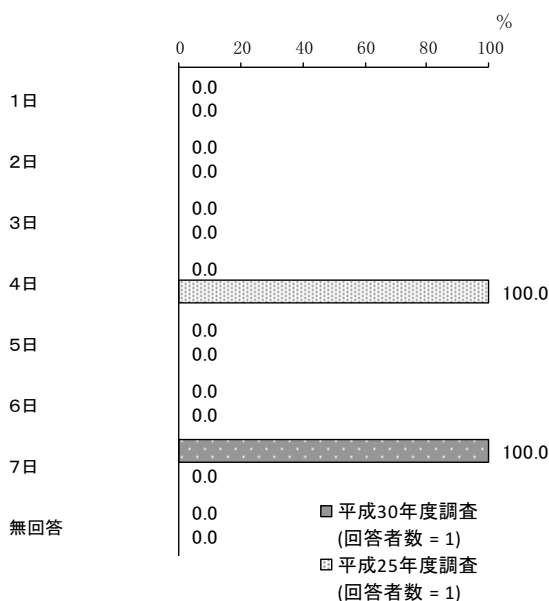
(イ) パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労、産休・育休・介護休業中

①父親の1週あたりの就労日数（休業前）

就学前児童では、「7日」が100.0%（1件）となっています。

就学児童では、有効回答がありませんでした。

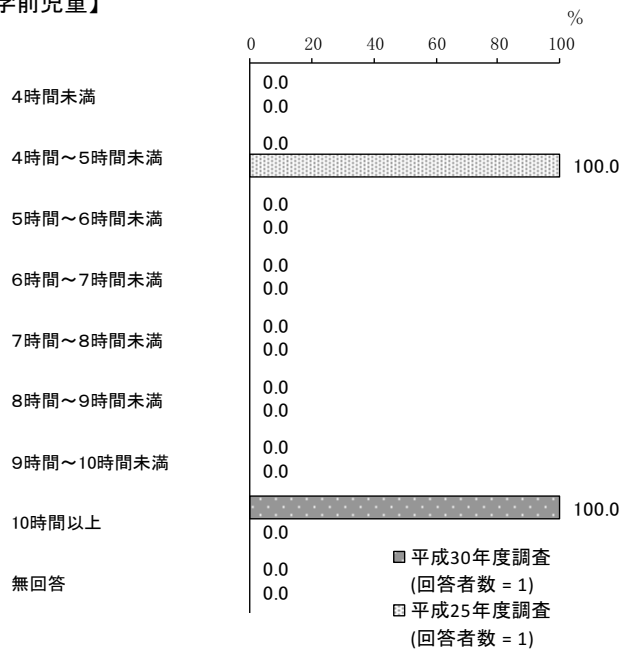
【就学前児童】



②父親の1日あたりの就労時間（休業前）

就学前児童では、「10時間以上」が100.0%（1件）となっています。
就学児童では、有効回答がありませんでした。

【就学前児童】



③フルタイムへの希望の有無

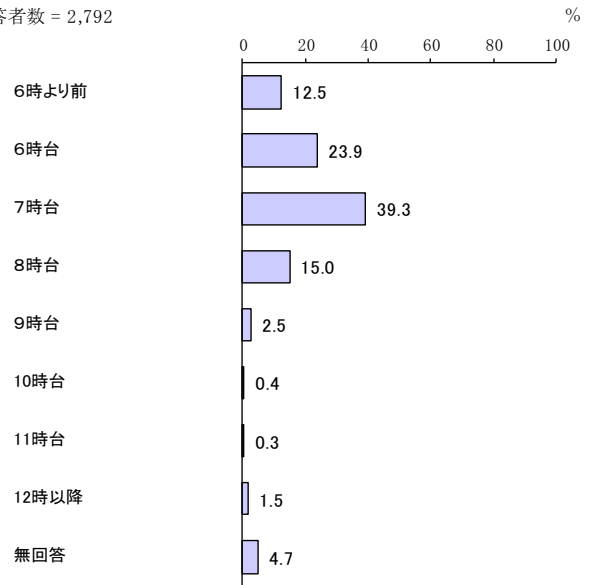
就学前児童では、有効回答がありませんでした。
就学児童では、有効回答がありませんでした。

(ウ) 父親が家を出る時刻と帰宅時刻（※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況）

①父親の家を出る時刻

就学前児童では、「7時台」の割合が39.3%と最も高く、次いで「6時台」の割合が23.9%、「8時台」の割合が15.0%となっています。

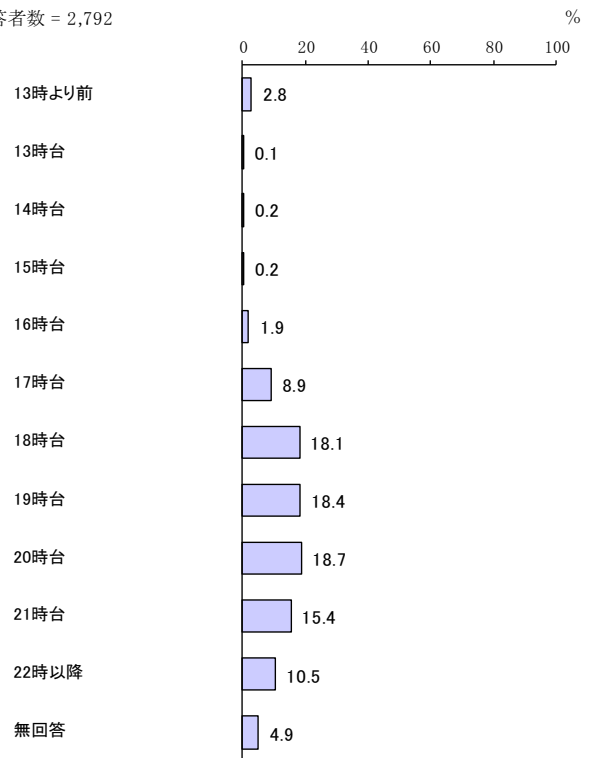
回答者数 = 2,792



②父親の帰宅時刻

就学前児童では、「20時台」の割合が18.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が18.4%、「18時台」の割合が18.1%となっています。

回答者数 = 2,792



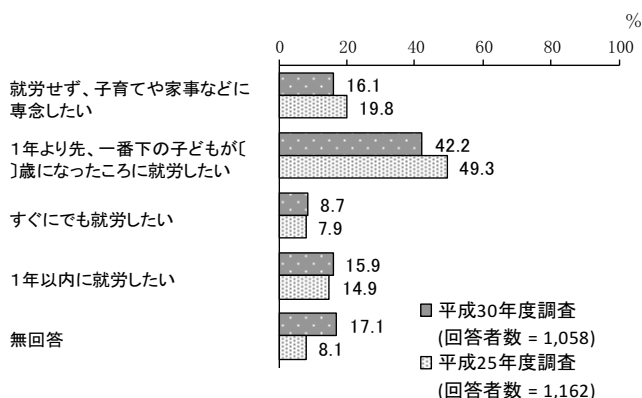
問 P. 12、P. 19(就学前児童：問 9、就学児童：問 9)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。
 母親、父親それぞれについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
 [] 内には数字を記入してください。
 (就学前児童：問 9-1、就学児童：問 9-1)

(1) 母親

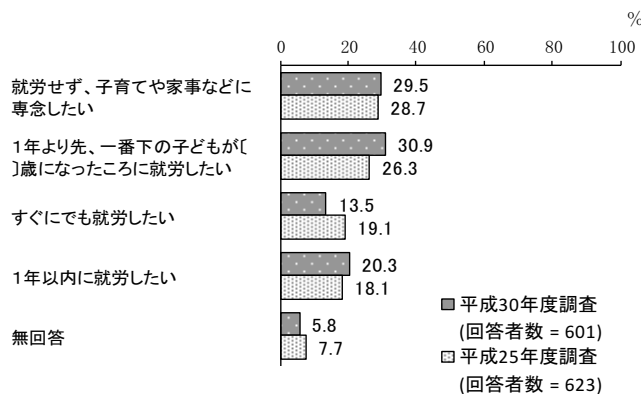
就学前児童では、「1年より先、一番下の子どもが[]歳になったところに就労したい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が 16.1%、「1年以内に就労したい」の割合が 15.9%となっています。

就学児童では、「1年より先、一番下の子どもが[]歳になったところに就労したい」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が 29.5%、「1年以内に就労したい」の割合が 20.3%となっています。

【就学前児童】



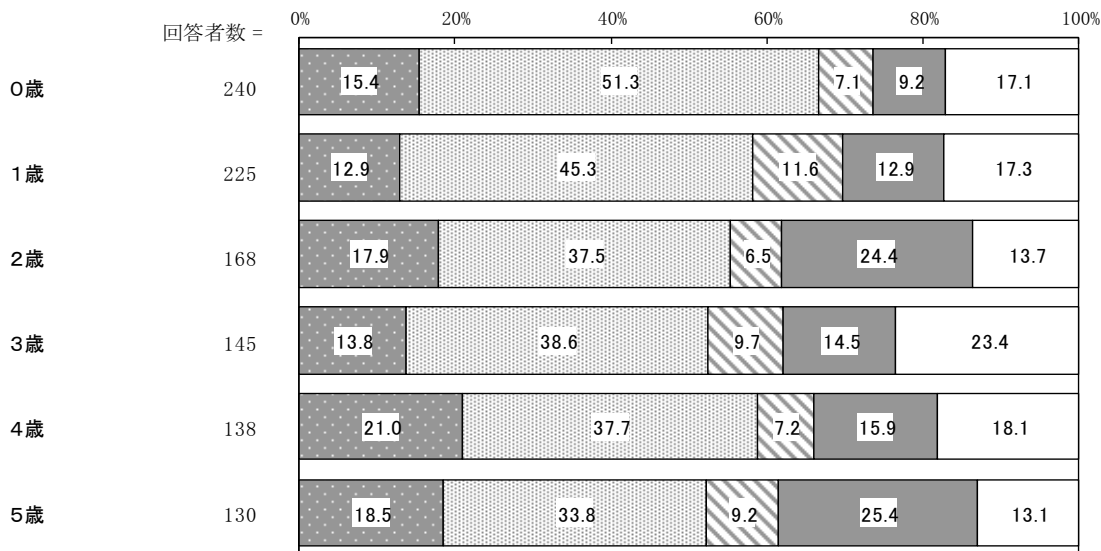
【就学児童】



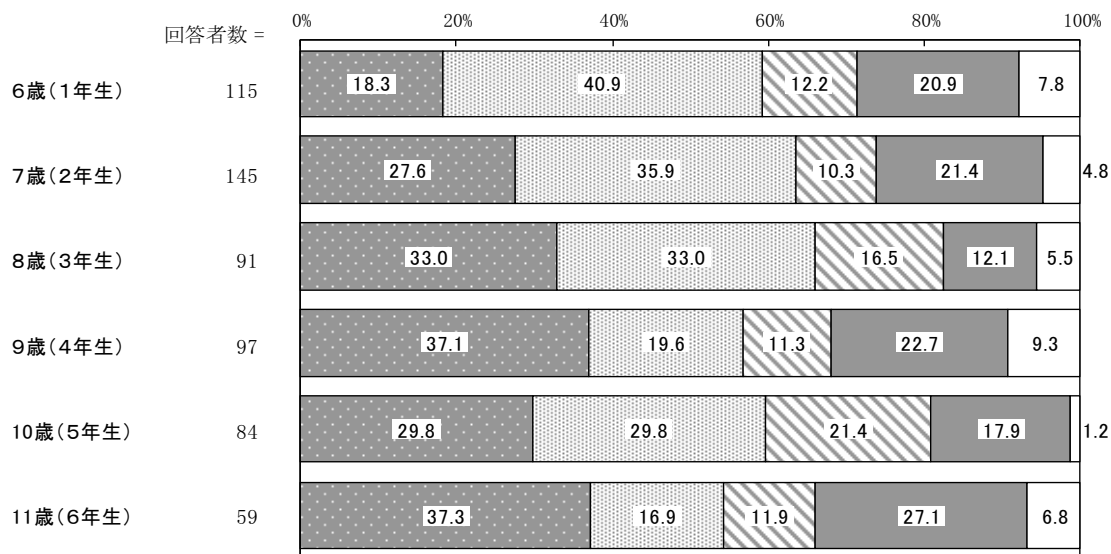
【子ども年齢別】

子ども年齢別でみると、就学前児童では0歳で「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が高くなっています。就学児童では年齢が低いほど「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が高くなる傾向がみられます。

【就学前児童】



【就学児童】

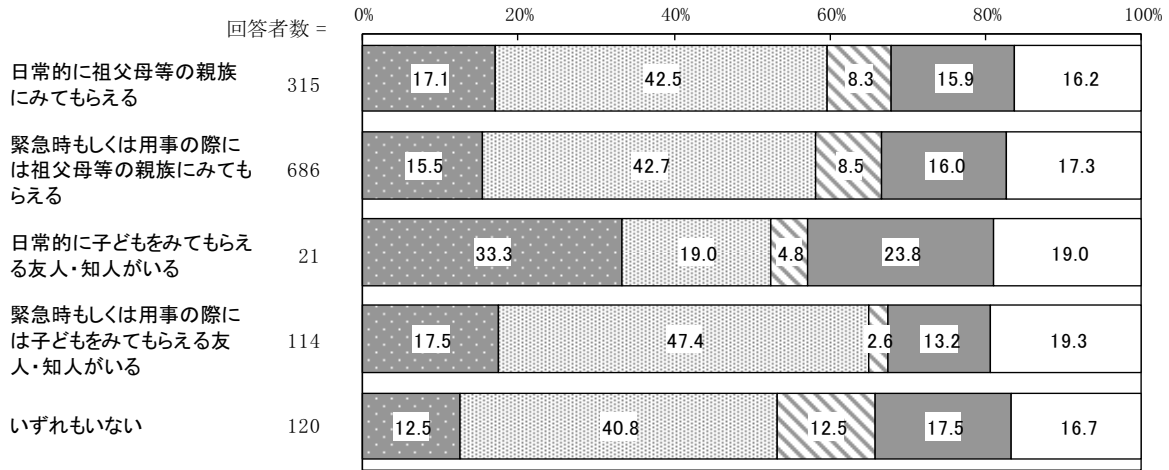


- 就労せず、子育てや家事などに専念したい
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい
- ▩ すぐにでも就労したい
- 1年以内に就労したい
- 無回答

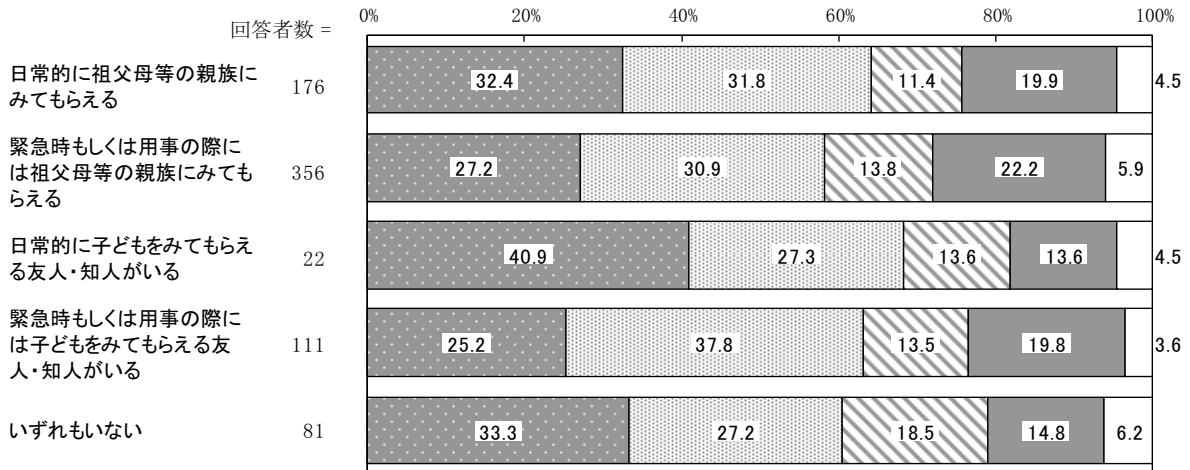
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童、就学児童いずれも、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいるで、「就労せず、子育てや家事などに専念したい」の割合が高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



- 就労せず、子育てや家事などに専念したい
- ▨ 1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい
- ▧ すぐにでも就労したい
- 1年以内に就労したい
- 無回答

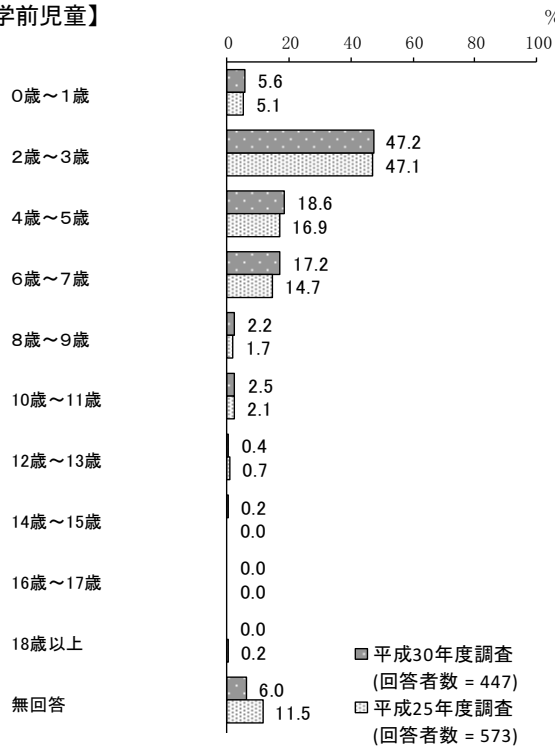
(ア) 「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」

子どもの年齢

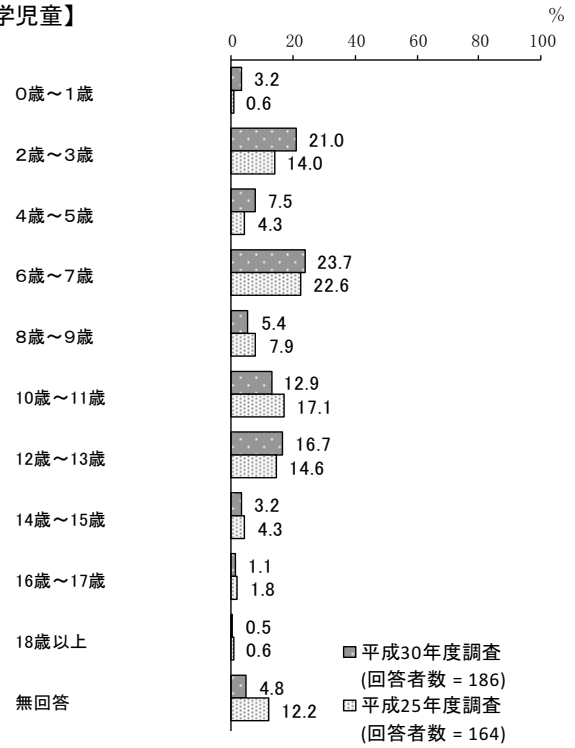
就学前児童では、「2歳～3歳」の割合が47.2%と最も高く、次いで「4歳～5歳」の割合が18.6%、「6歳～7歳」の割合が17.2%となっています。

就学児童では、「6歳～7歳」の割合が23.7%と最も高く、次いで「2歳～3歳」の割合が21.0%、「12歳～13歳」の割合が16.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

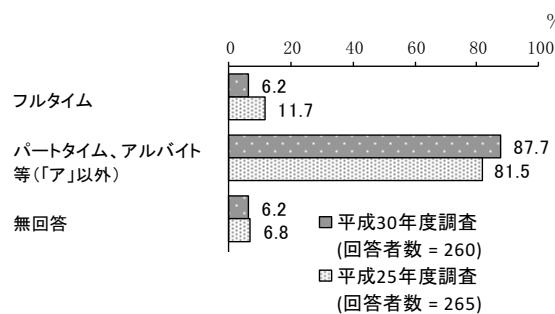


(イ) 「すぐにでも就労したい」「1年以内に就労したい」の場合、希望する就労形態

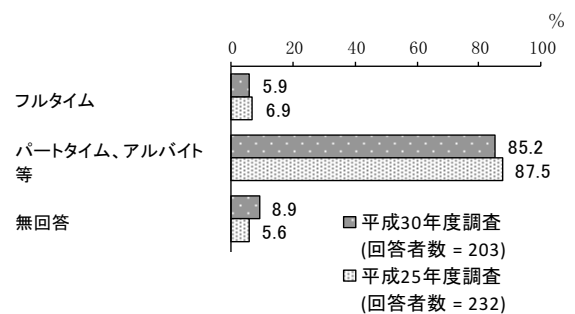
就学前児童では、「フルタイム」の割合が6.2%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が87.7%となっています。

就学児童では、「フルタイム」の割合が5.9%、「パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）」の割合が85.2%となっています。

【就学前児童】



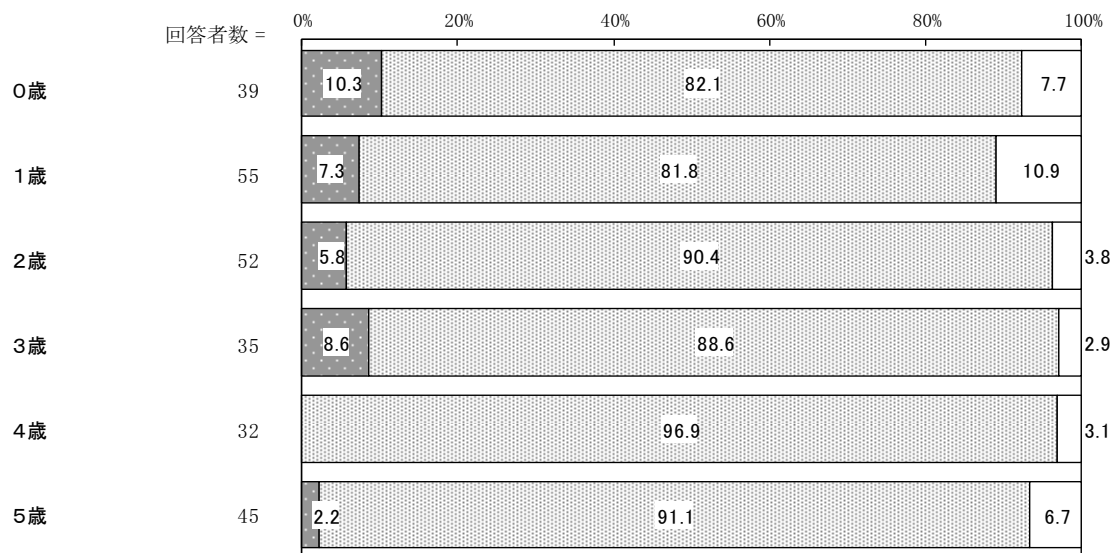
【就学児童】



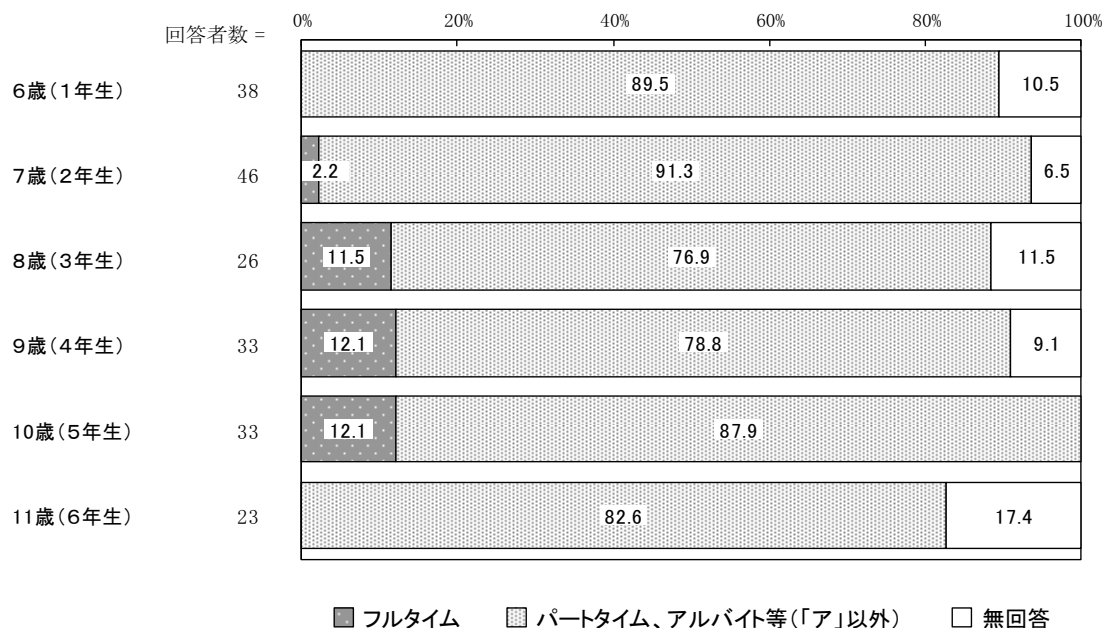
【子ども年齢別】

子どもの年齢別でみると、就学前児童では0歳で「フルタイム」の割合が約1割となっています。就学児童では8歳から10歳で「フルタイム」の割合が1割以上となっています。

【就学前児童】



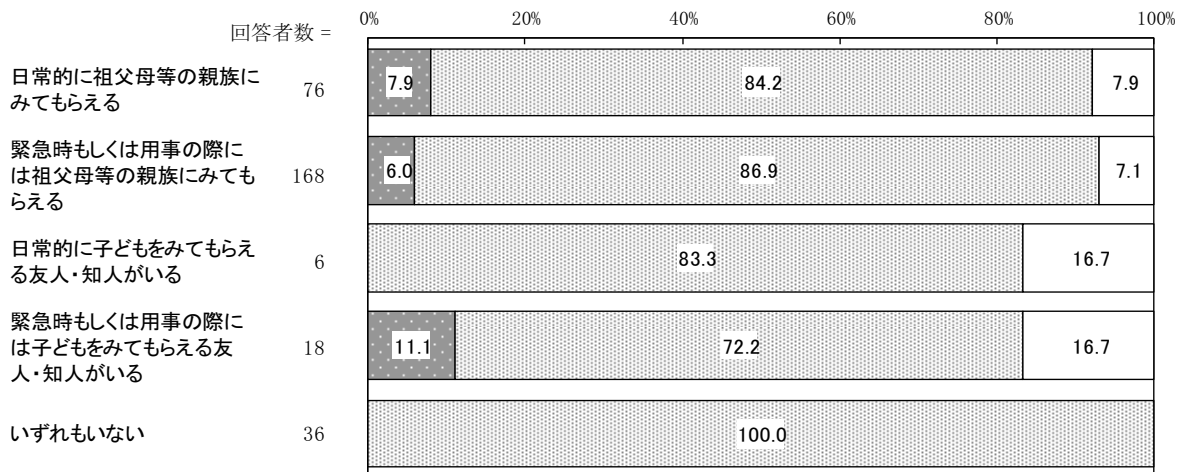
【就学児童】



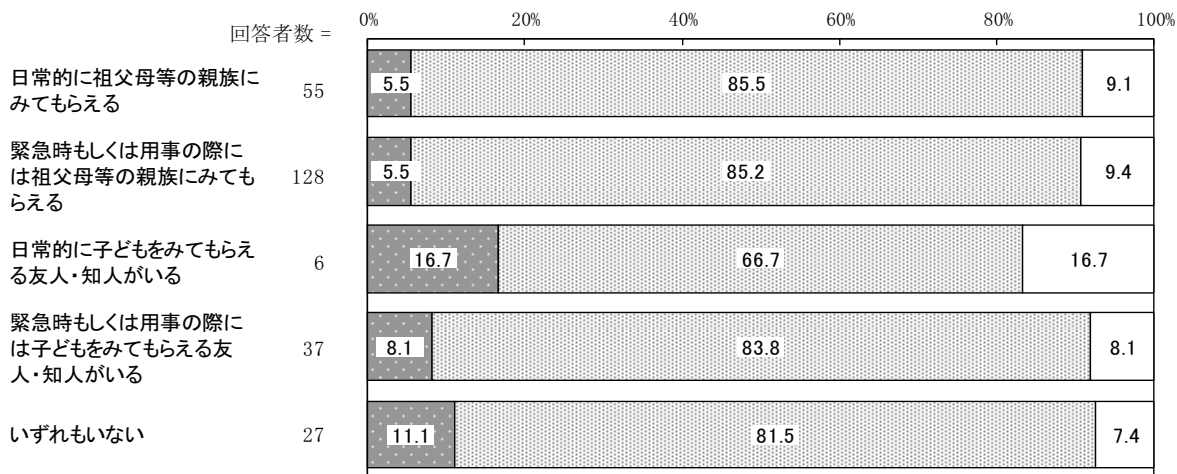
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童では、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で「フルタイム」の割合が1割となっています。就学児童では、日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる人で、「フルタイム」の割合が1割半ばと高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



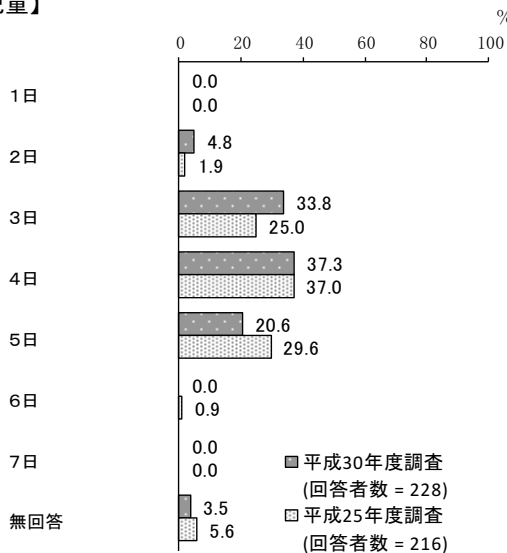
■ フルタイム ▨ パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) □ 無回答

(ウ) 1年以内にパート・アルバイトで就労したい人の1週当たりの就労日数

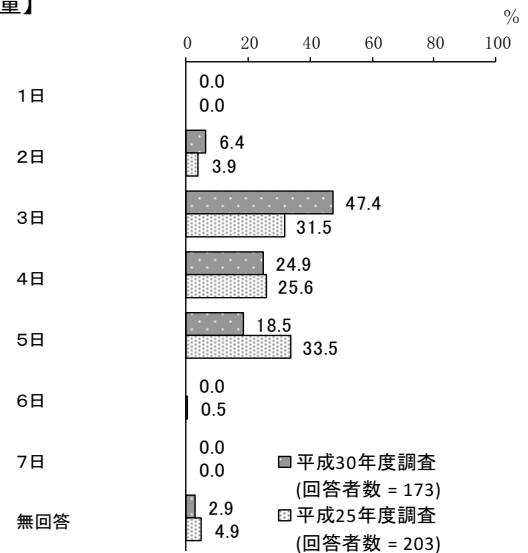
就学前児童では、「4日」の割合が37.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が33.8%、「5日」の割合が20.6%となっています。

就学児童では、「3日」の割合が47.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が24.9%、「5日」の割合が18.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

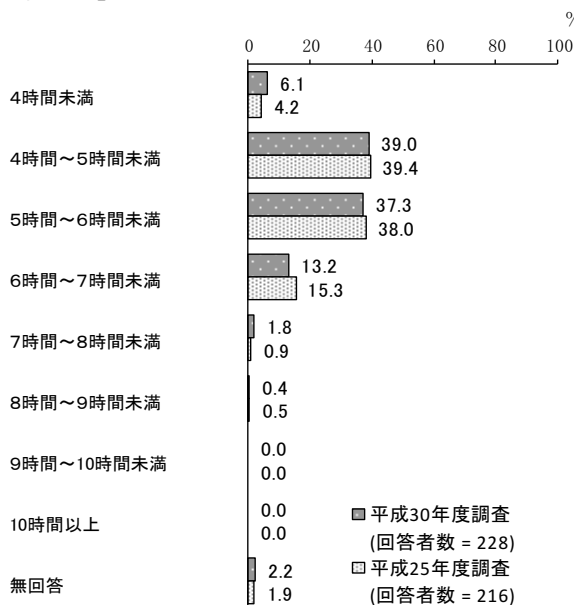


(エ) 1年以内にパート・アルバイトで就労したい人の1日当たりの就労時間

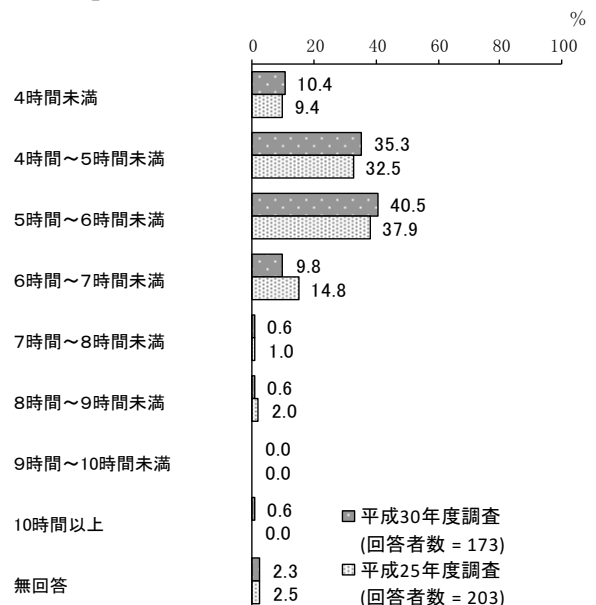
就学前児童では、「4時間～5時間未満」の割合が39.0%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が37.3%、「6時間～7時間未満」の割合が13.2%となっています。

就学児童では、「5時間～6時間未満」の割合が40.5%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が35.3%、「4時間未満」の割合が10.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

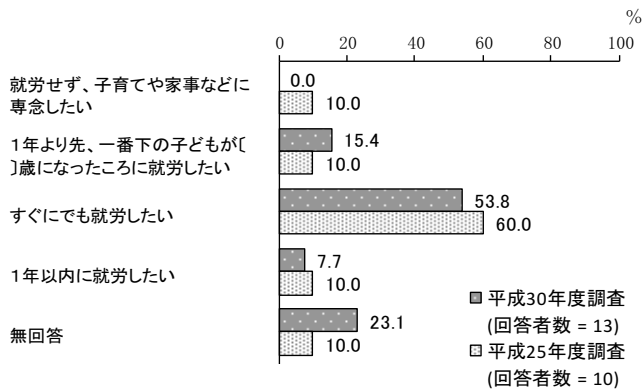


(2) 父親

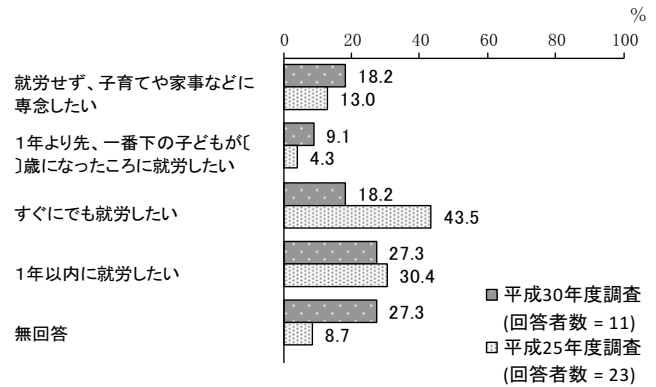
就学前児童では、「すぐにでも就労したい」の割合が53.8%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が15.4%となっています。

就学児童では、「1年以内に就労したい」の割合が27.3%と最も高く、次いで「就労せず、子育てや家事などに専念したい」、「すぐにでも就労したい」の割合が18.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

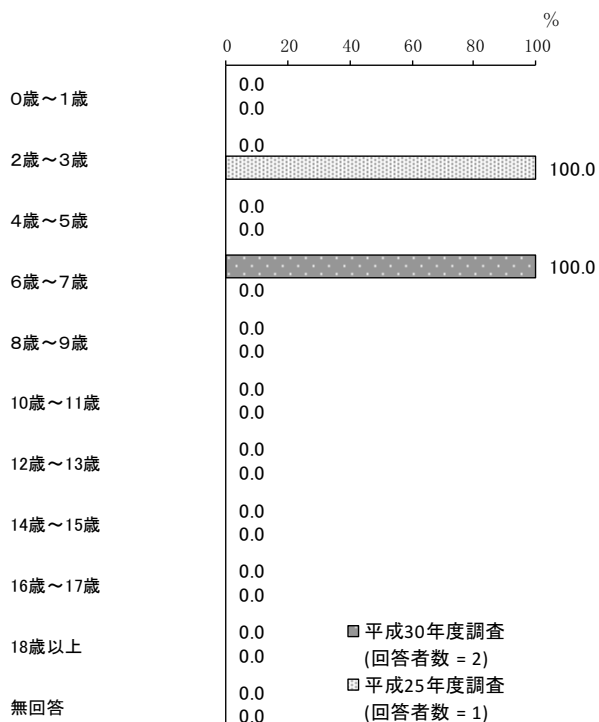


(ア) 「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」 子どもの年齢

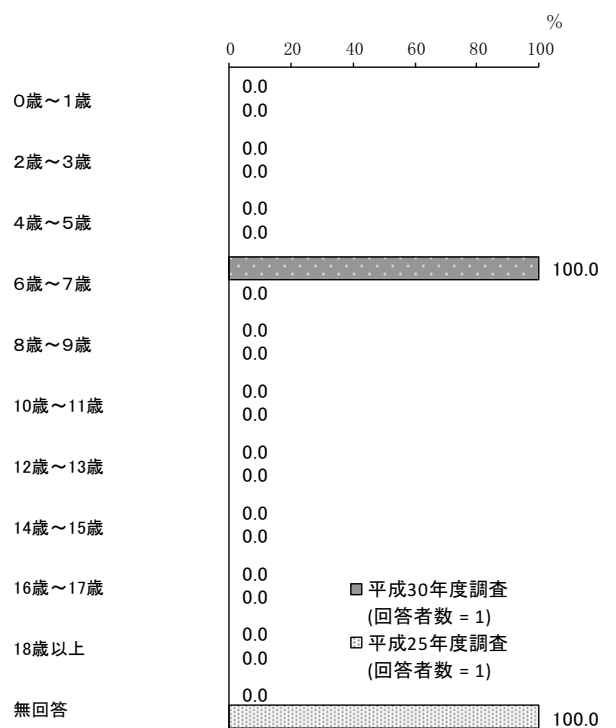
就学前児童では、「6歳～7歳」が100.0% (2件) となっています。

就学児童では、「6歳～7歳」が100.0% (1件) となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

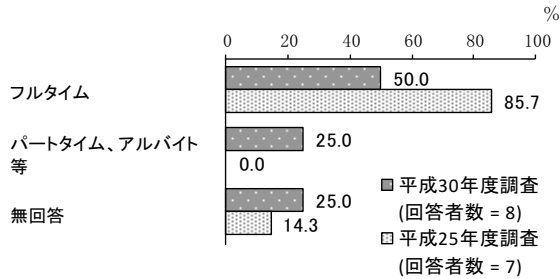


(イ) 「すぐにでも就労したい」「1年以内に就労したい」の場合、希望する就労形態

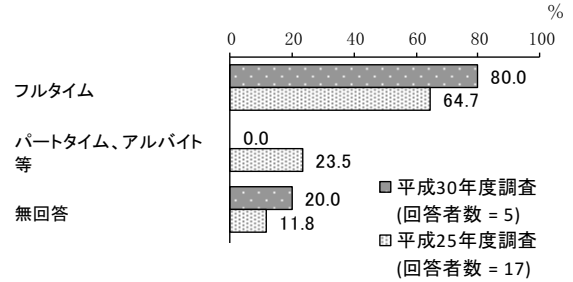
就学前児童では、「フルタイム」が50.0%（4件）、「パートタイム、アルバイト等」が25.0%（2件）となっています。

就学児童では、「フルタイム」が80.0%（4件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



(ウ) 1年以内にパート・アルバイトで就労したい人の1週当たりの就労日数

就学前児童では、有効回答がありませんでした。

就学児童では、有効回答がありませんでした。

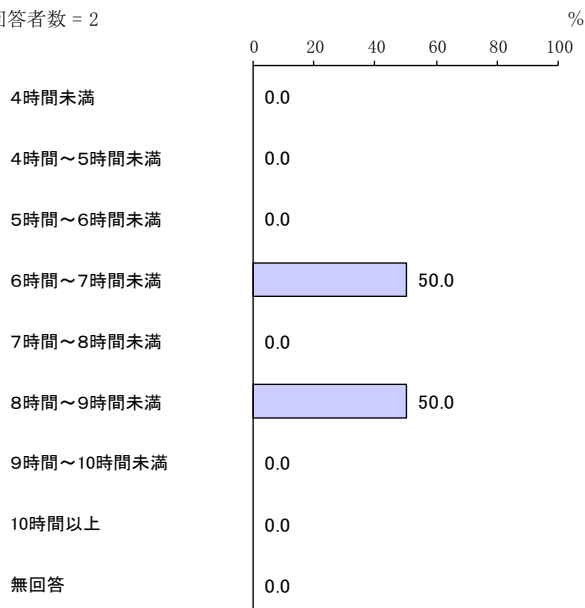
(エ) 1年以内にパート・アルバイトで就労したい人の1日当たりの就労時間

就学前児童では、「6時間～7時間未満」、「8時間～9時間未満」が50.0%（1件）となっています。

就学児童では、有効回答がありませんでした。

【就学前児童】

回答者数 = 2



問 P.26（就学前児童：問 9-1、就学児童：問 9-1）で「3. すぐにでも就労したい」と回答した方にうかがいます。

就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

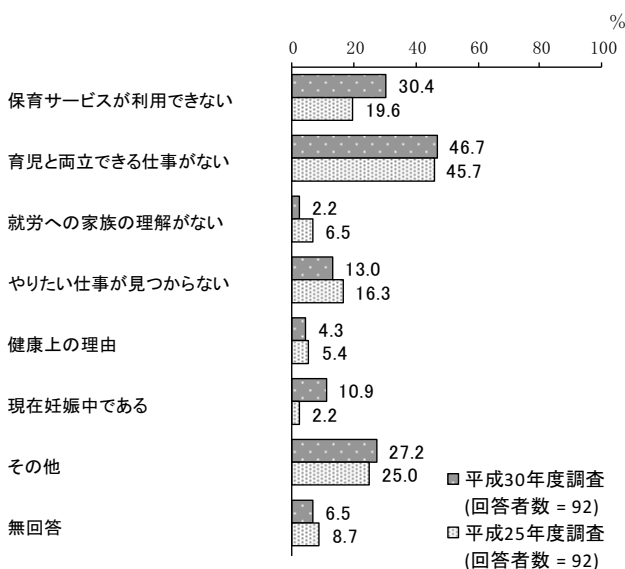
（就学前児童：問 9-2、就学児童：問 9-2）

ア 母親

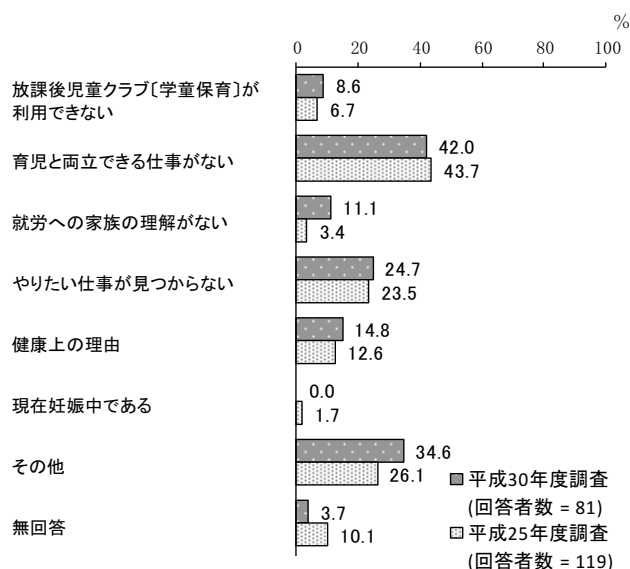
就学前児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「保育サービスが利用できない」の割合が 30.4%、「やりたい仕事が見つからない」の割合が 13.0%となっています。

就学児童では、「育児と両立できる仕事がない」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「やりたい仕事が見つからない」の割合が 24.7%、「健康上の理由」の割合が 14.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、就学前児童では4歳で「育児と両立できる仕事がない」の割合が約7割となっています。就学児童では6歳で「育児と両立できる仕事がない」の割合が約6割、6歳で「放課後児童クラブ〔学童保育〕が利用できない」の割合が約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育サービスが 利用できない	育児と両立できる 仕事がない	就労への家族の理 解がない	やりたい仕事が見 つからない	健康上の理由	現在妊娠中である	その他	無回答
0歳	17	41.2	52.9	—	5.9	—	11.8	41.2	—
1歳	26	46.2	30.8	—	3.8	—	19.2	26.9	7.7
2歳	11	36.4	54.5	9.1	27.3	9.1	—	18.2	—
3歳	14	21.4	42.9	7.1	21.4	14.3	—	28.6	21.4
4歳	10	—	70.0	—	—	—	10.0	20.0	—
5歳	12	8.3	41.7	—	25.0	8.3	16.7	25.0	8.3

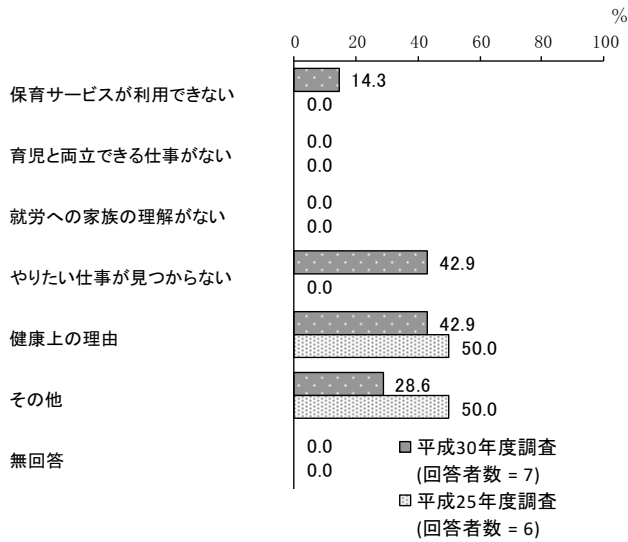
区分	有効回答数 (件)	放課後児童クラブ 〔学童保育〕が利用 できない	育児と両立できる 仕事がない	就労への家族の理 解がない	やりたい仕事が見 つからない	健康上の理由	現在妊娠中である	その他	無回答
6歳(1年生)	14	21.4	57.1	28.6	21.4	7.1	—	35.7	—
7歳(2年生)	15	13.3	53.3	6.7	26.7	—	—	33.3	—
8歳(3年生)	15	6.7	40.0	13.3	26.7	33.3	—	26.7	—
9歳(4年生)	11	9.1	54.5	—	18.2	18.2	—	27.3	—
10歳(5年生)	18	—	27.8	—	33.3	5.6	—	44.4	11.1
11歳(6年生)	7	—	14.3	28.6	14.3	28.6	—	42.9	14.3

イ 父親

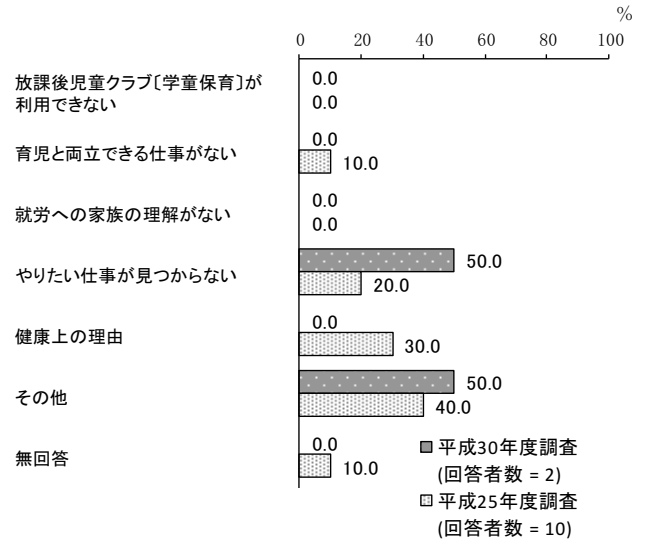
就学前児童では、「やりたい仕事が見つからない」、「健康上の理由」が42.9%（3件）となっています。「保育サービスが利用できない」が14.3%（1件）となっています。

就学児童では、「やりたい仕事が見つからない」が50.0%（1件）となっています。

【就学前児童】



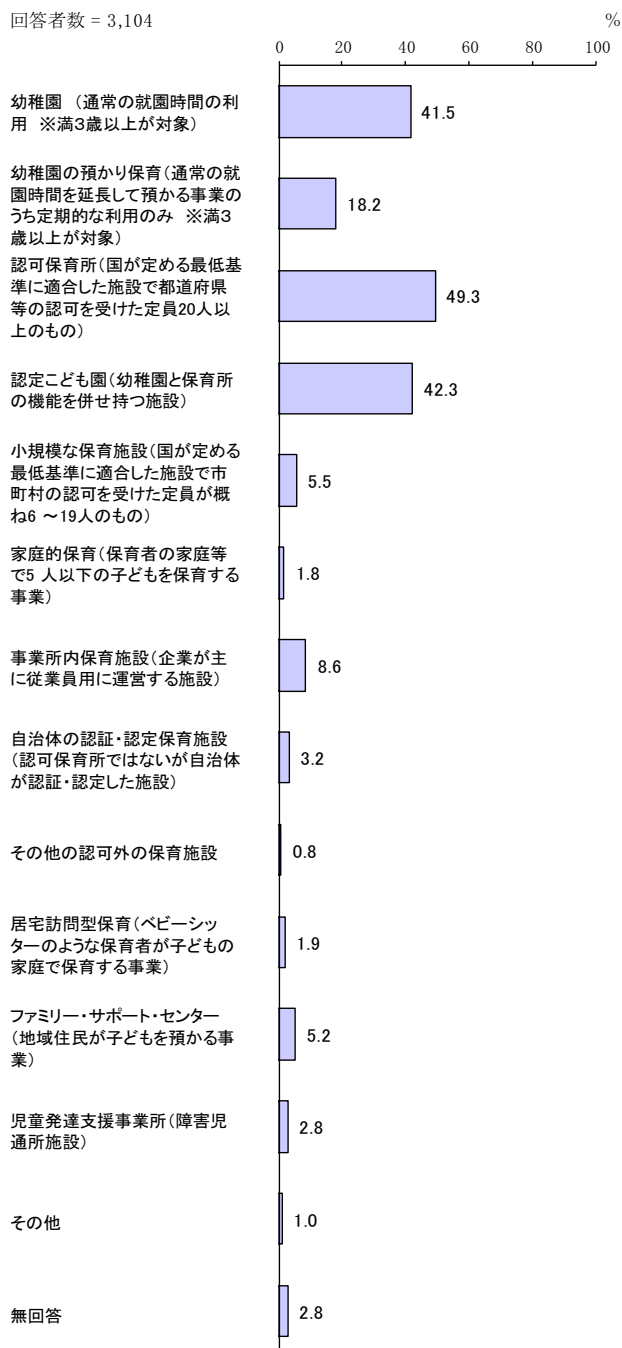
【就学児童】



(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。(就学前児童：問10)

就学前児童では、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)」の割合が49.3%と最も高く、次いで「認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)」の割合が42.3%、「幼稚園(通常の利用 ※満3歳以上が対象)」の割合が41.5%となっています。



【支援状況別】

支援状況別でみると、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる人で「認可保育所」の割合が高く、それ以外では「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設（	家庭的保育	事業所内保育施設（	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所（障害児通所施設）	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	985	41.9	16.5	48.4	43.5	5.1	1.9	7.7	2.7	0.9	1.3	3.5	2.3	1.1	2.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	2028	40.2	18.3	51.2	43.4	5.8	1.8	8.7	3.6	0.8	2.1	5.4	2.7	0.7	2.5
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	56	57.1	21.4	35.7	33.9	1.8	—	10.7	3.6	—	—	1.8	3.6	—	5.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	347	46.7	22.8	46.4	38.3	4.3	1.7	8.4	2.0	0.9	1.7	8.6	2.0	0.6	2.9
いずれもない	267	47.9	26.6	43.8	40.1	6.0	1.5	11.6	3.7	1.9	3.7	7.9	4.5	2.2	2.2

【母親の就労状況別】

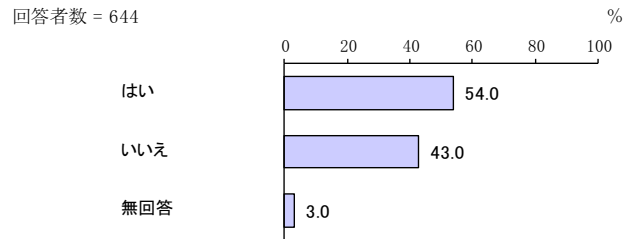
母親の就労状況別でみると、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない人、パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である人で「認可保育所」の割合が高く、7割以上となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所（障害児通所施設）	その他	無回答
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	568	20.6	13.0	72.4	43.5	6.3	2.1	12.0	4.0	0.7	2.6	5.8	1.9	1.1	2.3
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	287	22.6	16.7	61.7	65.2	9.8	3.1	13.2	4.2	1.0	3.1	9.4	1.0	1.4	1.4
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1054	32.3	16.7	53.9	38.2	4.3	1.3	7.4	2.2	0.7	1.6	4.9	3.1	0.9	2.5
パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	79	24.1	16.5	75.9	54.4	10.1	1.3	13.9	7.6	2.5	2.5	3.8	1.3	2.5	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	999	67.8	23.2	28.1	40.5	5.1	1.9	6.5	3.2	1.0	1.3	4.5	3.7	0.9	3.4
これまで就労したことがない	59	76.3	23.7	13.6	15.3	1.7	1.7	1.7	1.7	—	1.7	1.7	1.7	—	5.1

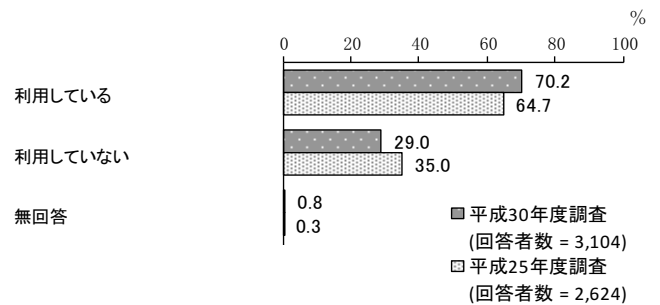
問 P.38(就学前児童：問10)で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○を付け、かつ3～12にも○を付けた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。（就学前児童：問10-1）

就学前児童では、「はい」の割合が54.0%、「いいえ」の割合が43.0%となっています。



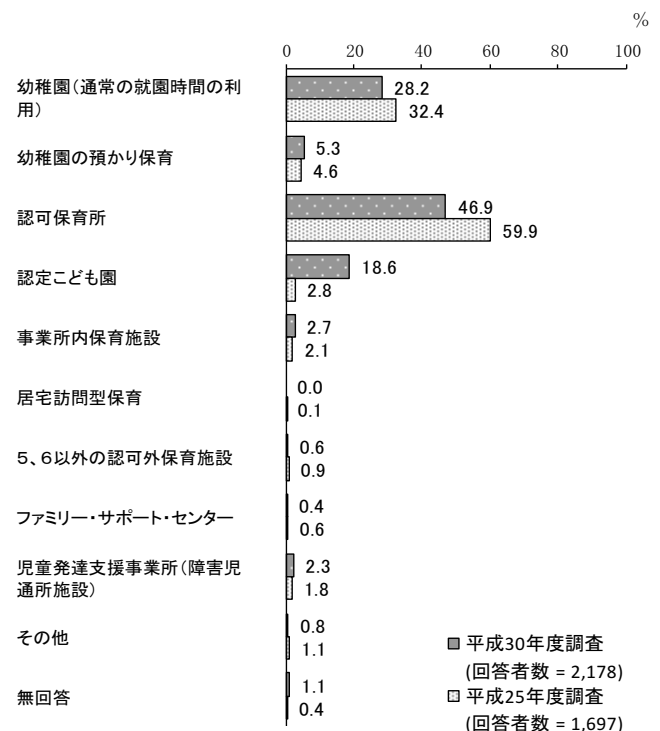
問 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問11）

就学前児童では、「利用している」の割合が70.2%、「利用していない」の割合が29.0%となっています。



問 P.41(就学前児童：問11)で、「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。
あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学前児童：問11-1）

就学前児童では、「認可保育所」の割合が46.9%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が28.2%、「認定こども園」の割合が18.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0～2歳で「認可保育所」の割合が、3～5歳で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

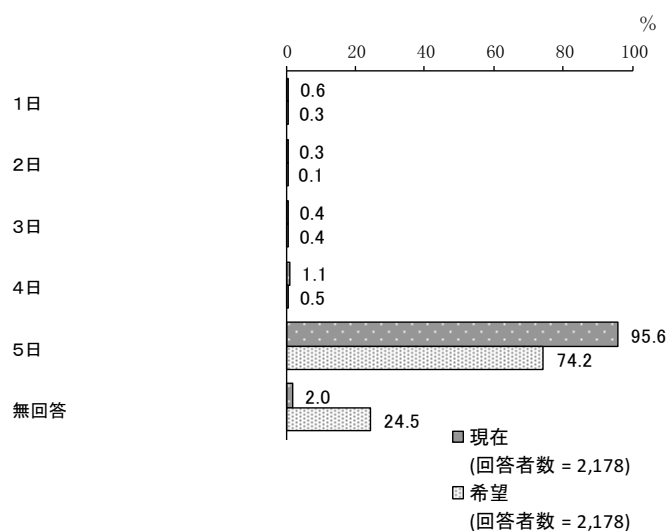
区分	有効回答数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	5、6以外の認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援事業所（障害児通所施設）	その他	無回答
0歳	95	2.1	1.1	53.7	22.1	18.9	—	2.1	2.1	—	2.1	—
1歳	206	1.5	0.5	62.6	22.8	6.8	—	1.0	0.5	0.5	2.4	1.9
2歳	363	14.6	1.4	54.8	22.0	3.3	—	0.6	—	2.8	1.7	0.8
3歳	474	34.4	6.3	43.7	19.8	1.7	—	0.6	0.4	1.9	0.6	0.8
4歳	511	37.4	7.4	42.7	16.0	1.2	—	—	0.2	2.2	0.2	1.0
5歳	505	38.0	7.7	41.2	15.6	0.2	—	0.6	0.4	3.8	0.2	1.2

問 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを〔 〕内に具体的な数字で記入してください。（就学前児童：問11-2）

1週あたり利用日数

就学前児童では、現在は、「5日」の割合が95.6%と最も高くなっています。

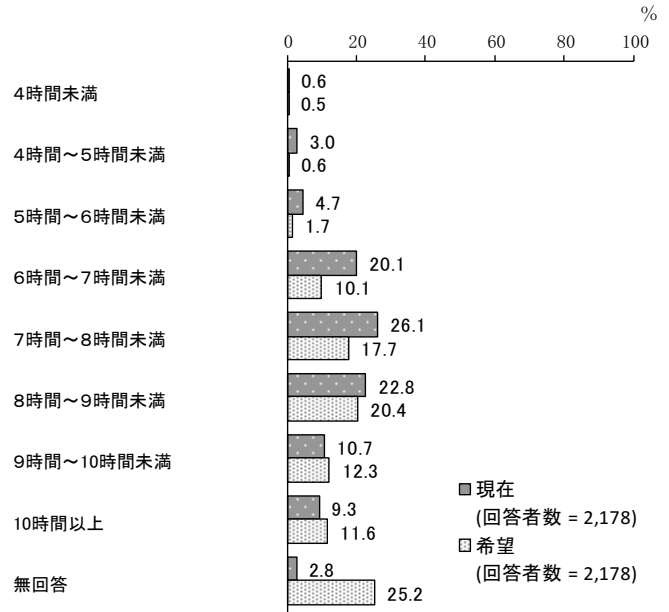
希望は、「5日」の割合が74.2%と最も高くなっています。



1日あたり利用時間

就学前児童では、現在は、「7時間～8時間未満」の割合が26.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が22.8%、「6時間～7時間未満」の割合が20.1%となっています。

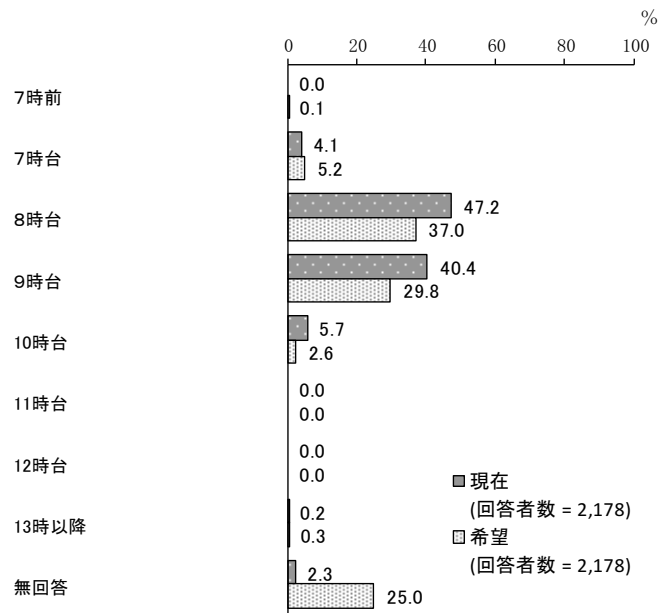
希望は、「8時間～9時間未満」の割合が20.4%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が17.7%、「9時間～10時間未満」の割合が12.3%となっています。



利用開始時刻

就学前児童では、現在は、「8時台」の割合が47.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が40.4%となっています。

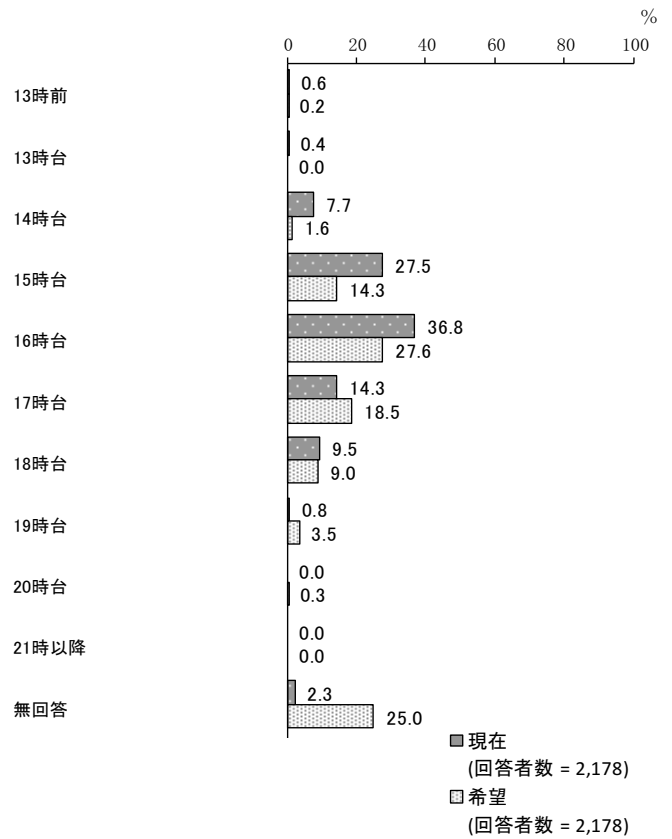
希望は、「8時台」の割合が37.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.8%となっています。



利用終了時刻

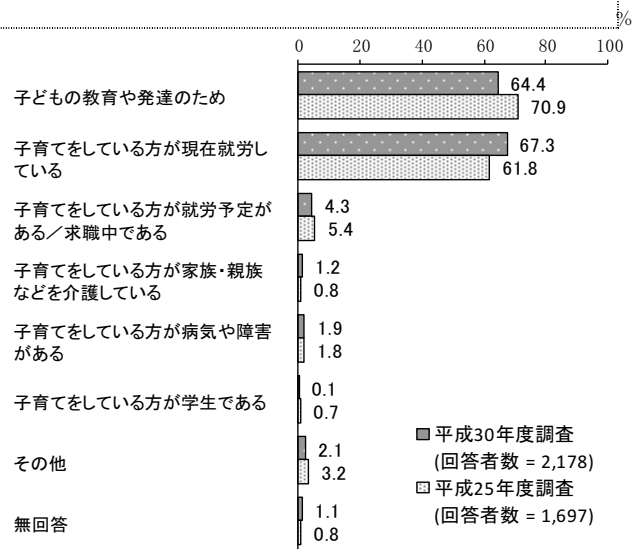
就学前児童では、現在は、「16 時台」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「15 時台」の割合が 27.5%、「17 時台」の割合が 14.3%となっています。

希望は、「16 時台」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 18.5%、「15 時台」の割合が 14.3%となっています。



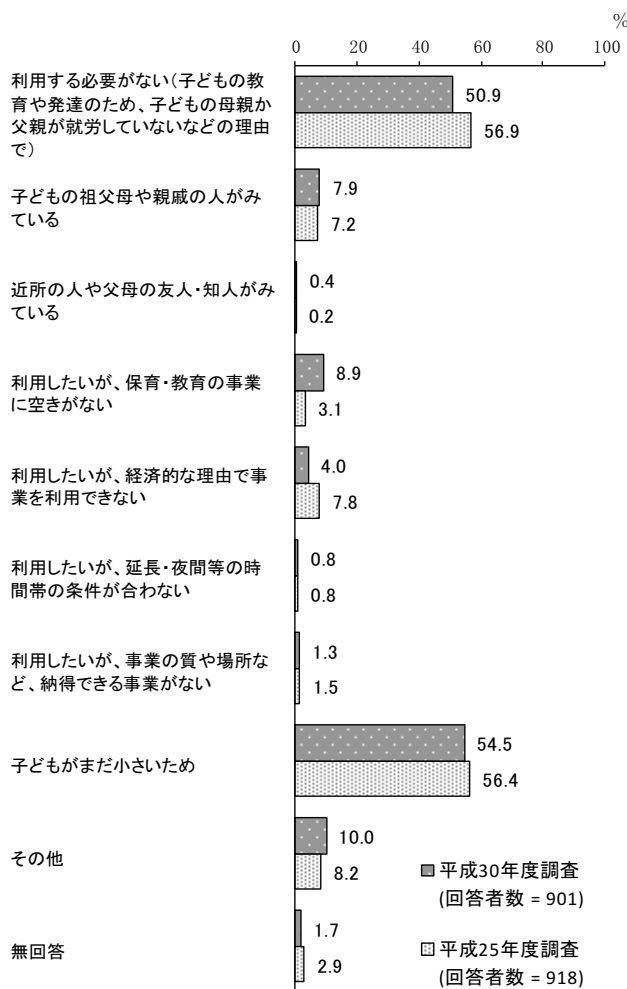
問 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 11-3)

就学前児童では、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 64.4%となっています。



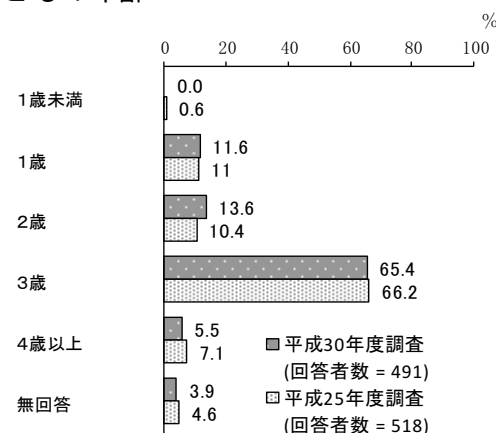
問 P.41(就学前児童：問11)で、「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。(就学前児童：問11-4)

就学前児童では、「子どもがまだ小さいため」の割合が54.5%と最も高く、次いで「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)」の割合が50.9%となっています。



「〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている」人の子どもの年齢

就学前児童では、「3歳」の割合が65.4%と最も高く、次いで「2歳」の割合が13.6%、「1歳」の割合が11.6%となっています。

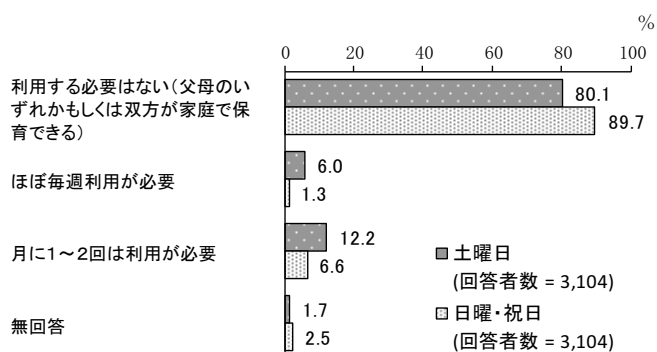


(5) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用が必要ですか（一時的な利用は除きます）。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。
 必要がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。
 （就学前児童：問12）

就学前児童では、土曜日は、「利用する必要はない（父母のいずれかもしくは双方が家庭で保育できる）」の割合が80.1%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用が必要」の割合が12.2%となっています。

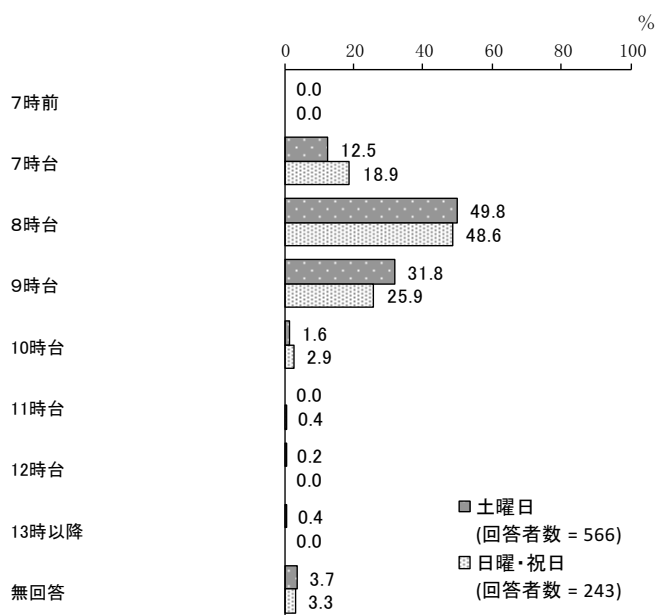
日曜日・祝日は、「利用する必要はない（父母のいずれかもしくは双方が家庭で保育できる）」の割合が89.7%と最も高くなっています。



利用開始時刻

就学前児童では、土曜日は、「8時台」の割合が49.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が31.8%、「7時台」の割合が12.5%となっています。

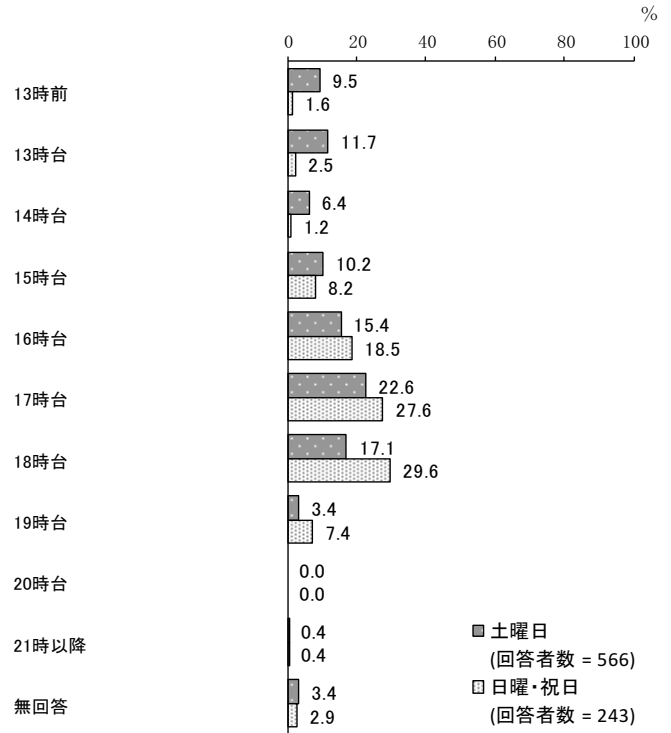
日曜日・祝日は、「8時台」の割合が48.6%と最も高く、次いで「9時台」の割合が25.9%、「7時台」の割合が18.9%となっています。



利用終了時刻

就学前児童では、土曜日は、「17 時台」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 17.1%、「16 時台」の割合が 15.4%となっています。

日曜日・祝日は、「18 時台」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 27.6%、「16 時台」の割合が 18.5%となっています。



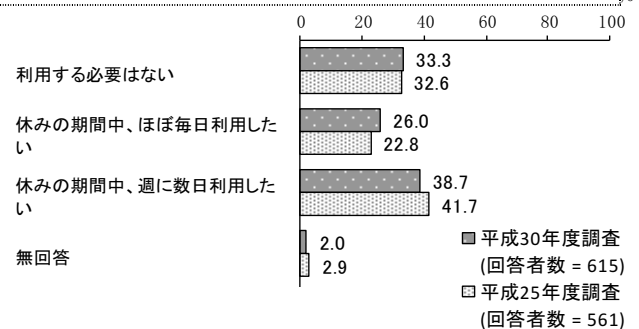
問 「幼稚園」を利用している方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。

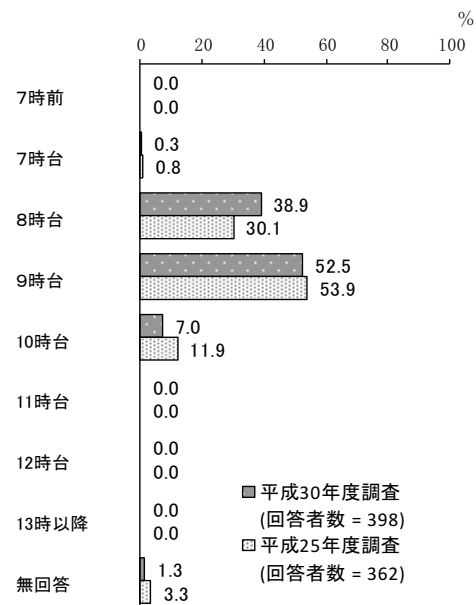
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(就学前児童：問13)

就学前児童では、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 33.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 26.0%となっています。



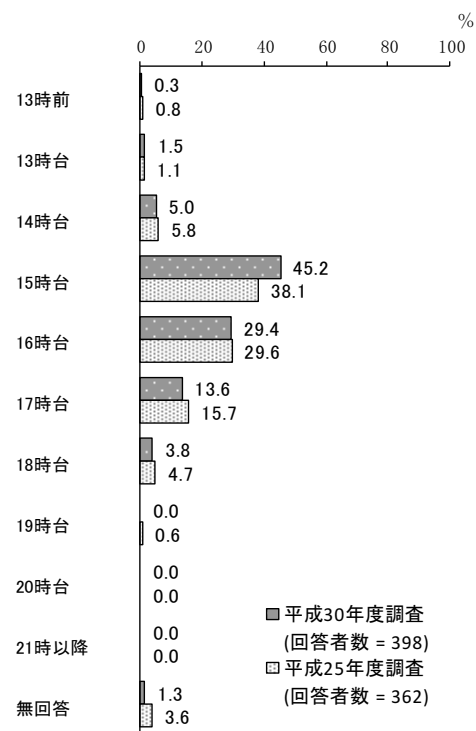
利用したい開始時刻

就学前児童では、「9時台」の割合が52.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が38.9%となっています。



利用したい終了時刻

就学前児童では、「15時台」の割合が45.2%と最も高く、次いで「16時台」の割合が29.4%、「17時台」の割合が13.6%となっています。

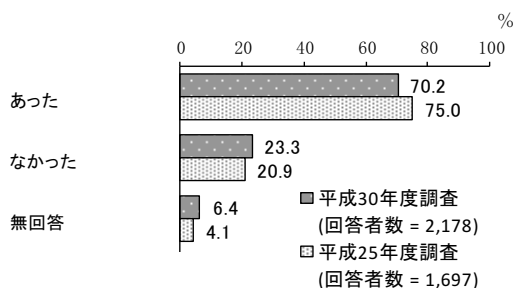


(6) 病気の際の対応 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

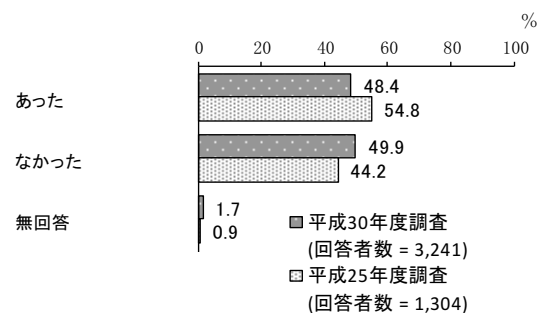
問 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方 (P. 41(就学前児童：問 11)で1に○をつけた方)にうかがいます。
 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問 14、就学児童：問 14)

就学前児童では、「あった」の割合が70.2%、「なかった」の割合が23.3%となっています。
 就学児童では、「あった」の割合が48.4%、「なかった」の割合が49.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で、他に比べ、1歳、2歳で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
0歳	95	68.4	23.2	8.4
1歳	206	83.0	9.2	7.8
2歳	363	76.0	19.3	4.7
3歳	474	69.6	24.5	5.9
4歳	511	66.9	26.2	6.8
5歳	505	65.3	28.1	6.5

【学年別】

学年別でみると、他に比べ、7歳（2年生）、11歳（6年生）で「あった」の割合が高くなっており、50%を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
6歳(1年生)	526	46.2	53.4	0.4
7歳(2年生)	586	52.0	47.4	0.5
8歳(3年生)	509	45.8	53.8	0.4
9歳(4年生)	538	49.8	49.1	1.1
10歳(5年生)	545	49.0	49.7	1.3
11歳(6年生)	441	51.0	48.3	0.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「あった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	524	80.5	13.2	6.3
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	110	76.4	21.8	1.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	974	69.9	23.8	6.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	51	78.4	13.7	7.8
以前は就労していたが、現在は就労していない	446	59.0	33.0	8.1
これまで就労したことがない	35	54.3	40.0	5.7

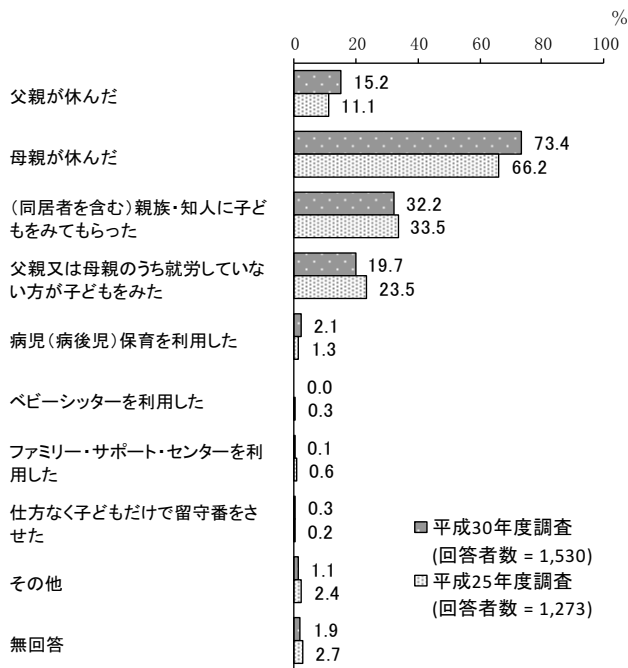
問 P. 49(就学前児童：問 14、就学児童：問 14)で、「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。(就学前児童：問 14-1、就学児童：問 14-1)

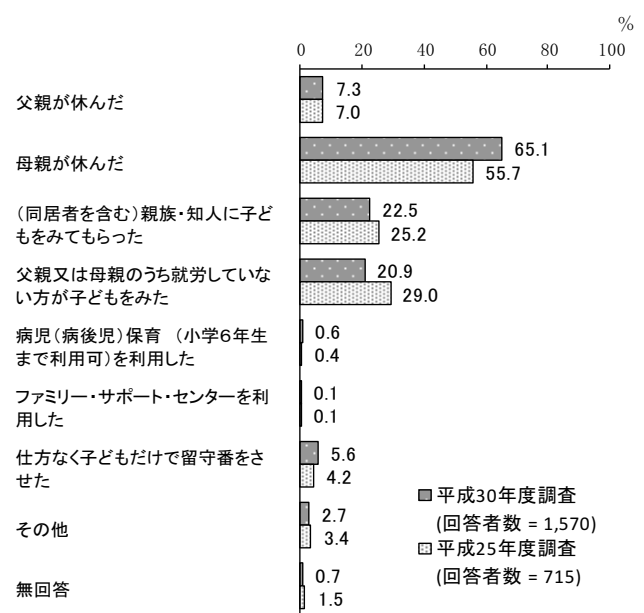
就学前児童では、「母親が休んだ」の割合が73.4%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が32.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が19.7%となっています。

就学児童では、「母親が休んだ」の割合が65.1%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が22.5%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が20.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳で「母親が休んだ」の割合が高く、9割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	みてもらった 族・知人に子どもを (同居者を含む)親	父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	病児(病後児)保育を 利用した	ベビーシッターを利 用した	ファミリー・サポー ト・センターを利用 した	仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	その他	無回答
0歳	65	21.5	89.2	36.9	6.2	3.1	—	—	—	3.1	3.1
1歳	171	28.1	90.1	42.7	4.7	6.4	—	1.2	—	1.8	1.8
2歳	276	19.2	83.0	38.4	13.4	2.9	—	—	—	0.4	1.1
3歳	330	11.5	61.8	28.5	30.3	1.5	—	—	—	0.9	3.3
4歳	342	14.0	69.0	31.3	22.5	0.6	—	—	—	0.6	1.5
5歳	330	8.8	70.9	25.2	21.8	1.2	—	—	1.2	1.5	1.2

【学年別】

学年別でみると、全ての学年で「母親が休んだ」の割合が、6割台となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	みてもらった 族・知人に子どもを (同居者を含む)親	父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた	病児(病後児)保育 (小学6年生まで利 用可)を利用した	ファミリー・サポー ト・センターを利用 した	仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	その他	無回答
6歳(1年生)	243	7.4	66.7	26.7	23.0	1.6	—	1.2	2.1	0.4
7歳(2年生)	305	7.2	61.3	24.6	24.9	0.7	0.3	3.0	2.0	1.3
8歳(3年生)	233	7.7	68.2	21.5	19.3	0.9	—	4.3	2.1	—
9歳(4年生)	268	6.7	66.0	17.9	20.5	—	—	7.8	4.9	0.4
10歳(5年生)	267	6.0	64.0	21.0	19.5	—	—	7.9	1.9	1.1
11歳(6年生)	225	8.4	66.2	22.2	16.9	—	—	9.8	3.6	0.9

【支援状況別】

親族の支援別でみると、就学前児童、就学児童ともに、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる人は「母親が休んだ」の割合が低くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児)保育を利用した	病児(病後児)保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	449	13.1	66.4	44.5	19.6	1.1	—	—	—	—	—	0.9	2.0
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1046	16.3	75.8	32.8	19.9	2.1	—	0.2	—	—	—	1.1	1.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	24	4.2	70.8	25.0	20.8	—	—	—	—	—	—	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	189	11.1	74.1	22.8	22.2	1.1	—	—	—	0.5	—	1.1	1.1
いずれもない	123	17.9	73.2	2.4	21.1	6.5	—	—	—	2.4	—	2.4	1.6

【就学児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児)保育を利用した	病児(病後児)保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	496	6.7	59.1	40.7	16.9	—	—	0.2	—	—	2.6	2.8	0.4
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	939	6.9	67.4	20.2	21.6	0.4	—	0.1	—	—	6.0	2.1	0.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	54	9.3	79.6	22.2	16.7	—	—	—	—	—	9.3	3.7	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	277	7.6	68.6	19.5	24.2	—	—	—	—	—	3.2	3.6	0.7
いずれもない	166	10.2	66.3	2.4	24.7	2.4	—	—	—	—	10.2	5.4	0.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで「父親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児) 保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	422	28.4	84.8	51.2	3.1	4.0	—	0.2	0.5	1.2	1.2
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	84	20.2	66.7	36.9	25.0	7.1	—	—	—	—	4.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	681	12.3	90.9	31.6	5.9	1.2	—	0.1	0.3	0.6	1.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	40	12.5	87.5	25.0	17.5	—	—	—	—	—	2.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	263	1.9	16.0	4.9	77.2	—	—	—	—	2.7	3.8
これまで就労したことがない	19	—	10.5	5.3	78.9	—	—	—	—	5.3	—

【就学児童】

単位：％

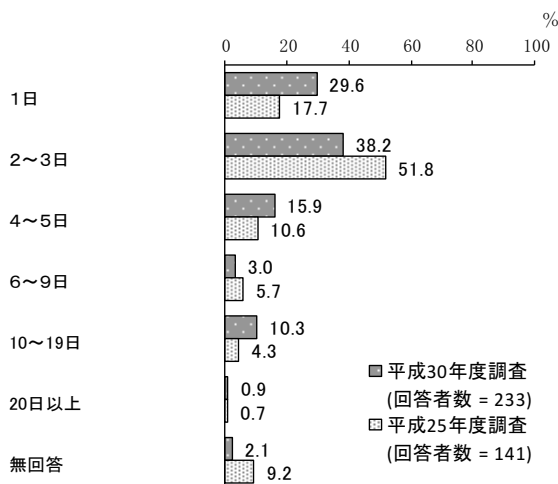
区分	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児(病後児) 保育(小学6年生まで利用可)を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	427	14.8	70.0	41.2	2.1	1.6	0.2	8.7	3.7	0.9	
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	12	—	50.0	25.0	50.0	—	—	—	—	—	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	775	4.0	84.3	19.0	7.0	0.1	—	5.9	2.5	0.6	
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	18	11.1	83.3	—	16.7	—	—	5.6	—	—	
以前は就労していたが、現在は就労していない	279	3.2	14.3	4.7	82.8	—	—	0.4	1.1	0.7	
これまで就労したことがない	22	4.5	4.5	—	95.5	—	—	—	—	—	

ア 父親が休んだ 日数

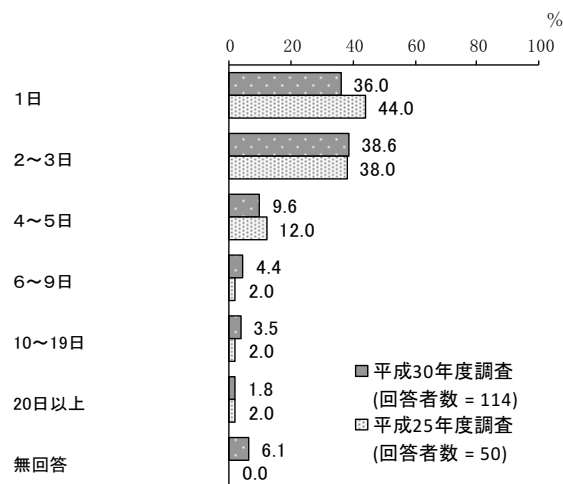
就学前児童では、「2～3日」の割合が38.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.6%、「4～5日」の割合が15.9%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が38.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が36.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

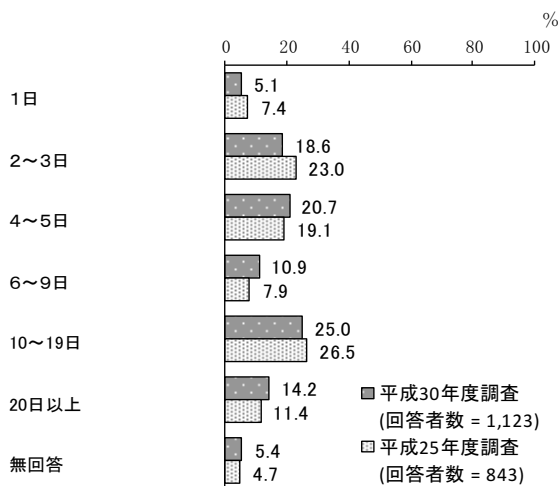


イ 母親が休んだ 日数

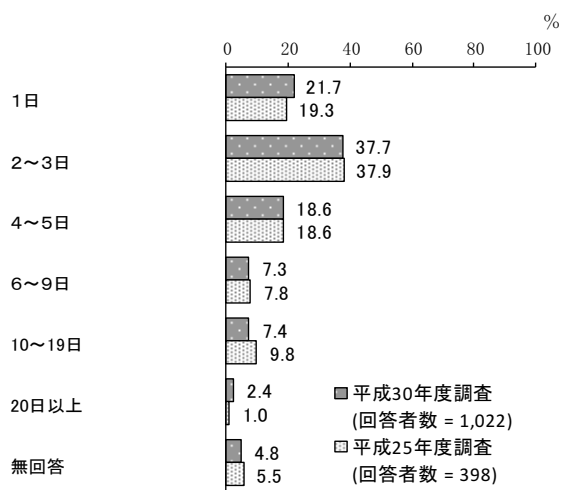
就学前児童では、「10～19日」の割合が25.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が20.7%、「2～3日」の割合が18.6%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が37.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が21.7%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



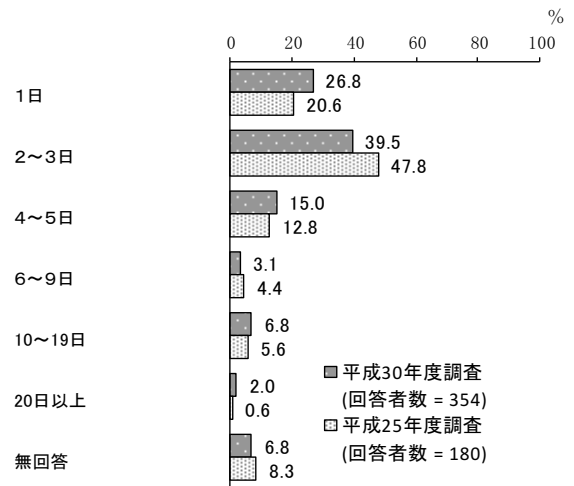
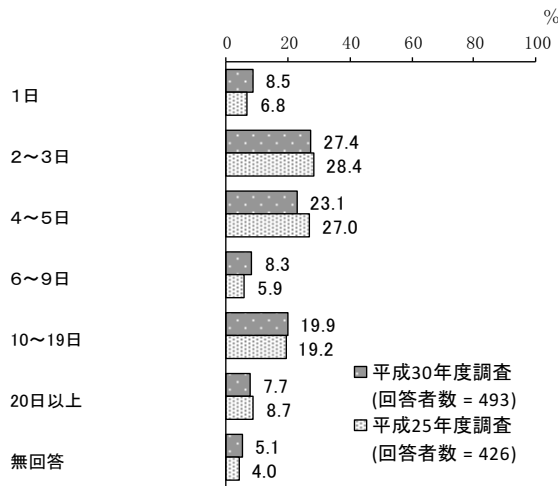
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった 日数

就学前児童では、「2～3日」の割合が27.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.1%、「10～19日」の割合が19.9%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が39.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.8%、「4～5日」の割合が15.0%となっています。

【就学前児童】

【就学児童】



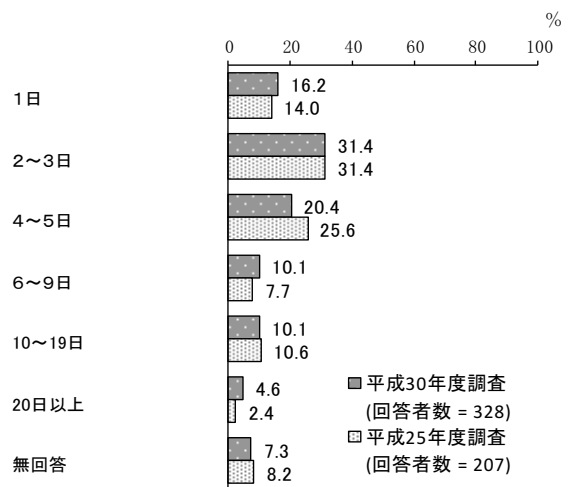
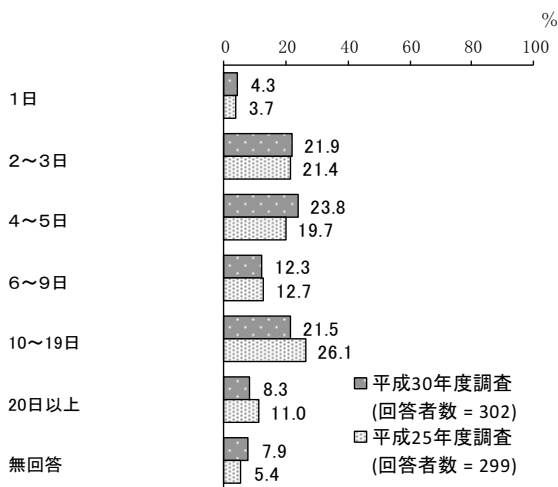
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 日数

就学前児童では、「4～5日」の割合が23.8%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が21.9%、「10～19日」の割合が21.5%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が31.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が20.4%、「1日」の割合が16.2%となっています。

【就学前児童】

【就学児童】

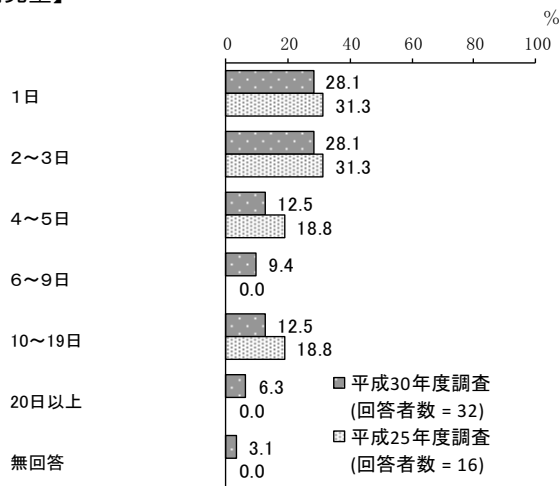


オ 病児（病後児）保育を利用した 日数

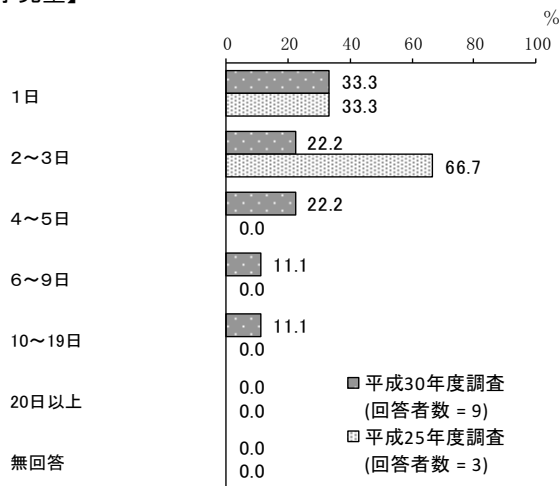
就学前児童では、「1日」、「2～3日」の割合が28.1%と最も高く、次いで「4～5日」、「10～19日」の割合が12.5%となっています。

就学児童では、「1日」が33.3%（3件）となっています。「2～3日」、「4～5日」が22.2%（2件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



カ ベビーシッターを利用した 日数

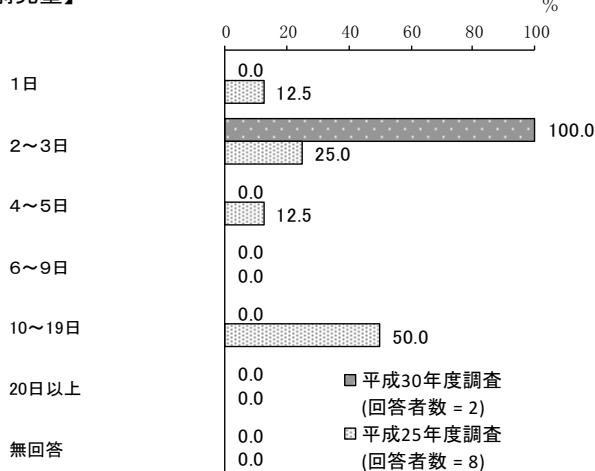
就学前児童では、有効回答がありませんでした。

キ ファミリー・サポート・センターを利用した 日数

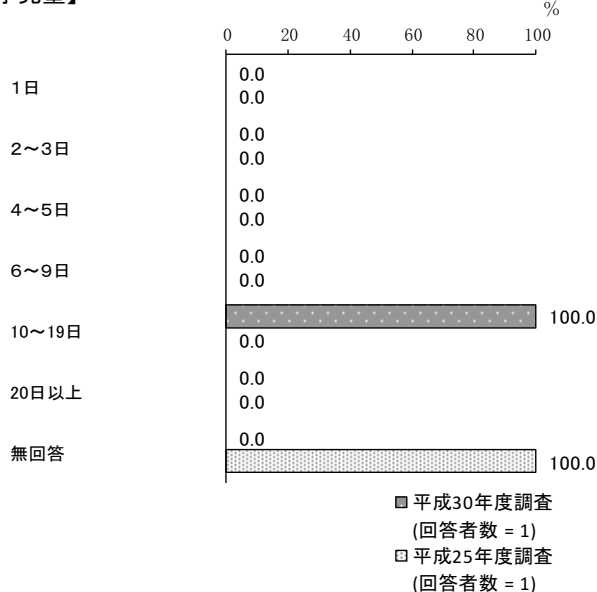
就学前児童では、「2～3日」が100.0%（2件）となっています。

就学児童では、「10～19日」が100.0%（1件）となっています。

【就学前児童】



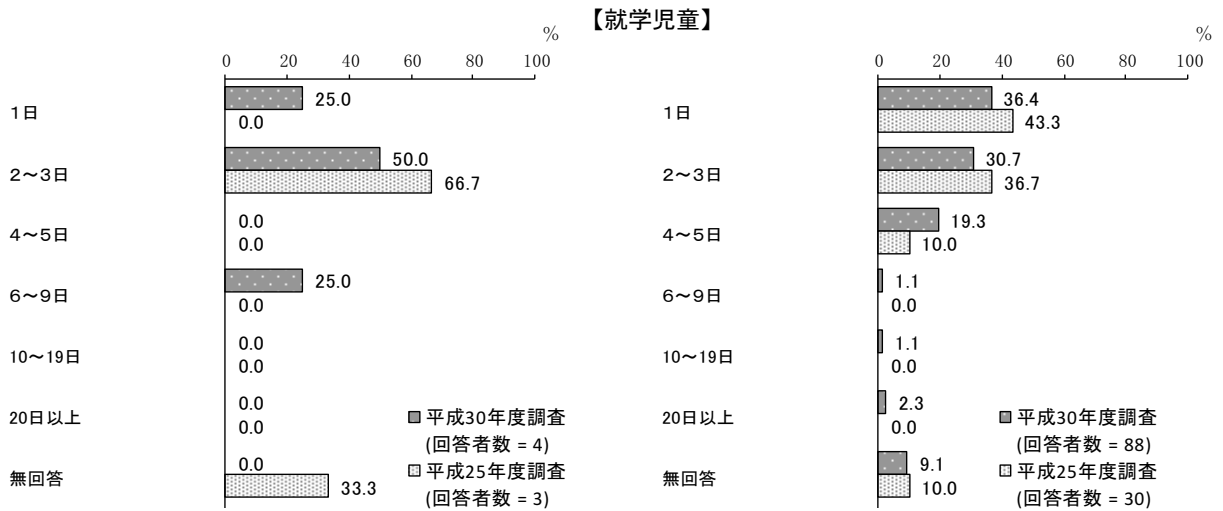
【就学児童】



ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 日数

就学前児童では、「2～3日」が50.0%（2件）となっています。「1日」、「6～9日」が25.0%（1件）となっています。

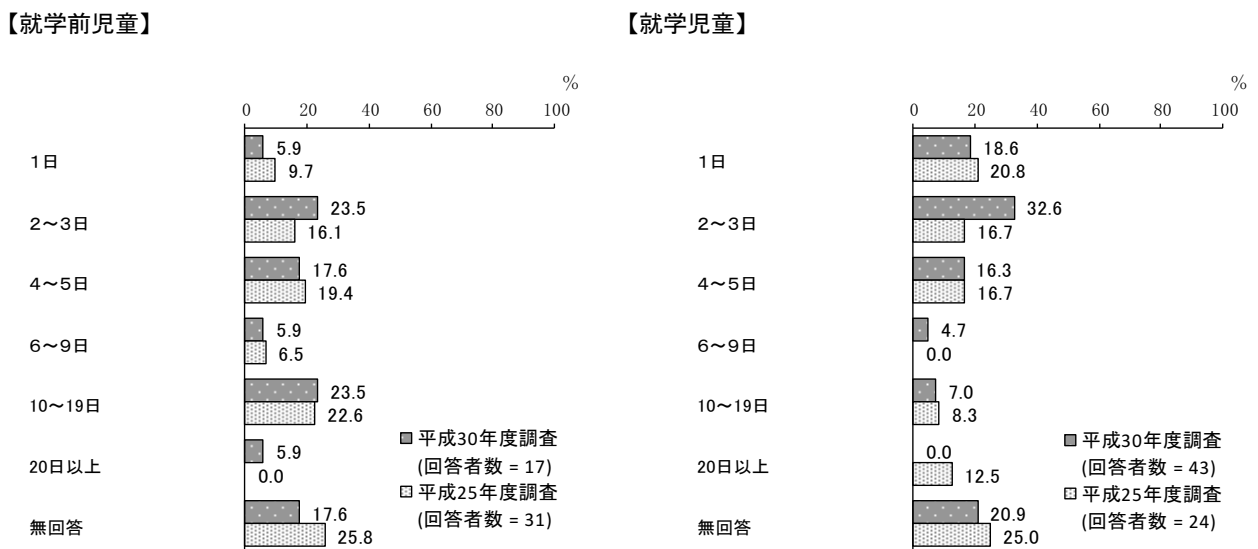
就学児童では、「1日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が30.7%、「4～5日」の割合が19.3%となっています。



ケ その他 日数

就学前児童では、「2～3日」、「10～19日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が17.6%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が32.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が18.6%、「4～5日」の割合が16.3%となっています。



問 P.51(就学前児童：問 14-1、就学児童：問 14-1)で、「ア. 父親が休んだ」または「イ. 母親が休んだ」と答えた方にうかがいます。

その際、「できれば病児（病後児）保育を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

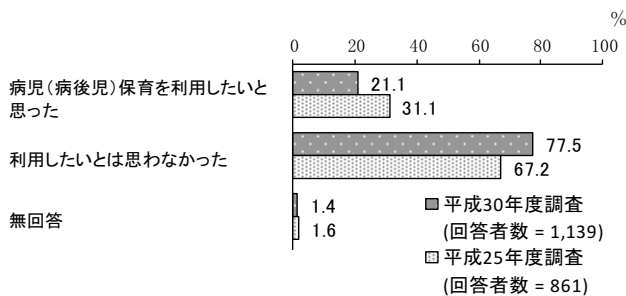
次に、⇒の設問についてもお答えください。なお、病児（病後児）保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

(就学前児童：問 14-2、就学児童：問 14-2)

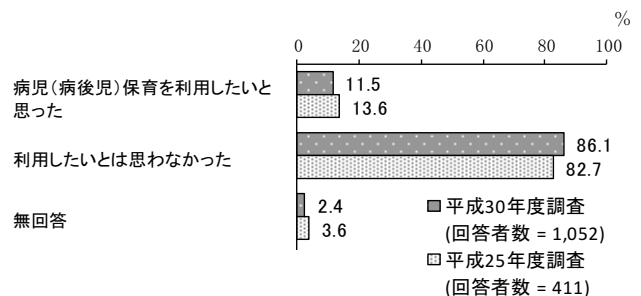
就学前児童では、「病児（病後児）保育を利用したいと思った」の割合が21.1%、「利用したいとは思わなかった」の割合が77.5%となっています。

就学児童では、「病児（病後児）保育を利用したいと思った」の割合が11.5%、「利用したいとは思わなかった」の割合が86.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



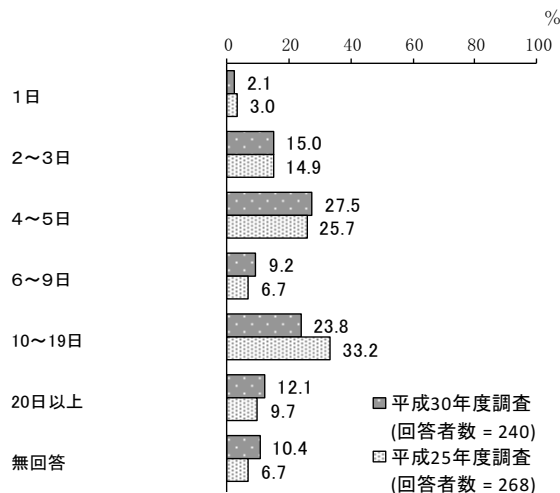
ア 病児（病後児）保育を利用したいと思った

利用したい年間日数

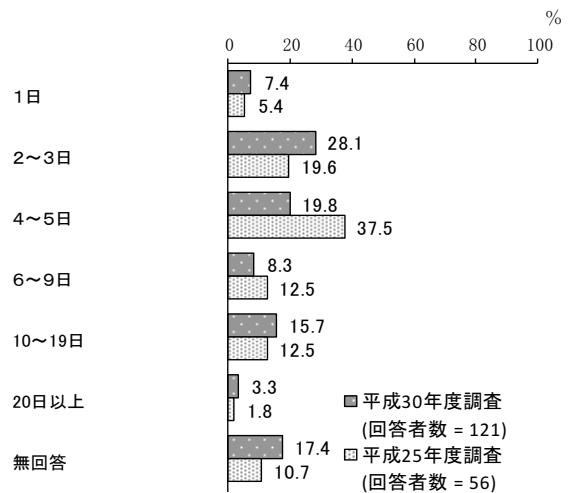
就学前児童では、「4～5日」の割合が27.5%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が23.8%、「2～3日」の割合が15.0%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が28.1%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が19.8%、「10～19日」の割合が15.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

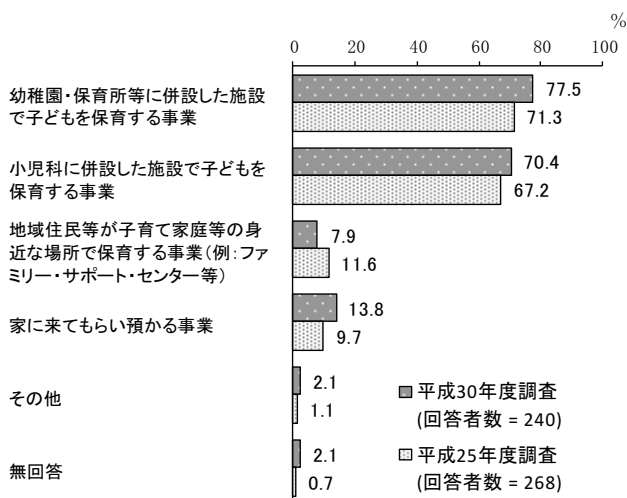


利用する場合、希望する事業形態

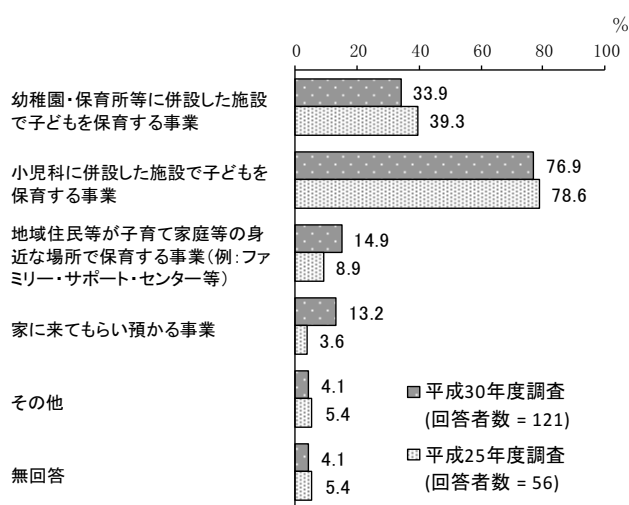
就学前児童では、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が77.5%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が70.4%、「家に来てもらい預かる事業」の割合が13.8%となっています。

就学児童では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が76.9%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が33.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の割合が14.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



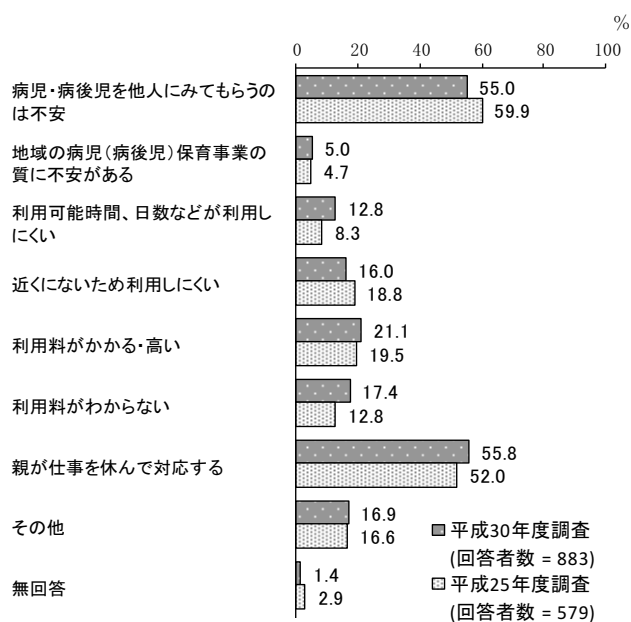
イ 利用したいとは思わなかった

利用したいと思わない理由

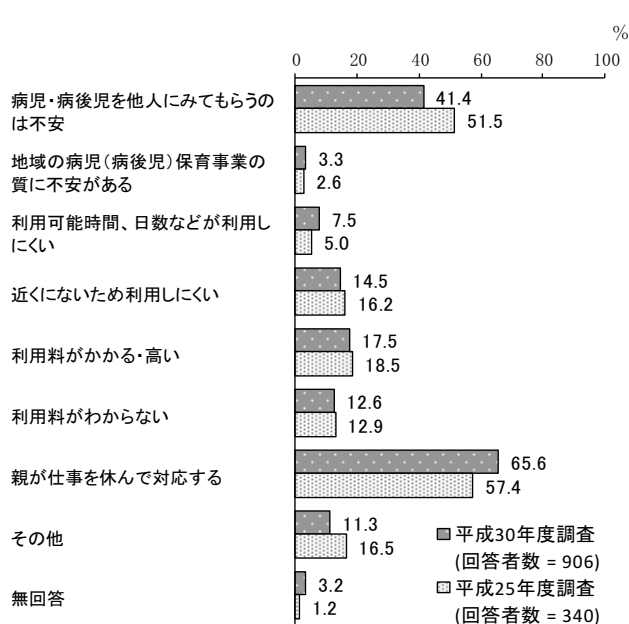
就学前児童では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が55.8%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が55.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が21.1%となっています。

就学児童では、「親が仕事を休んで対応する」の割合が65.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」の割合が41.4%、「利用料がかかる・高い」の割合が17.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

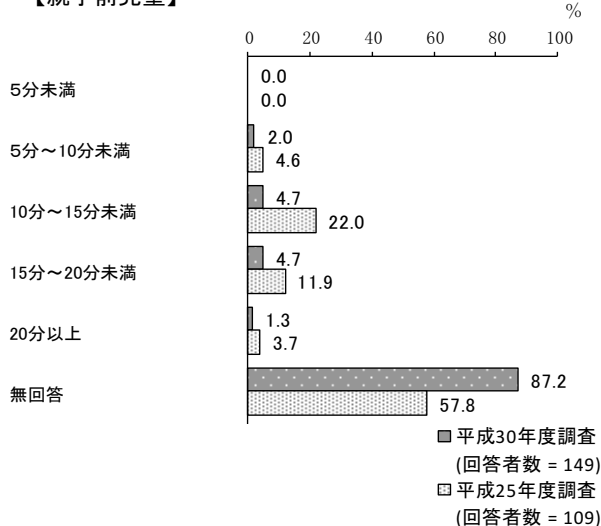


近くにないため利用しにくい場合、施設までの希望所要時間

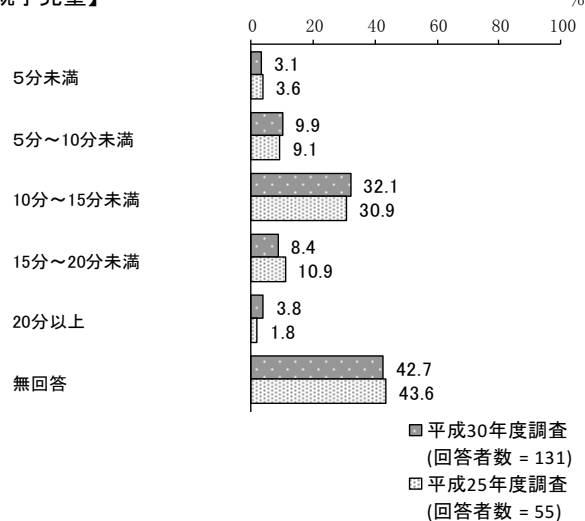
就学前児童では、「10分～15分未満」、「15分～20分未満」の割合が4.7%と最も高くなっています。

就学児童では、「10分～15分未満」の割合が32.1%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



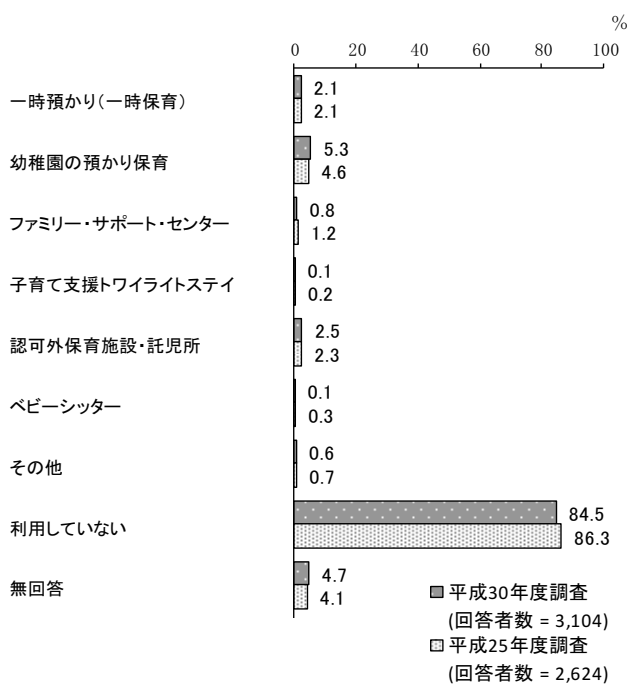
(7) 不特定の教育・保育事業等の利用

問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問 15、就学児童：問 15）

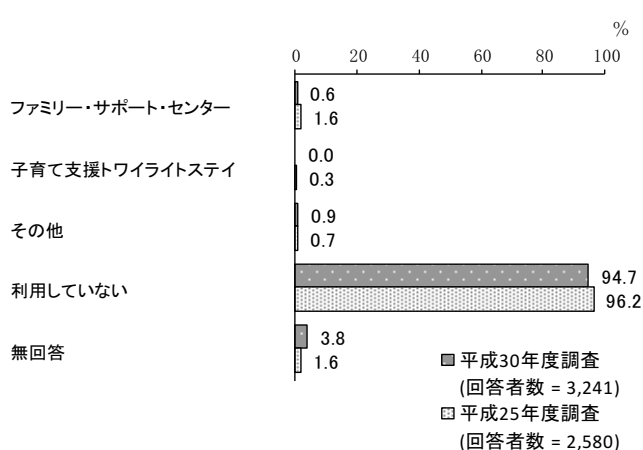
就学前児童では、「利用していない」の割合が84.5%と最も高くなっています。

就学児童では、「利用していない」の割合が94.7%と最も高くなっています。

【就学前児童】



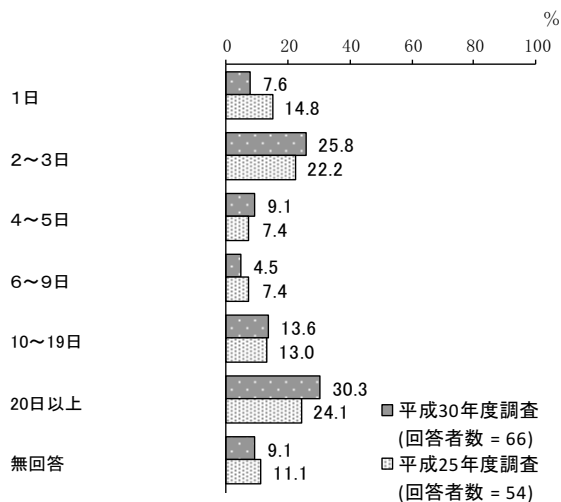
【就学児童】



1 一時預かり（一時保育） 年間日数

就学前児童では、「20日以上」の割合が30.3%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が25.8%、「10～19日」の割合が13.6%となっています。

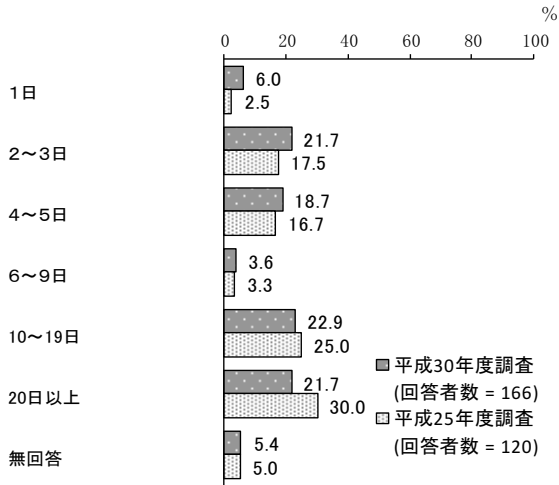
【就学前児童】



2 幼稚園の預かり保育 年間日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が22.9%と最も高く、次いで「2～3日」、「20日以上」の割合が21.7%となっています。

【就学前児童】

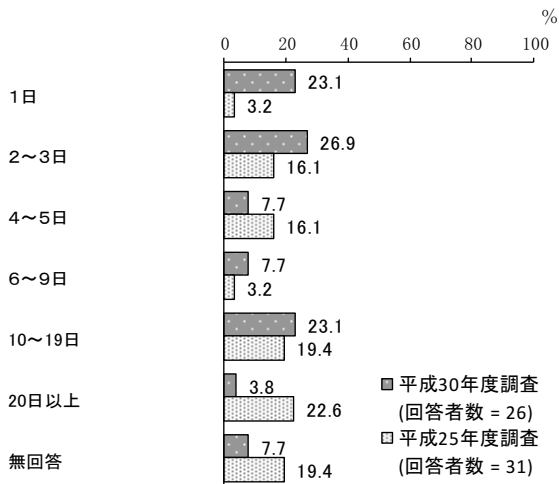


3 ファミリー・サポート・センター 年間日数

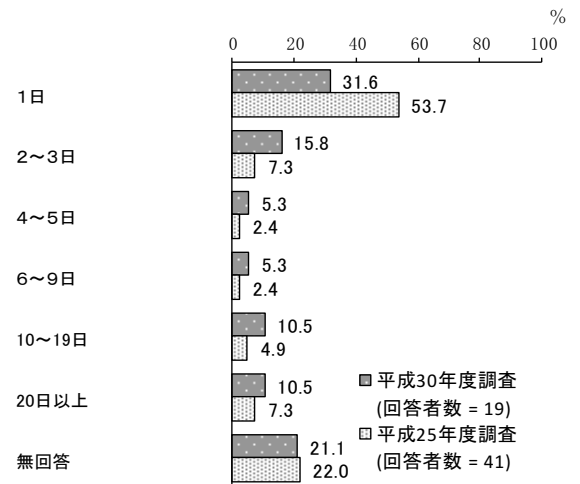
就学前児童では、「2～3日」の割合が26.9%と最も高く、次いで「1日」、「10～19日」の割合が23.1%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が15.8%、「10～19日」、「20日以上」の割合が10.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

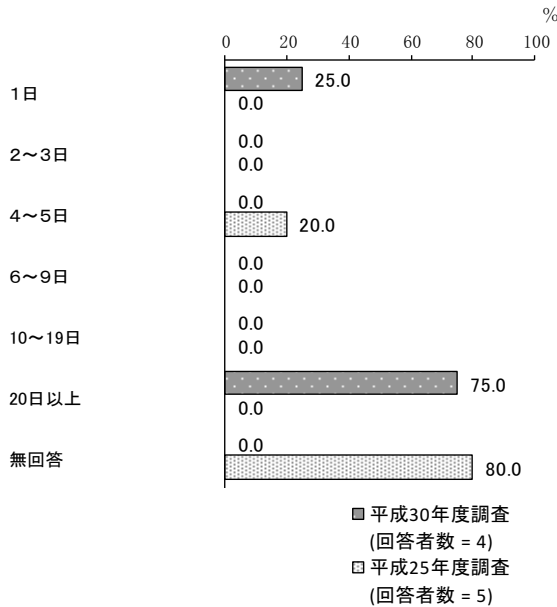


4 子育て支援トワイライトステイ 年間日数

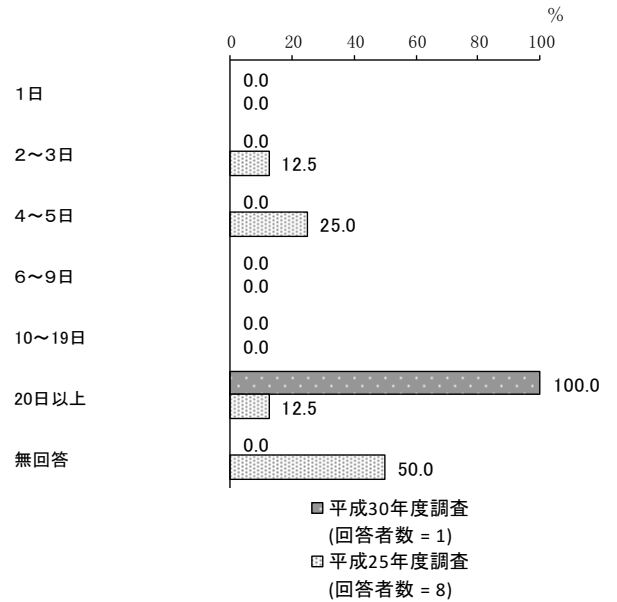
就学前児童では、「20日以上」が75.0%（3件）となっています。「1日」が25.0%（1件）となっています。

就学児童では、「20日以上」が100.0%（1件）となっています。

【就学前児童】



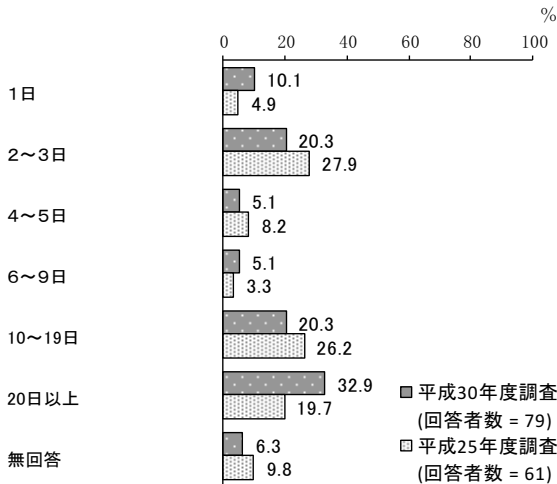
【就学児童】



5 認可外保育施設・託児所 年間日数

就学前児童では、「20日以上」の割合が32.9%と最も高く、次いで「2~3日」、「10~19日」の割合が20.3%となっています。

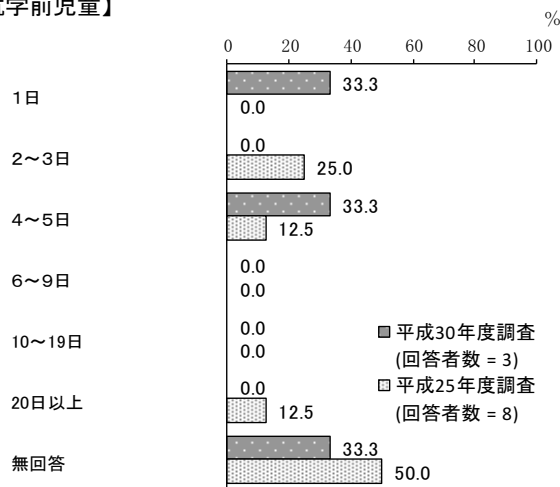
【就学前児童】



6 ベビーシッター 年間日数

就学前児童では、「1日」、「4～5日」が33.3%（1件）となっています。

【就学前児童】

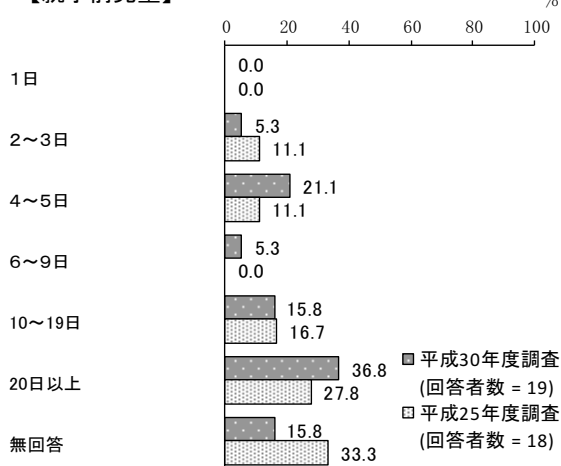


7 その他 年間日数

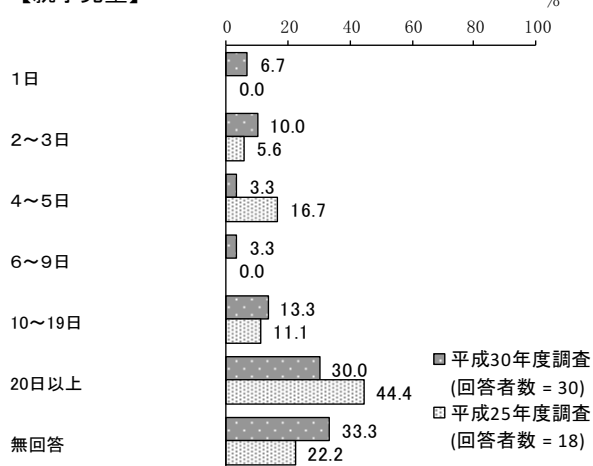
就学前児童では、「20日以上」の割合が36.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.1%、「10～19日」の割合が15.8%となっています。

就学児童では、「20日以上」の割合が30.0%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が13.3%、「2～3日」の割合が10.0%となっています。

【就学前児童】



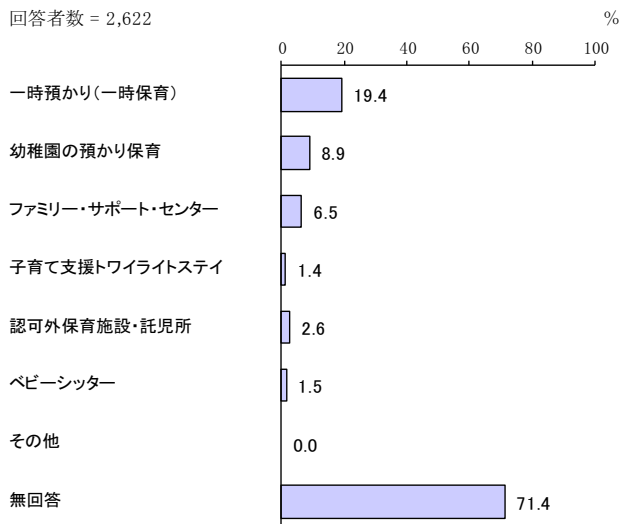
【就学児童】



1～7の事業のうち、今後利用してみたい事業

就学前児童では、「一時預かり（一時保育）」の割合が19.4%と最も高くなっています。

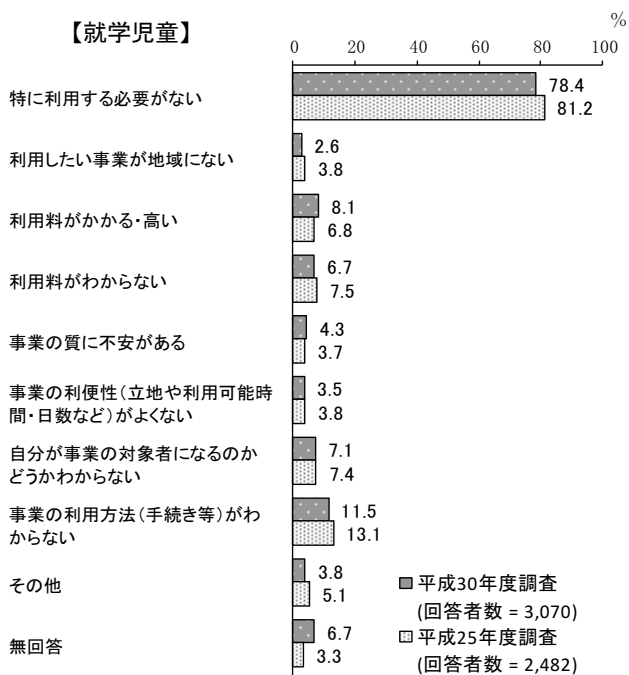
【就学前児童】



利用したいと思わない理由

就学児童では、「特に利用する必要がない」の割合が78.4%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が11.5%、「利用料がかかる・高い」の割合が8.1%となっています。

【就学児童】

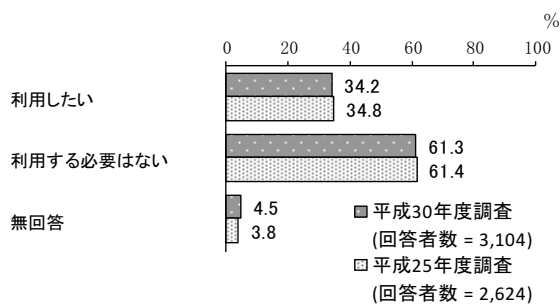


問 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいP.62（就学前児童：問15、就学児童：問15）の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください）。
（就学前児童：問16、就学児童：問16）

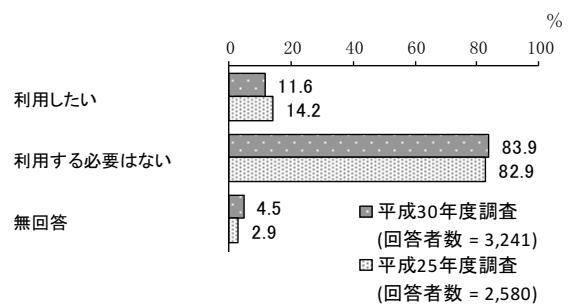
就学前児童では、「利用したい」の割合が34.2%、「利用する必要はない」の割合が61.3%となっています。

就学児童では、「利用したい」の割合が11.6%、「利用する必要はない」の割合が83.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

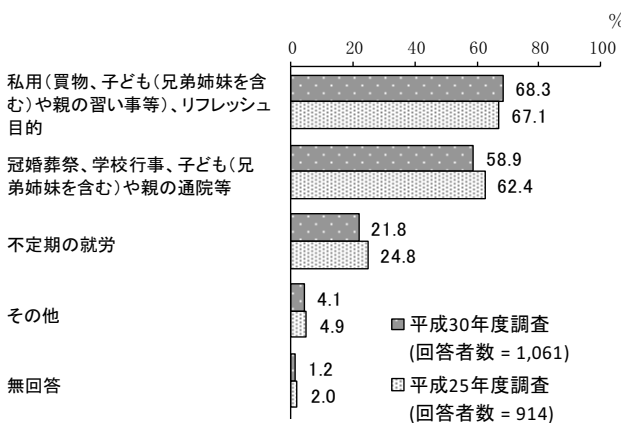


1. 利用したい

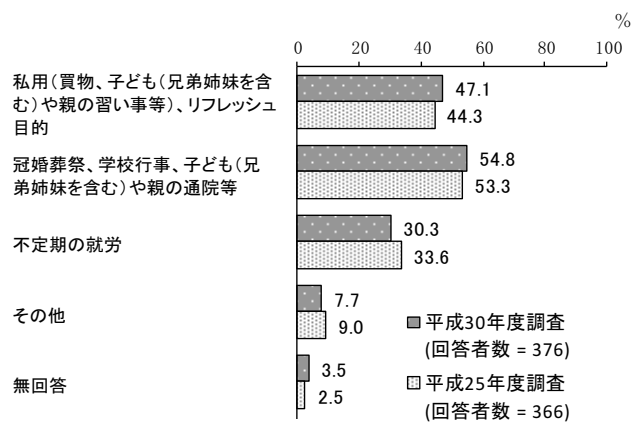
就学前児童では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が68.3%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が58.9%、「不定期の就労」の割合が21.8%となっています。

就学児童では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が54.8%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が47.1%、「不定期の就労」の割合が30.3%となっています。

【就学前児童】



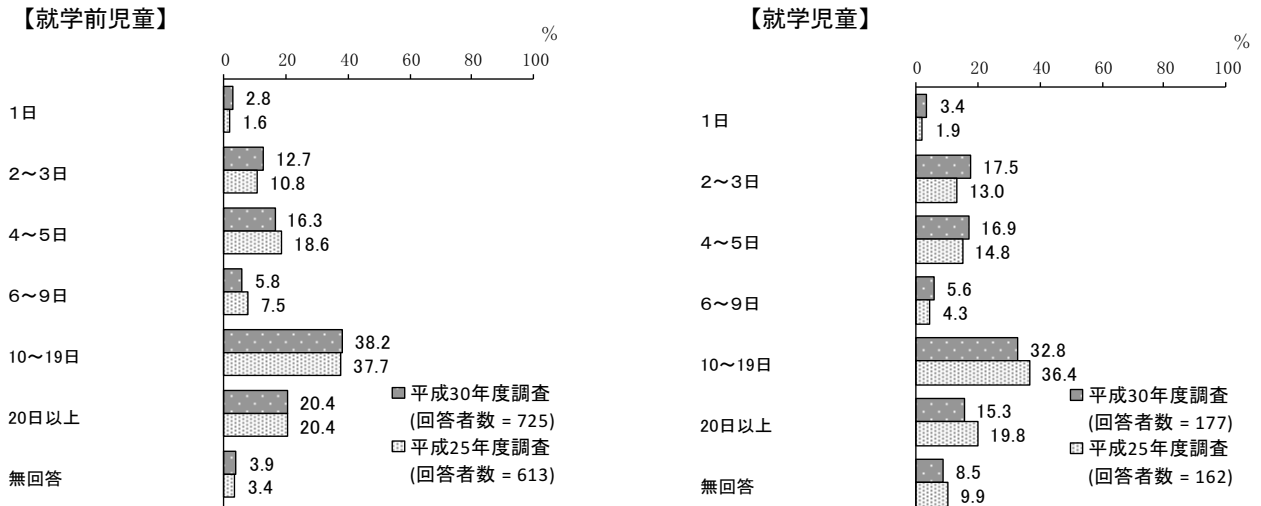
【就学児童】



ア 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 年間日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が38.2%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が20.4%、「4～5日」の割合が16.3%となっています。

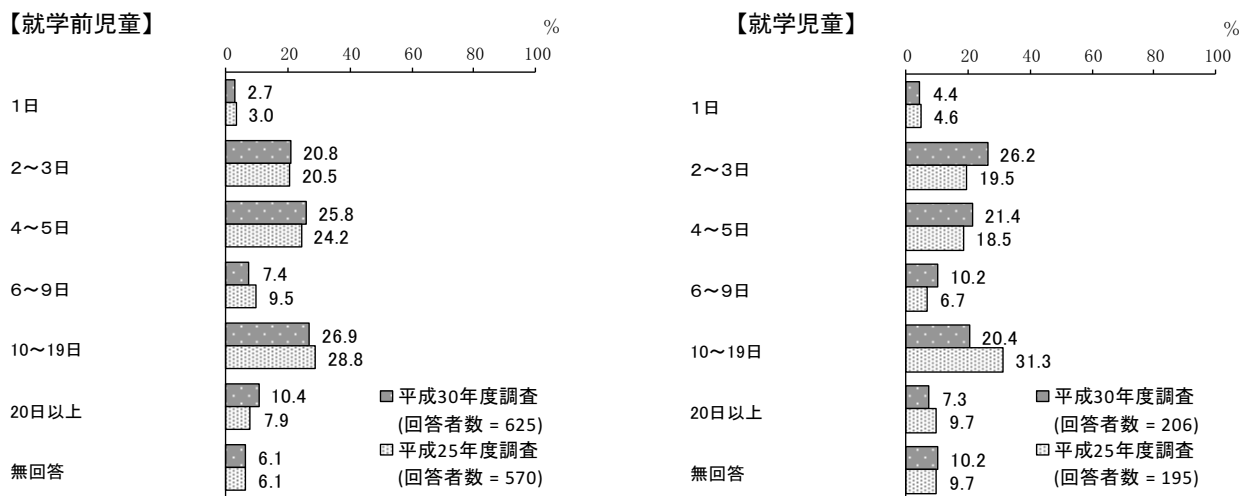
就学児童では、「10～19日」の割合が32.8%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が17.5%、「4～5日」の割合が16.9%となっています。



イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 年間日数

就学前児童では、「10～19日」の割合が26.9%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が25.8%、「2～3日」の割合が20.8%となっています。

就学児童では、「2～3日」の割合が26.2%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.4%、「10～19日」の割合が20.4%となっています。

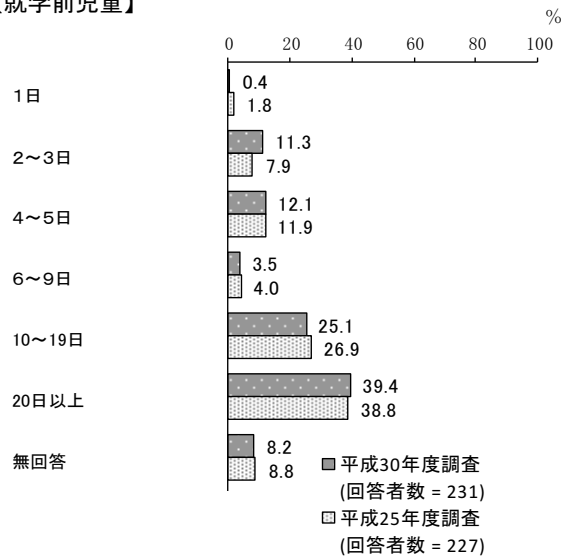


ウ 不定期の就労 年間日数

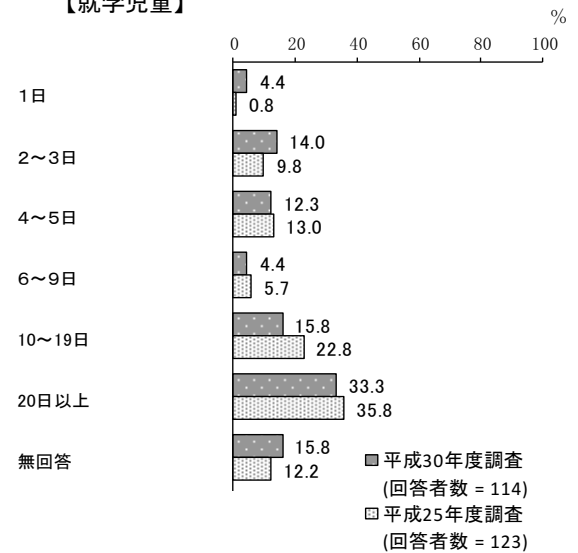
就学前児童では、「20 日以上」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 25.1%、「4～5 日」の割合が 12.1%となっています。

就学児童では、「20 日以上」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「10～19 日」の割合が 15.8%、「2～3 日」の割合が 14.0%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

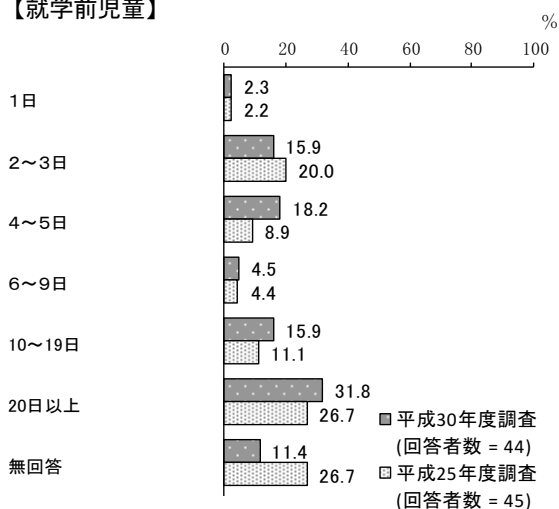


エ その他 年間日数

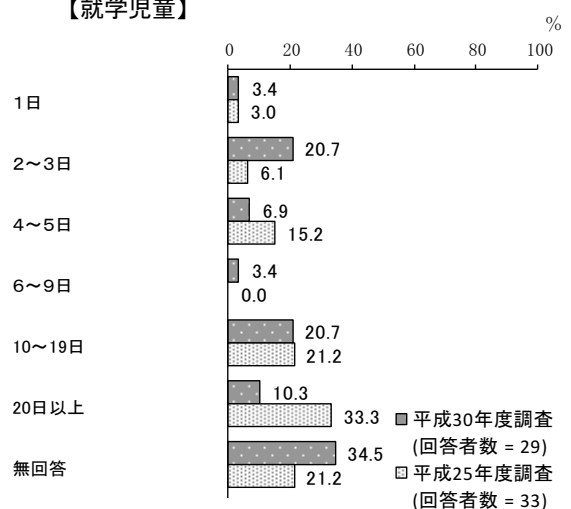
就学前児童では、「20 日以上」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「4～5 日」の割合が 18.2%、「2～3 日」、「10～19 日」の割合が 15.9%となっています。

就学児童では、「2～3 日」、「10～19 日」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「20 日以上」の割合が 10.3%となっています。

【就学前児童】



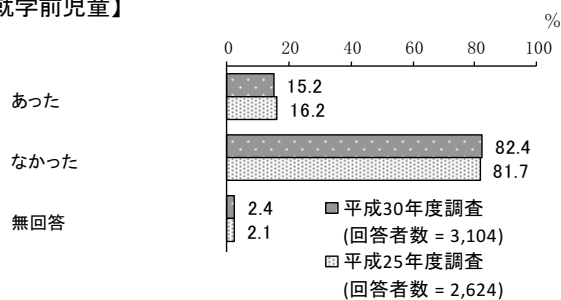
【就学児童】



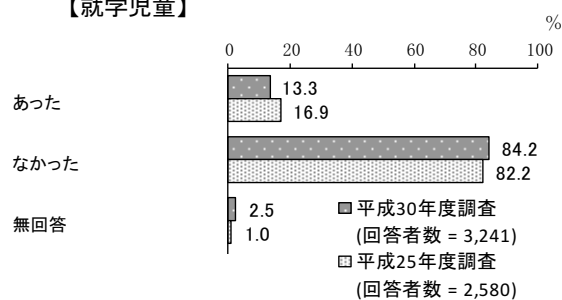
問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。
 （就学前児童：問17、就学児童：問17）

就学前児童では、「あった」の割合が15.2%、「なかった」の割合が82.4%となっています。
 就学児童では、「あった」の割合が13.3%、「なかった」の割合が84.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

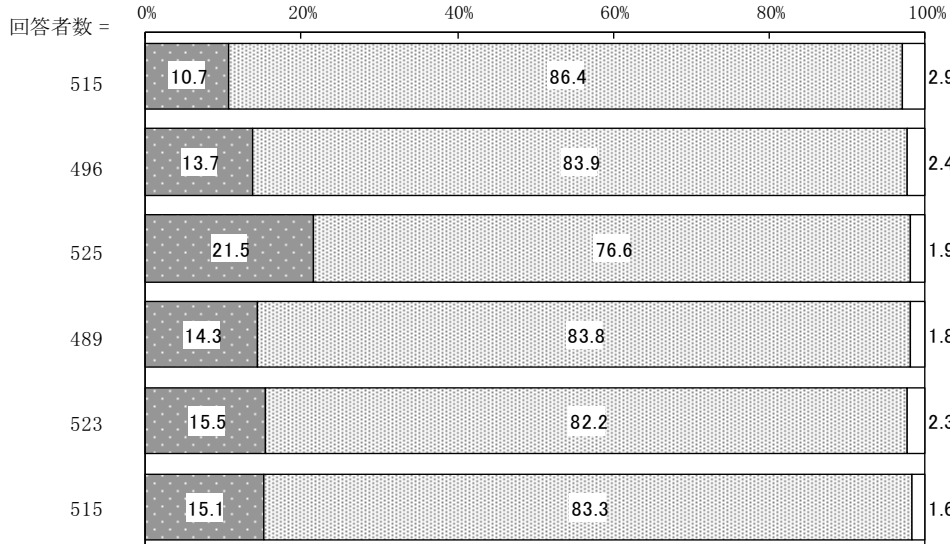


【子どもの年齢別】

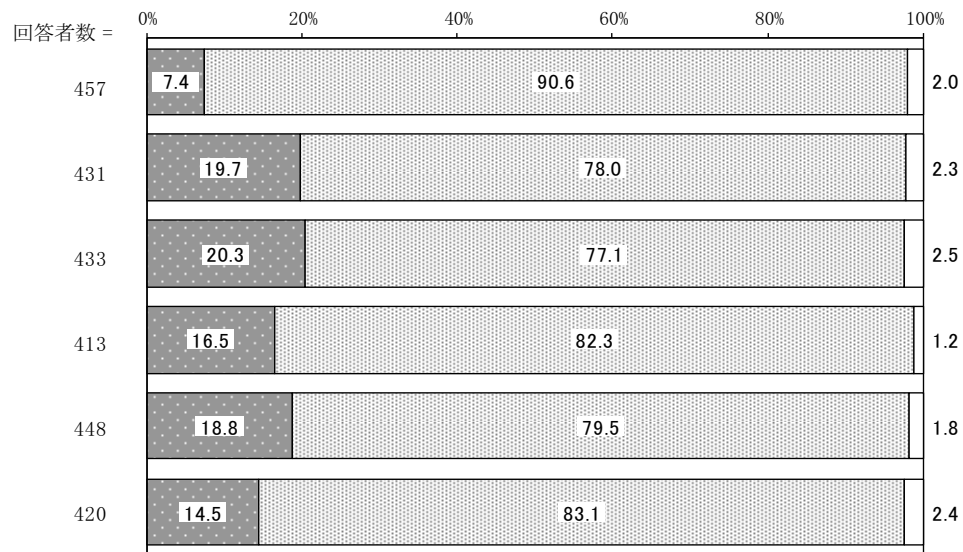
子どもの年齢別でみると、就学前児童では2歳で「あった」の割合が約2割となっています。就学児童では大きな差異はみられません。

【就学前児童】

平成30年度調査



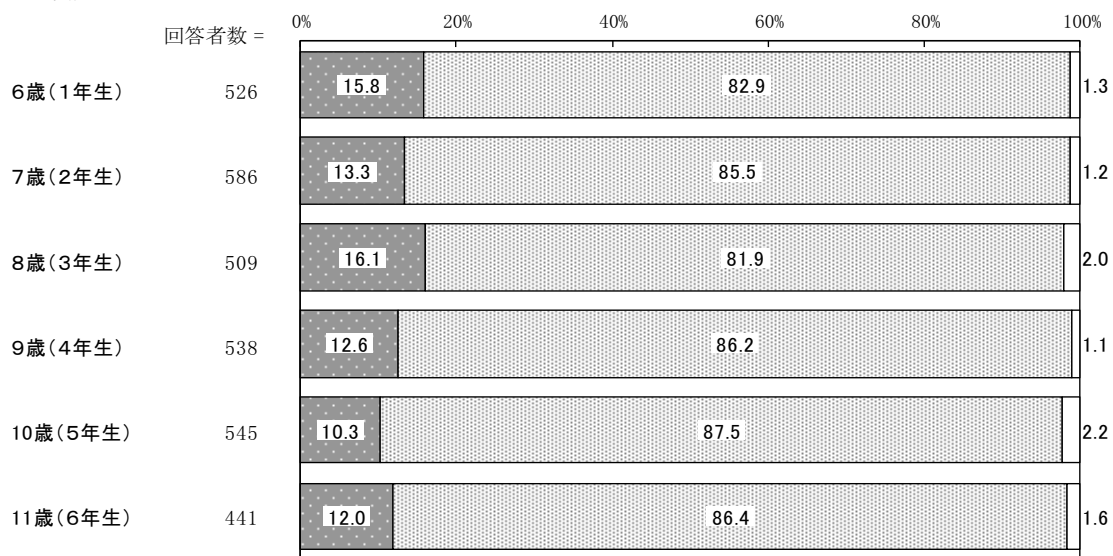
平成25年度調査



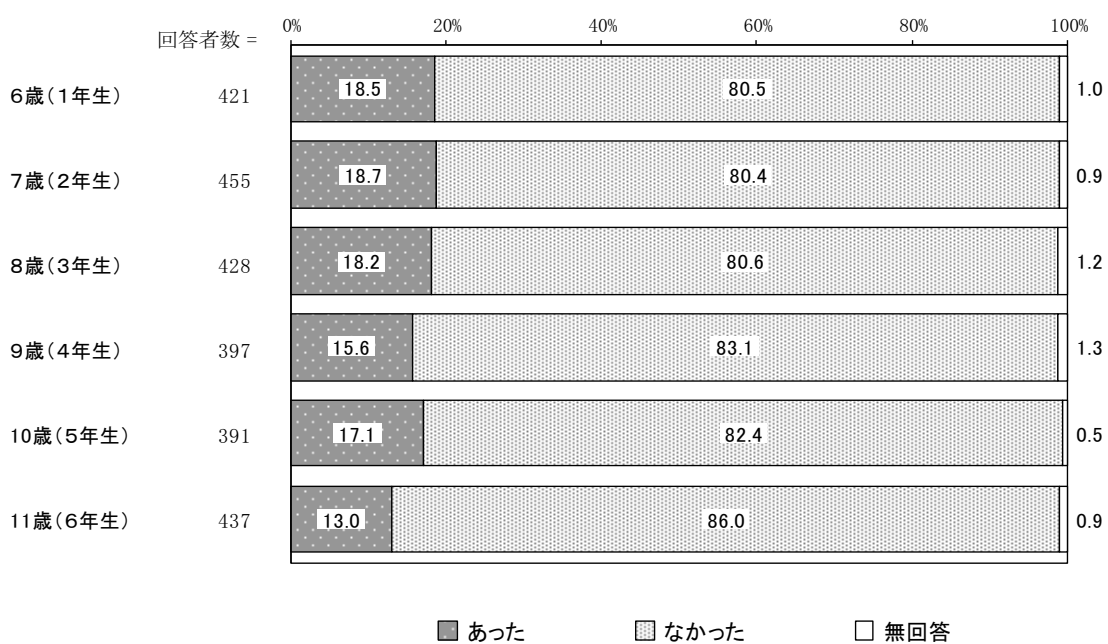
■ あった ■ なかった □ 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査

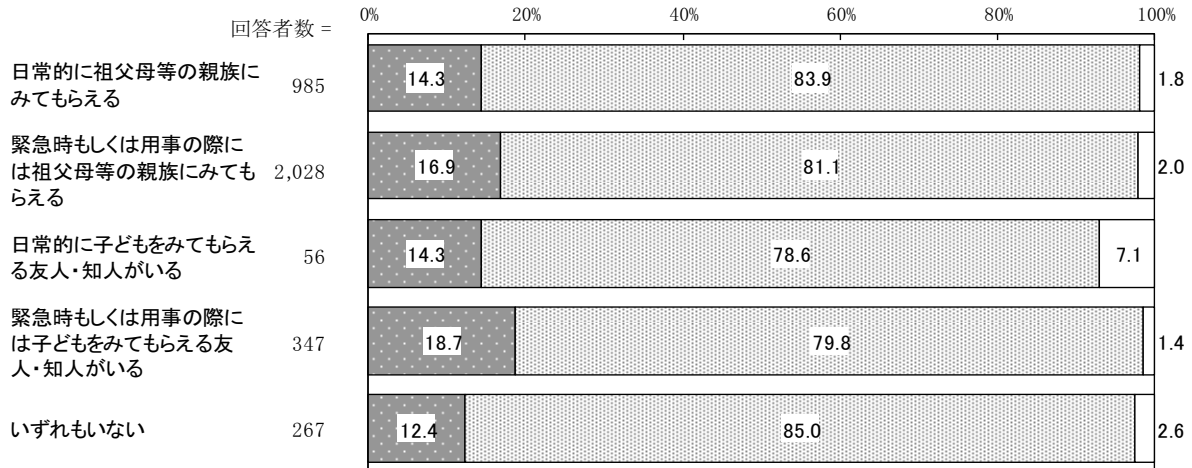


【支援状況別】

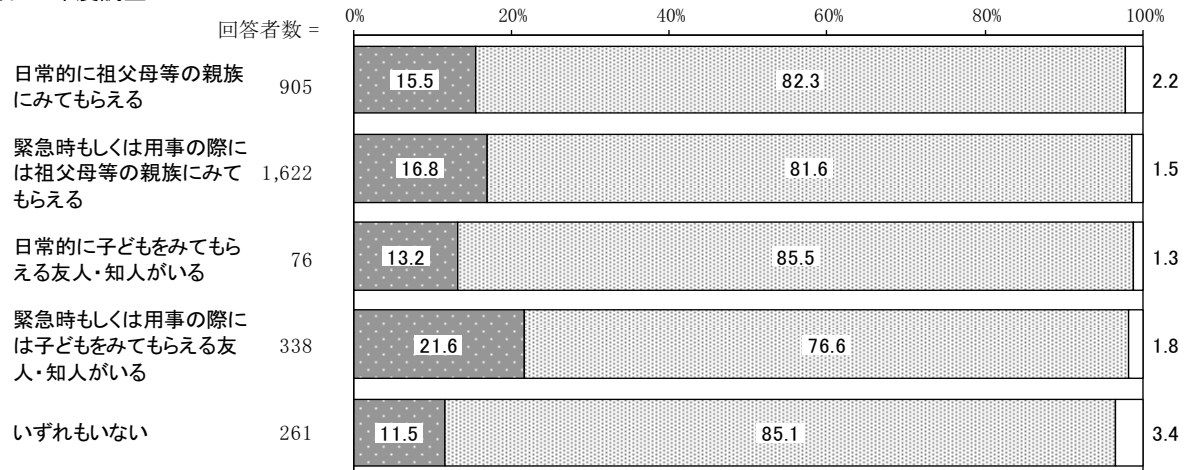
支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに、大きな差異はみられません。

【就学前児童】

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査



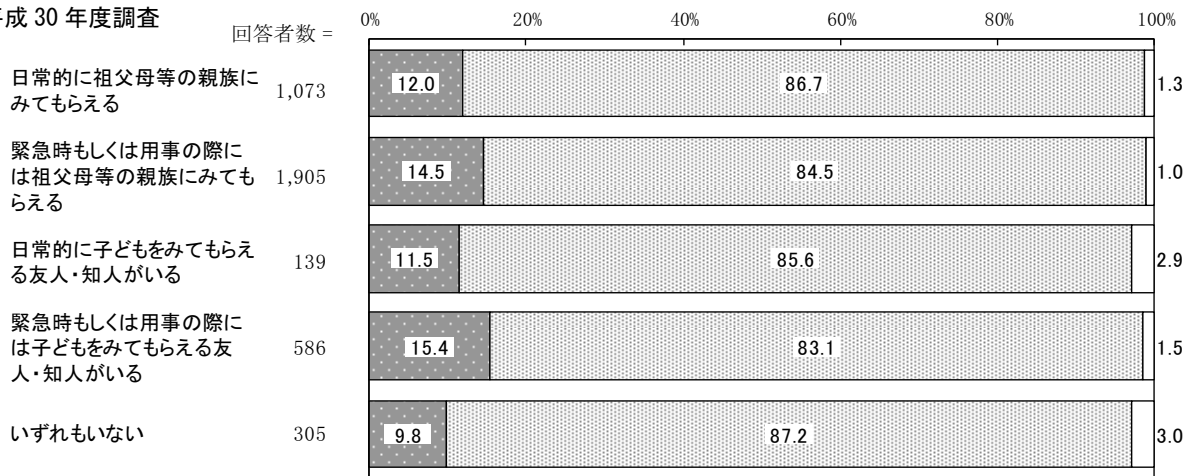
■ あった

□ なかった

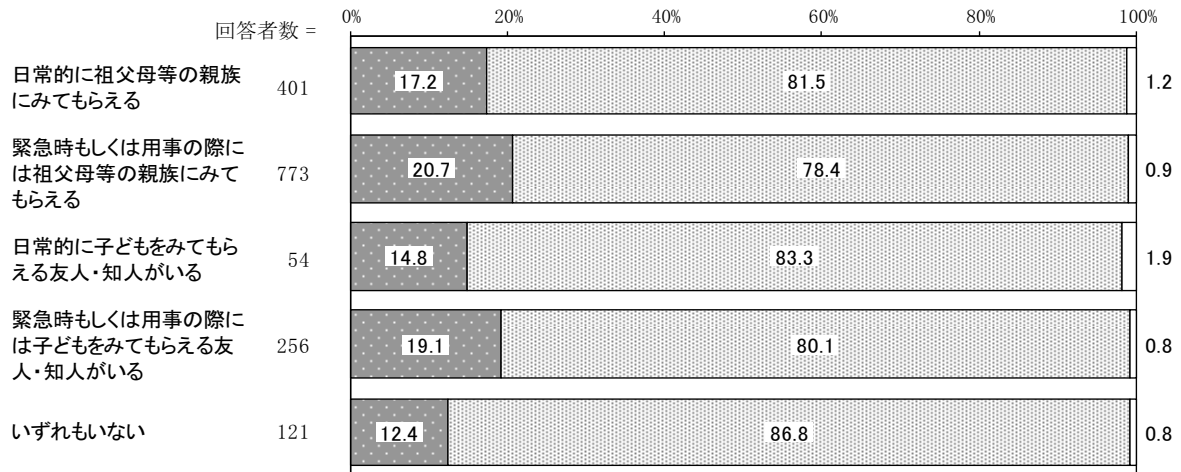
□ 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査



平成 25 年度調査

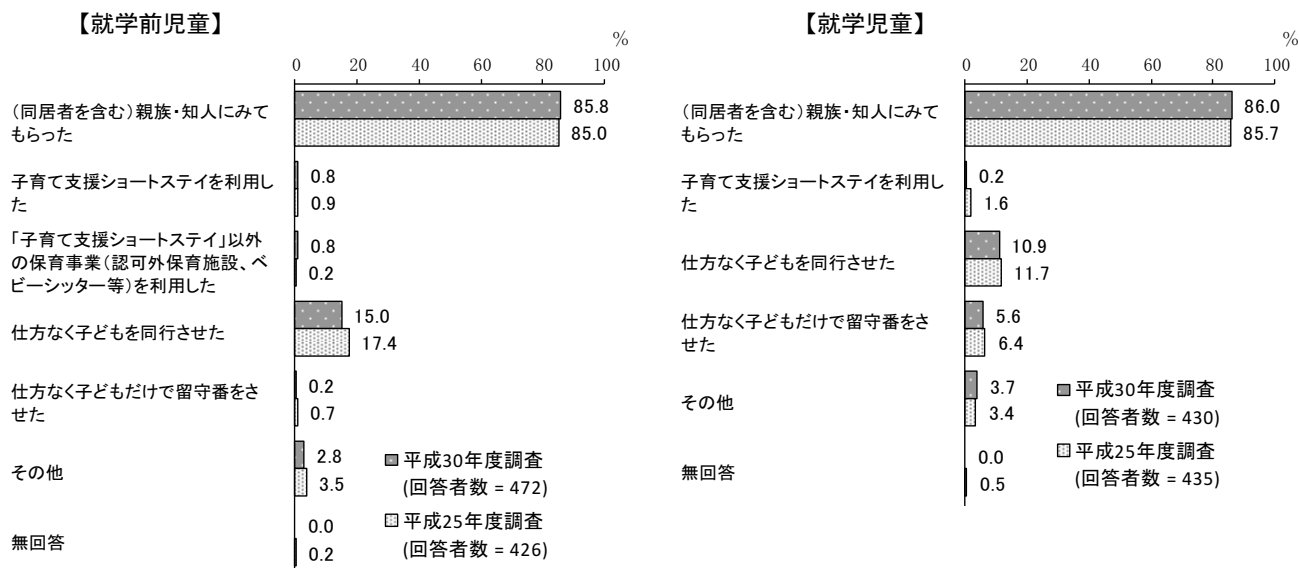


■ あった ■ なかった □ 無回答

1. 1年間の対処方法

就学前児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 85.8%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 15.0%となっています。

就学児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が 10.9%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、就学前児童では、他と比べ、2歳、4歳で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」、0歳で「仕方なく子どもを同行させた」の割合が高くなっています。就学児童では、7歳で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が高く、9割以上となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	「イ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
0歳	55	69.1	7.3	1.8	27.3	—	1.8
1歳	68	83.8	—	1.5	14.7	—	1.5
2歳	113	92.9	—	—	13.3	0.9	2.7
3歳	70	84.3	—	1.4	20.0	—	—
4歳	81	90.1	—	—	13.6	—	1.2
5歳	78	85.9	—	1.3	7.7	—	7.7

単位：%

区分	有効回答数(件)	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
6歳(1年生)	83	83.1	—	12.0	6.0	4.8
7歳(2年生)	78	94.9	1.3	7.7	2.6	—
8歳(3年生)	82	87.8	—	11.0	4.9	4.9
9歳(4年生)	68	85.3	—	10.3	5.9	5.9
10歳(5年生)	56	82.1	—	10.7	7.1	1.8
11歳(6年生)	53	77.4	—	15.1	9.4	5.7

【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童、就学児童ともに、いずれもない人で「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が低く、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：%

区分	有効回答数(件)	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	141	91.5	0.7	2.8	10.6	—	0.7
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	343	87.5	0.9	0.3	12.5	—	3.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	8	100.0	—	—	—	—	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	65	87.7	1.5	3.1	15.4	1.5	1.5
いずれもない	33	54.5	3.0	—	45.5	—	6.1

【就学児童】

単位：%

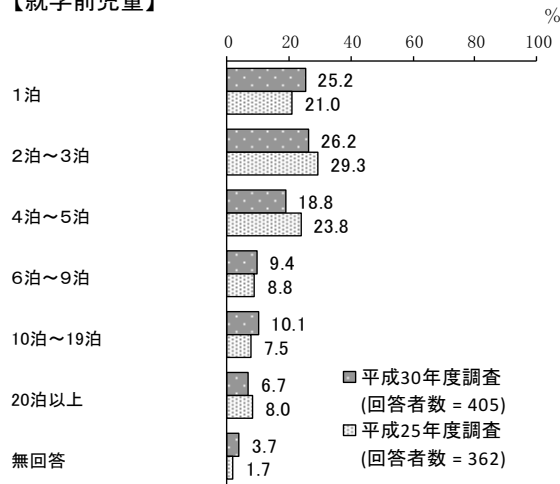
区分	有効回答数(件)	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	子育て支援ショートステイを利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	129	89.1	0.8	7.0	3.1	3.1
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	277	91.0	0.4	8.3	2.9	3.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	16	93.8	—	6.3	6.3	—
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	90	82.2	—	16.7	6.7	3.3
いずれもない	30	50.0	—	20.0	20.0	13.3

ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった 年間泊数

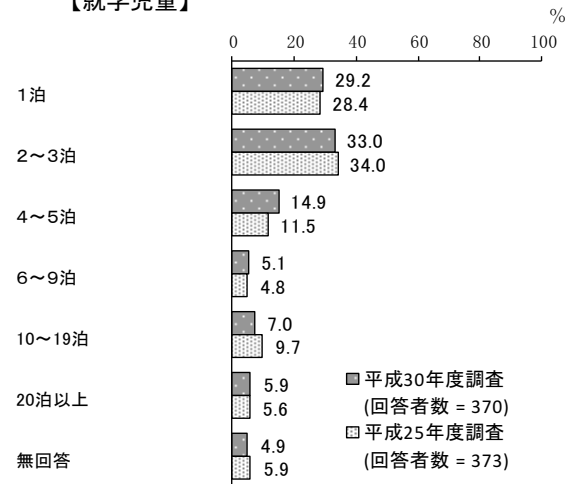
就学前児童では、「2泊～3泊」の割合が26.2%と最も高く、次いで「1泊」の割合が25.2%、「4泊～5泊」の割合が18.8%となっています。

就学児童では、「2～3泊」の割合が33.0%と最も高く、次いで「1泊」の割合が29.2%、「4～5泊」の割合が14.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

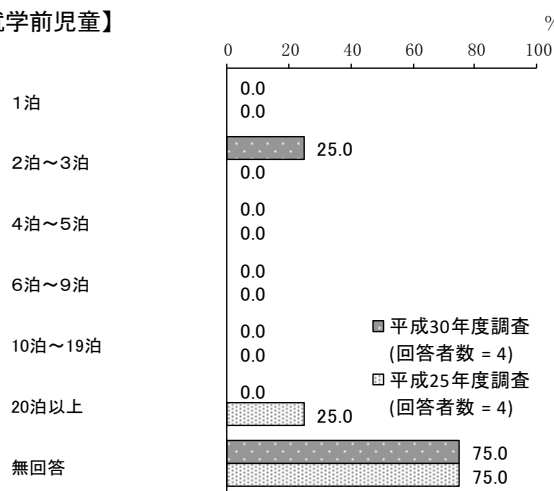


イ 子育て支援ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業) 年間泊数

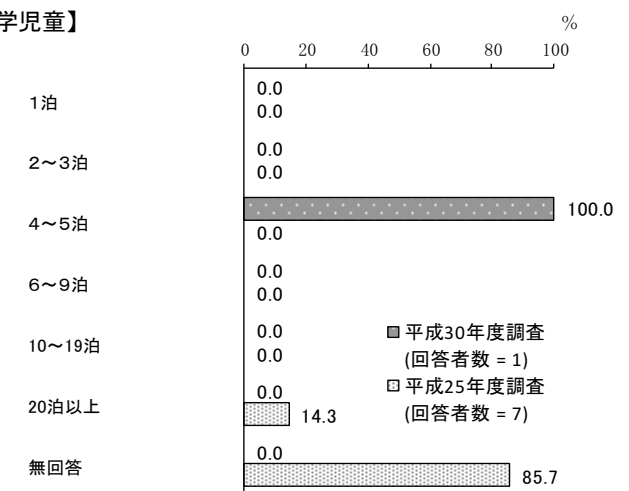
就学前児童では、「2泊～3泊」が25.0% (1件) となっています。

就学児童では、「4～5泊」が100.0% (1件) となっています。

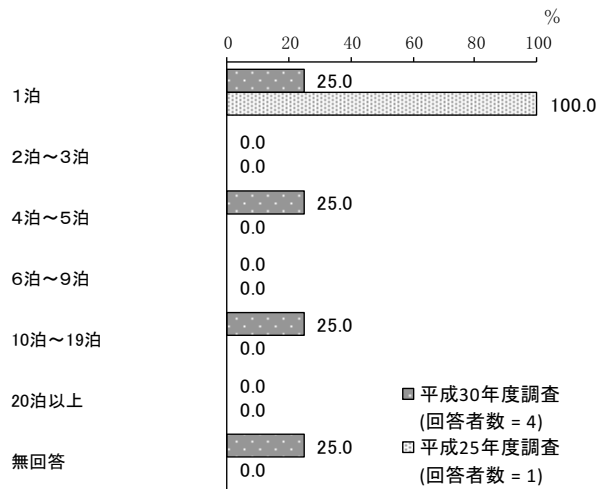
【就学前児童】



【就学児童】



ウ 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した 年間泊数
 就学前児童では、「1泊」、「4泊～5泊」、「10泊～19泊」が25.0%（1件）となっています。

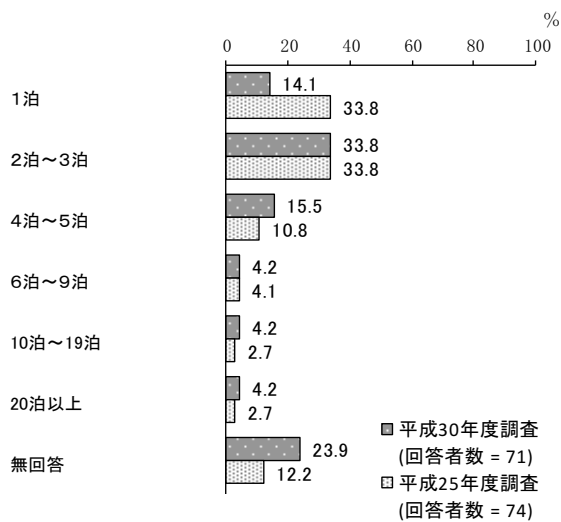


エ 仕方なく子どもを同行させた 年間泊数

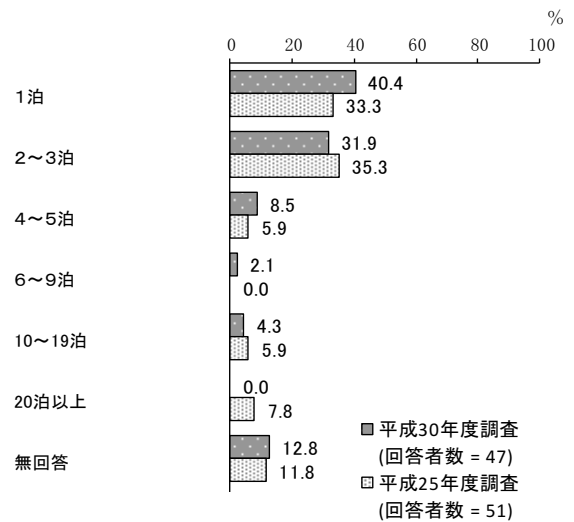
就学前児童では、「2泊～3泊」の割合が33.8%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が15.5%、「1泊」の割合が14.1%となっています。

就学児童では、「1泊」の割合が40.4%と最も高く、次いで「2～3泊」の割合が31.9%となっています。

【就学前児童】



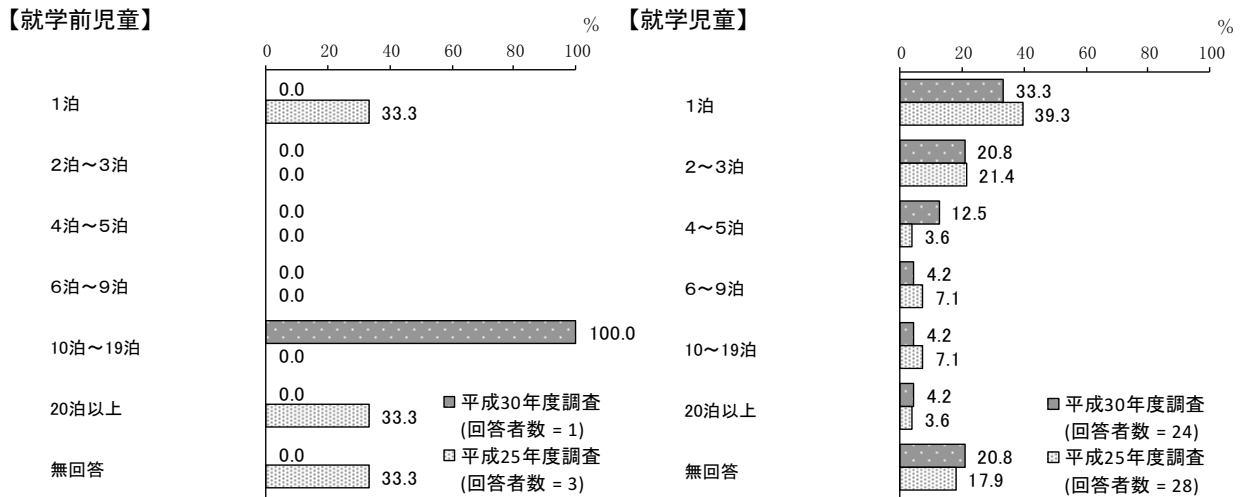
【就学児童】



オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 年間泊数

就学前児童では、「10泊～19泊」が100.0%（1件）となっています。

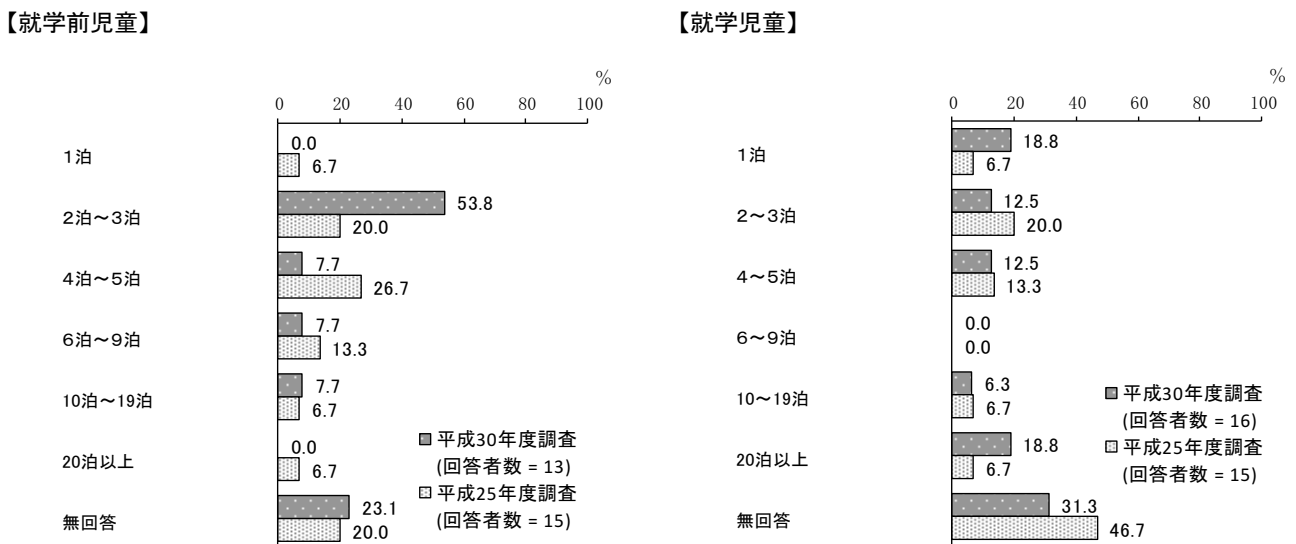
就学児童では、「1泊」の割合が33.3%と最も高く、次いで「2～3泊」の割合が20.8%、「4～5泊」の割合が12.5%となっています。



カ その他 年間泊数

就学前児童では、「2泊～3泊」の割合が53.8%と最も高くなっています。

就学児童では、「1泊」、「20泊以上」の割合が18.8%と最も高く、次いで「2～3泊」、「4～5泊」の割合が12.5%となっています。



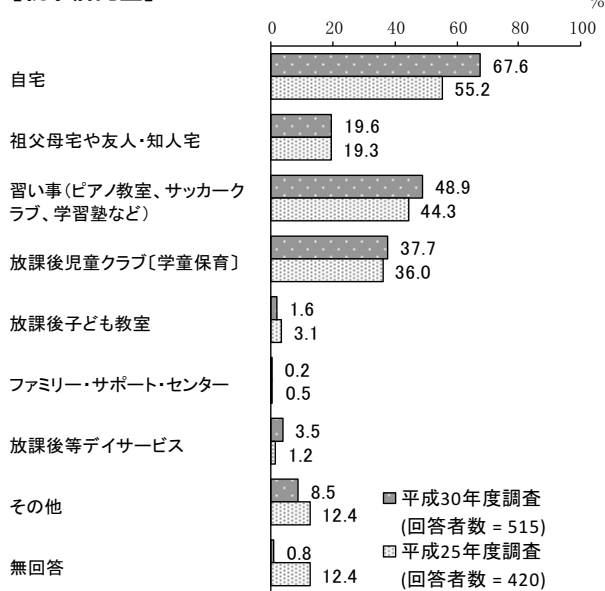
(8) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字で記入してください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問 18、就学児童：問 10）

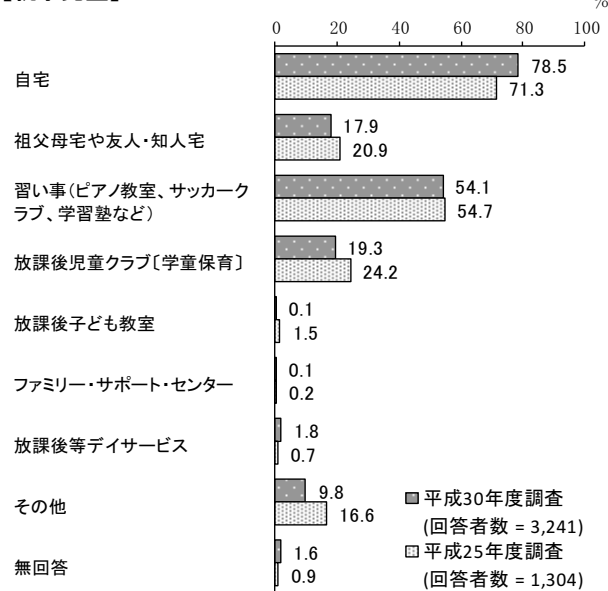
就学前児童では、「自宅」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 48.9%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 37.7%となっています。

就学児童では、「自宅」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 54.1%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が 19.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



※平成 25 年度調査では、低学年と高学年に分けた設問でした。今回は低学年での結果と比較しています。

【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童では緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる人、いずれもない人で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ〔学童保育〕	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	160	70.6	31.3	51.9	28.8	1.3	—	5.0	8.1	—
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	325	66.8	17.2	50.5	40.9	1.2	0.3	2.8	8.0	0.3
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	15	66.7	20.0	60.0	20.0	—	—	—	26.7	6.7
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	81	70.4	21.0	60.5	35.8	—	—	1.2	7.4	1.2
いずれもない	43	60.5	7.0	34.9	41.9	4.7	—	4.7	16.3	2.3

【就学児童】

単位：％

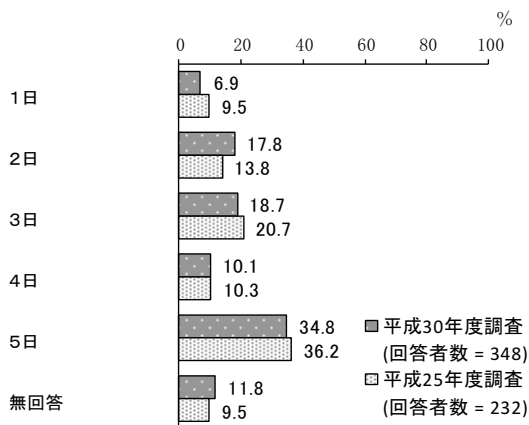
区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	放課後児童クラブ〔学童保育〕	放課後子ども教室	ファミリー・サポート・センター	放課後等デイサービス	その他	無回答
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	1073	79.1	28.0	58.4	15.8	0.2	0.1	1.7	8.5	0.5
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1905	79.8	17.0	55.4	21.8	0.1	—	1.8	10.2	0.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	139	84.9	30.2	59.0	16.5	—	—	—	7.9	0.7
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	586	82.8	22.0	61.3	19.5	0.2	—	0.5	13.3	—
いずれもない	305	75.1	7.5	41.6	22.0	—	0.3	4.3	12.1	2.0

1 自宅 週あたり利用日数

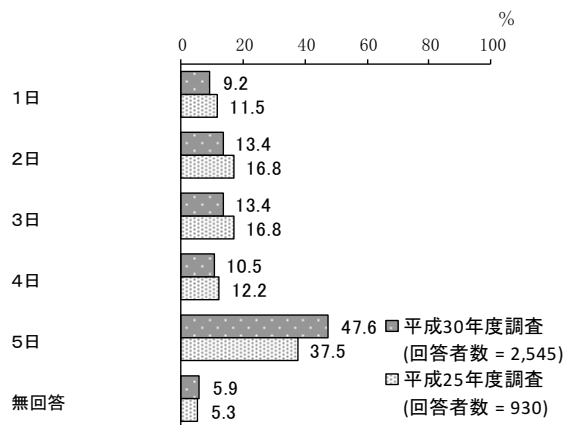
就学前児童では、「5日」の割合が34.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.7%、「2日」の割合が17.8%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が47.6%と最も高く、次いで「2日」「3日」の割合が13.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

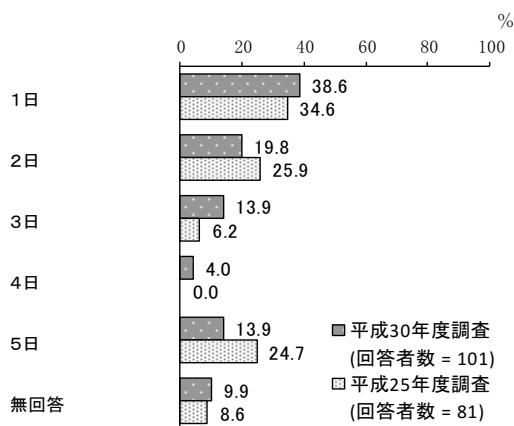


2 祖父母宅や友人・知人宅 週あたり利用日数

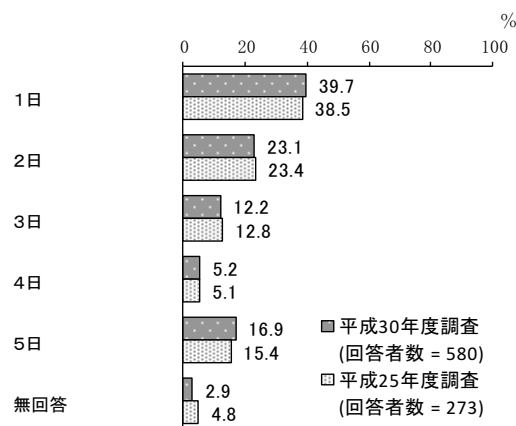
就学前児童では、「1日」の割合が38.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が19.8%、「3日」、「5日」の割合が13.9%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が39.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.1%、「5日」の割合が16.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

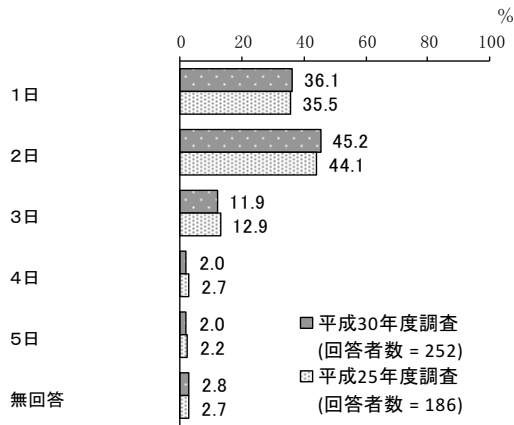


3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週あたり利用日数

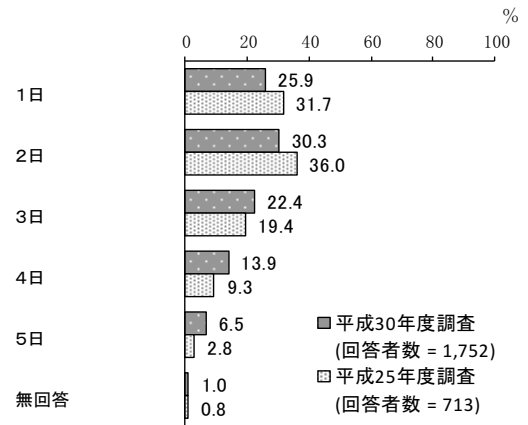
就学前児童では、「2日」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1日」の割合が36.1%、「3日」の割合が11.9%となっています。

就学児童では、「2日」の割合が30.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.9%、「3日」の割合が22.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

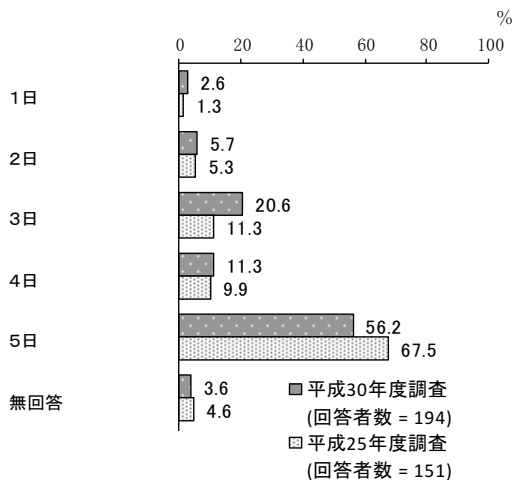


4 放課後児童クラブ〔学童保育〕 週あたり利用日数

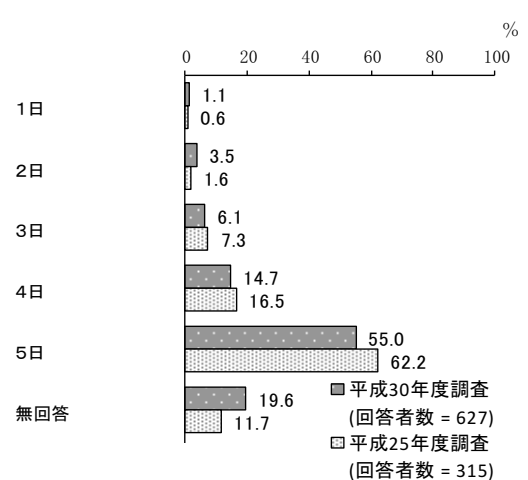
就学前児童では、「5日」の割合が56.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.6%、「4日」の割合が11.3%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が55.0%と最も高く、次いで「4日」の割合が14.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

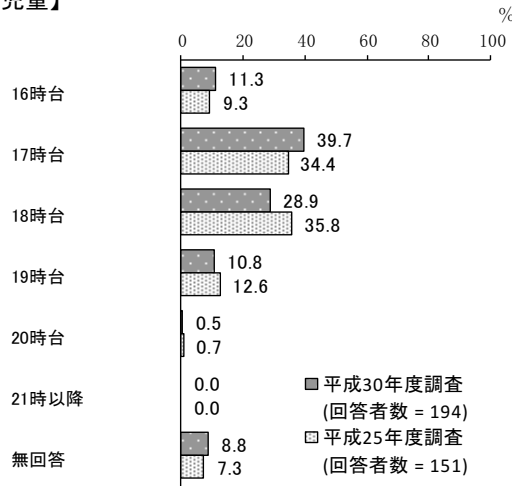


4 放課後児童クラブ〔学童保育〕 利用終了時刻

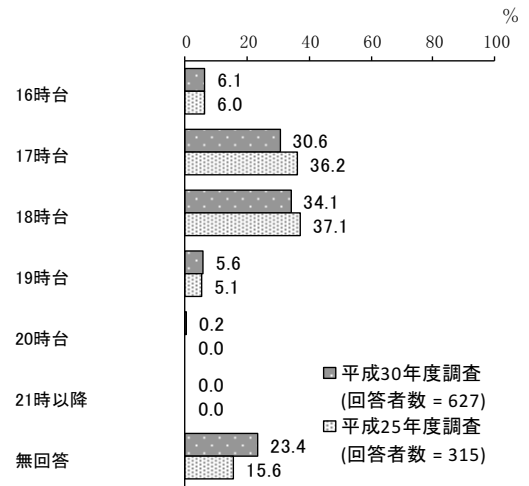
就学前児童では、「17 時台」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 28.9%、「16 時台」の割合が 11.3%となっています。

就学児童では、「18 時台」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 30.6%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

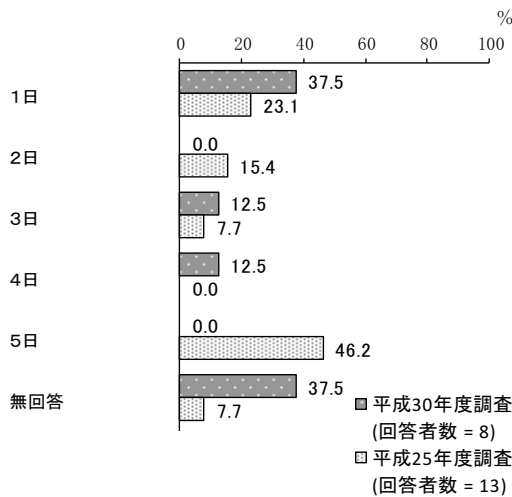


5 放課後子ども教室 週あたり利用日数

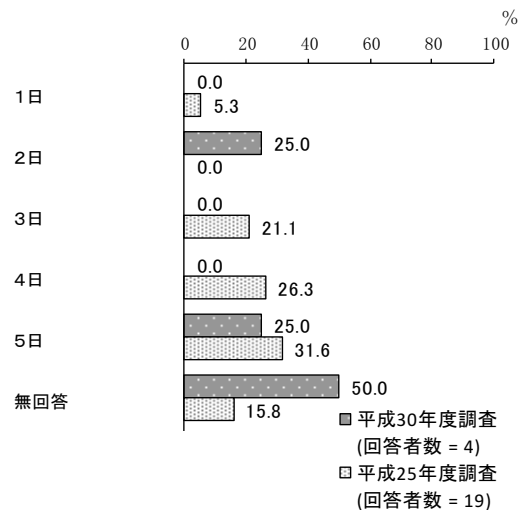
就学前児童では、「1 日」が 37.5% (3 件) となっています。「3 日」、「4 日」が 12.5% (1 件) となっています。

就学児童では、「2 日」、「5 日」が 25.0% (1 件) となっています。

【就学前児童】



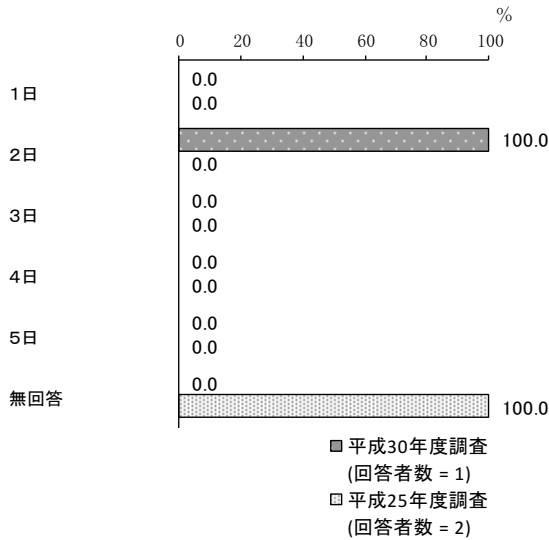
【就学児童】



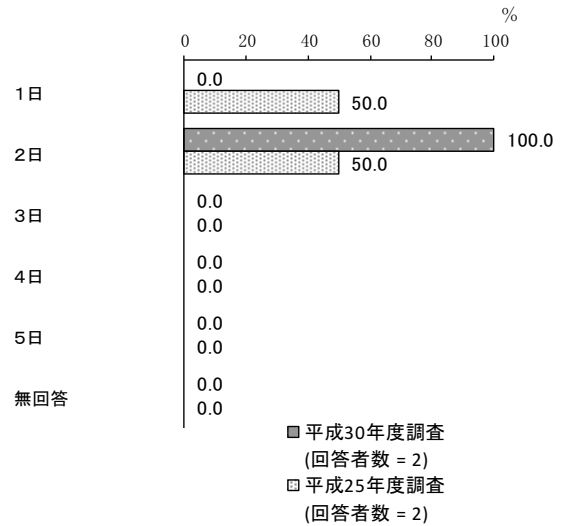
6 ファミリー・サポート・センター 週あたり利用日数

就学前児童では、「2日」が100.0%（1件）となっています。
 就学児童では、「2日」が100.0%（2件）となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

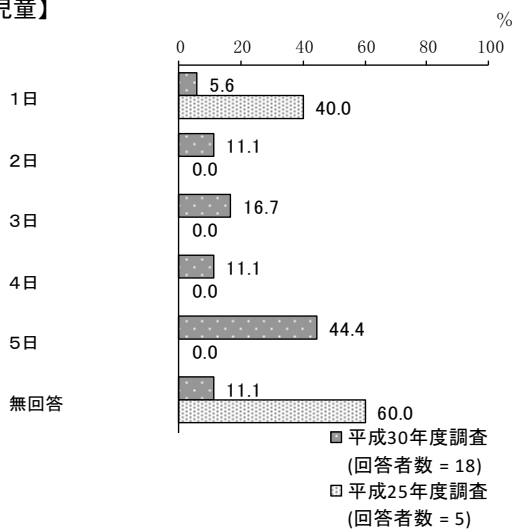


7 放課後等デイサービス 週あたり利用日数

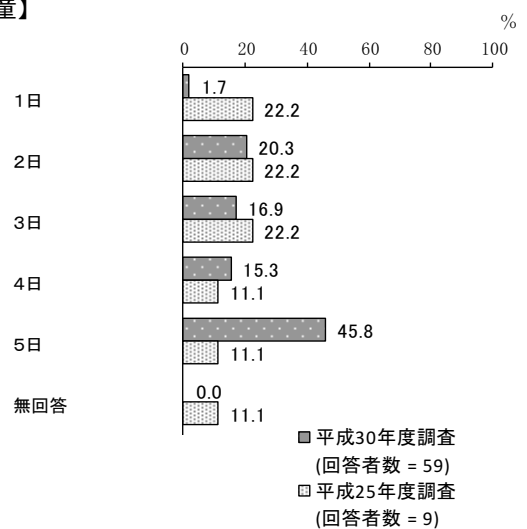
就学前児童では、「5日」の割合が44.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.7%、「2日」、「4日」の割合が11.1%となっています。

就学児童では、「5日」の割合が45.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.3%、「3日」の割合が16.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

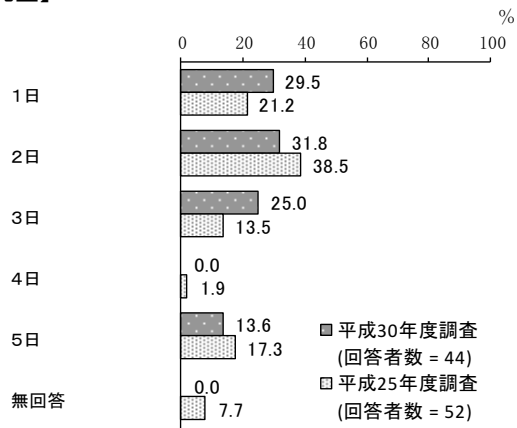


8 その他 週あたり利用日数

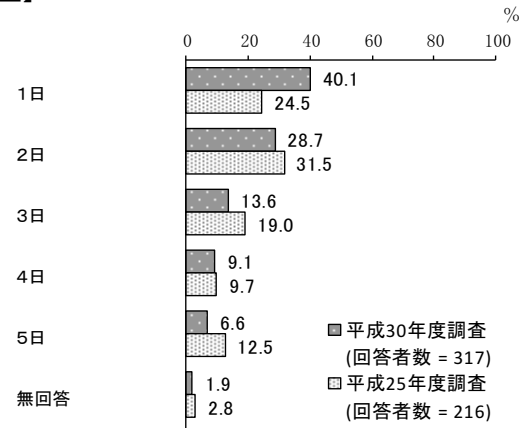
「2日」の割合が31.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.5%、「3日」の割合が25.0%となっています。

就学児童では、「1日」の割合が40.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が28.7%、「3日」の割合が13.6%となっています。

【就学前児童】

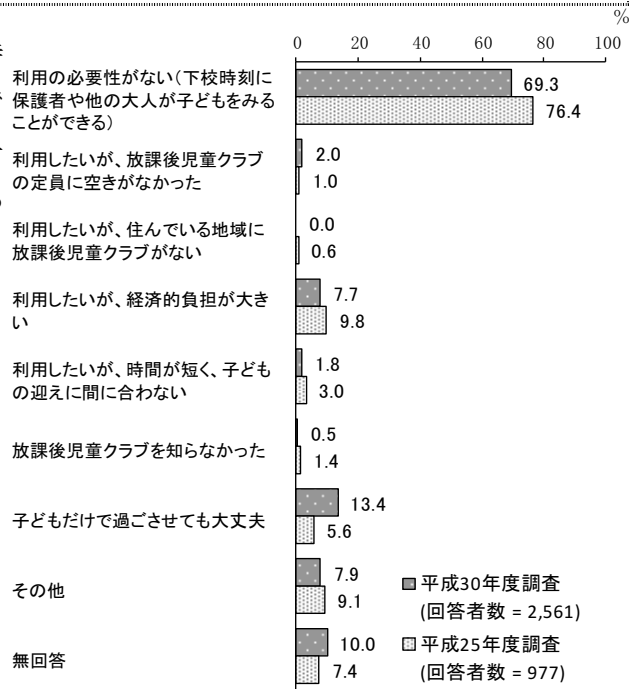


【就学児童】



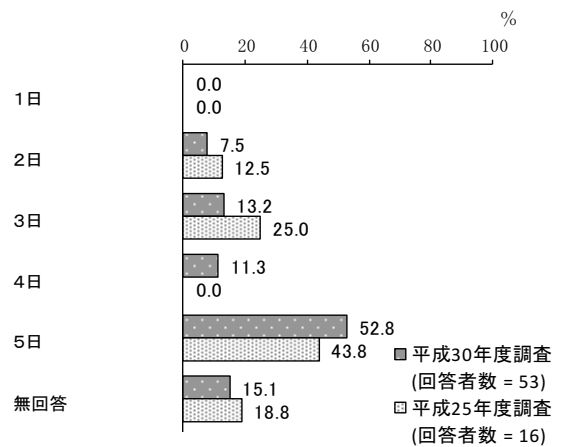
問 P.81(就学児童：問10)で、「4. 放課後児童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、選択肢の2、3に○をつけた方は、週当たりの希望日数及び希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。(就学児童：問10-1)

就学児童では、「利用の必要性がない(下校時刻に保護者や他の大人が子どもをみることができる)」の割合が69.3%と最も高く、次いで「子どもだけで過ごさせても大丈夫」の割合が13.4%となっています。



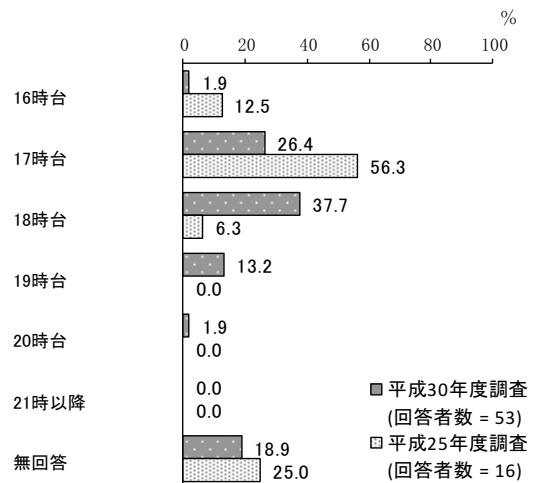
【利用希望】日数

就学児童では、就学児童では、「5日」の割合が52.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が13.2%、「4日」の割合が11.3%となっています。



【利用希望】利用終了時刻

就学児童では、「18時台」の割合が37.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.4%、「19時台」の割合が13.2%となっています。

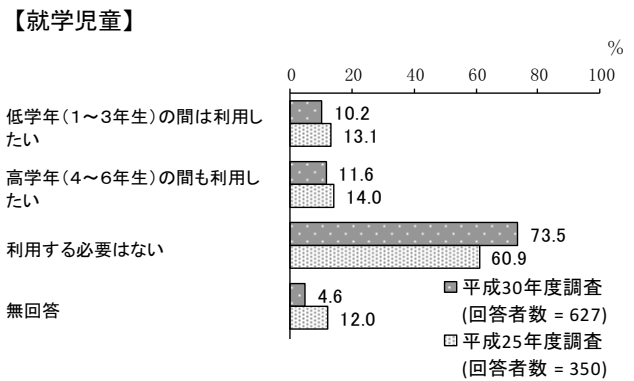
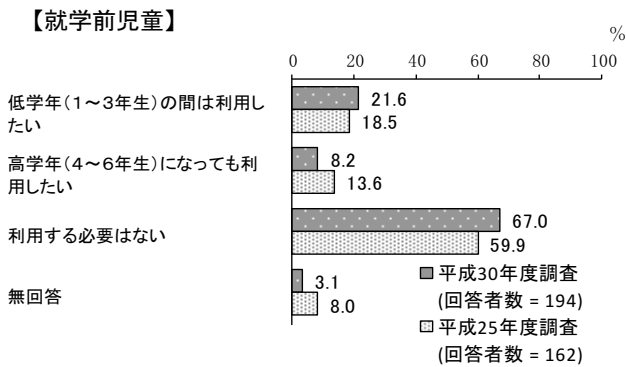


問 P.81(就学前児童：問18、就学児童：問10)で「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にかがいます。
 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
 (1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。
 (就学前児童：問19、就学児童：問10-2)

(1) 土曜日

就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が67.0%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が21.6%となっています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が73.5%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)の間も利用したい」の割合が11.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が10.2%となっています。

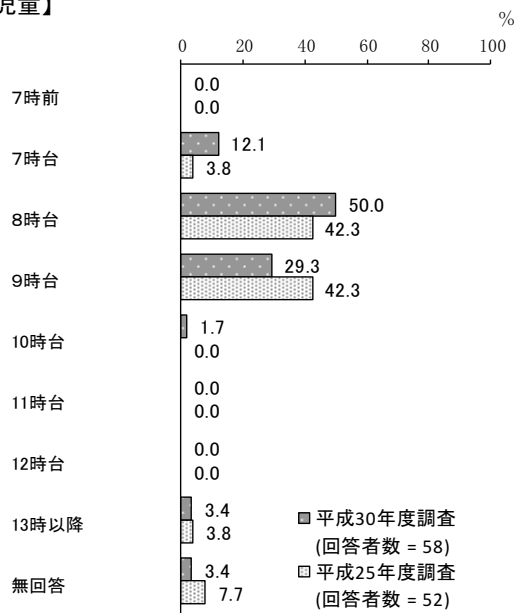


利用開始時刻

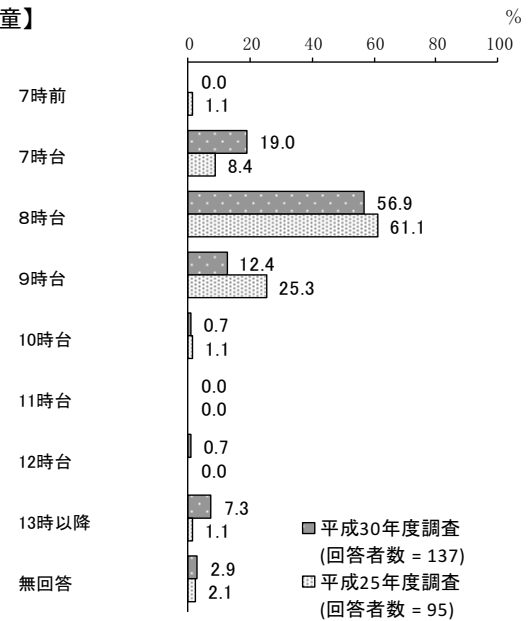
就学前児童では、「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が29.3%、「7時台」の割合が12.1%となっています。

就学児童では、「8時台」の割合が56.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が19.0%、「9時台」の割合が12.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

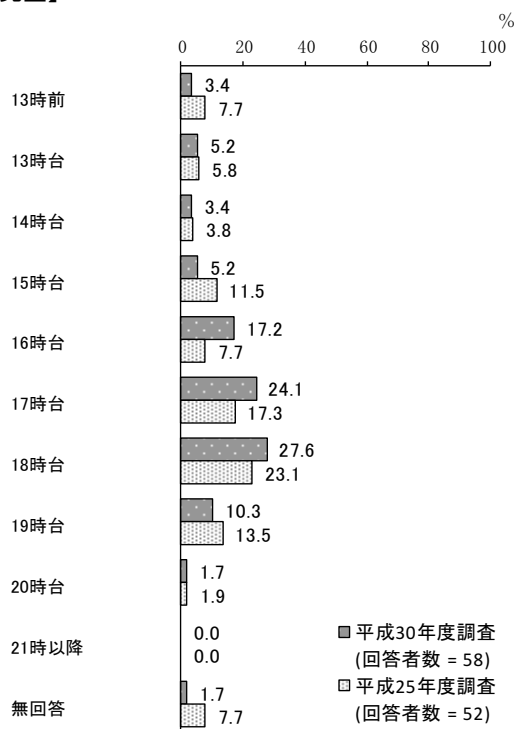


利用終了時刻

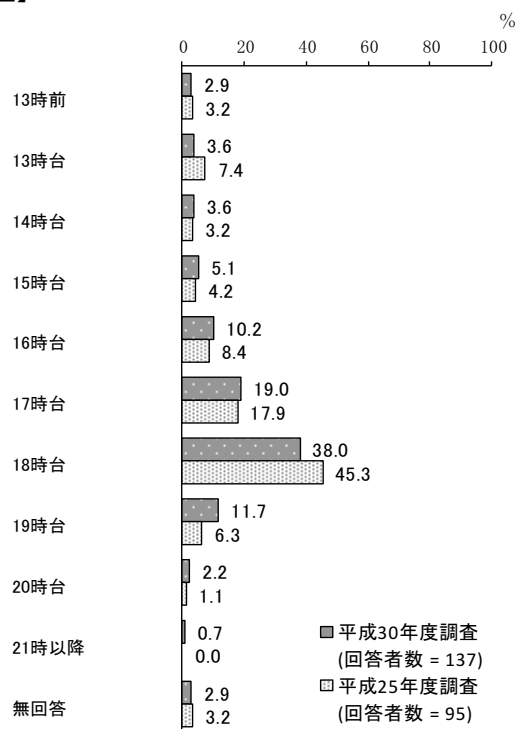
就学前児童では、「18時台」の割合が27.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が24.1%、「16時台」の割合が17.2%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が38.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が19.0%、「19時台」の割合が11.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

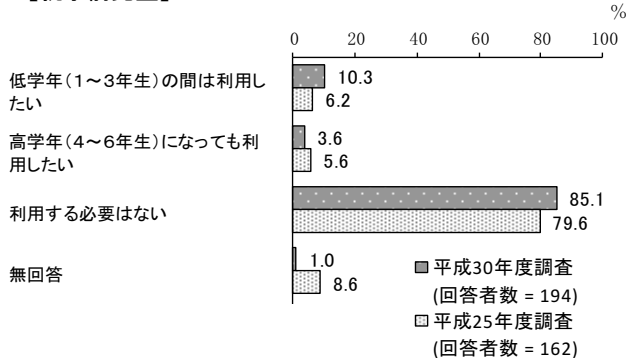


(2) 日曜日・祝日

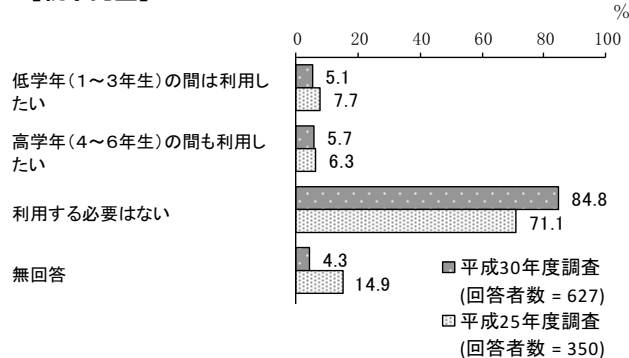
就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が85.1%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が10.3%となっています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が84.8%と最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】

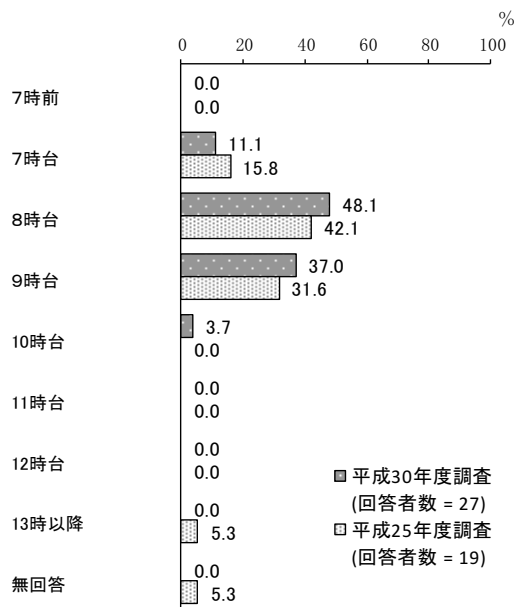


利用開始時刻

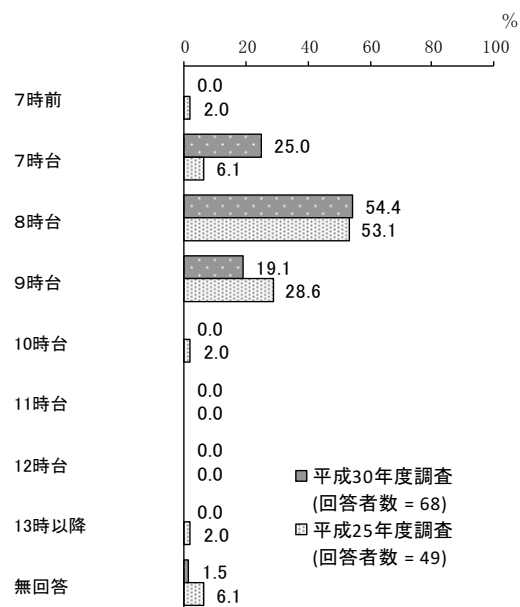
就学前児童では、「8時台」の割合が48.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が37.0%、「7時台」の割合が11.1%となっています。

就学児童では、「8時台」の割合が54.4%と最も高く、次いで「7時台」の割合が25.0%、「9時台」の割合が19.1%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

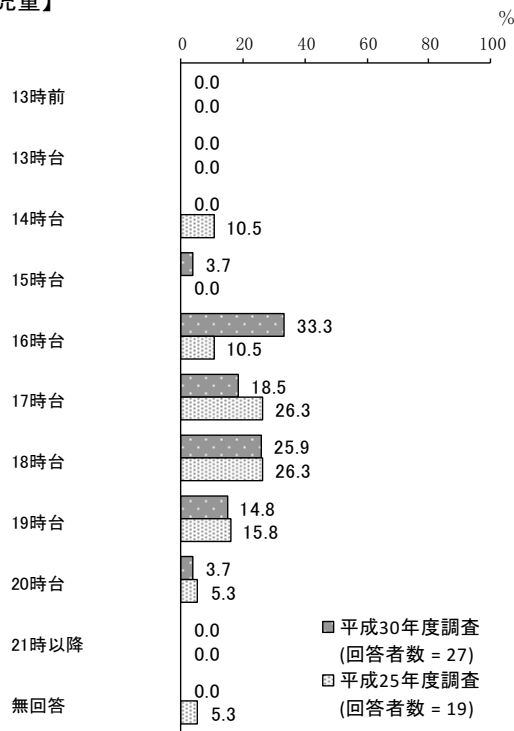


利用終了時刻

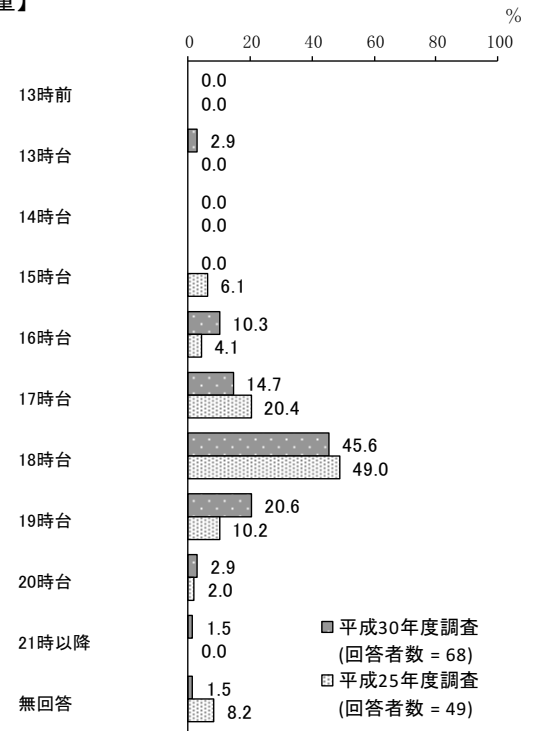
就学前児童では、就学前児童では、「16 時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 25.9%、「17 時台」の割合が 18.5%となっています。

就学児童では、「18 時台」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 20.6%、「17 時台」の割合が 14.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

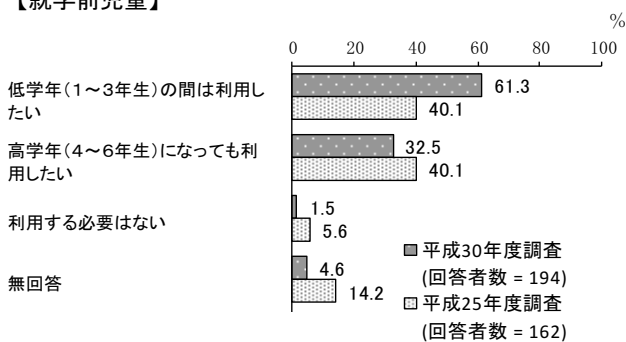


問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。
 なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。
 (就学前児童：問20、就学児童：問11)

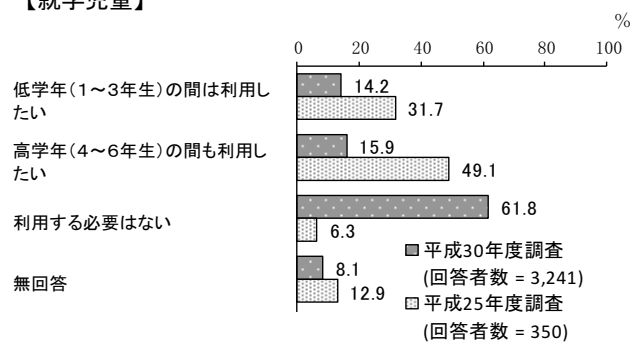
就学前児童では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が61.3%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が32.5%となっています。

就学児童では、「利用する必要はない」の割合が61.8%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）の間も利用したい」の割合が15.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が14.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

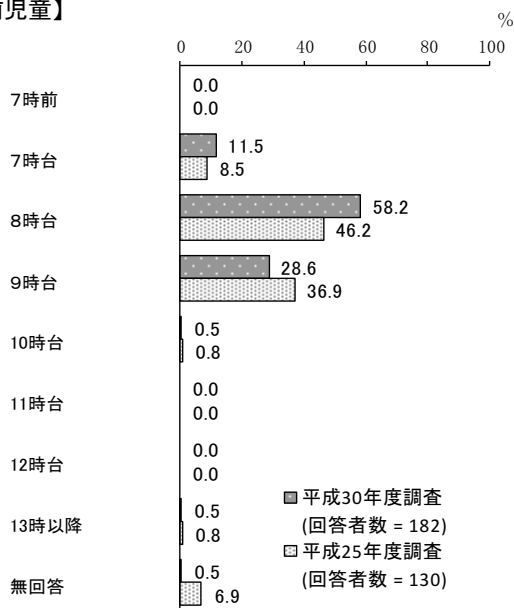


利用開始時刻

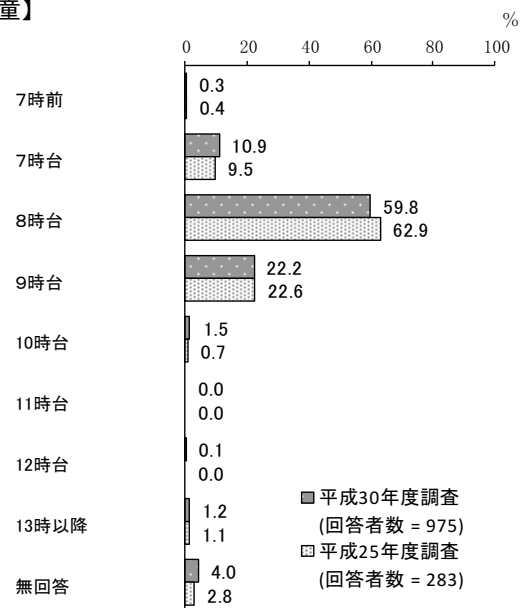
就学前児童では、「8時台」の割合が58.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が28.6%、「7時台」の割合が11.5%となっています。

就学児童では、「8時台」の割合が59.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が22.2%、「7時台」の割合が10.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

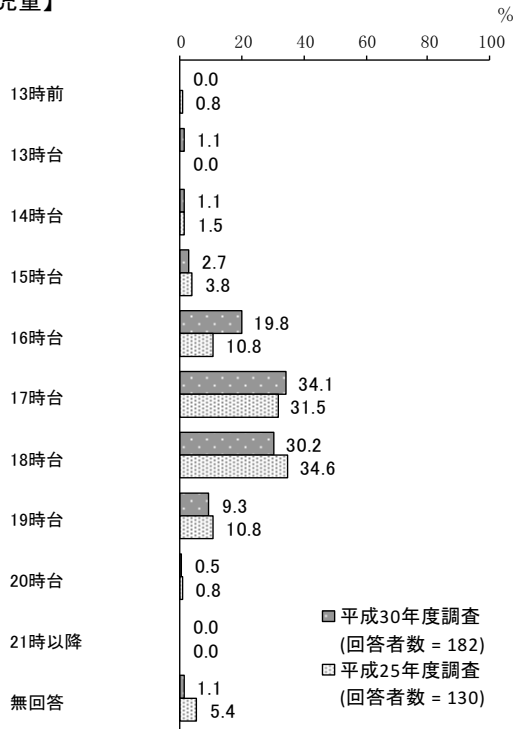


利用終了時刻

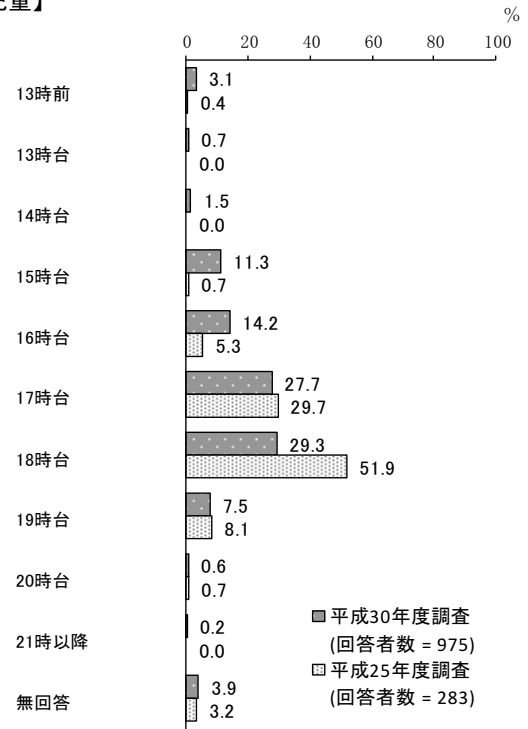
就学前児童では、「17時台」の割合が34.1%と最も高く、次いで「18時台」の割合が30.2%、「16時台」の割合が19.8%となっています。

就学児童では、「18時台」の割合が29.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.7%、「16時台」の割合が14.2%となっています。

【就学前児童】

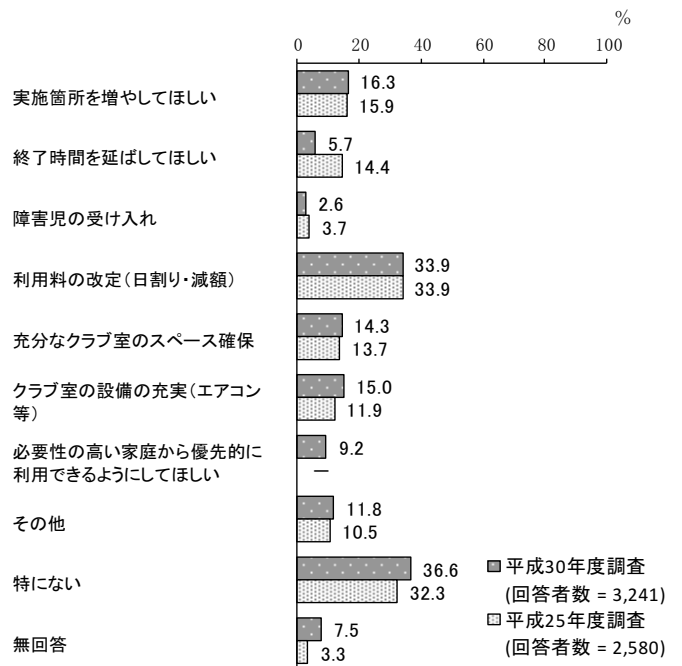


【就学児童】



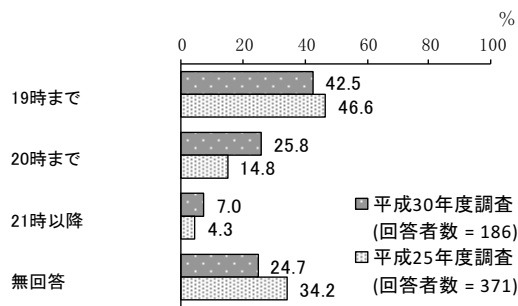
問 放課後児童クラブについて、今後期待することは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問12)

就学児童では、「特にない」の割合が36.6%と最も高く、次いで「利用料の改定(日割り・減額)」の割合が33.9%、「実施箇所を増やしてほしい」の割合が16.3%となっています。



希望終了時刻

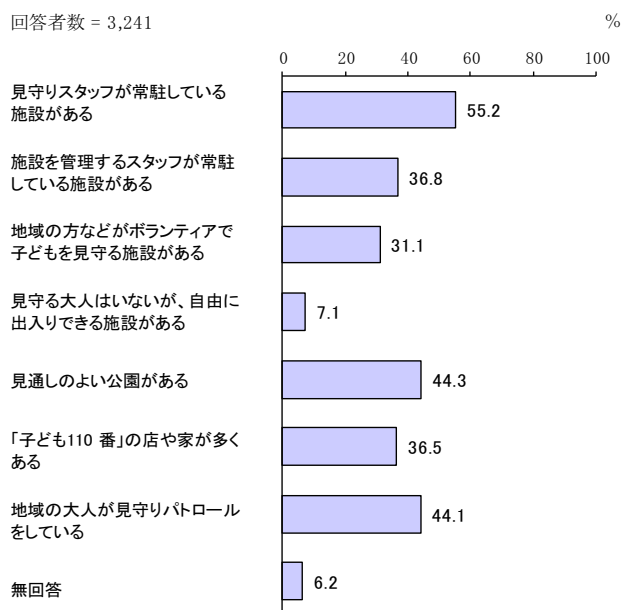
就学児童では、「19時まで」の割合が42.5%と最も高く、次いで「20時まで」の割合が25.8%となっています。



問 放課後に、子どもが安心・安全に過ごせるために望ましいことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学児童：問13)

就学児童では、「見守りスタッフが常駐している施設がある」の割合が55.2%と最も高く、次いで「見通しのよい公園がある」の割合が44.3%、「地域の大人が見守りパトロールをしている」の割合が44.1%となっています。

回答者数 = 3,241

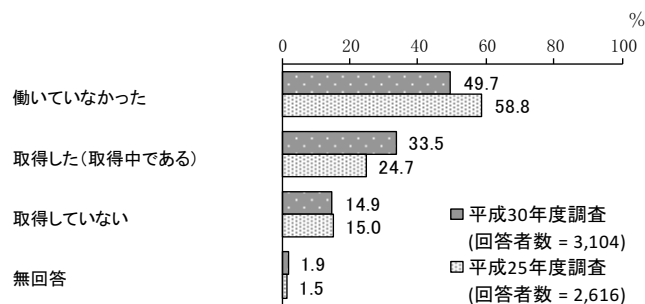


(9) 育児休業の取得状況

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (就学前児童：問21)

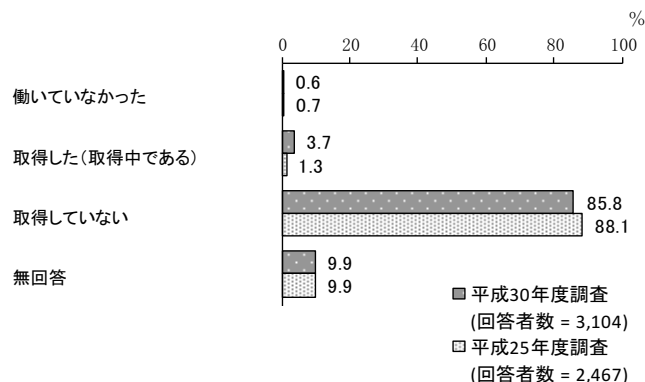
(1) 母親

就学前児童で、「働いていなかった」の割合が49.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が33.5%、「取得していない」の割合が14.9%となっています。



(2) 父親

就学前児童で、「取得していない」の割合が85.8%と最も高くなっています。



問 P.97(就学前児童：21)で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方にうかがいます。

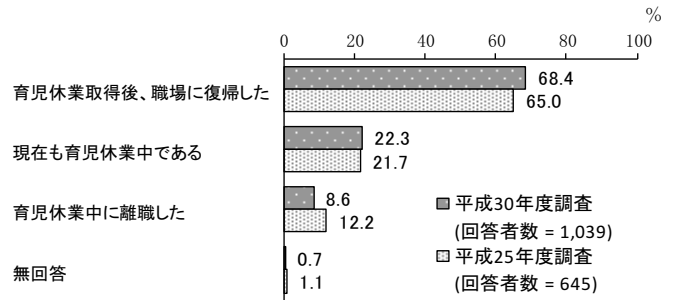
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、職場復帰した方は、希望していた復帰時期と実際の復帰時期を〔 〕内に数字で記入してください。現在育児休業中の方は、現在予定している職場への復帰時期を記入してください。(就学前児童：問21-1)

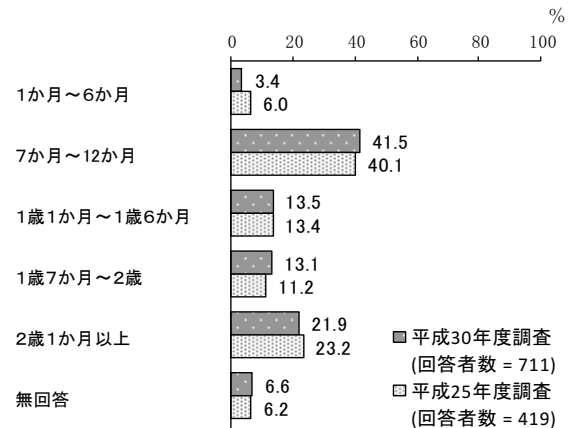
(1) 母親

就学前児童で、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が68.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が22.3%となっています。



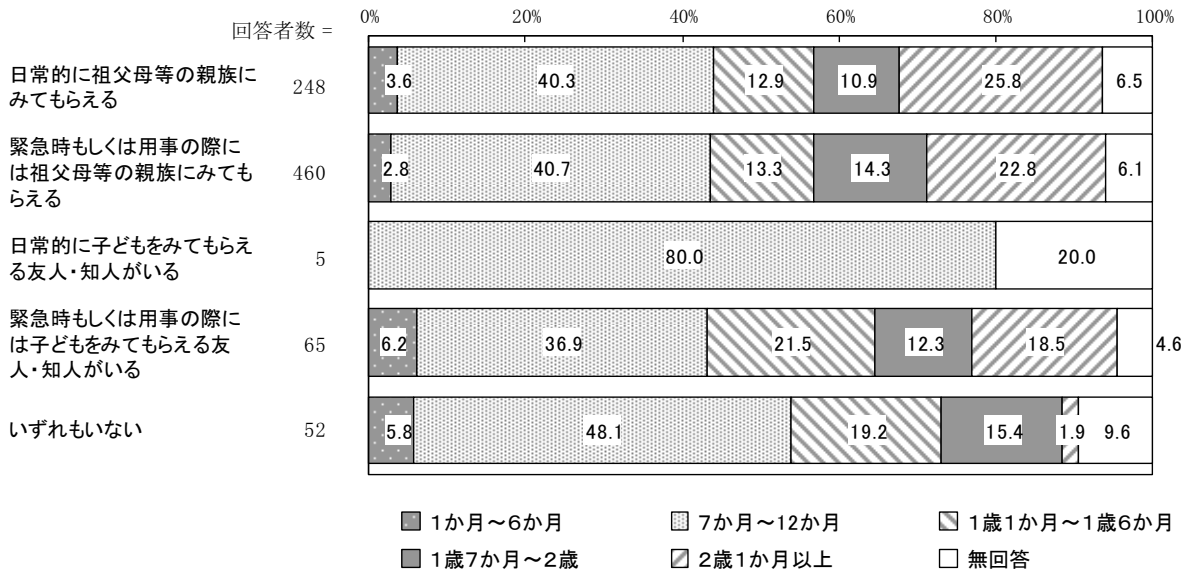
ア 母親の希望の復帰時期

就学前児童で、「7か月～12か月」の割合が41.5%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が21.9%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が13.5%となっています。



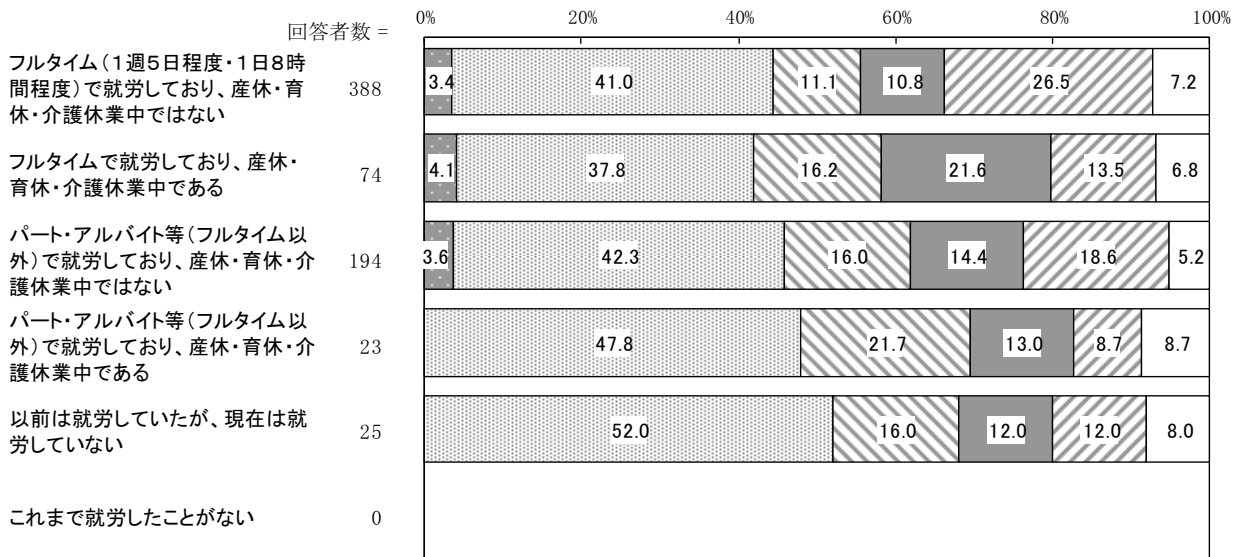
【支援状況別】

支援状況別でみると、就学前児童では、日常的に、または緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる人で「2歳1か月以上」の割合が高くなっています。



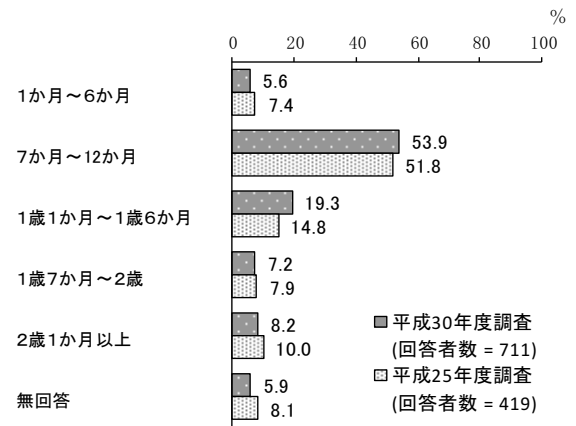
【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、就学前児童ではフルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない人で「2歳1か月以上」の割合が高くなっています。



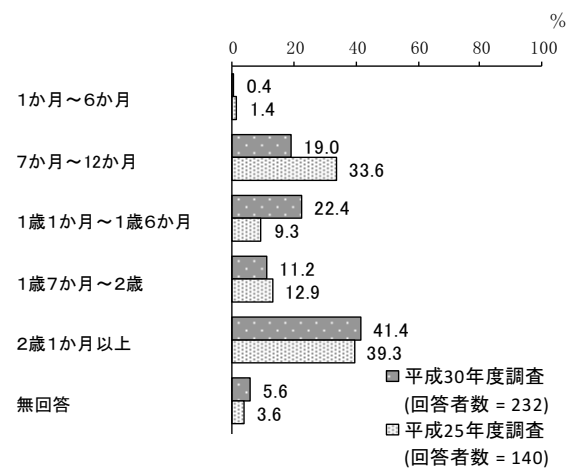
イ 母親の実際の復帰時期

就学前児童で、「7か月～12か月」の割合が53.9%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が19.3%となっています。



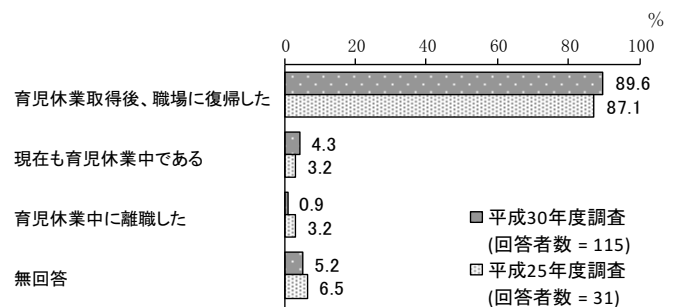
ウ 母親の復帰予定時期

就学前児童で、「2歳1か月以上」の割合が41.4%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が22.4%、「7か月～12か月」の割合が19.0%となっています。



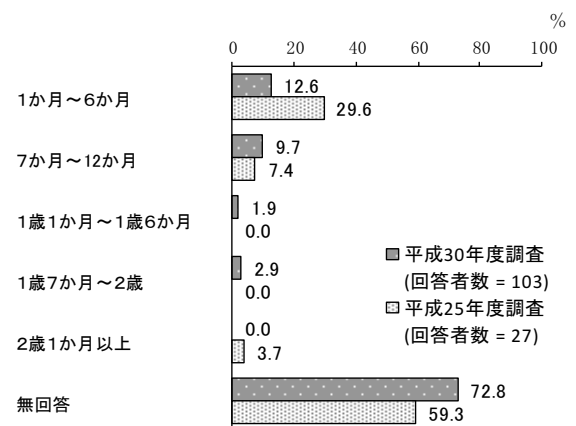
(2) 父親

就学前児童で、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が89.6%と最も高くなっています。



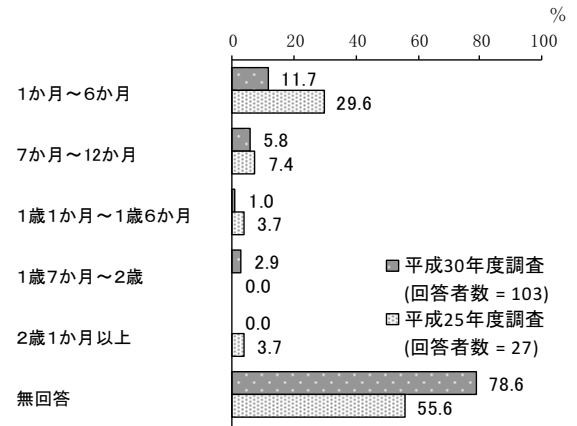
ア 父親の希望の復帰時期

就学前児童で、「1か月～6か月」の割合が12.6%と最も高くなっています。



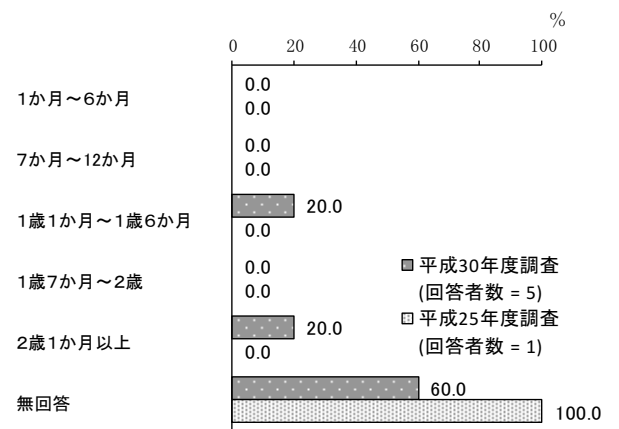
イ 父親 実際の復帰時期

就学前児童で、「1か月～6か月」の割合が11.7%と最も高くなっています。



ウ 父親 復帰予定時期

就学前児童で、「1歳1か月～1歳6か月」、「2歳1か月以上」が20.0%(1件)となっています。

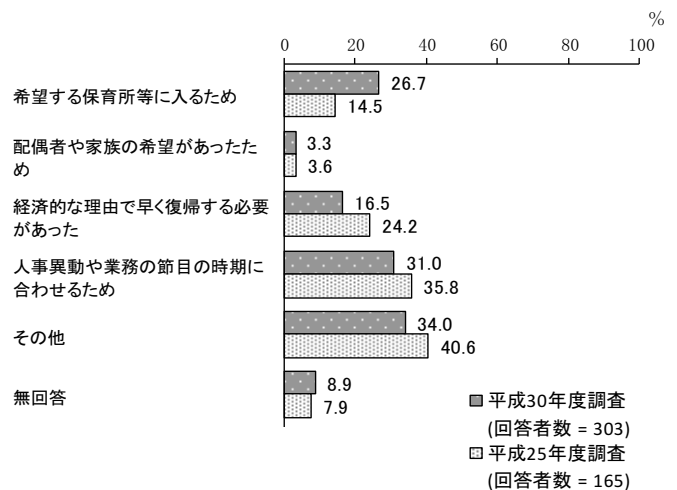


問 P.98(就学前児童：問 21-1)で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方のうち、育児休業の取得期間が希望と実際に異なる方にうかがいます。職場復帰の時期が希望と異なる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 21-2)

(1) 「希望」より早く復帰した方

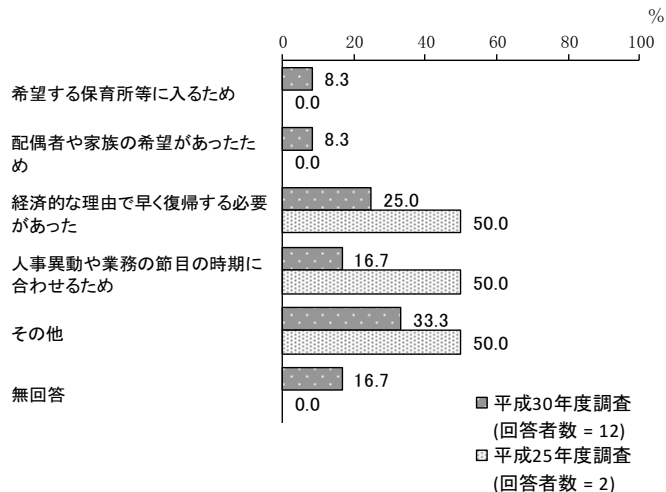
①母親

就学前児童で、「人事異動や業務の節目の時期に合わせて」の割合が31.0%と最も高く、次いで「希望する保育所等に入るため」の割合が26.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が16.5%となっています。



②父親

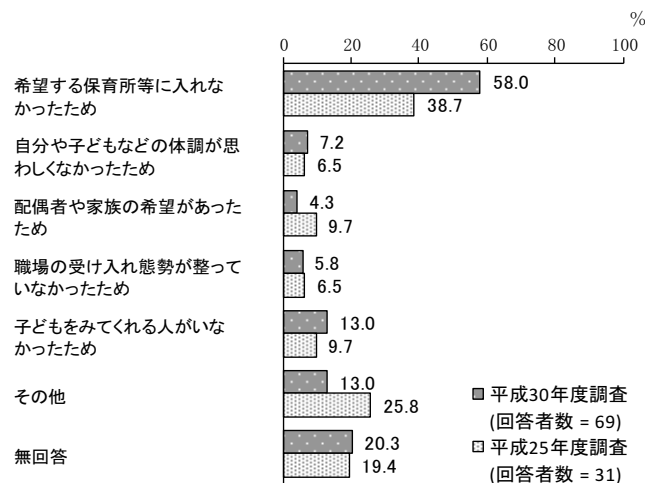
就学前児童で、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が25.0%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が16.7%となっています。



(2)「希望」より遅く復帰した方

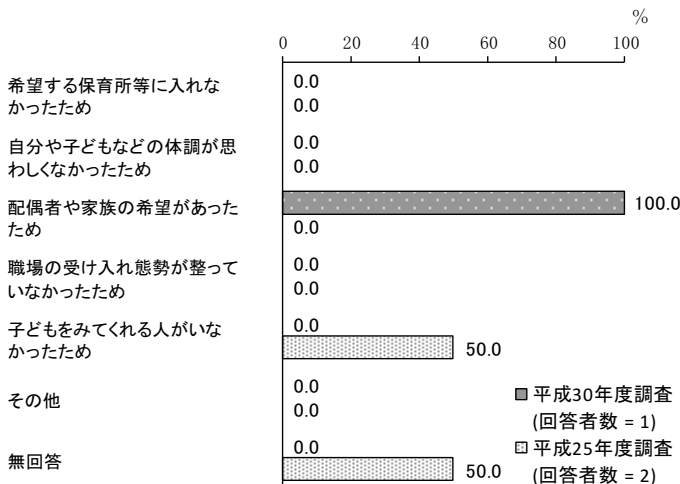
①母親

就学前児童で、「希望する保育所等に入れなかったため」の割合が58.0%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が13.0%となっています。



②父親

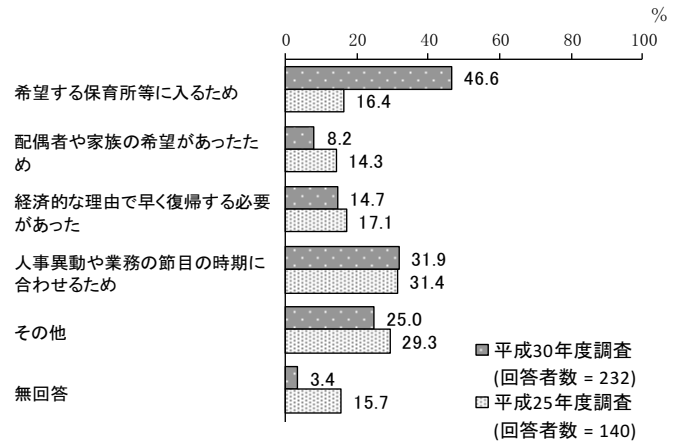
就学前児童で、「配偶者や家族の希望があったため」が100.0% (1件) となっています。



問 P.98(就学前児童：問 21-1)で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方にうかがいます。
 職場への復帰時期を決める理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 21-3)

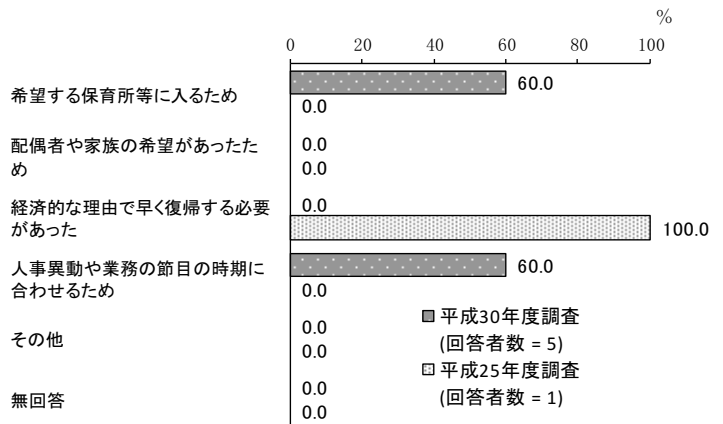
(1) 母親

就学前児童で、「希望する保育所等に入るため」の割合が46.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が31.9%、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」の割合が14.7%となっています。



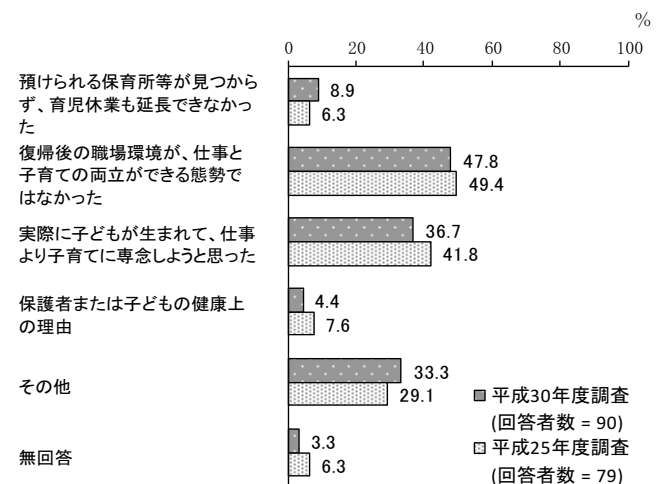
(2) 父親

就学前児童で、「希望する保育所等に入るため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が60.0% (3件) となっています。



問 P.98(就学前児童：問 21-1)で「3. 育児休業中に離職した」と答えた方にうかがいます。
 育児休業中に離職した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 21-4)

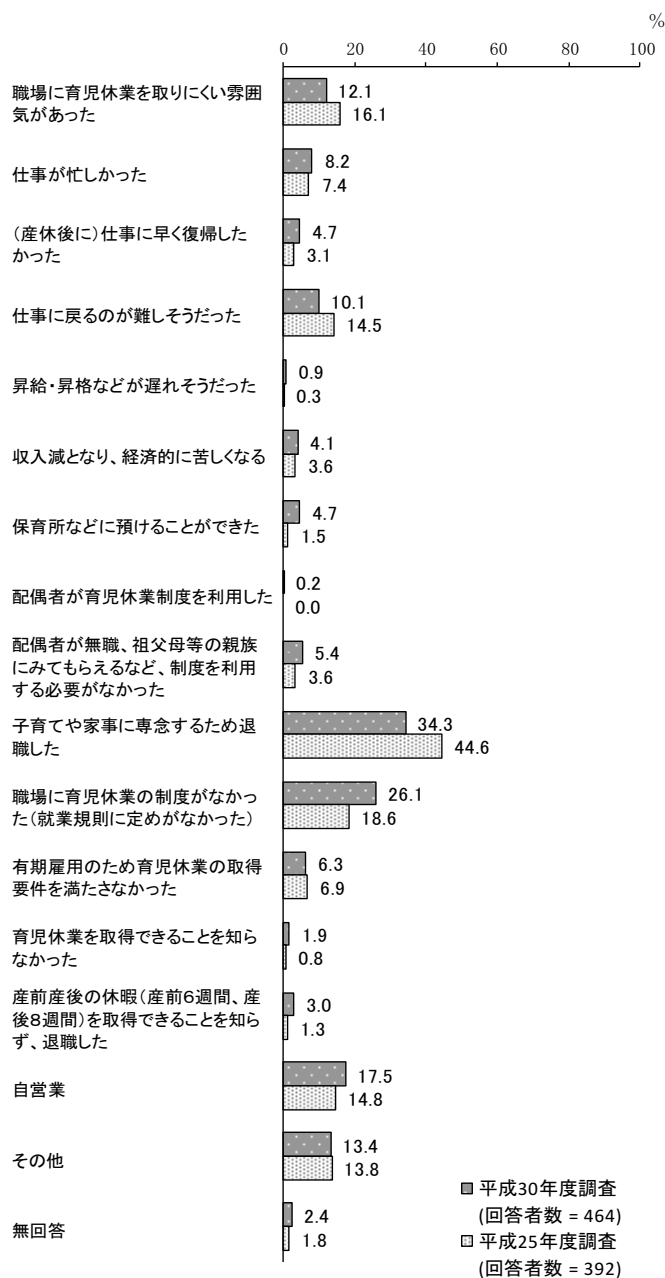
就学前児童で、「復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった」の割合が47.8%と最も高く、次いで「実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った」の割合が36.7%となっています。



問 P.97(就学前児童：21)で「3. 取得していない」と答えた方にうかがいます。
 育児休業を取得していない理由として、母親、父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問21-5)

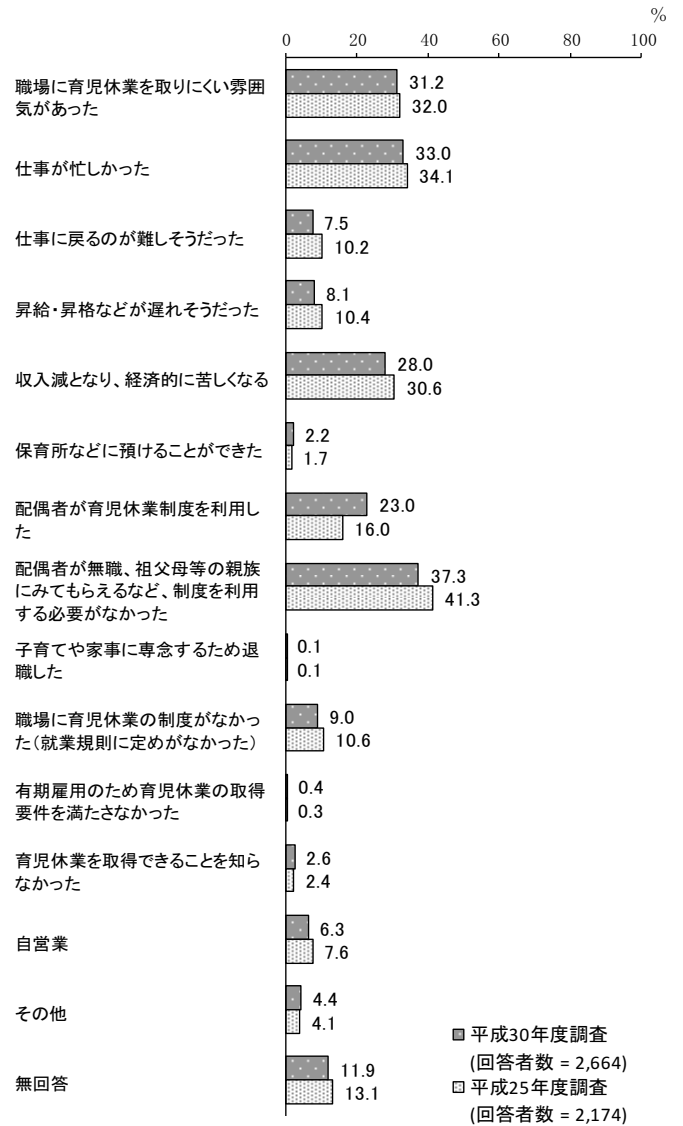
(1) 母親

就学前児童で、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が34.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が26.1%、「自営業」の割合が17.5%となっています。



(2) 父親

就学前児童では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が37.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が33.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が31.2%となっています。



(10) 出産や子育ての考え方

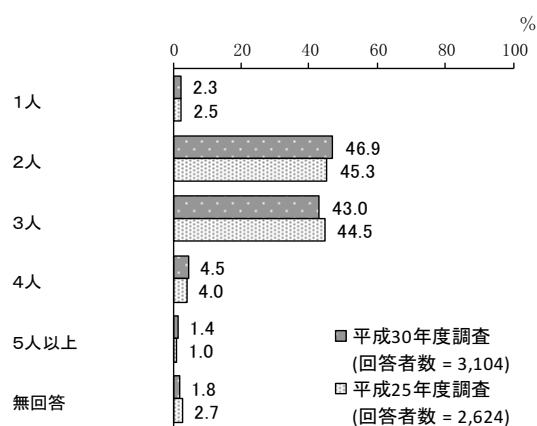
問 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。
（就学前児童：問 22、就学児童：問 18）

1. 理想とする子どもの数

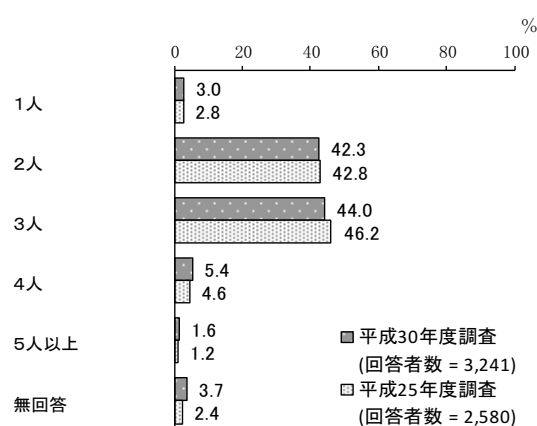
就学前児童では、「2人」の割合が46.9%と最も高く、次いで「3人」の割合が43.0%となっています。

就学児童では、「3人」の割合が44.0%と最も高く、次いで「2人」の割合が42.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

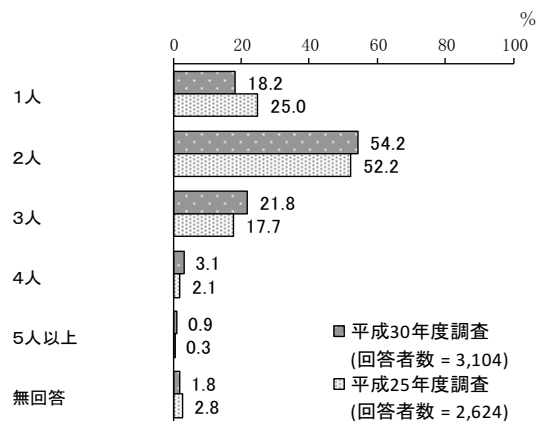


2. 実際（予定）の子どもの数

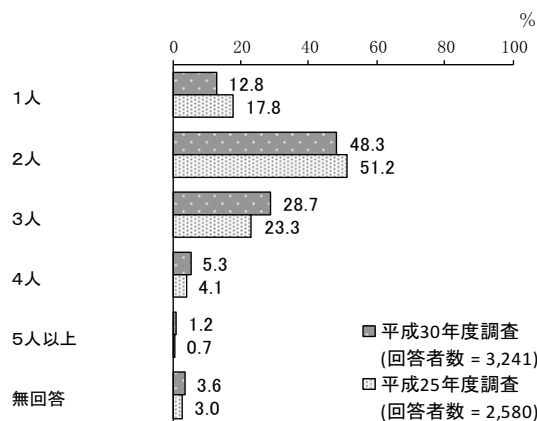
就学前児童では、「2人」の割合が54.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が21.8%、「1人」の割合が18.2%となっています。

就学児童では、「2人」の割合が48.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.7%、「1人」の割合が12.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 P.106(就学前児童：問22、就学児童：問18)の子ども数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。

子どもの数が理想より少ない主な理由は何ですか。

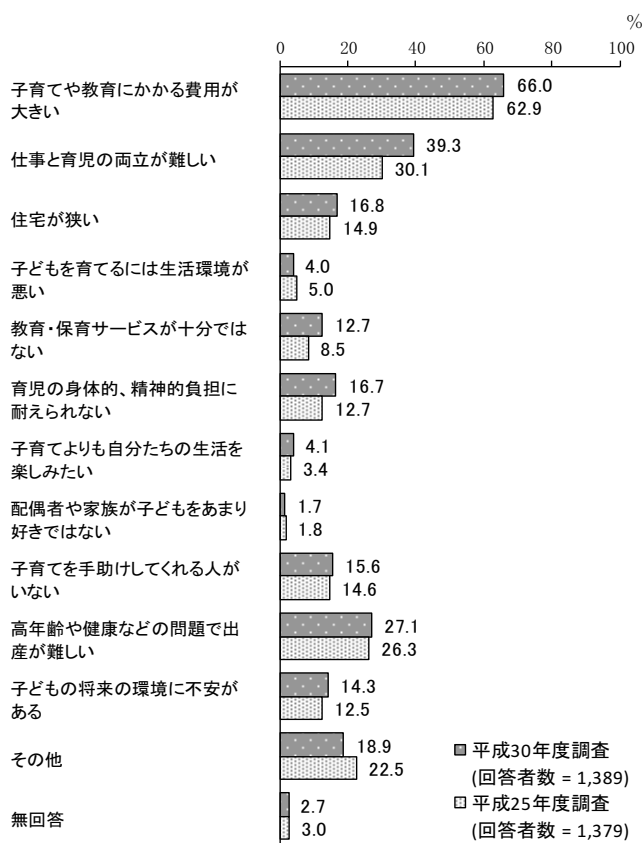
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(就学前児童：問22-1、就学児童：問18-1)

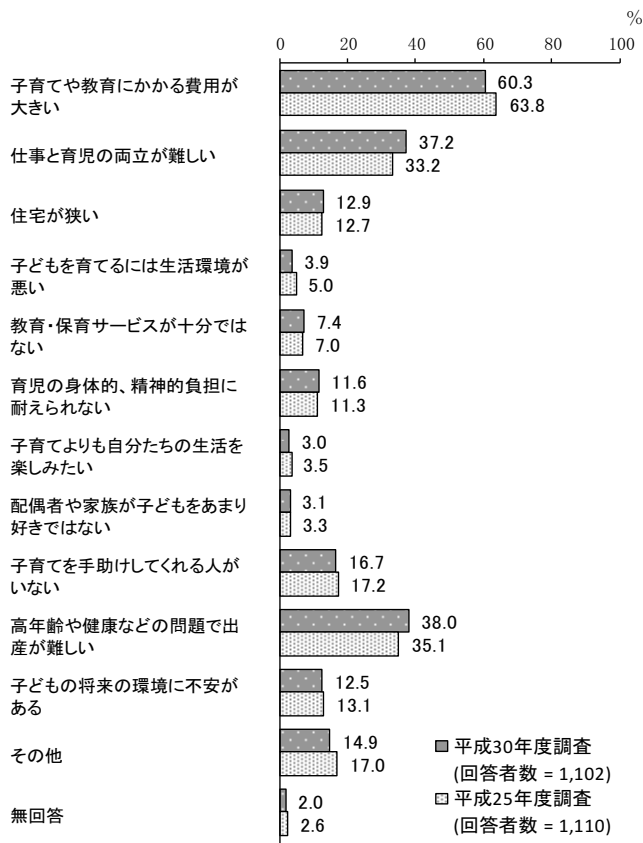
就学前児童では、「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が66.0%と最も高く、次いで「仕事と育児の両立が難しい」の割合が39.3%、「高年齢や健康などの問題で出産が難しい」の割合が27.1%となっています。

就学児童では、「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が60.3%と最も高く、次いで「高年齢や健康などの問題で出産が難しい」の割合が38.0%、「仕事と育児の両立が難しい」の割合が37.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



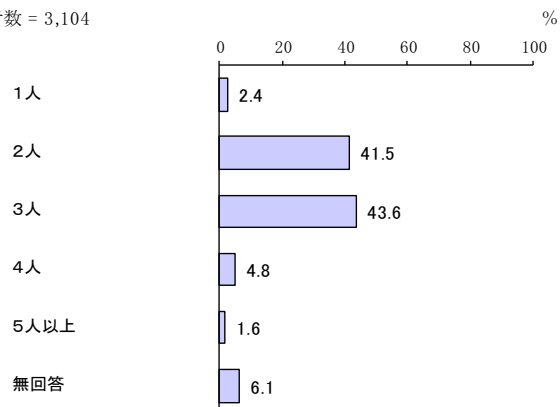
問 「幼児教育の無償化」により、保護者負担利用料が無償化された場合についてうかがいます。

「幼児教育の無償化」により、理想とする子どもの数と、予定している子どもの数に変化はありますか。(就学前児童：問23)

1. 理想とする子どもの数

就学前児童では、「3人」の割合が43.6%と最も高く、次いで「2人」の割合が41.5%となっています。

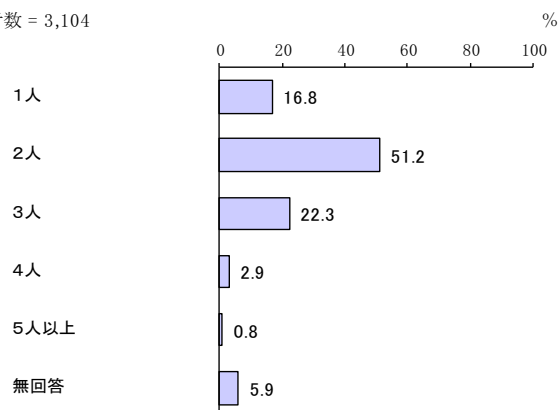
回答者数 = 3,104



2. 実際（予定）の子どもの数

就学前児童では、「2人」の割合が51.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が22.3%、「1人」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 3,104



問 「幼児教育の無償化」により、お子さんの教育・保育施設の利用希望に変化はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問24)

就学前児童では、「すでに、保育所を利用しており、無償化後も継続して利用する(転園しない)」の割合が41.6%と最も高く、次いで「すでに、幼稚園を利用しており、無償化後も継続して利用する(転園しない)」の割合が20.6%、「以前より、3歳以降になったら幼稚園に入園させるつもりであり、無償化後も希望に変化はない」の割合が12.5%となっています。

回答者数 = 3,104

すでに、幼稚園を利用しているが、無償化後は保育所を利用したい(幼稚園⇒保育所へ転園する)

すでに、幼稚園を利用しており、無償化後も継続して利用する(転園しない)

すでに、保育所を利用しているが、無償化後は幼稚園を利用したい(保育所⇒幼稚園へ転園する。)

すでに、保育所を利用しており、無償化後も継続して利用する(転園しない)

以前より、3歳以降になったら幼稚園に入園させるつもりであり、無償化後も希望に変化はない

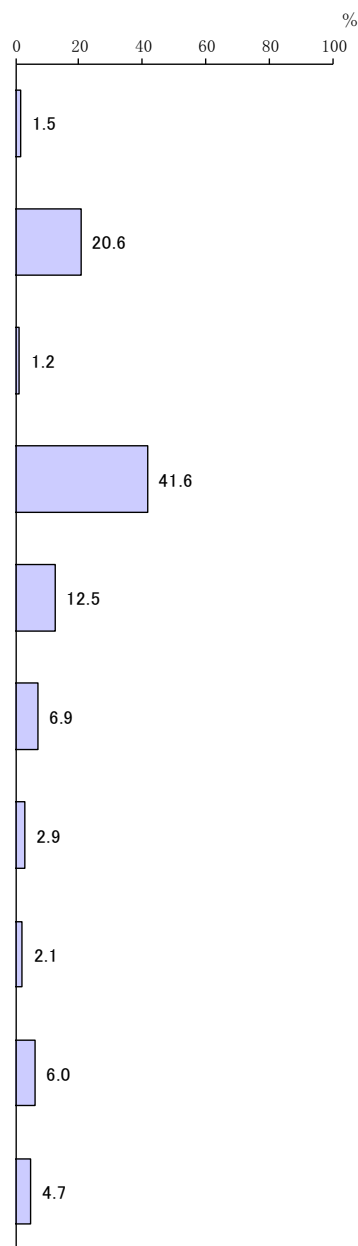
以前より、3歳以降になったら保育所に入園させるつもりであり、無償化後も希望に変化はない

以前は、3歳以降になったら、幼稚園、保育所に入園させるつもりでいたが、無償化になるので3歳になる前から保育所に入園させようと思う

以前より、3歳になる前に保育所に入園させるつもりでいたが、無償化になるので、もっと早い段階で入園させようと思う

その他

無回答



無償化になるので3歳になる前から入園希望時の子どもの年齢

就学前児童では、「1歳7か月～2歳」の割合が30.0%と最も高く、次いで「2歳7か月～2歳11か月」の割合が16.7%、「2歳1か月～2歳6か月」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 90

1か月～6か月

7か月～12か月

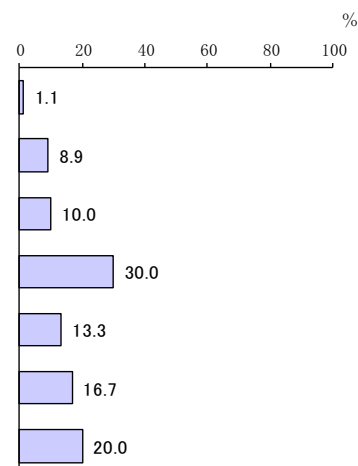
1歳1か月～1歳6か月

1歳7か月～2歳

2歳1か月～2歳6か月

2歳7か月～2歳11か月

無回答

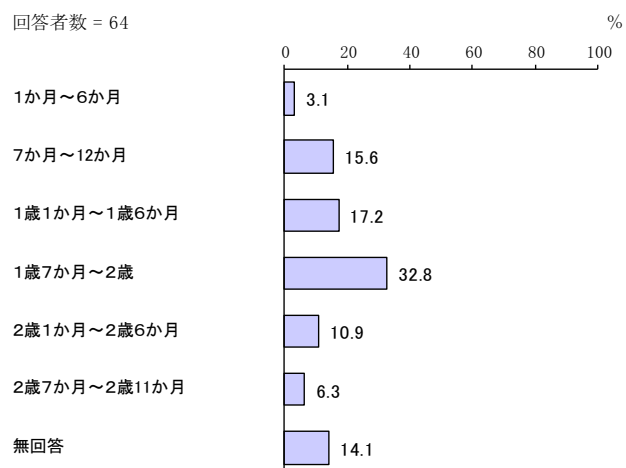


無償化になるのもっと早い段階から

入園希望時の子どもの年齢

就学前児童では、「1歳7か月～2歳」の割合が32.8%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が17.2%、「7か月～12か月」の割合が15.6%となっています。

回答者数 = 64



問 男性と女性が一緒に家事・子育て・教育をすることができ、育児をしながら働き続けることができるためには何が必要だと思いますか。母親と父親それぞれの考えについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(就学前児童：問 25、就学児童：問 19)

(1) 母親

就学前児童では、「夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う」の割合が81.5%と最も高く、次いで「育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する」の割合が59.3%、「男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う」の割合が58.5%となっています。

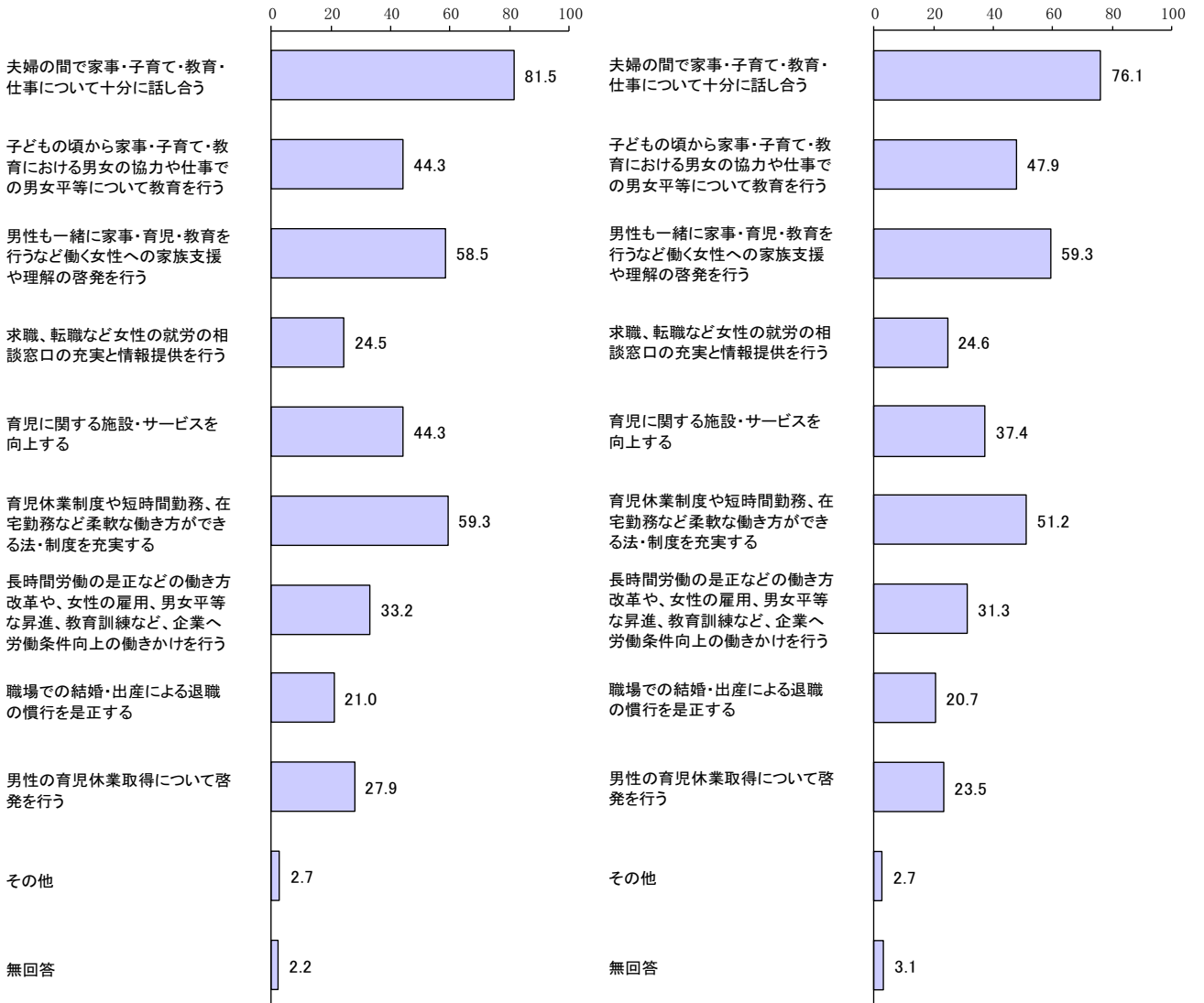
就学児童では、「夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う」の割合が76.1%と最も高く、次いで「男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う」の割合が59.3%、「育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する」の割合が51.2%となっています。

【就学前児童】

【就学児童】

回答者数 = 3,102

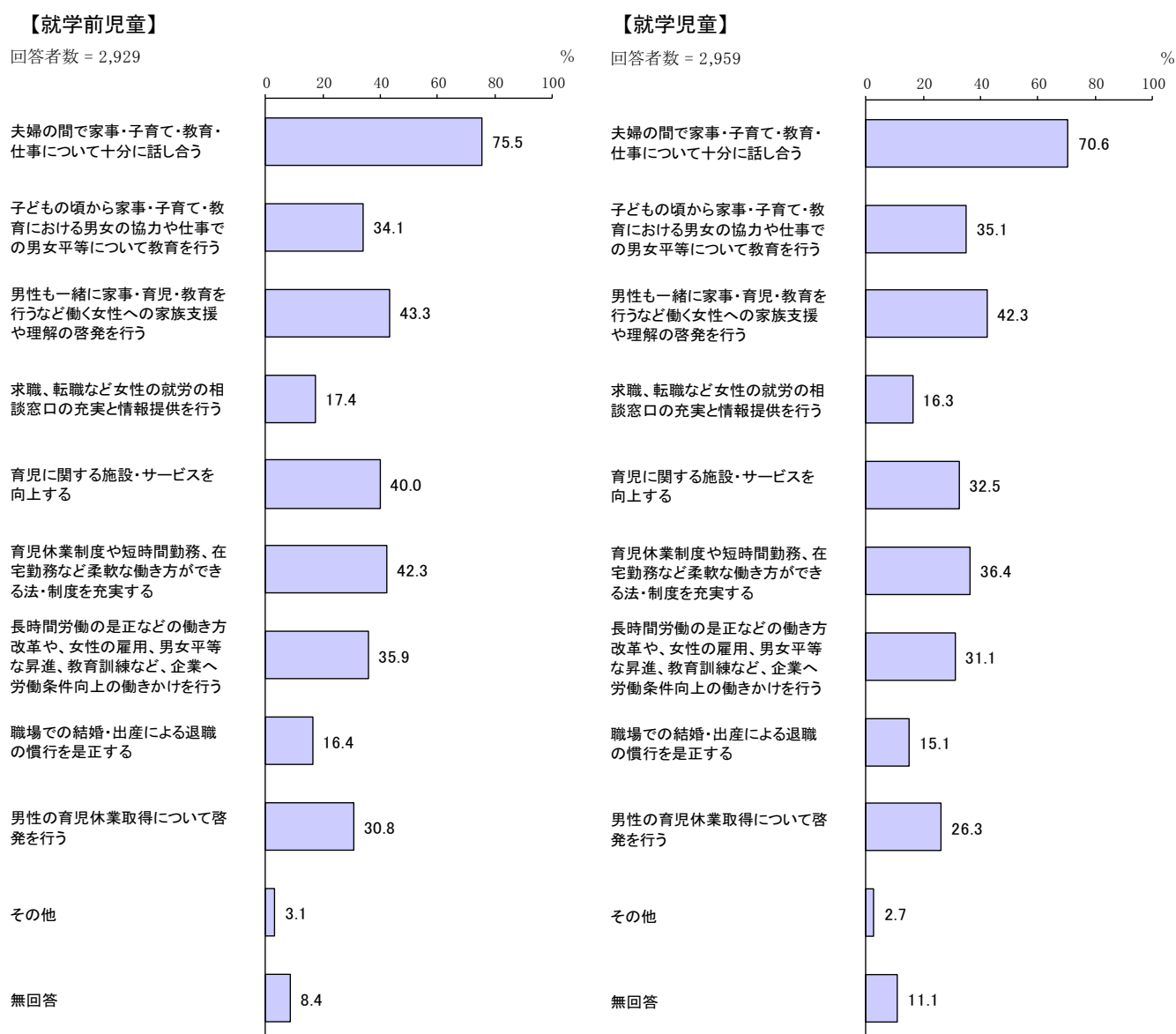
回答者数 = 3,204



(2) 父親

就学前児童では、「夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う」の割合が75.5%と最も高く、次いで「男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う」の割合が43.3%、「育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する」の割合が42.3%となっています。

就学児童では、「夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う」の割合が70.6%と最も高く、次いで「男性も一緒に家事・育児・教育を行うなど働く女性への家族支援や理解の啓発を行う」の割合が42.3%、「育児休業制度や短時間勤務、在宅勤務など柔軟な働き方ができる法・制度を充実する」の割合が36.4%となっています。



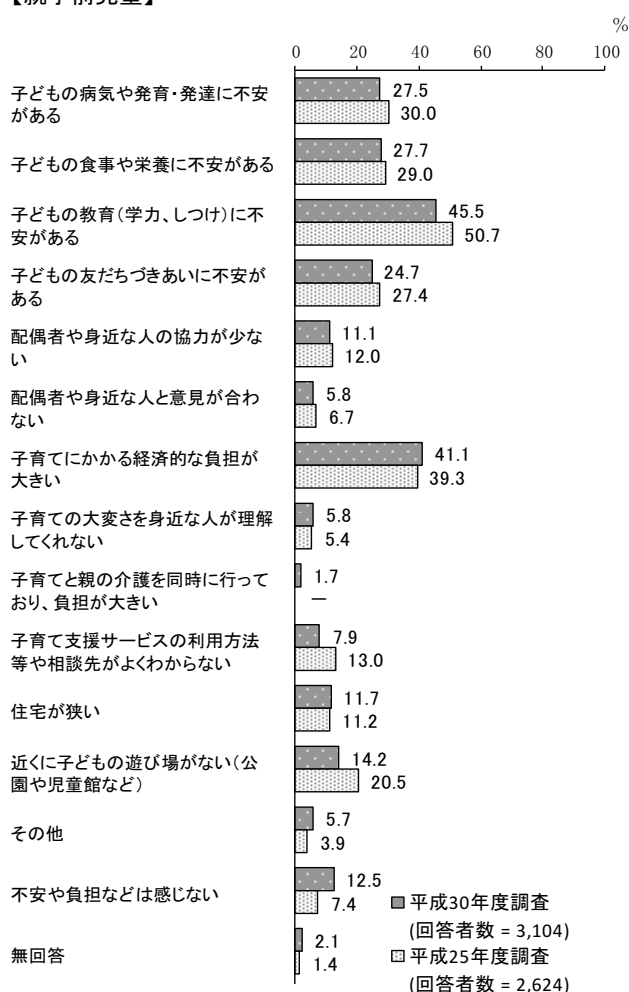
(11) 子育てに関する悩みや不安感

問 子育てに関して、不安などを感じることはありますか。
 当てはまる番号すべてに○を付けてください。(就学前児童：問 26、就学児童：問 20)

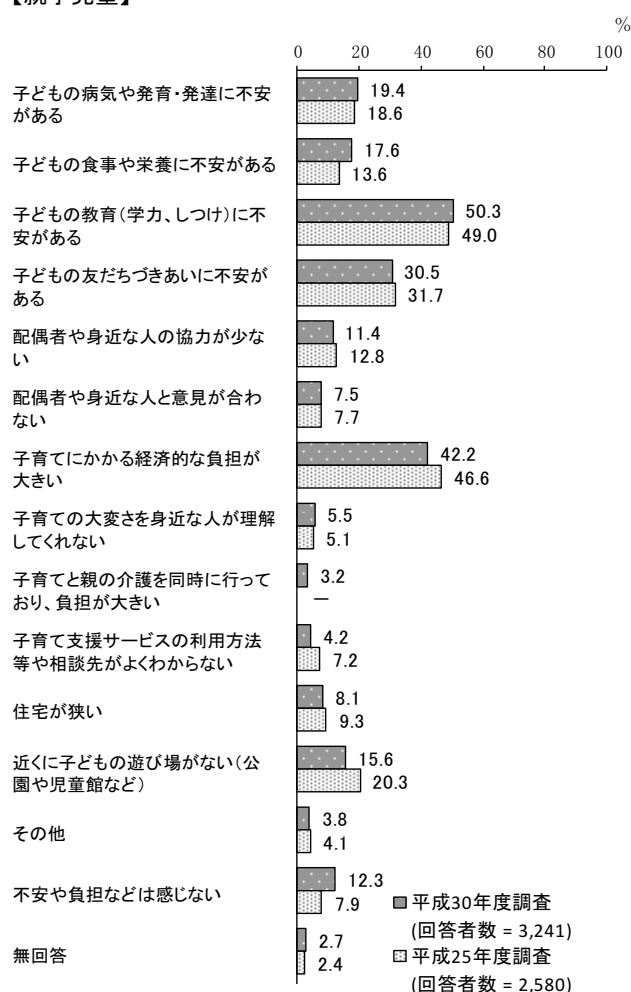
就学前児童では、「子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある」の割合が45.5%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が41.1%、「子どもの食事や栄養に不安がある」の割合が27.7%となっています。

就学児童では、「子どもの教育(学力、しつけ)に不安がある」の割合が50.3%と最も高く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」の割合が42.2%、「子どもの友だちづきあいに不安がある」の割合が30.5%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 子育てをする上で、母親と父親それぞれの体調やお気持ちなどについてお答えください。①～⑨について1つずつ○をつけてください。配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。
(就学前児童：問 27、就学児童：問 21)

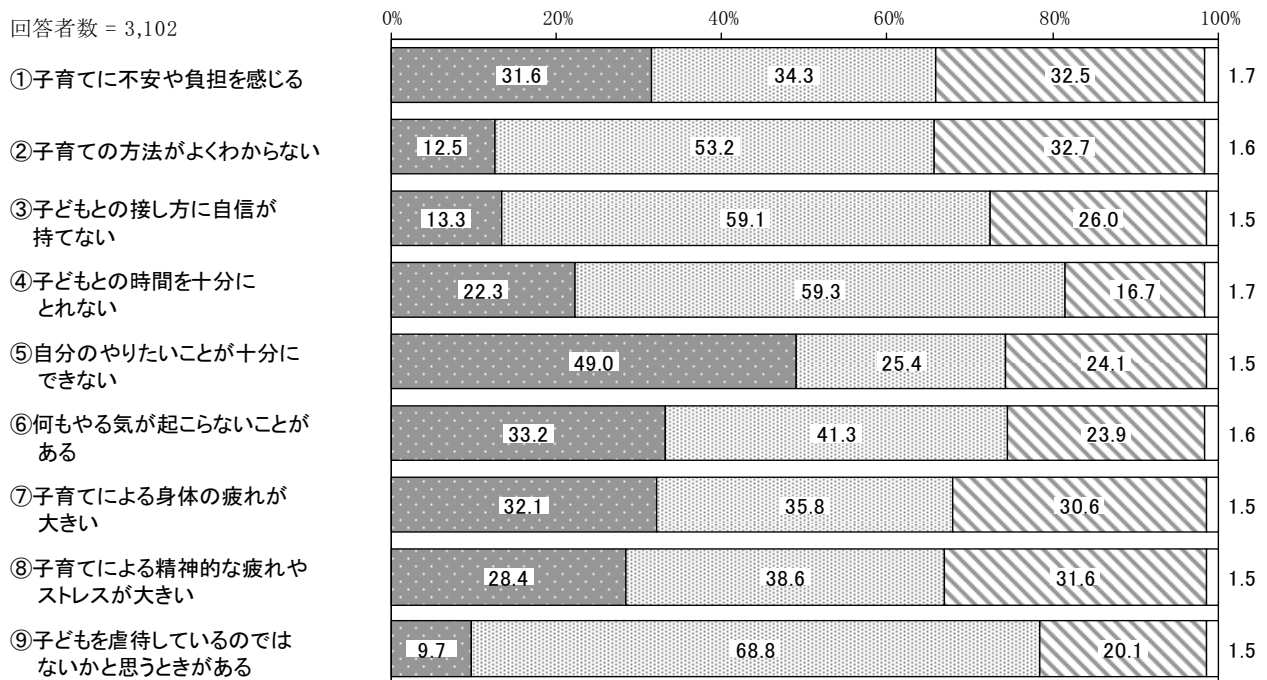
(1) 母親

就学前児童、就学児童ともに、⑤自分のやりたいことが十分にできないで「そう思う」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

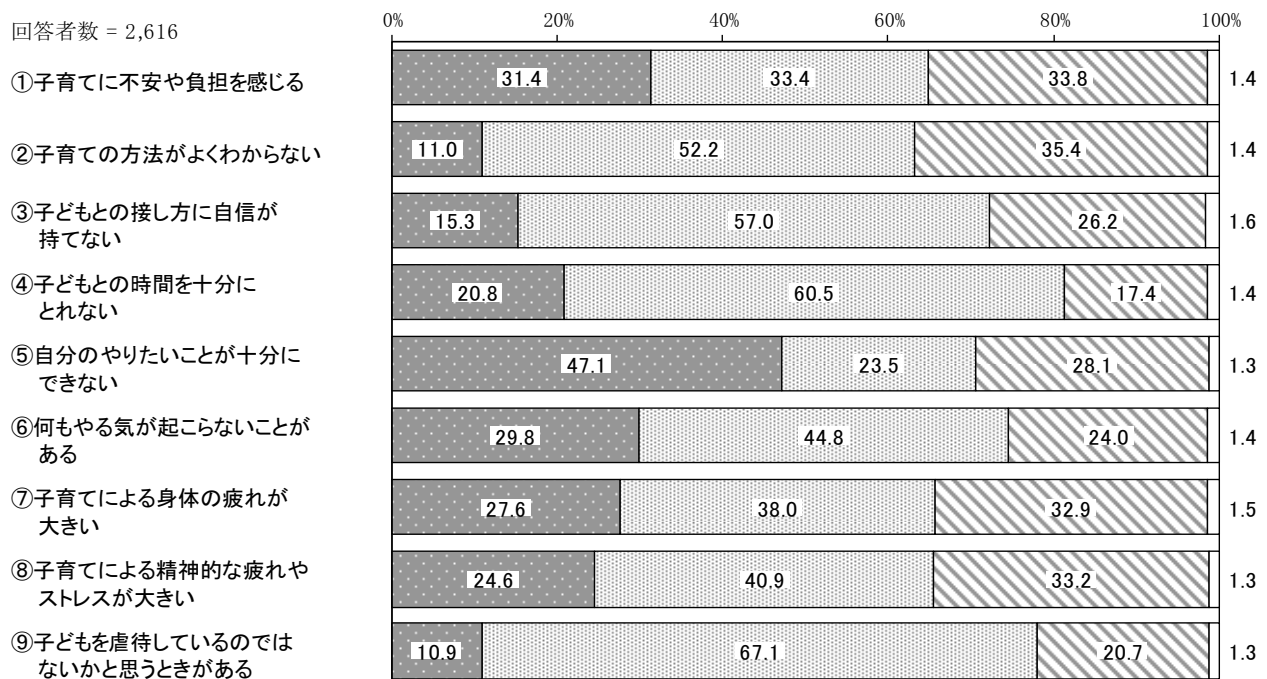
平成 30 年度調査

回答者数 = 3,102



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,616



■ そう思う □ そう思わない ▨ どちらとも言えない □ 無回答

(2) 父親

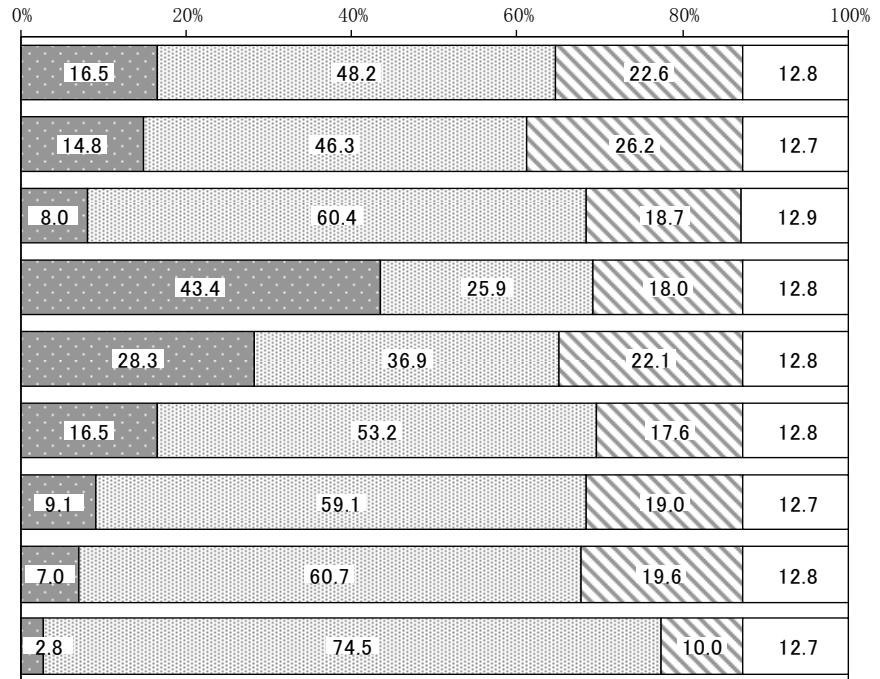
就学前児童、就学児童ともに、④子どもとの時間を十分にとれないで「そう思う」の割合が高くなっています。

【就学児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 2,929

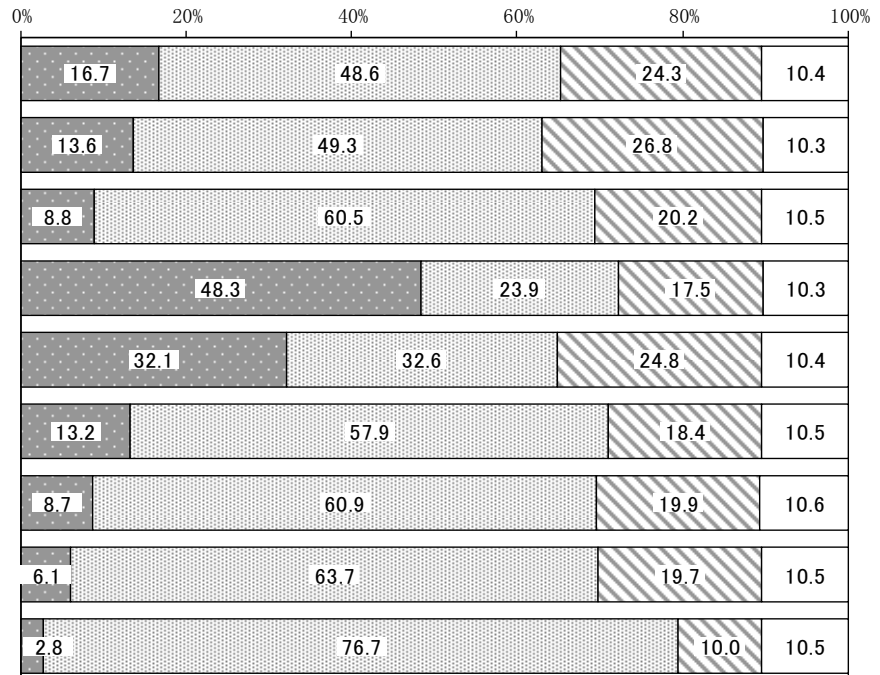
- ①子育てに不安や負担を感じる
- ②子育ての方法がよくわからない
- ③子どもとの接し方に自信が持てない
- ④子どもとの時間を十分にとれない
- ⑤自分のやりたいことが十分にできない
- ⑥何もやる気が起こらないことがある
- ⑦子育てによる身体の疲れが大きい
- ⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい
- ⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,467

- ①子育てに不安や負担を感じる
- ②子育ての方法がよくわからない
- ③子どもとの接し方に自信が持てない
- ④子どもとの時間を十分にとれない
- ⑤自分のやりたいことが十分にできない
- ⑥何もやる気が起こらないことがある
- ⑦子育てによる身体の疲れが大きい
- ⑧子育てによる精神的な疲れやストレスが大きい
- ⑨子どもを虐待しているのではないかと思うときがある



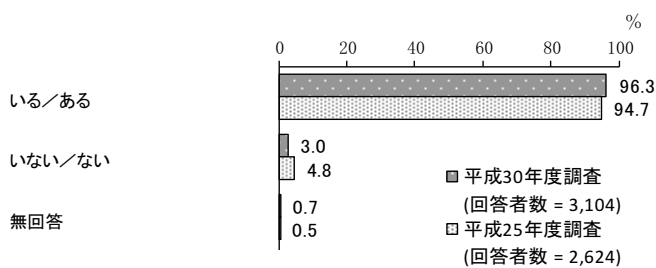
■ そう思う ■ そう思わない ■ どちらとも言えない □ 無回答

問 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。（就学前児童：問28、就学児童：問22）

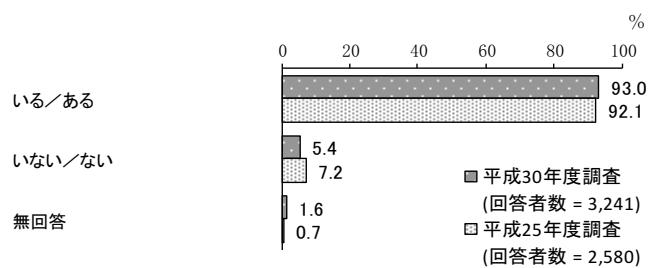
就学前児童では、「いる／ある」の割合が96.3%、「いない／ない」の割合が3.0%となっています。

就学児童では、「いる／ある」の割合が93.0%、「いない／ない」の割合が5.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 P.106 (就学前児童：問 28、就学児童：問 22) で「1. いる/ある」に○をつけた方
 にかがいます。

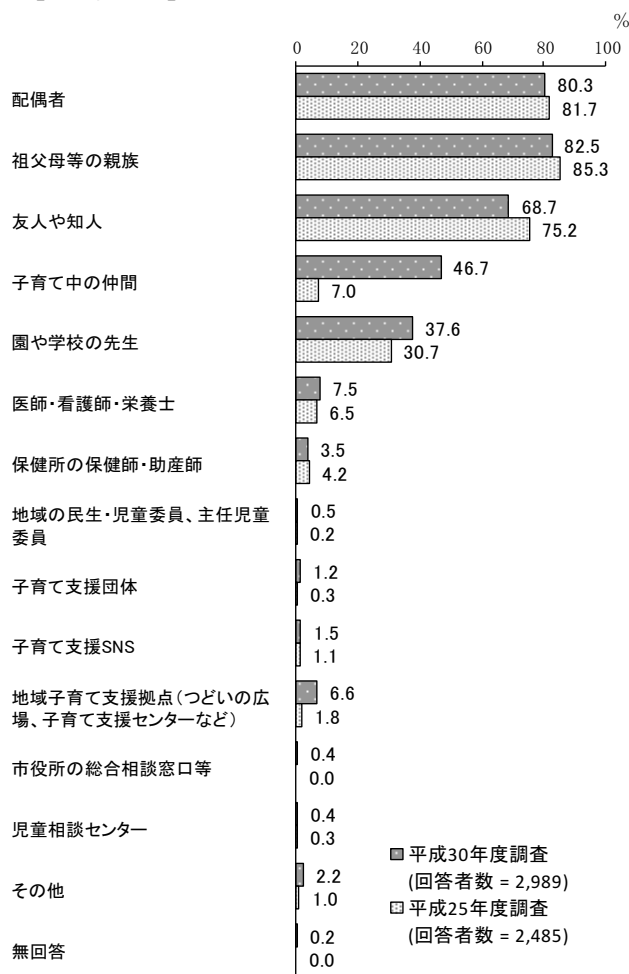
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)で
 ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(就学前児童：問 28-1、就学児童：問 22-1)

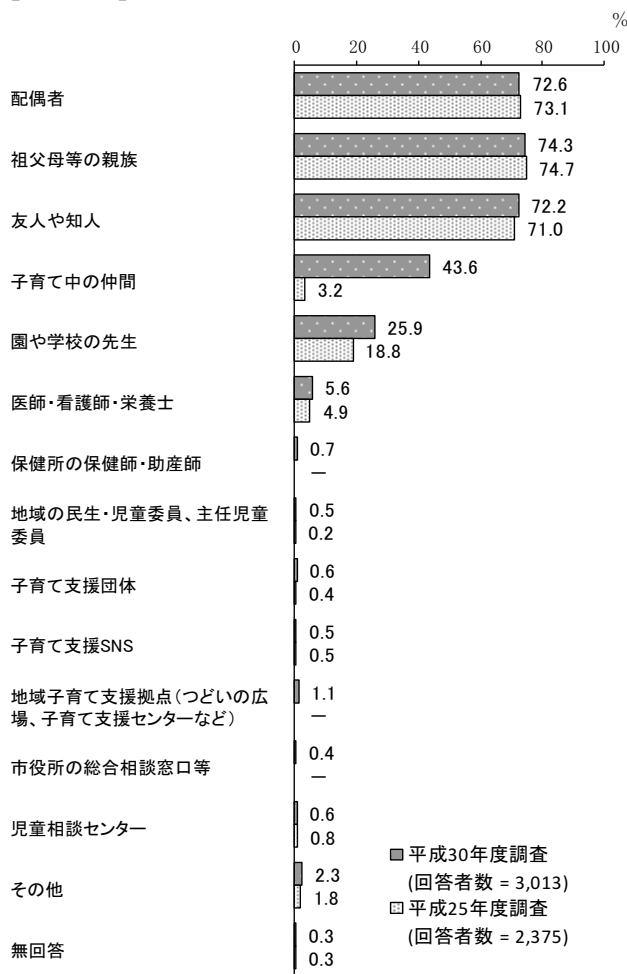
就学前児童では、「祖父母等の親族」の割合が 82.5%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が
 80.3%、「友人や知人」の割合が 68.7%となっています。

就学児童では、「祖父母等の親族」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が
 72.6%、「友人や知人」の割合が 72.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

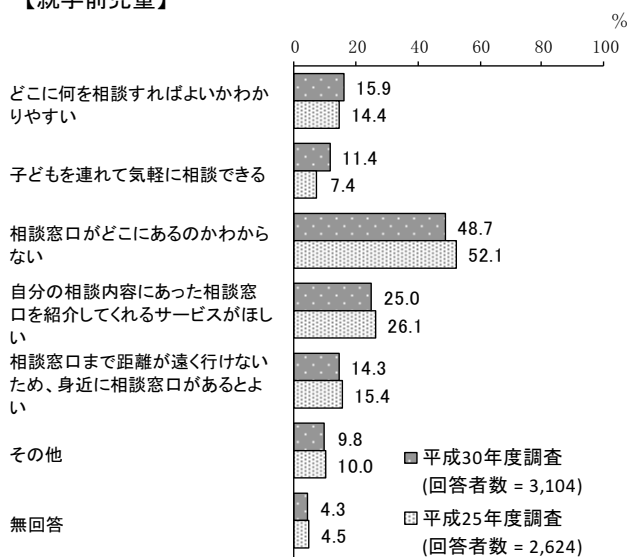


問 すべての方にうかがいます。
 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけて
 ください。(就学前児童：問 29、就学児童：問 23)

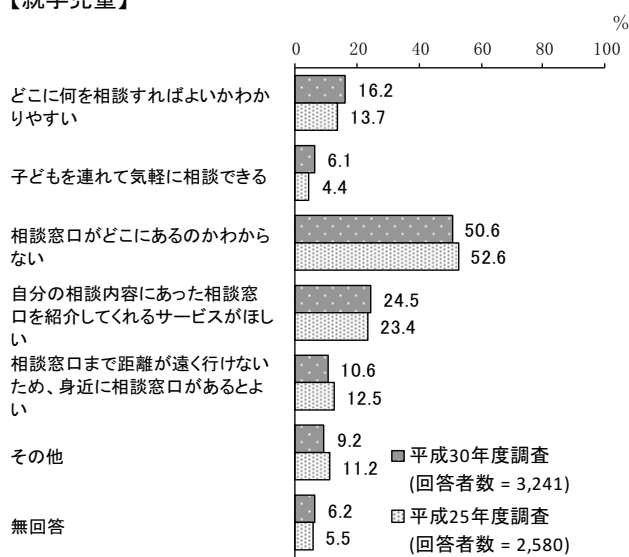
就学前児童では、「相談窓口がどこにあるのかわからない」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい」の割合が 25.0%、「どこに何を相談すればよいかわかりやすい」の割合が 15.9%となっています。

就学児童では、「相談窓口がどこにあるのかわからない」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい」の割合が 24.5%、「どこに何を相談すればよいかわかりやすい」の割合が 16.2%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

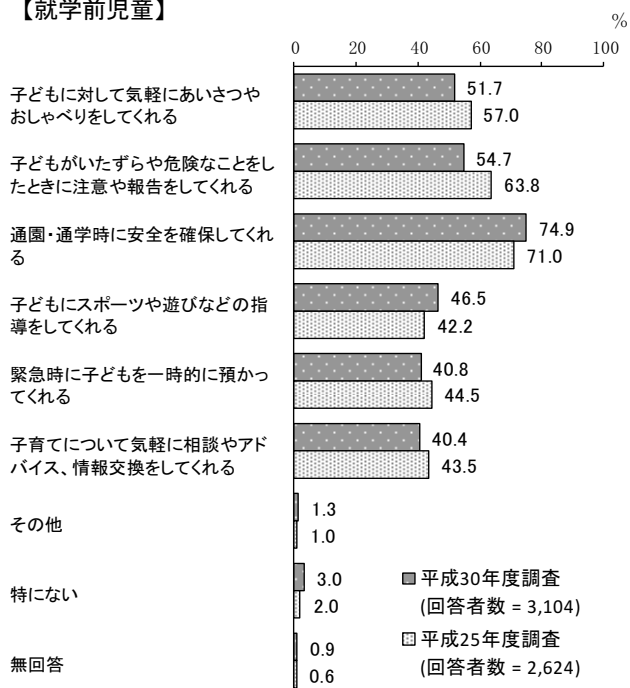


(12) 地域との関わり

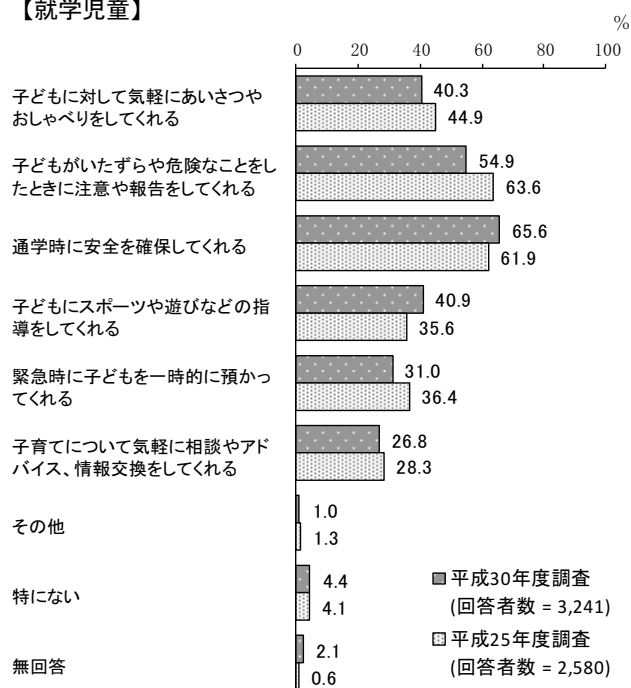
問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。（就学前児童：問 30、就学児童：問 24）

就学前児童では、「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が 74.9%と最も高く、次いで「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が 54.7%、「子どもに対して気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」の割合が 51.7%となっています。
 就学児童では、「通学時に安全を確保してくれる」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる」の割合が 54.9%、「子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる」の割合が 40.9%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

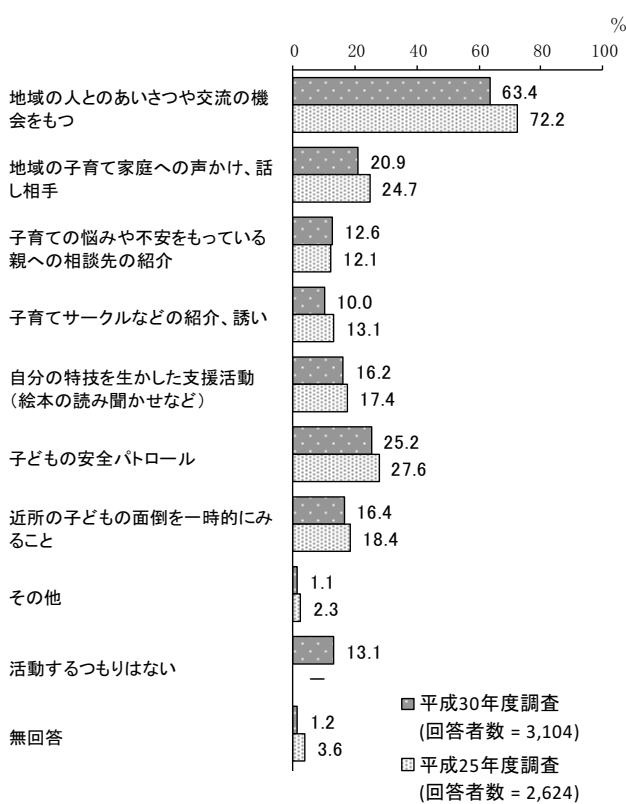


問 あなた自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 （就学前児童：問 31、就学児童：問 25）

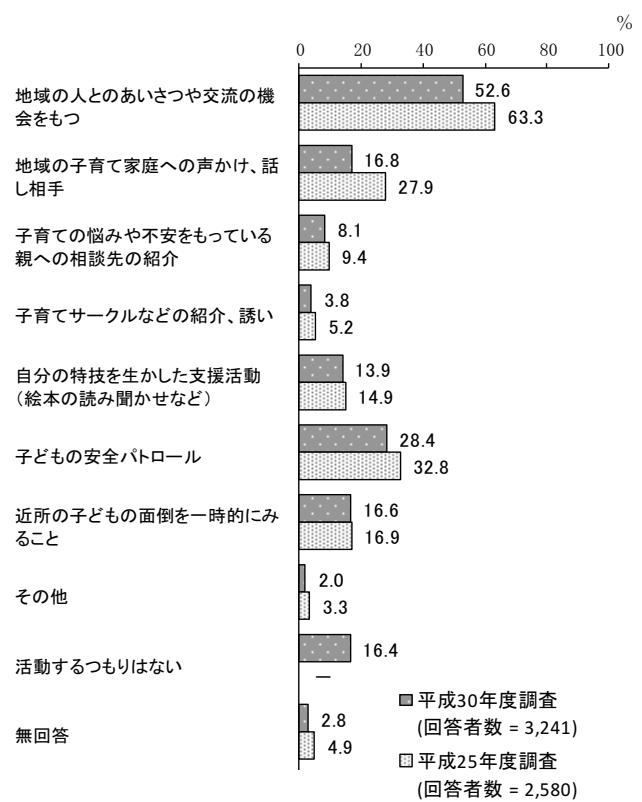
就学前児童では、「地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「子どもの安全パトロール」の割合が 25.2%、「地域の子育て家庭への声かけ、話し相手」の割合が 20.9%となっています。

就学児童では、「地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「子どもの安全パトロール」の割合が 28.4%、「地域の子育て家庭への声かけ、話し相手」の割合が 16.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



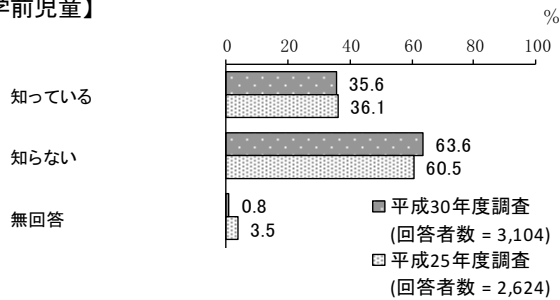
問 豊橋市内には様々な子育て支援団体がありますが、次の（１）～（３）について、当てはまる番号１つに○をつけてください。（就学前児童：問 32、就学児童：問 26）

（１）市内で活動する子育て支援団体を知っていますか

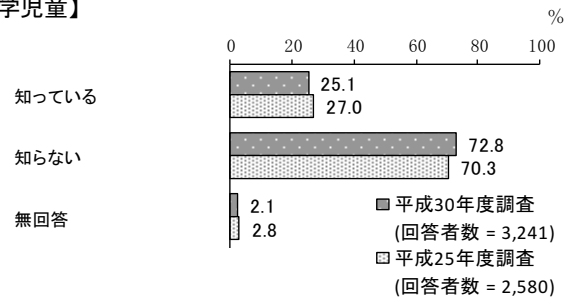
就学前児童では、「知っている」の割合が 35.6%、「知らない」の割合が 63.6%となっています。

就学児童では、「知っている」の割合が 25.1%、「知らない」の割合が 72.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

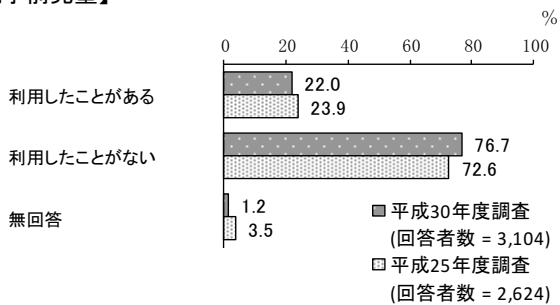


（２）これまでに子育て支援団体の行う支援や活動を利用したことがありますか

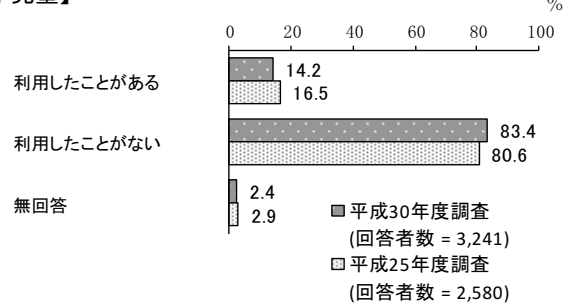
就学前児童では、「利用したことがある」の割合が 22.0%、「利用したことがない」の割合が 76.7%となっています。

就学児童では、「利用したことがある」の割合が 14.2%、「利用したことがない」の割合が 83.4%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

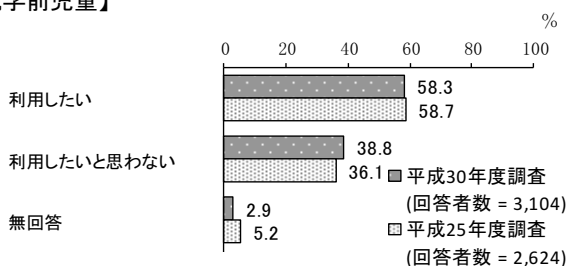


（３）今後、子育て支援団体の行う支援や活動を利用したいですか

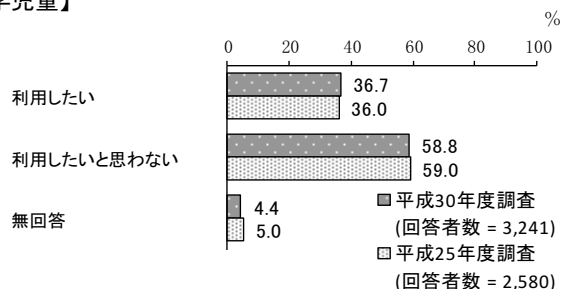
就学前児童では、「利用したい」の割合が 58.3%、「利用したいと思わない」の割合が 38.8%となっています。

就学児童では、「利用したい」の割合が 36.7%、「利用したいと思わない」の割合が 58.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



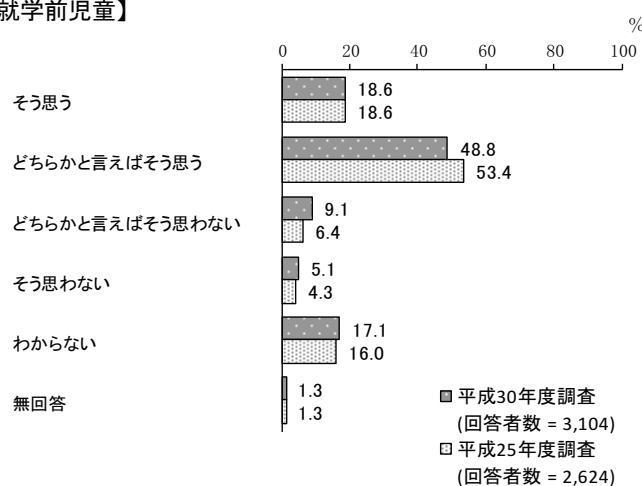
(13) 子育て環境や子育て支援サービス全般

問 豊橋市は子育てする上で住みよいまちだと思いますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。(就学前児童：問33、就学児童：問27)

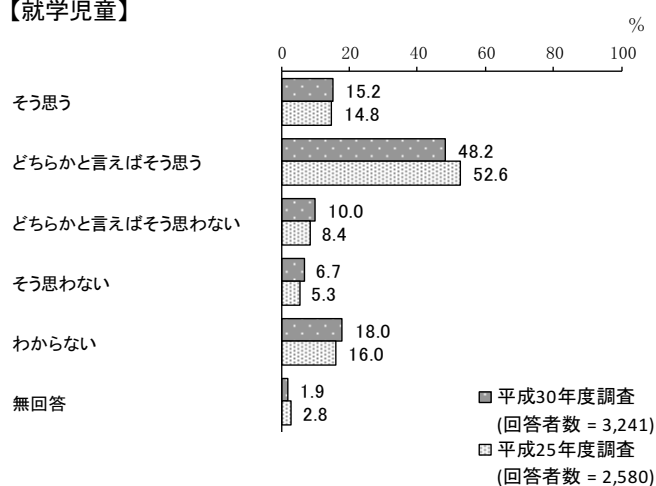
就学前児童では、「どちらかと言えばそう思う」の割合が48.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が18.6%、「わからない」の割合が17.1%となっています。

就学児童では、「どちらかと言えばそう思う」の割合が48.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.0%、「そう思う」の割合が15.2%となっています。

【就学前児童】



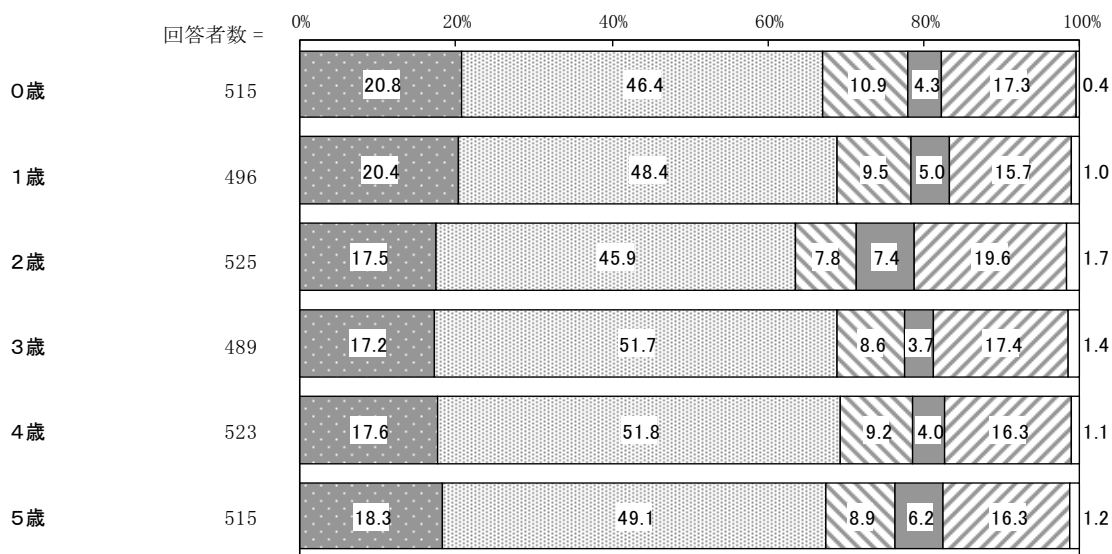
【就学児童】



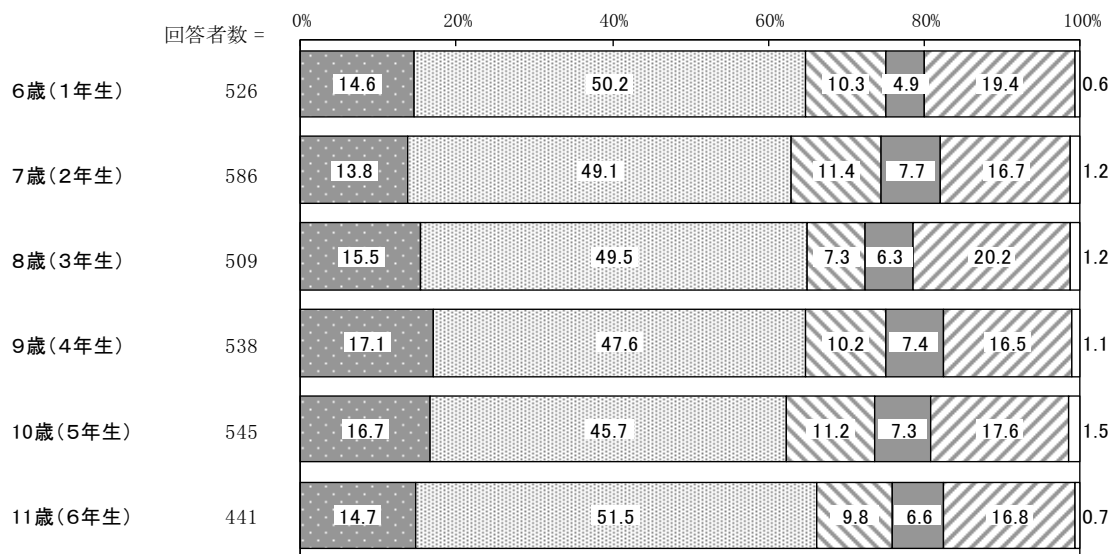
【子ども年齢別】

子どもの年齢別でみると大きな差異はみられません。

【就学前児童】



【就学児童】



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない
- 無回答

問 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。
 下記の①～⑳について、「(1) 現在」、「(2) これから」のそれぞれ1つずつに○をつけてください。(就学前児童：問 34、就学児童：問 28)

(1) 現在

就学前児童、就学児童ともに、⑮子どものための医療施設が充実しているで「そう思う」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,104

①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している

②子どもの教育環境が充実している

③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている

④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある

⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている

⑥希望した時期に保育サービスを利用できる

⑦保育所等での多様な保育サービスが充実している

⑧子育ての相談窓口が充実している

⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる

⑩子育て家庭への経済的援助が充実している

⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている

⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している

⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している

⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している

⑮子どものための医療施設が充実している

⑯子育てが家族や地域の人に支えられている

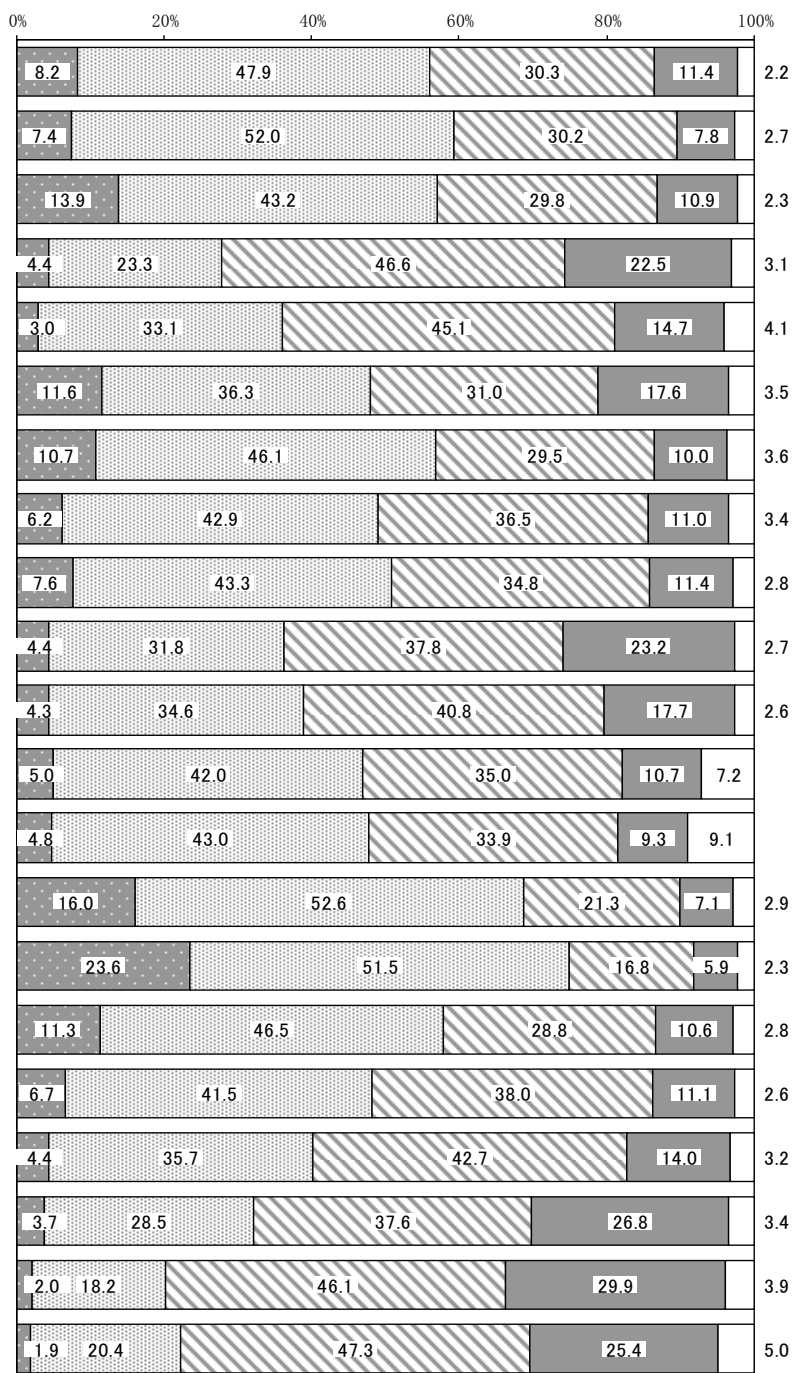
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている

⑱地域で子育てをする環境が整備されている

⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる

⑳子育て支援に積極的な企業が多い

㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している

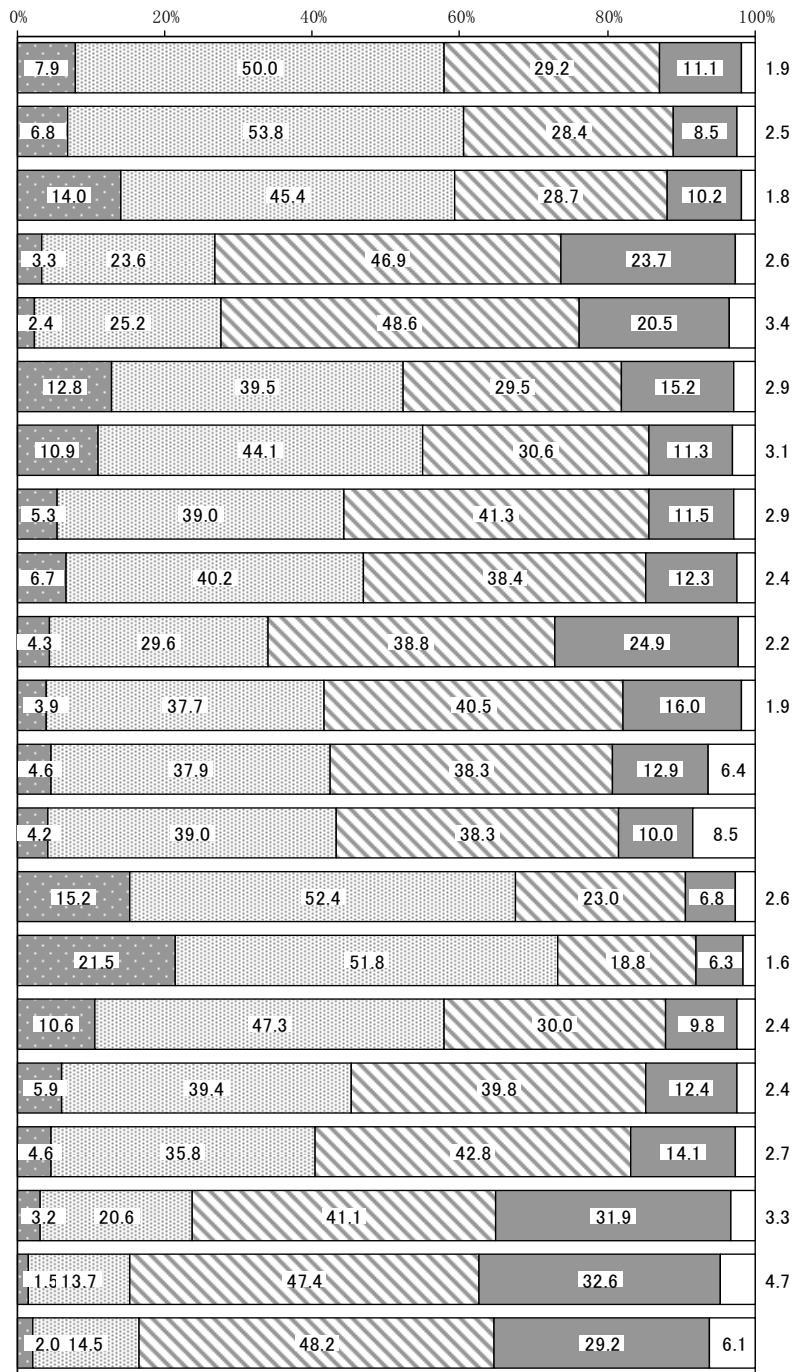


■ そう思う
 ■ どちらかといえばそう思う
 ■ どちらかといえばそう思わない
 ■ そう思わない
 □ 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,624

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所等での多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑮子どものための医療施設が充実している
- ⑯子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑱地域で子育てをする環境が整備されている
- ⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑳子育て支援に積極的な企業が多い
- ㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▧ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査

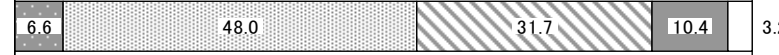
回答者数 = 3,241

①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している



3.0

②子どもの教育環境が充実している



3.2

③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている



2.9

④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある



2.9

⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている



4.1

⑥保育所での多様な保育サービスが充実している



3.8

⑦子育ての相談窓口が充実している



3.9

⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる



3.3

⑨子育てで家庭への経済的援助が充実している



3.6

⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている



3.1

⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している



3.6

⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している



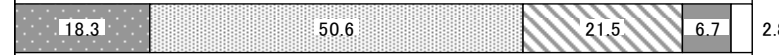
3.6

⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している



3.6

⑭子どものための医療施設が充実している



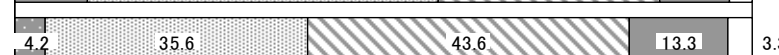
2.8

⑮子育てが家族や地域の人に支えられている



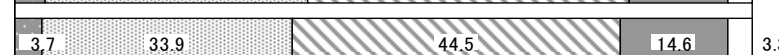
3.1

⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている



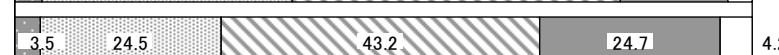
3.3

⑰地域で子育てをする環境が整備されている



3.3

⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働けることができる



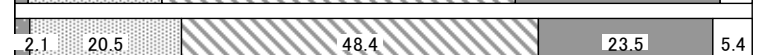
4.2

⑲子育て支援に積極的な企業が多い



4.3

⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



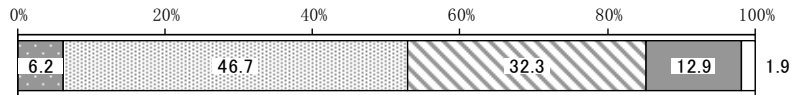
4.3

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▧ どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,580

①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している



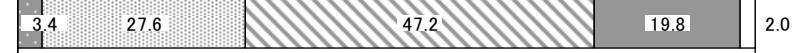
②子どもの教育環境が充実している



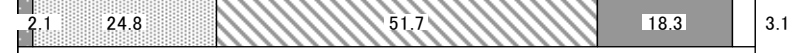
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている



④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある



⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている



⑥保育所での多様な保育サービスが充実している



⑦子育ての相談窓口が充実している



⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる



⑨子育て家庭への経済的援助が充実している



⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている



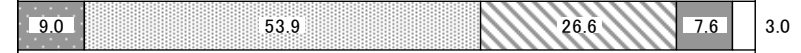
⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している



⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している



⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している



⑭子どものための医療施設が充実している



⑮子育てが家族や地域の人に支えられている



⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている



⑰地域で子育てををする環境が整備されている



⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる



⑲子育て支援に積極的な企業が多い



⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 無回答

(2) これから

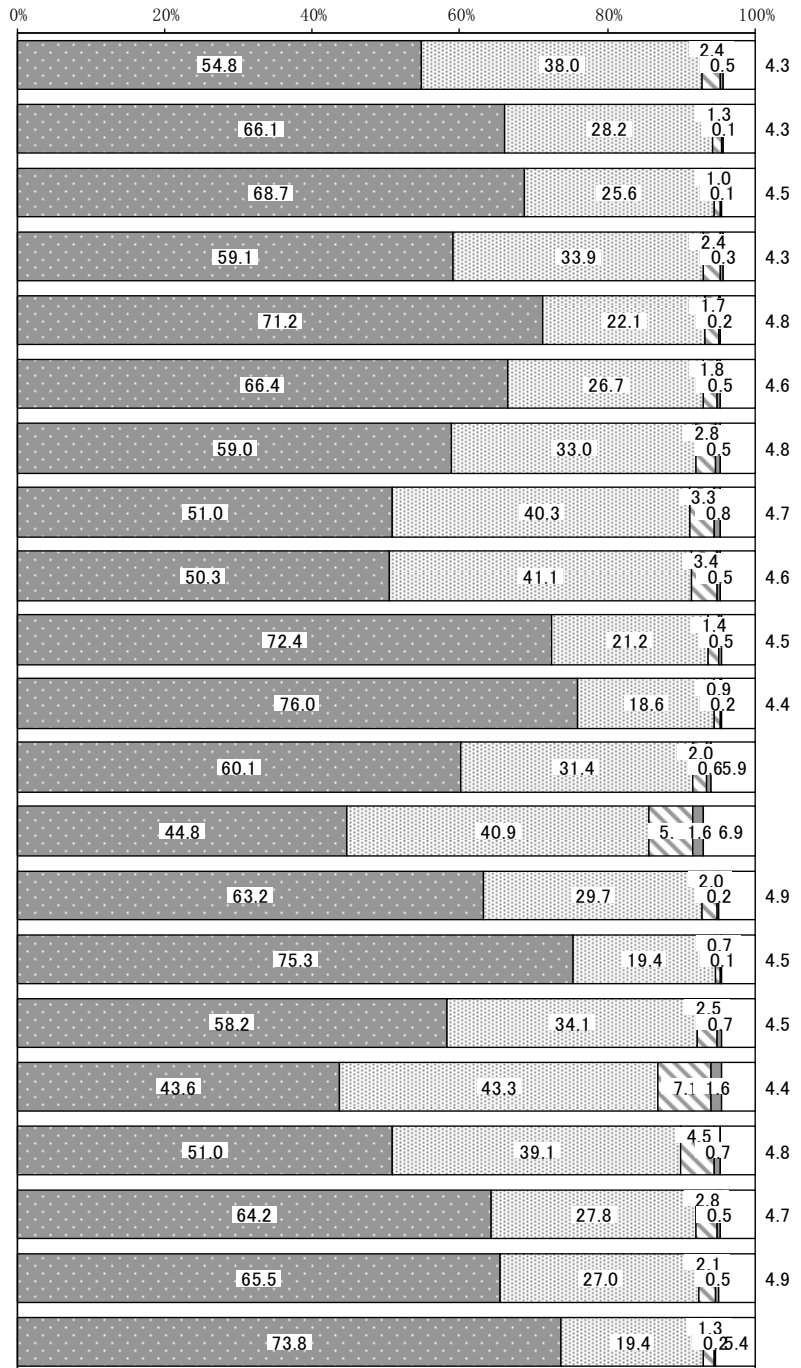
就学前児童、就学児童ともに、⑪子どもが安全・安心で出かけられる環境が整っているで「重要だと思う」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,104

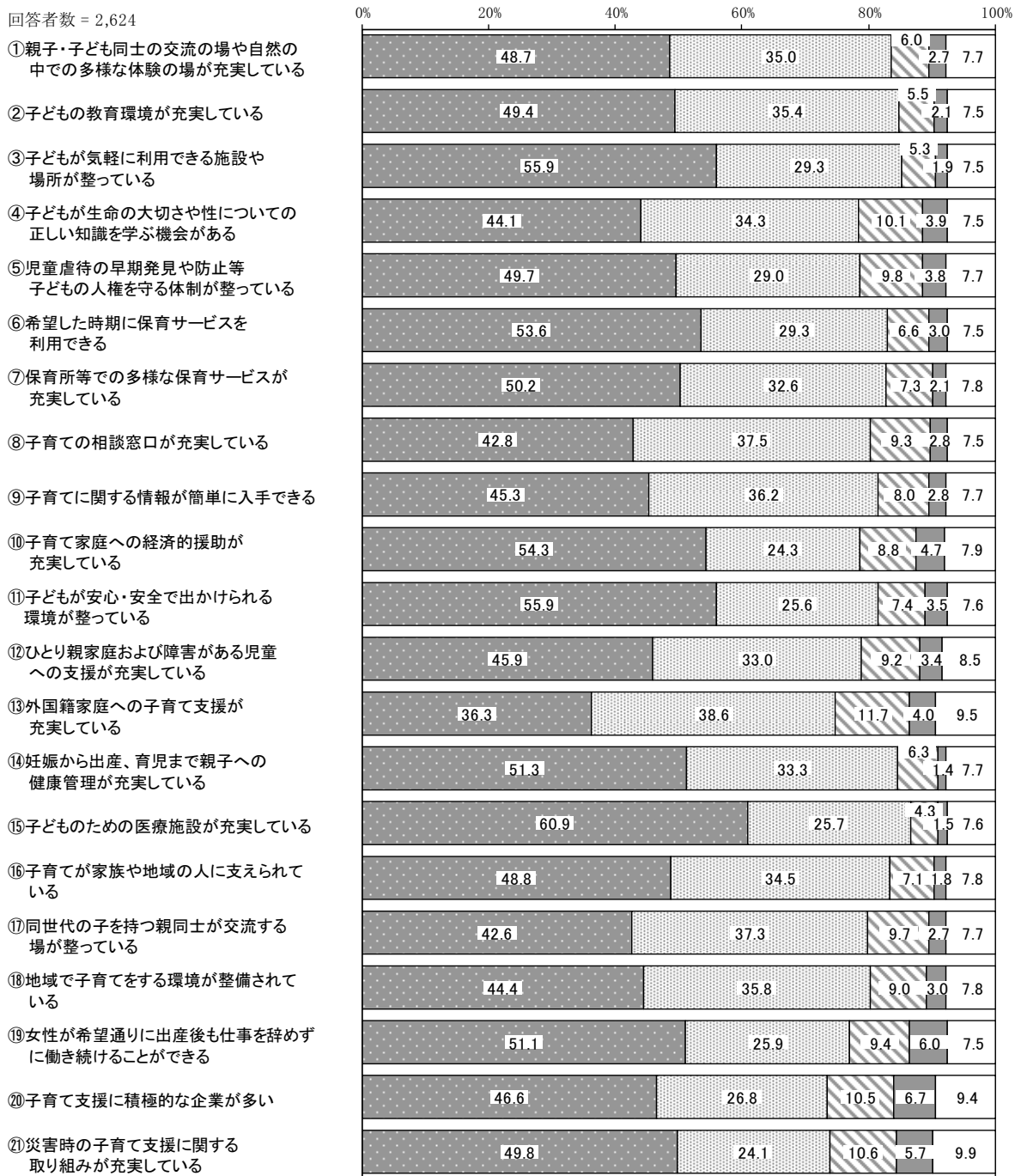
- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥希望した時期に保育サービスを利用できる
- ⑦保育所等での多様な保育サービスが充実している
- ⑧子育ての相談窓口が充実している
- ⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑩子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑮子どものための医療施設が充実している
- ⑯子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑱地域で子育てををする環境が整備されている
- ⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑳子育て支援に積極的な企業が多い
- ㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



重要だと思う どちらかといえば重要だと思う
 どちらかといえば重要だと思わない 重要だと思わない
 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,624



- 重要だと思う
- どちらかといえば重要だと思う
- どちらかといえば重要だと思わない
- 重要だと思わない
- 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,241

①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している

②子どもの教育環境が充実している

③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている

④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある

⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている

⑥保育所での多様な保育サービスが充実している

⑦子育ての相談窓口が充実している

⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる

⑨子育て家庭への経済的援助が充実している

⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている

⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している

⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している

⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している

⑭子どものための医療施設が充実している

⑮子育てが家族や地域の人に支えられている

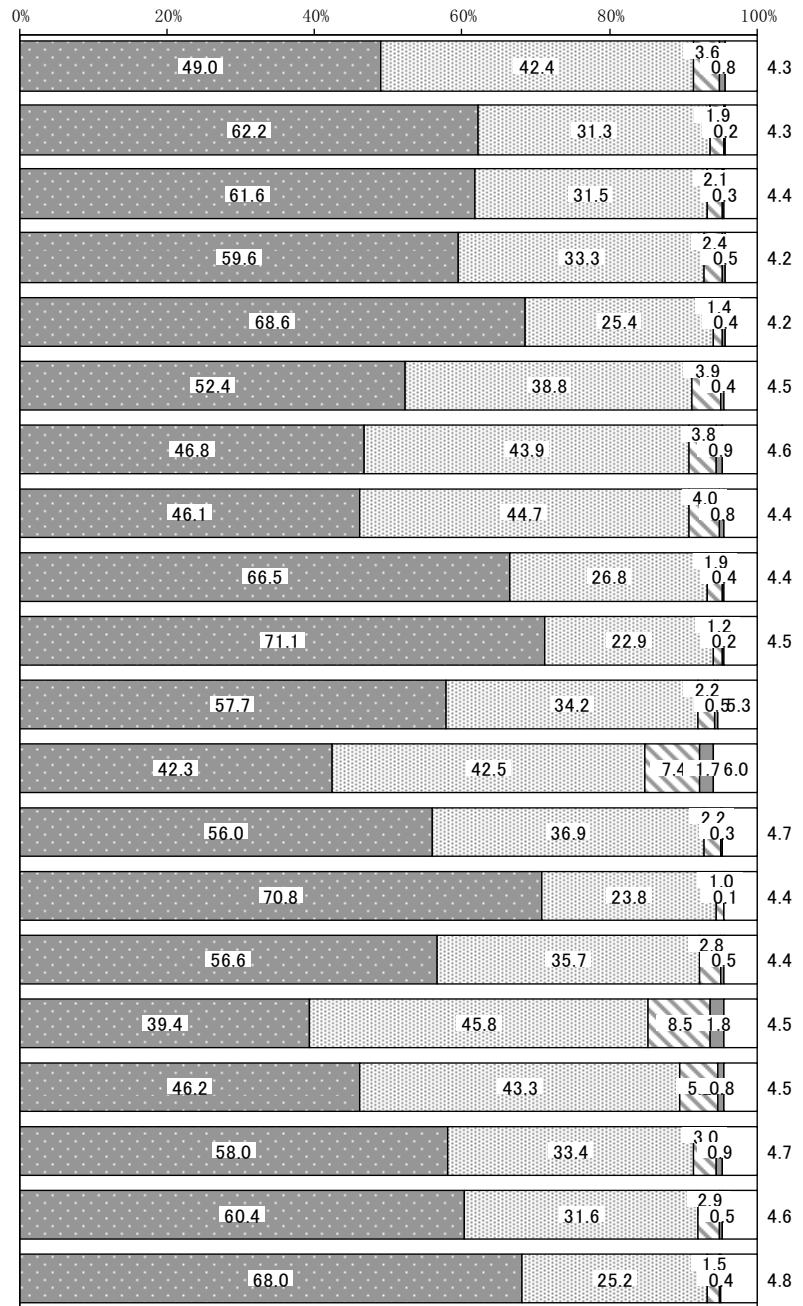
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている

⑰地域で子育てをする環境が整備されている

⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働けることができる

⑲子育て支援に積極的な企業が多い

⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している

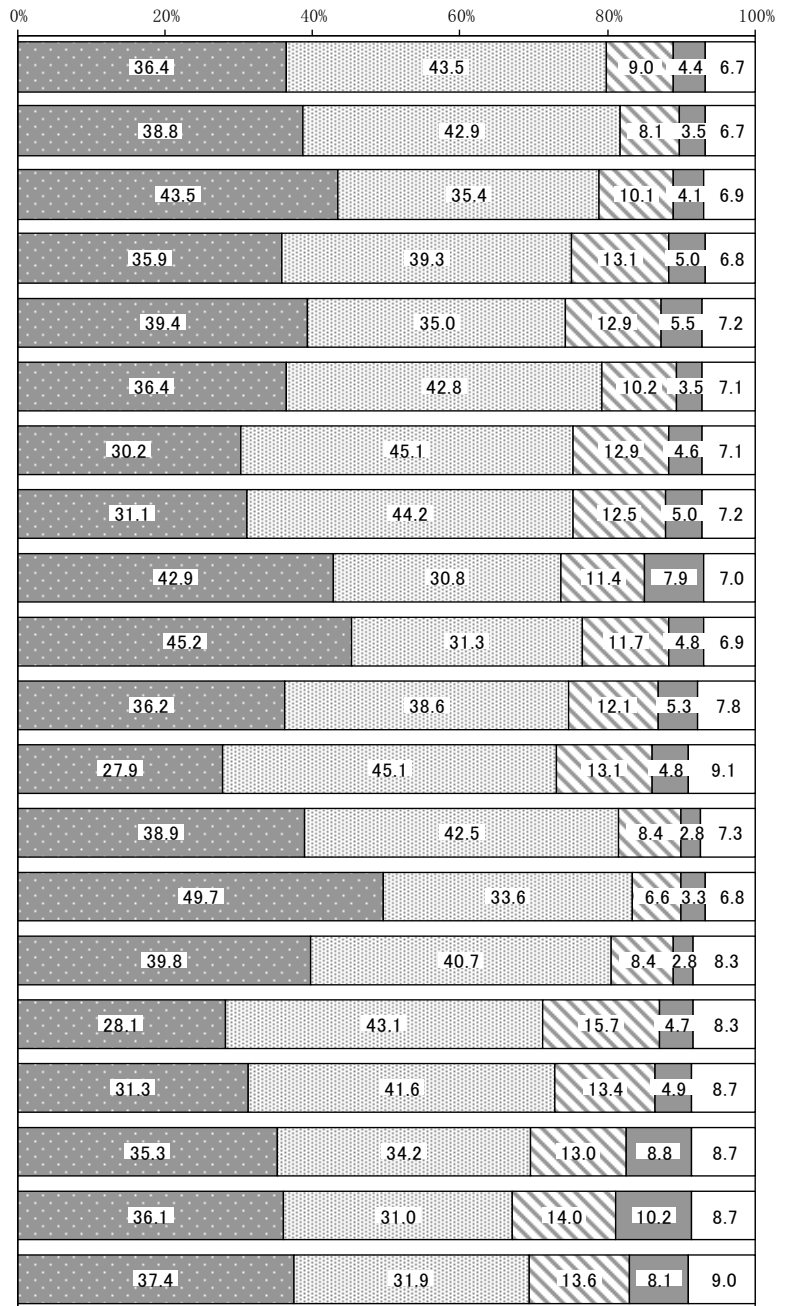


重要だと思う どちらかといえば重要だと思う
 どちらかといえば重要だと思わない 重要だと思わない
 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,580

- ①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している
- ②子どもの教育環境が充実している
- ③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている
- ④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある
- ⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている
- ⑥保育所での多様な保育サービスが充実している
- ⑦子育ての相談窓口が充実している
- ⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる
- ⑨子育て家庭への経済的援助が充実している
- ⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている
- ⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している
- ⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している
- ⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している
- ⑭子どものための医療施設が充実している
- ⑮子育てが家族や地域の人に支えられている
- ⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている
- ⑰地域で子育てををする環境が整備されている
- ⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる
- ⑲子育て支援に積極的な企業が多い
- ⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している



重要だと思う
 どちらかといえば重要だと思う
 どちらかといえば重要だと思わない
 重要だと思わない
 無回答

(14) 個別の子育て支援施策に関すること

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、(1)～(3)のそれぞれについて、「1. 知っている」か「2. 知らない」のいずれかに○をつけてください。

(就学前児童：問 35、就学児童：問 29)

(1) 認知度

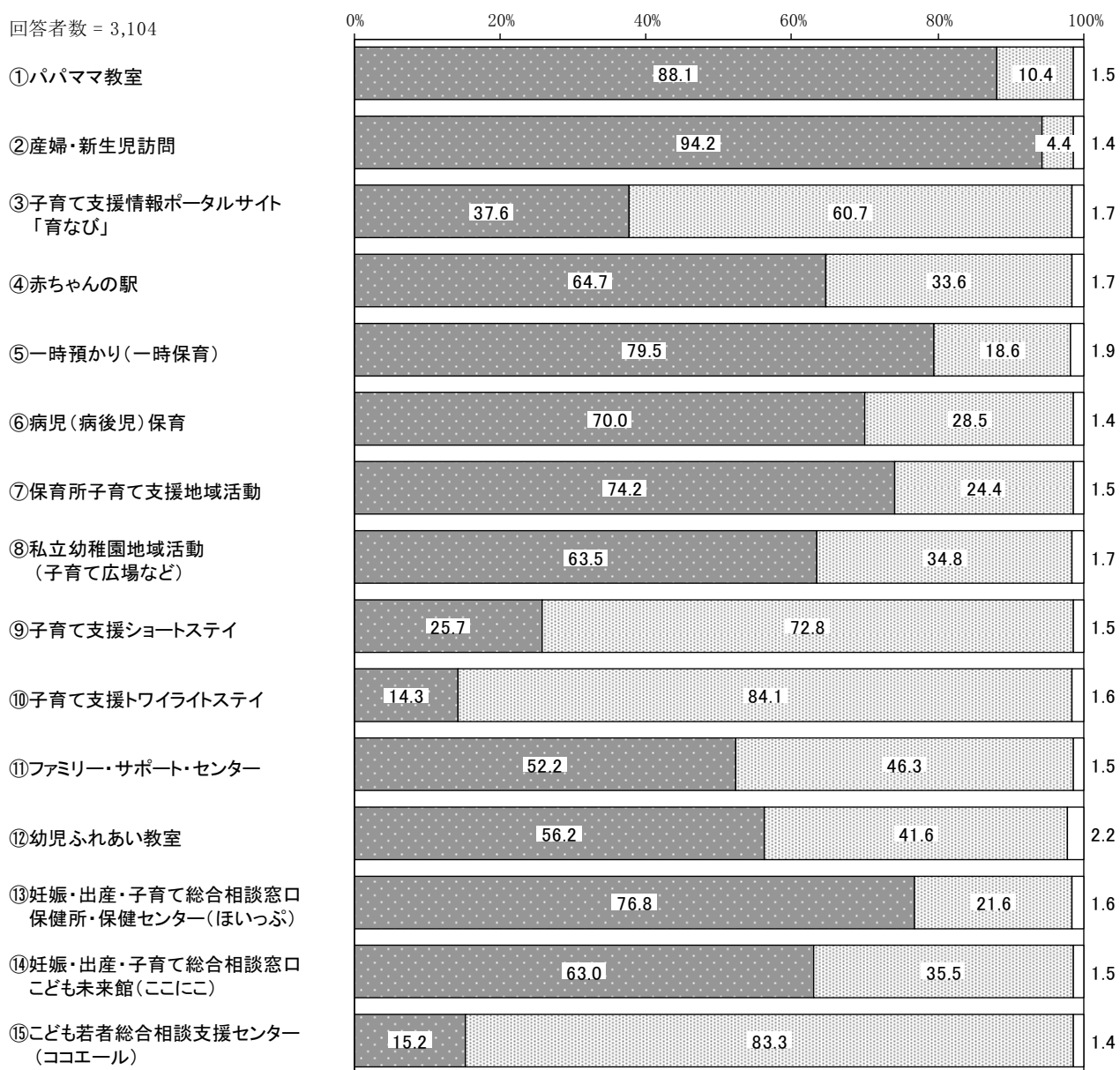
就学前児童では、②産婦・新生児訪問、①パパママ教室で「知っている」の割合が高くなっています。

就学児童では、②病児（病後児）保育、⑤ファミリー・サポート・センターで「知っている」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

平成 30 年度調査

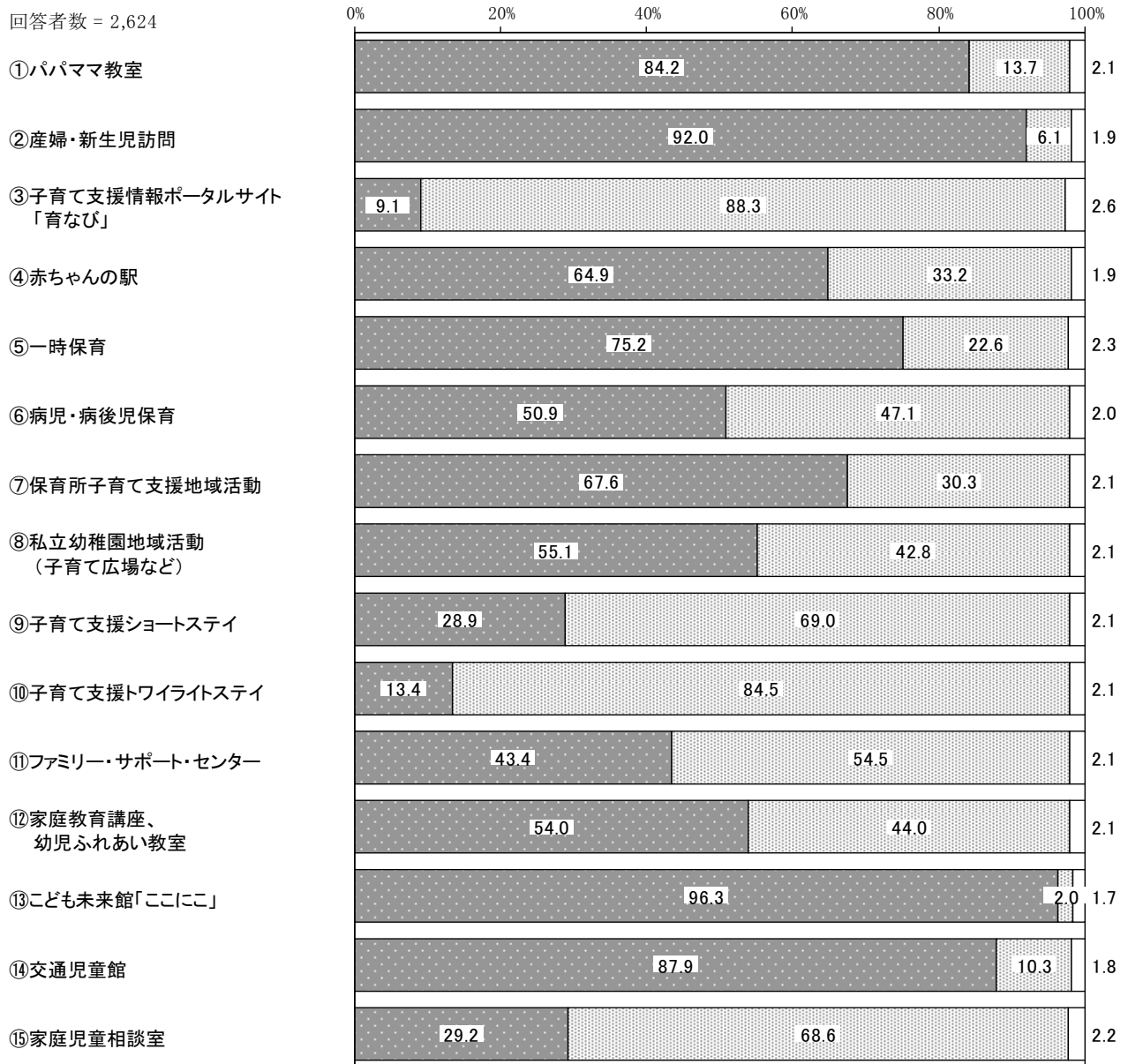
回答者数 = 3,104



■ 知っている ■ 知らない □ 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,624



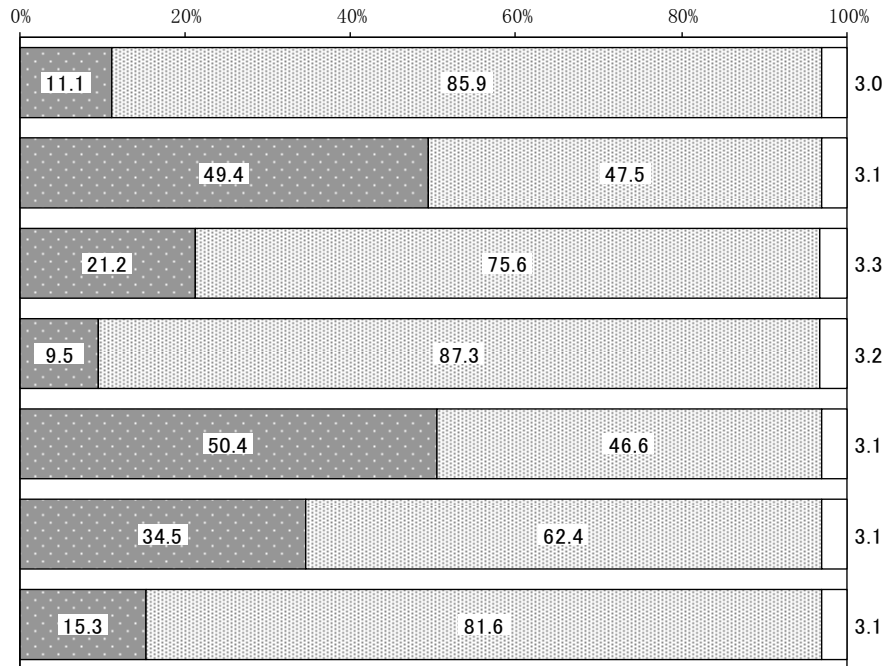
■ 知っている ■ 知らない □ 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,241

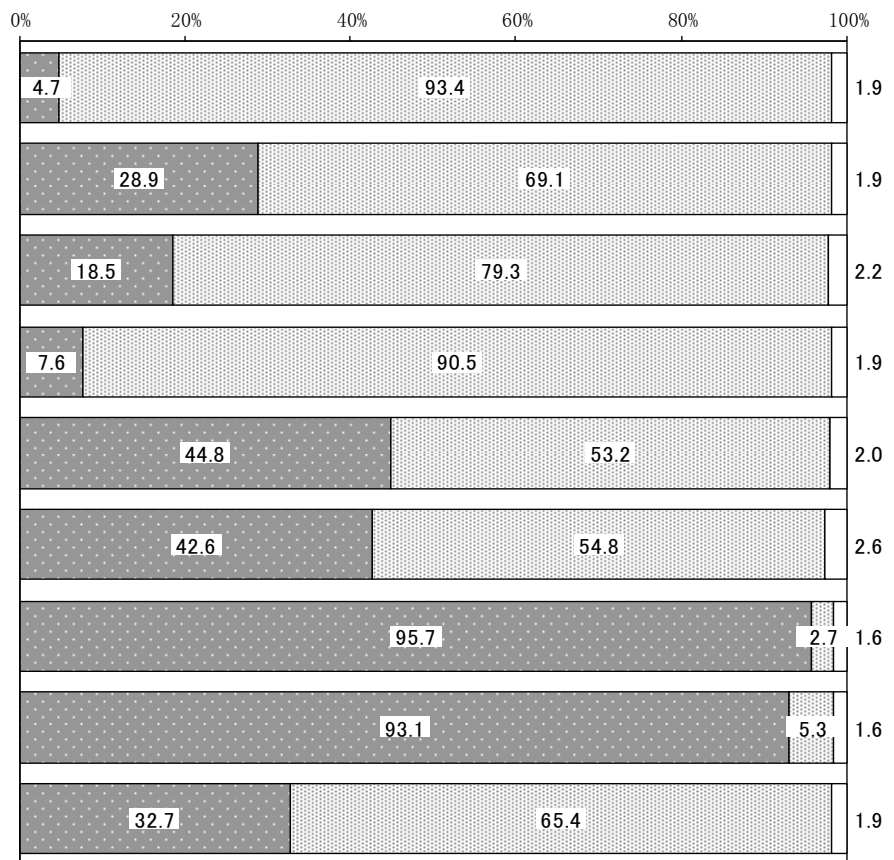
- ①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」
- ②病児(病後児)保育
- ③子育て支援ショートステイ
- ④子育て支援トワイライトステイ
- ⑤ファミリー・サポート・センター
- ⑥家庭教育セミナー
- ⑦子ども若者総合相談支援センター(ココエール)



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,580

- ①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」
- ②病児・病後児保育
- ③子育て支援ショートステイ
- ④子育て支援トワイライトステイ
- ⑤ファミリー・サポート・センター
- ⑥家庭教育講座
- ⑦子ども未来館「ここここ」
- ⑧交通児童館
- ⑨家庭児童相談室



■ 知っている ■ 知らない □ 無回答

(2) 利用経験

就学前児童では、②産婦・新生児訪問、①パパママ教室で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

就学児童では、⑥家庭教育セミナー以外の事業は「利用したことがある」の割合が数%となっています。

【就学前児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,104

①パパママ教室

②産婦・新生児訪問

③子育て支援情報ポータルサイト「育なび」

④赤ちゃんの駅

⑤一時預かり(一時保育)

⑥病児(病後児)保育

⑦保育所子育て支援地域活動

⑧私立幼稚園地域活動(子育て広場など)

⑨子育て支援ショートステイ

⑩子育て支援トワイライトステイ

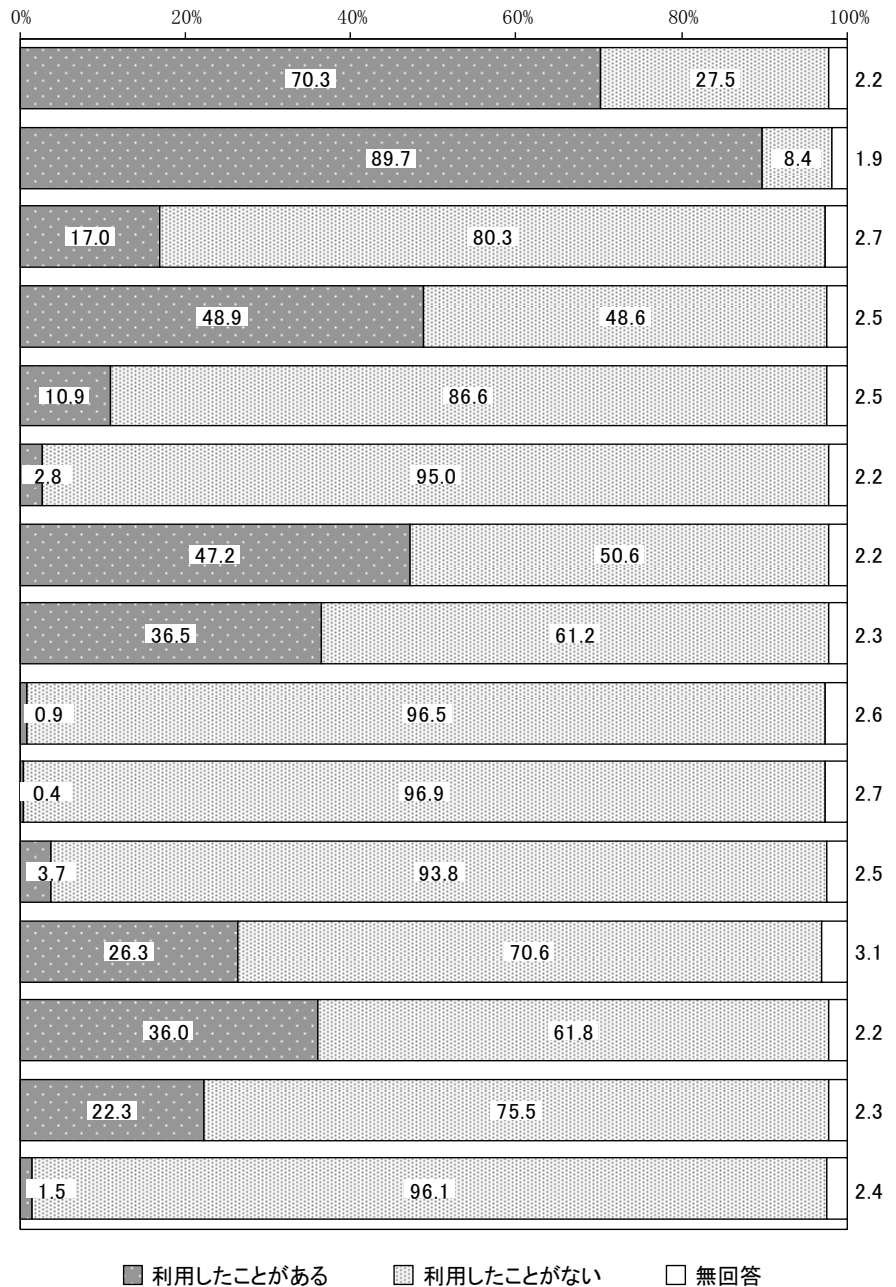
⑪ファミリー・サポート・センター

⑫幼児ふれあい教室

⑬妊娠・出産・子育て総合相談窓口 保健所・保健センター(ほいっぷ)

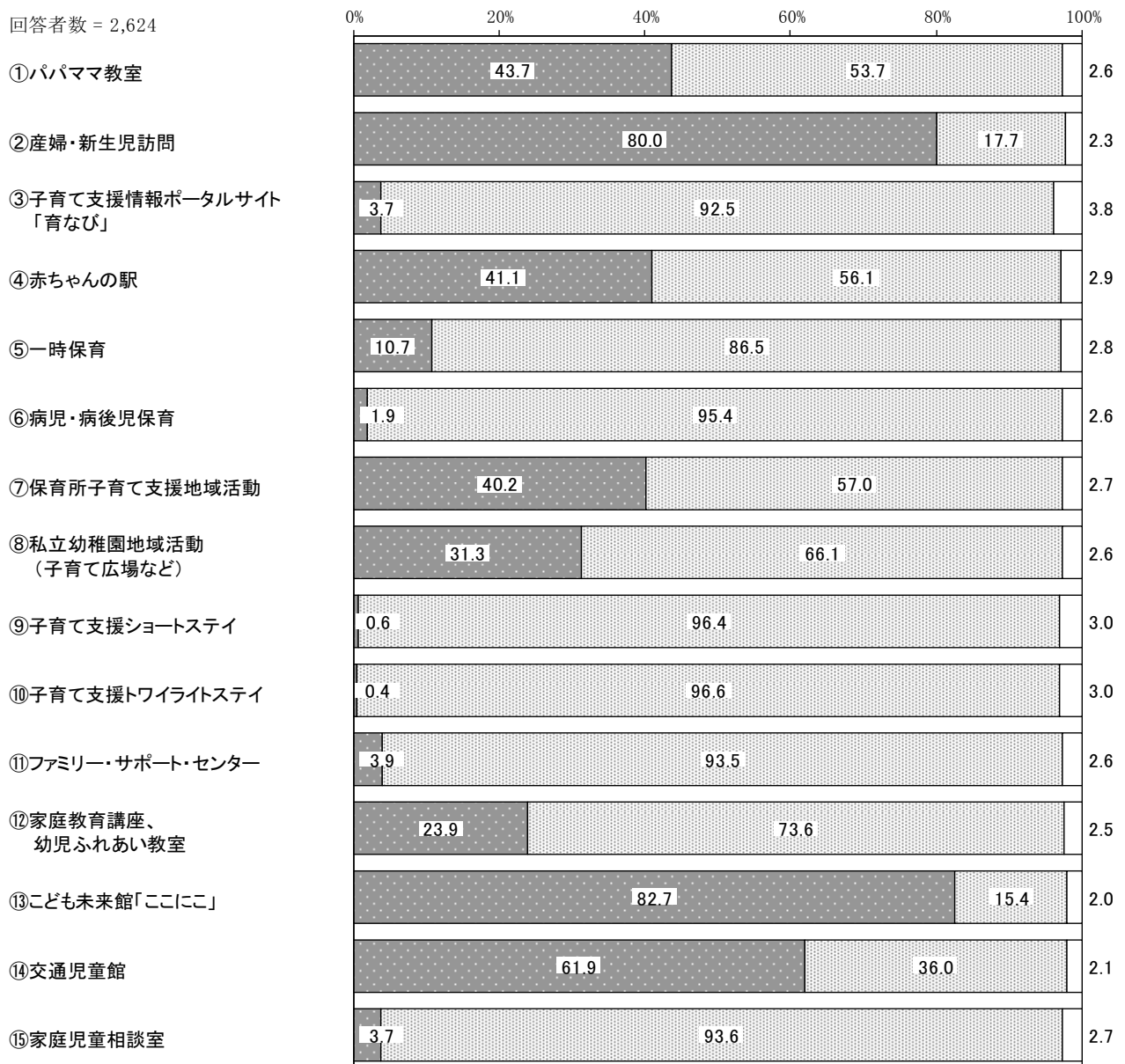
⑭妊娠・出産・子育て総合相談窓口 ども未来館(ここここ)

⑮子ども若者総合相談支援センター(ココエール)



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,624



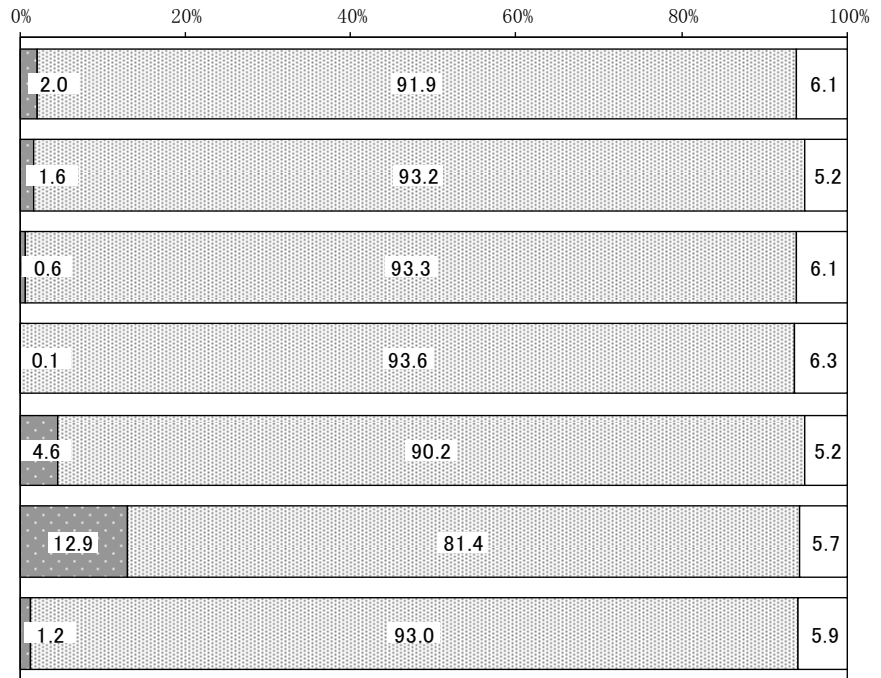
■ 利用したことがある ■ 利用したことがない □ 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,241

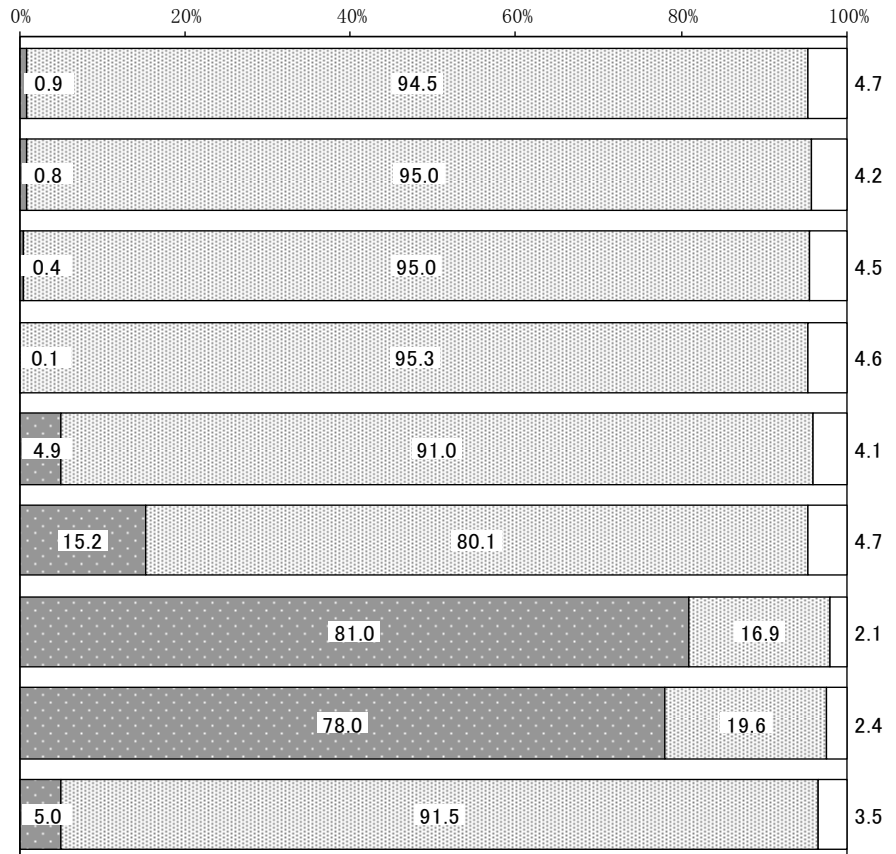
- ①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」
- ②病児(病後児)保育
- ③子育て支援ショートステイ
- ④子育て支援トワイライトステイ
- ⑤ファミリー・サポート・センター
- ⑥家庭教育セミナー
- ⑦子ども若者総合相談支援センター(ココエール)



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,580

- ①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」
- ②病児・病後児保育
- ③子育て支援ショートステイ
- ④子育て支援トワイライトステイ
- ⑤ファミリー・サポート・センター
- ⑥家庭教育講座
- ⑦子ども未来館「ここここ」
- ⑧交通児童館
- ⑨家庭児童相談室



■ 利用したことがある ■ 利用したことがない □ 無回答

(3) 利用意向

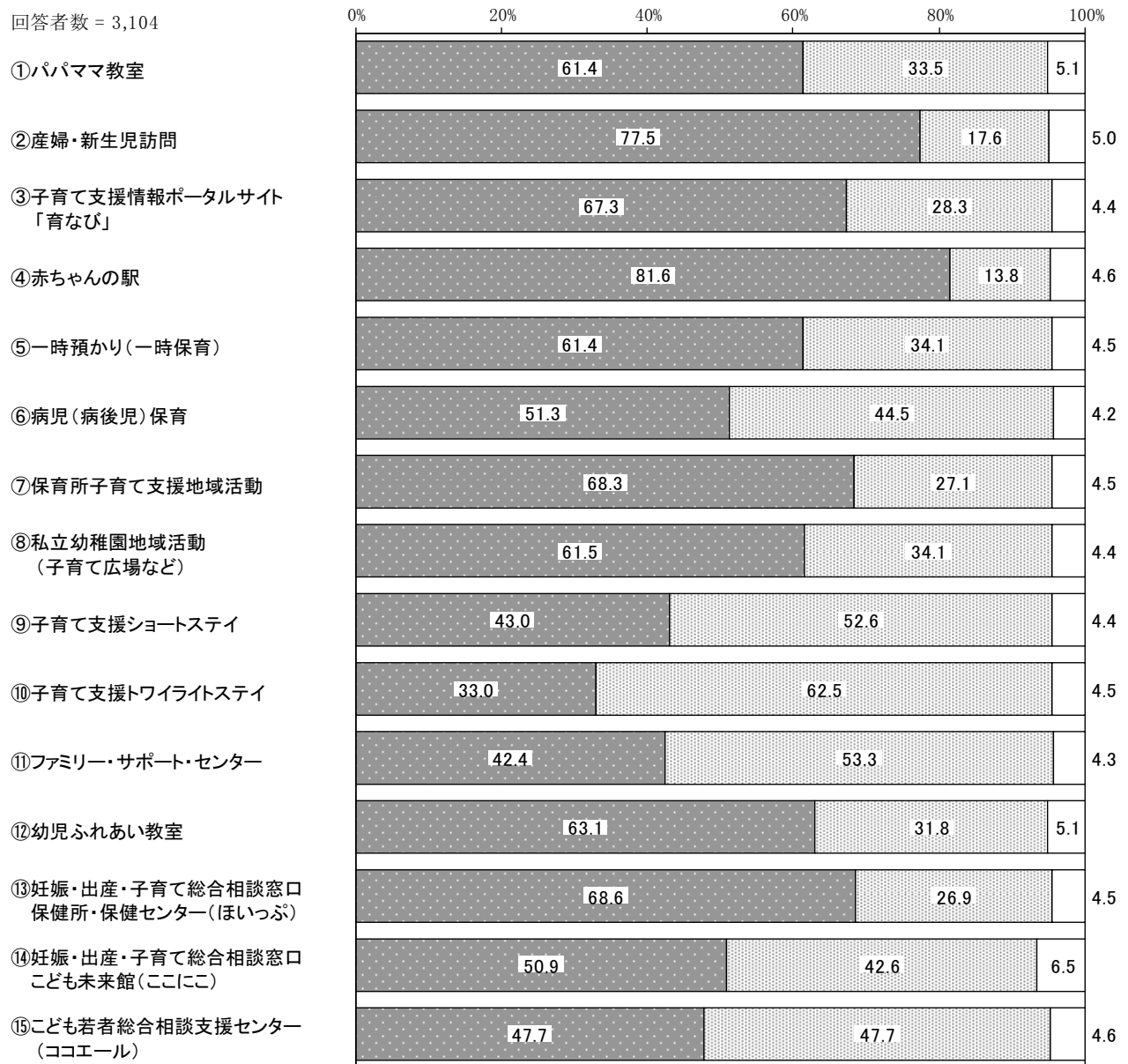
就学前児童では、④赤ちゃんの駅で「利用したい」の割合が高くなっています。

就学児童では、①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」で「利用したい」の割合が高くなっています。

【就学前児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,104



■ 利用したい ■ 利用したいと思わない □ 無回答

平成 25 年度調査

回答者数 = 2,624

①パパママ教室

②産婦・新生児訪問

③子育て支援情報ポータルサイト
「育なび」

④赤ちゃんの駅

⑤一時保育

⑥病児・病後児保育

⑦保育所子育て支援地域活動

⑧私立幼稚園地域活動
(子育て広場など)

⑨子育て支援ショートステイ

⑩子育て支援トワイライトステイ

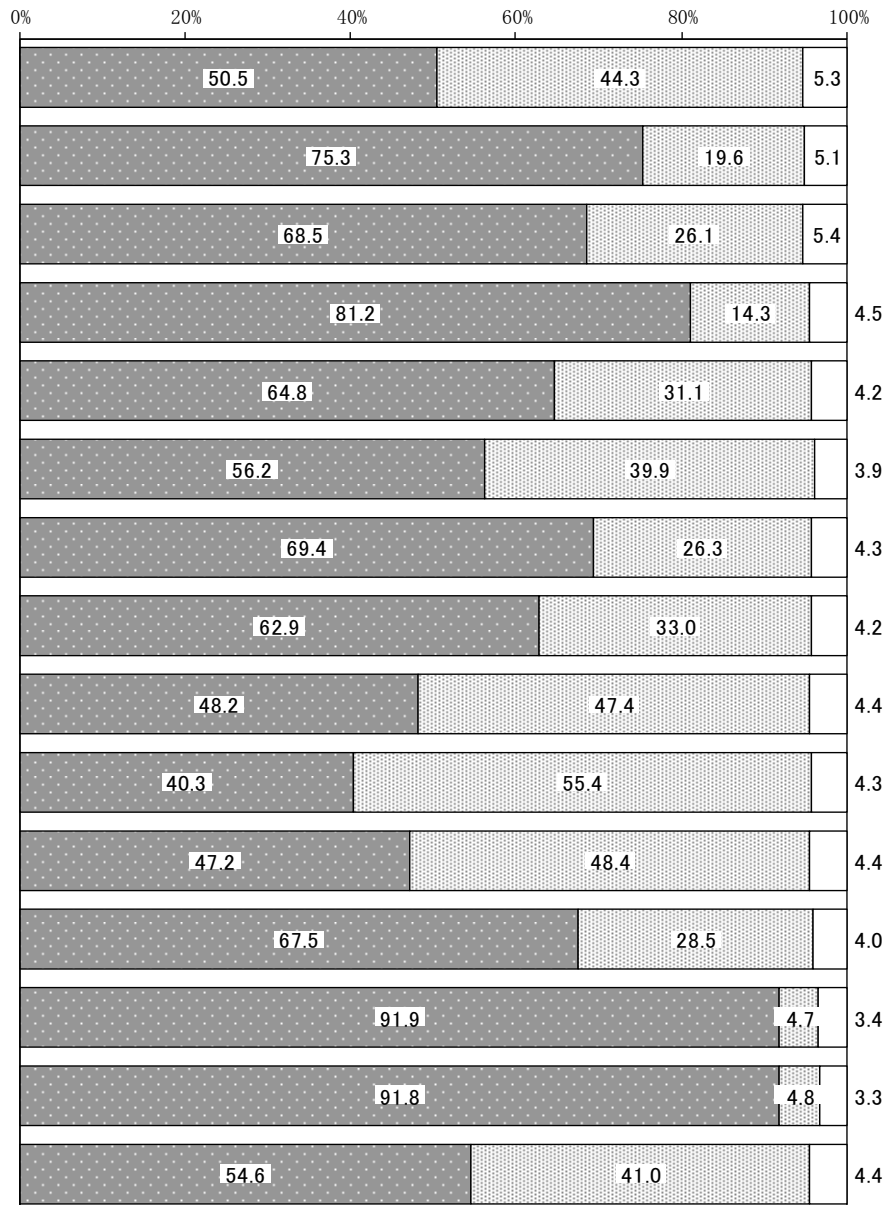
⑪ファミリー・サポート・センター

⑫家庭教育講座、
幼児ふれあい教室

⑬こども未来館「ここにこ」

⑭交通児童館

⑮家庭児童相談室



■ 利用したい

■ 利用したいと思わない

□ 無回答

【就学児童】

平成 30 年度調査

回答者数 = 3,241

①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」

②病児(病後児)保育

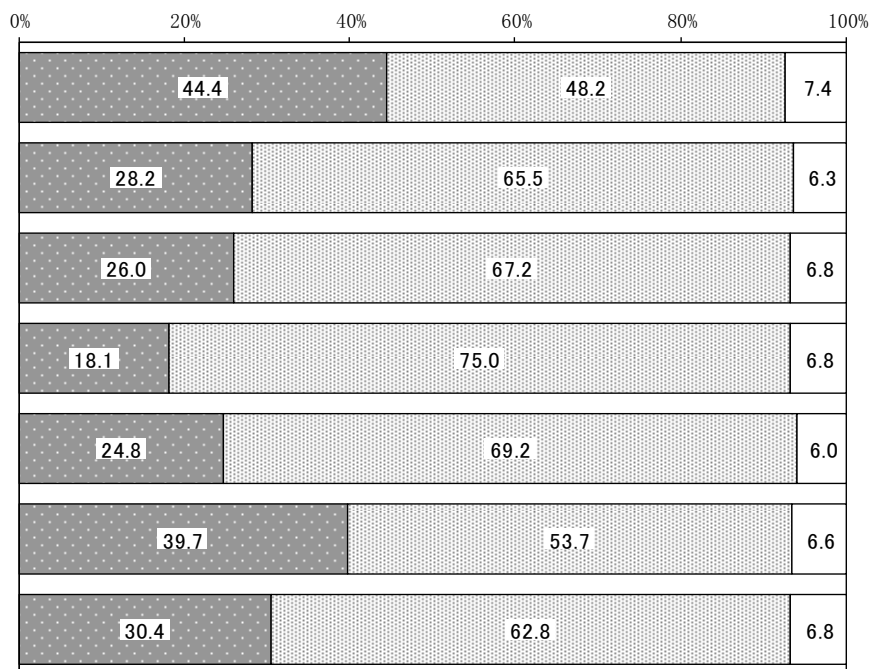
③子育て支援ショートステイ

④子育て支援トワイライトステイ

⑤ファミリー・サポート・センター

⑥家庭教育セミナー

⑦子ども若者総合相談支援センター(ココエール)



平成 25 年度調査

回答者数 = 2,580

①子育て支援情報ポータルサイト「育なび」

②病児・病後児保育

③子育て支援ショートステイ

④子育て支援トワイライトステイ

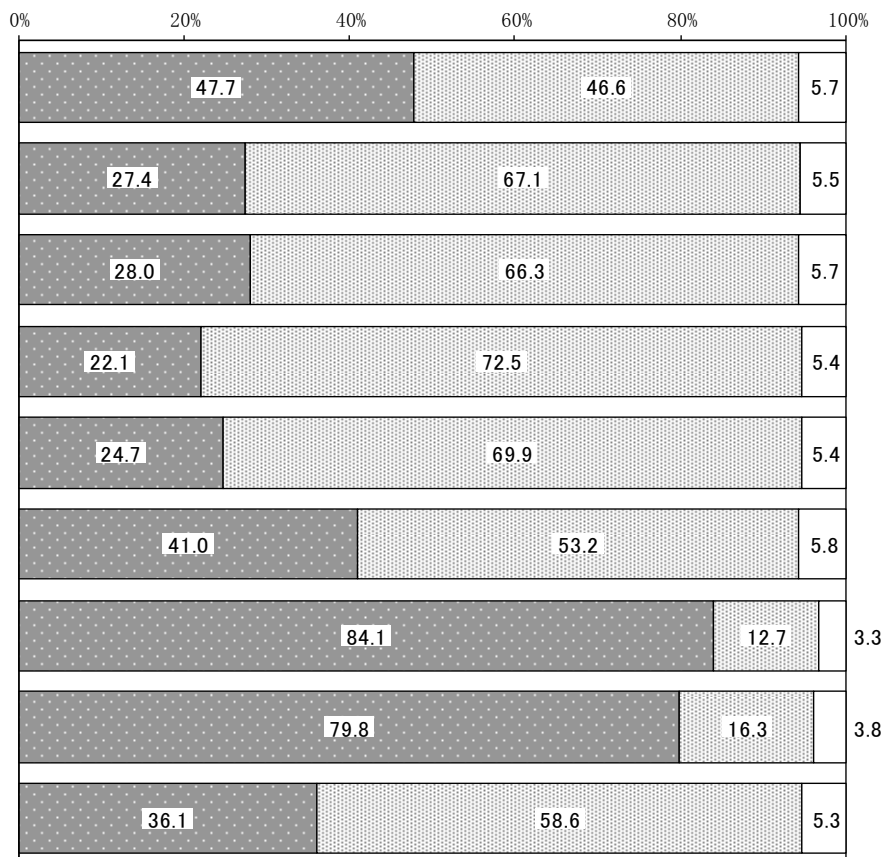
⑤ファミリー・サポート・センター

⑥家庭教育講座

⑦子ども未来館「ここにこ」

⑧交通児童館

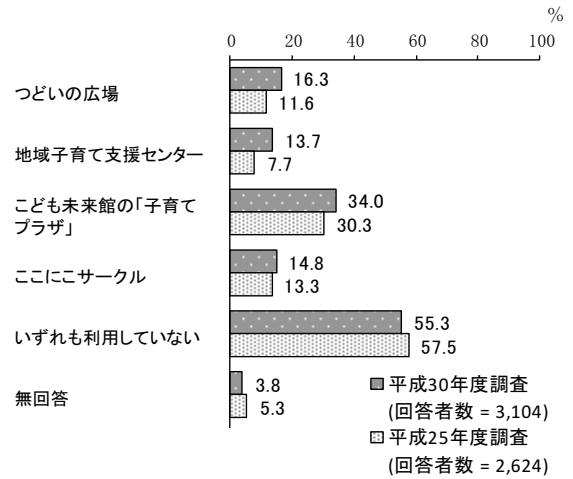
⑨家庭児童相談室



■ 利用したい □ 利用したいと思わない □ 無回答

問 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。
 （就学前児童：問36）

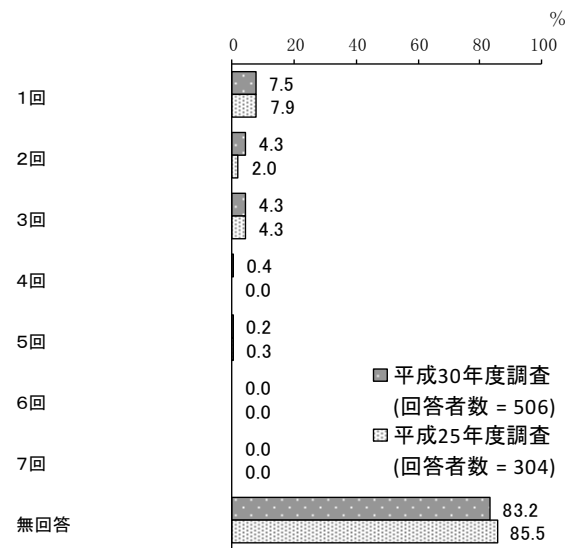
「いずれも利用していない」の割合が55.3%と最も高く、次いで「こども未来館の「子育てプラザ」」の割合が34.0%、「つどいの広場」の割合が16.3%となっています。



1 つどいの広場

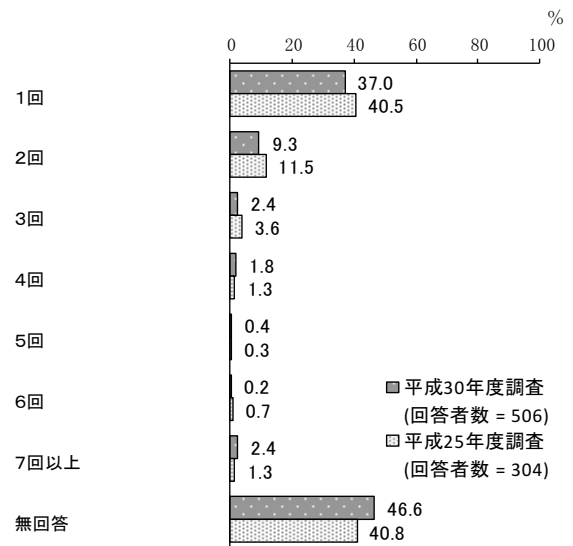
1週当たり利用回数

「1回」の割合が7.5%と最も高くなっています。



1か月当たり利用回数

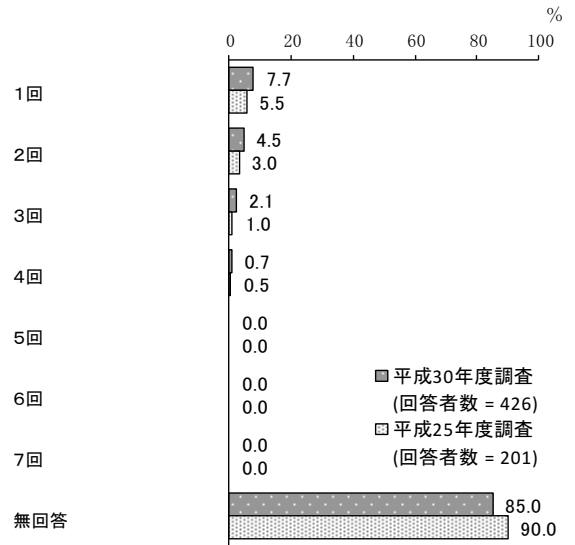
「1回」の割合が37.0%と最も高くなっています。



2 地域子育て支援センター

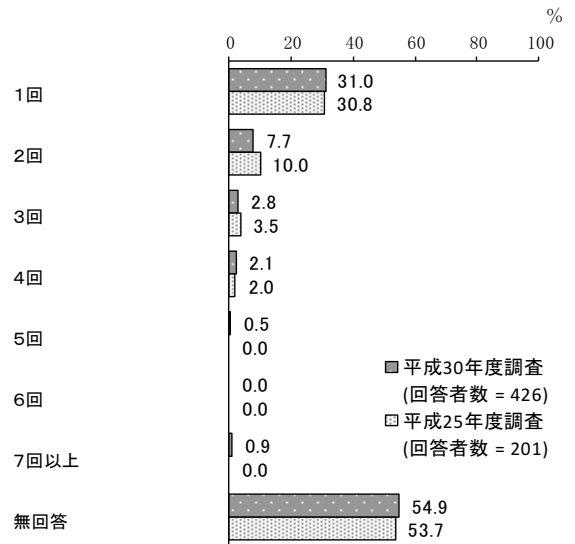
1 週当たり利用回数

「1回」の割合が7.7%と最も高くなっています。



1 か月当たり利用回数

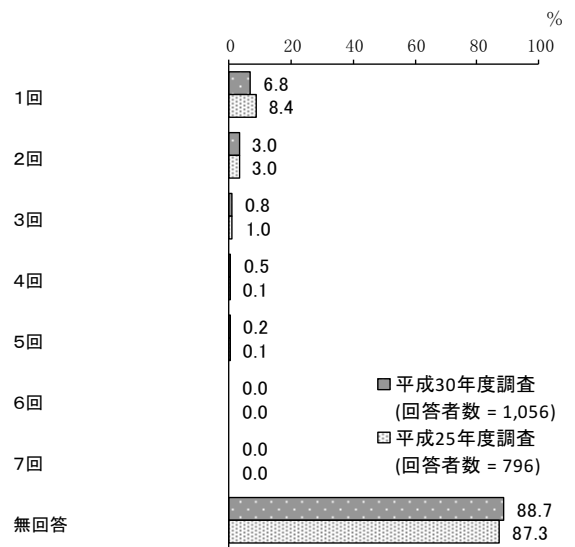
「1回」の割合が31.0%と最も高くなっています。



3 こども未来館の「子育てプラザ」

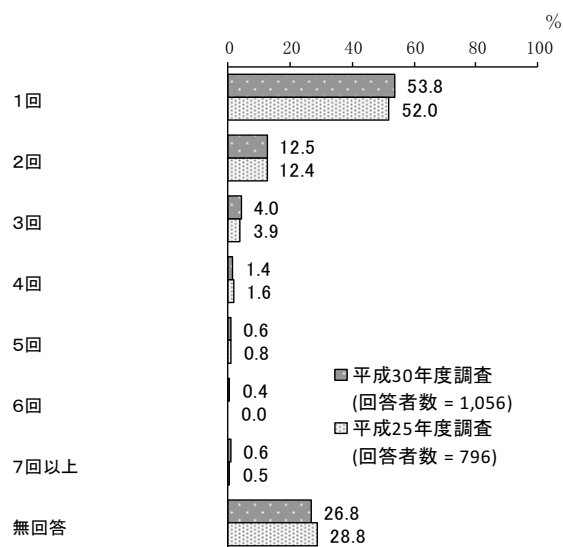
1 週当たり利用回数

「1回」の割合が6.8%と最も高くなっています。



1か月当たり利用回数

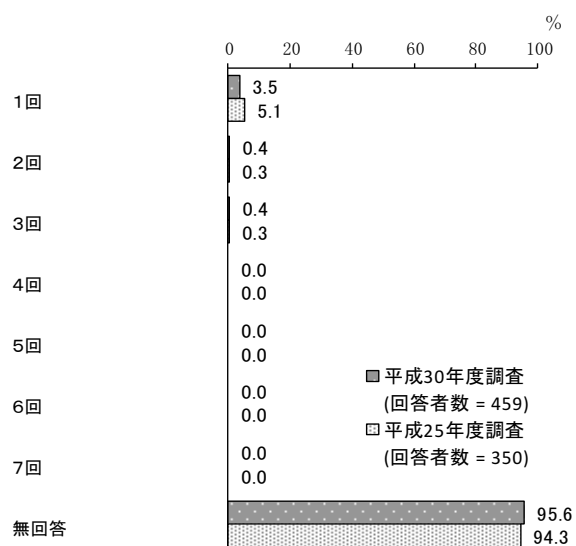
「1回」の割合が53.8%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.5%となっています。



4 ここにこサークル

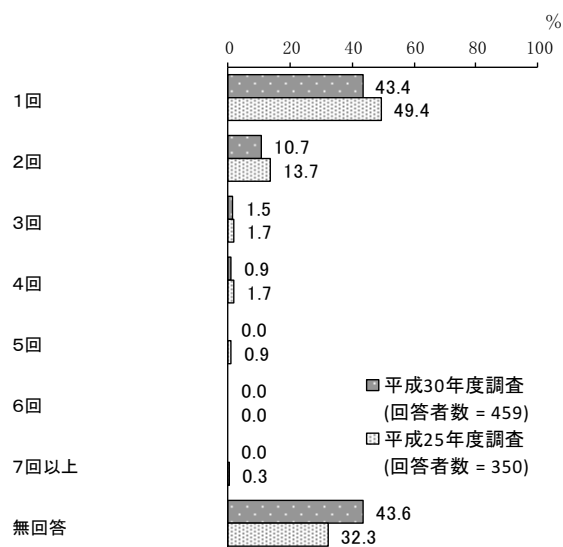
1週当たり利用回数

「1回」の割合が3.5%と最も高くなっています。



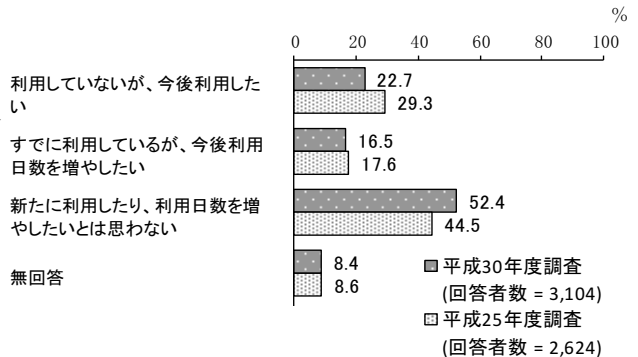
1か月当たり利用回数

「1回」の割合が43.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が10.7%となっています。



問 P.141（就学前児童：問36）のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
 当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。（就学前児童：問37）

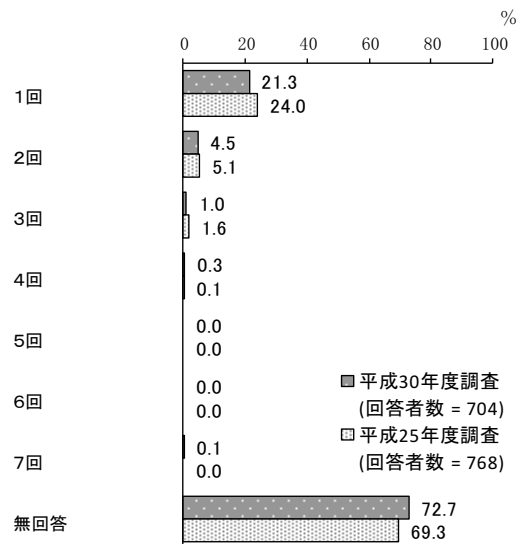
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が22.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が16.5%となつていま



1 利用していないが、今後利用したい

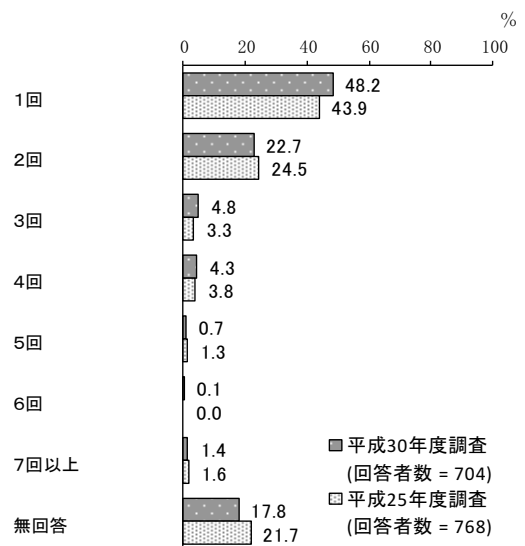
1週間あたり利用希望回数

「1回」の割合が21.3%と最も高くなつていま



1か月あたり利用希望回数

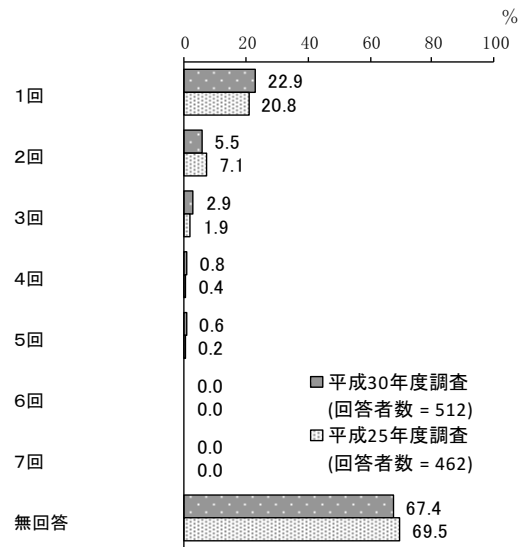
「1回」の割合が48.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が22.7%となつていま



2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

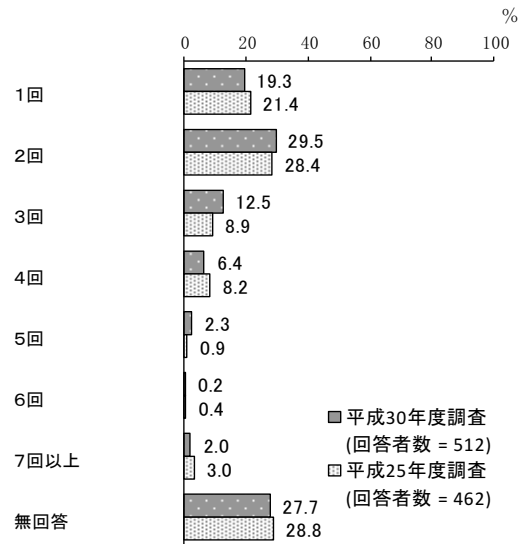
1週間あたり利用希望回数

「1回」の割合が22.9%と最も高くなっています。



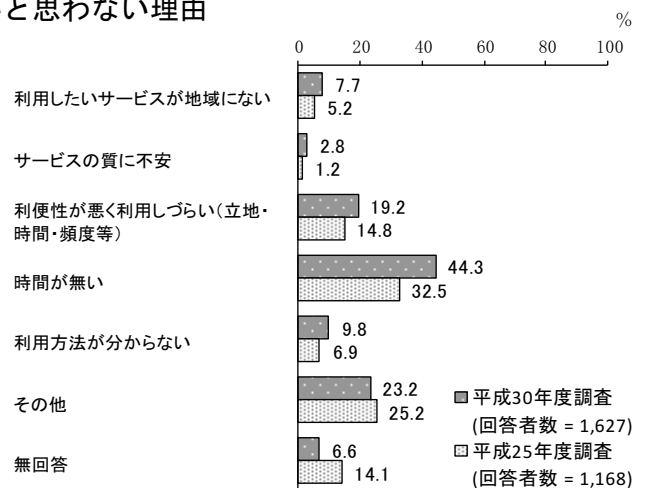
1か月あたり利用希望回数

「2回」の割合が29.5%と最も高く、次いで「1回」の割合が19.3%、「3回」の割合が12.5%となっています。



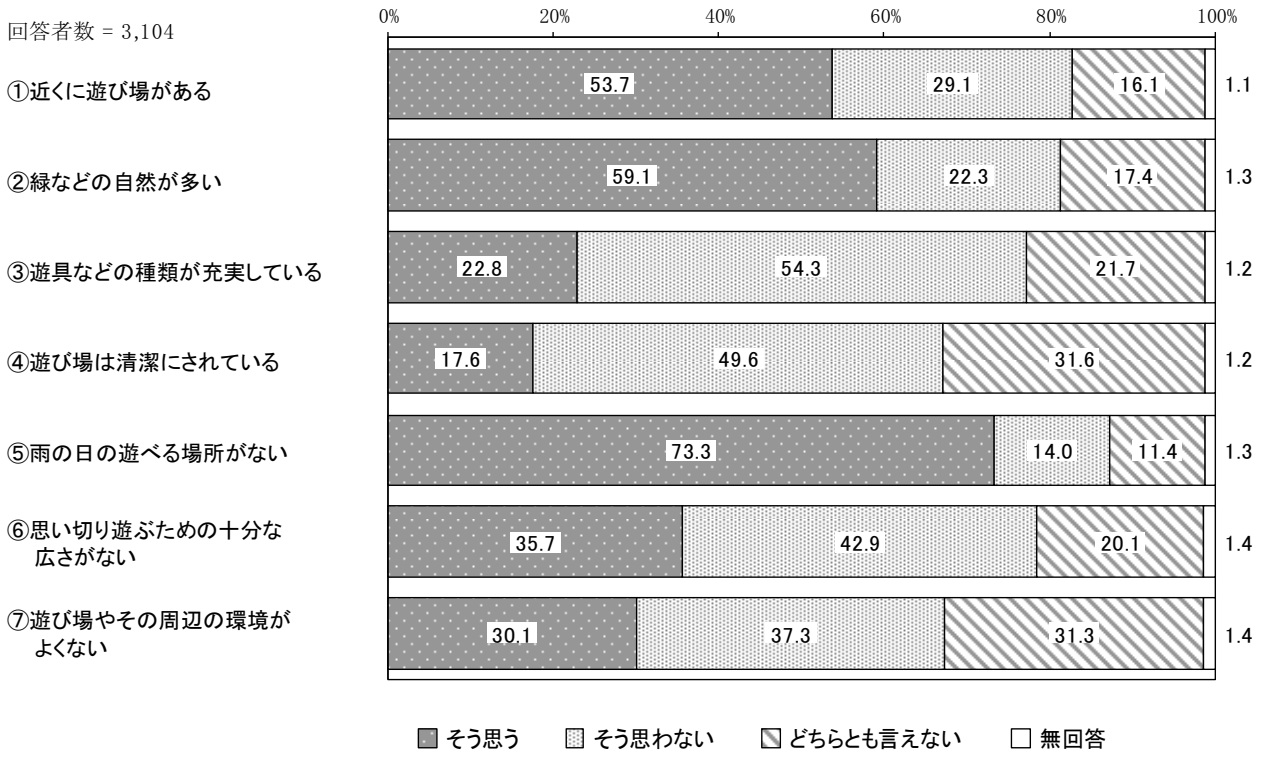
3 利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由

「時間が無い」の割合が44.3%と最も高く、次いで「利便性が悪く利用しづらい(立地・時間・頻度等)」の割合が19.2%となっています。



問 家の近くの子どもの遊び場について、日頃どのように感じていますか。
 下記の①～⑨について当てはまる番号に○をつけてください。(就学前児童：問38)

⑤雨の日の遊べる場所がないで「そう思う」の割合が高く、約7割となっています。また、③遊具などの種類が充実しているで「そう思わない」の割合が高く、5割半ばとなっています。

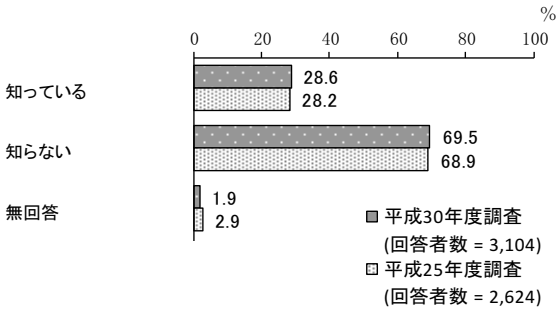


問 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約がある（日本も加わっている）ことを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (就学前児童：問39、就学児童：問30)

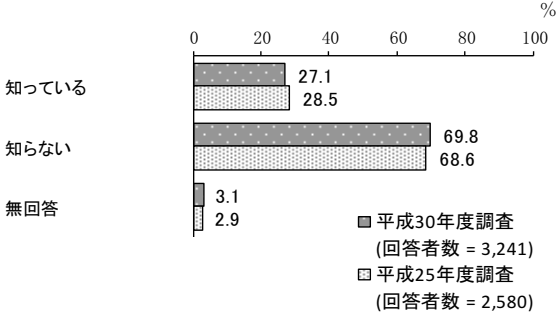
就学前児童では、「知っている」の割合が28.6%、「知らない」の割合が69.5%となっています。

就学児童では、「知っている」の割合が27.1%、「知らない」の割合が69.8%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

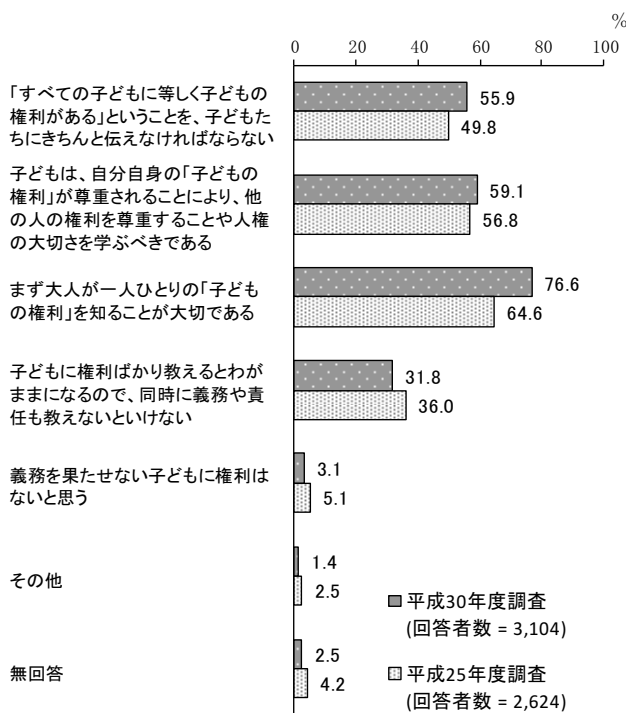


問 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問40、就学児童：問31)

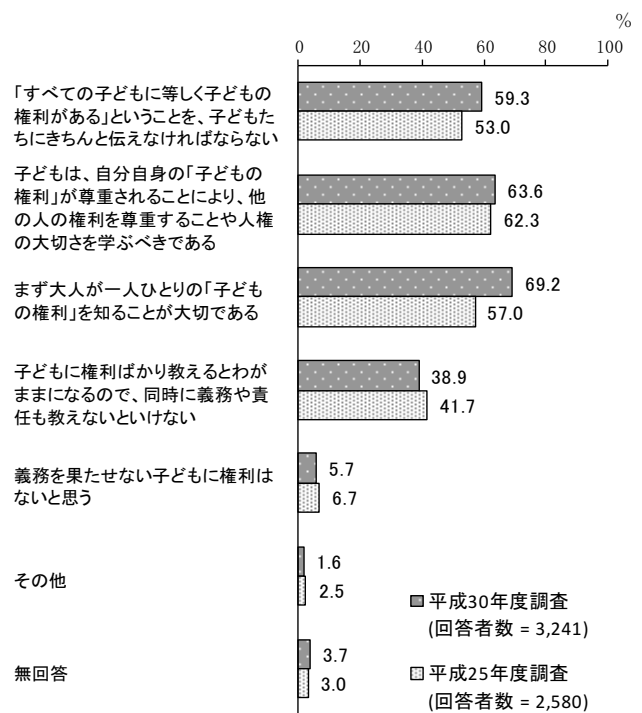
就学前児童では、「まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を知ることが大切である」の割合が76.6%と最も高く、次いで「子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである」の割合が59.1%、「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならない」の割合が55.9%となっています。

就学児童では、「まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を知ることが大切である」の割合が69.2%と最も高く、次いで「子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや人権の大切さを学ぶべきである」の割合が63.6%、「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければならない」の割合が59.3%となっています。

【就学前児童】



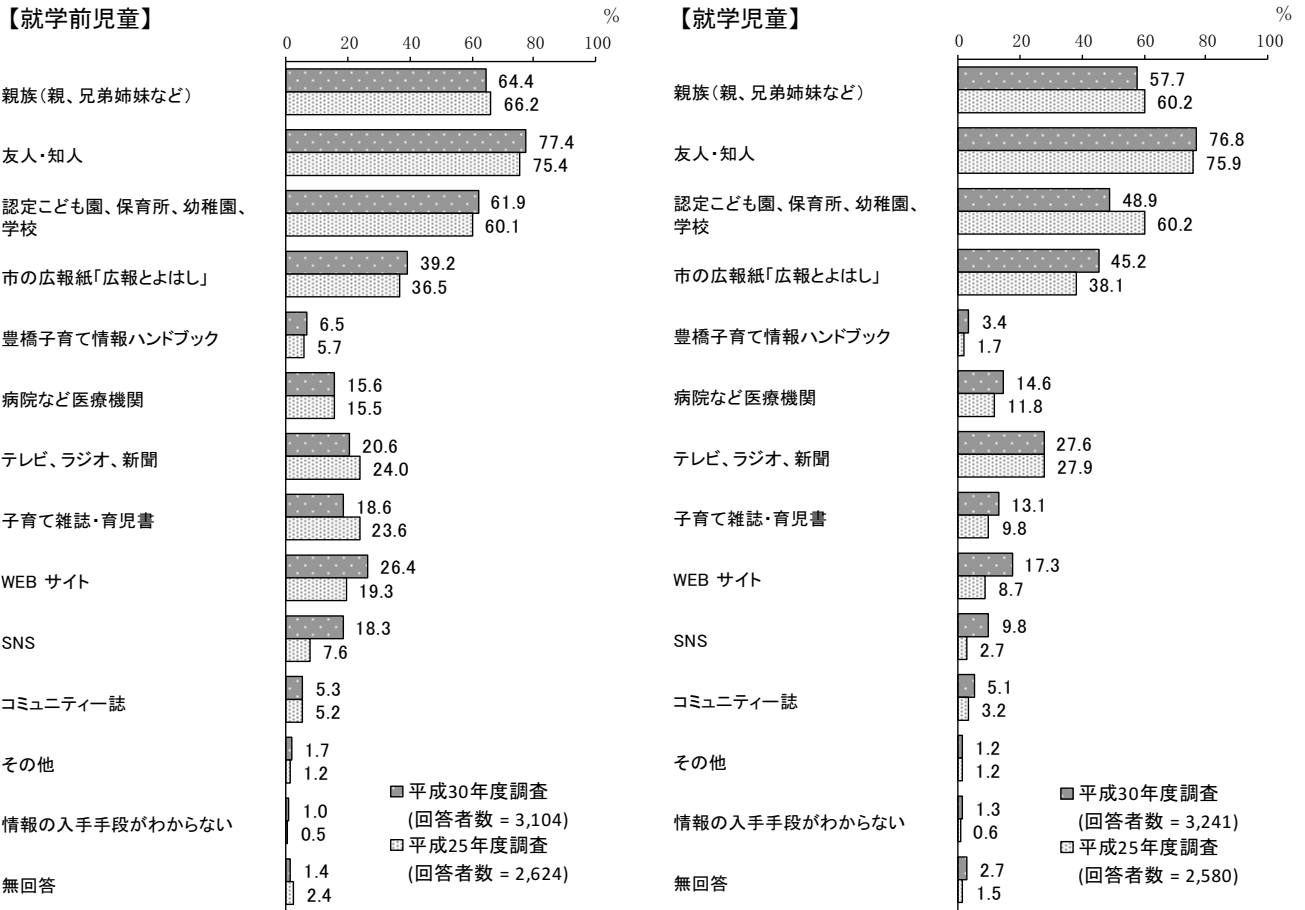
【就学児童】



問 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問41、就学児童：問32)

就学前児童では、「友人・知人」の割合が77.4%と最も高く、次いで「親族（親、兄弟姉妹など）」の割合が64.4%、「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の割合が61.9%となっています。

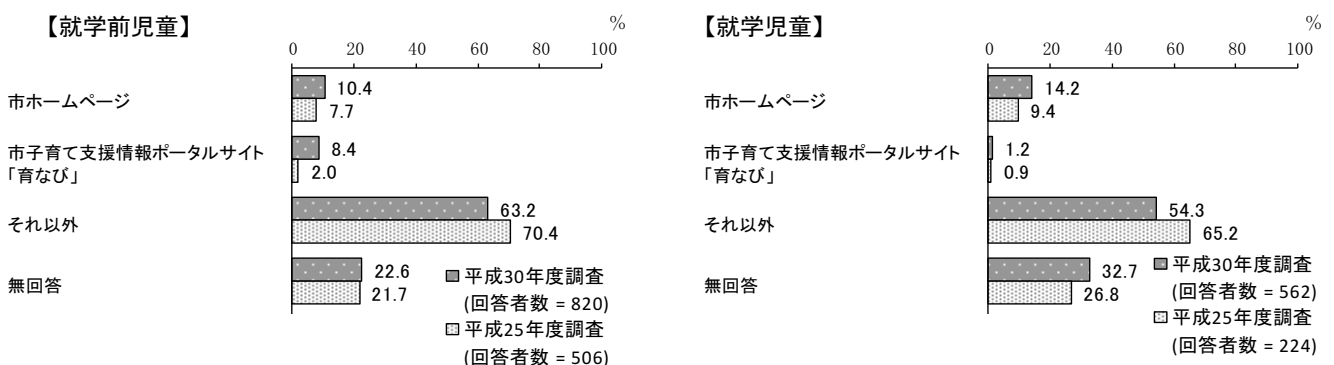
就学児童では、「友人・知人」の割合が76.8%と最も高く、次いで「親族（親、兄弟姉妹など）」の割合が57.7%、「認定こども園、保育所、幼稚園、学校」の割合が48.9%となっています。



9. よく使うWEBサイト

就学前児童では、「それ以外」の割合が63.2%と最も高く、次いで「市ホームページ」の割合が10.4%となっています。

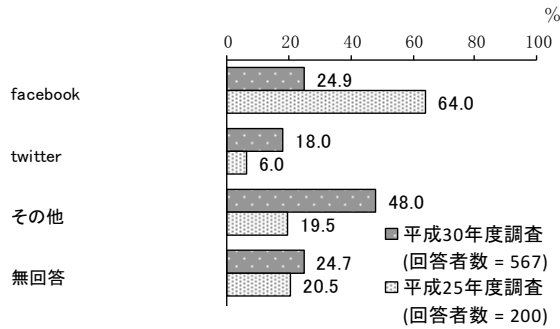
就学児童では、「それ以外」の割合が54.3%と最も高く、次いで「市ホームページ」の割合が14.2%となっています。



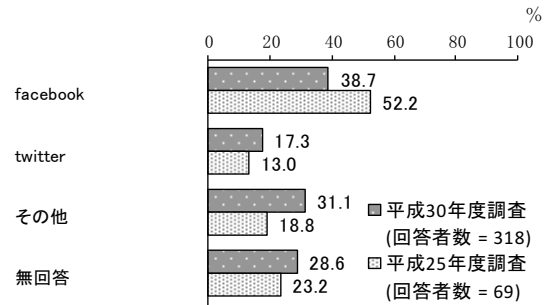
10. よく使うSNS

就学前児童では、「facebook」の割合が24.9%、「twitter」の割合が18.0%となっています。
就学児童では、「facebook」の割合が38.7%、「twitter」の割合が17.3%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】

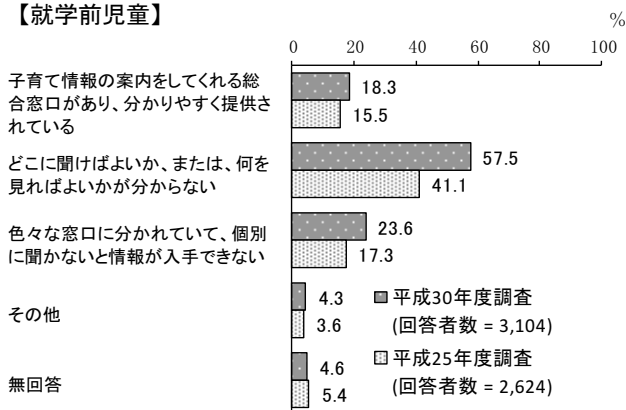


問 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問42、就学児童：問33)

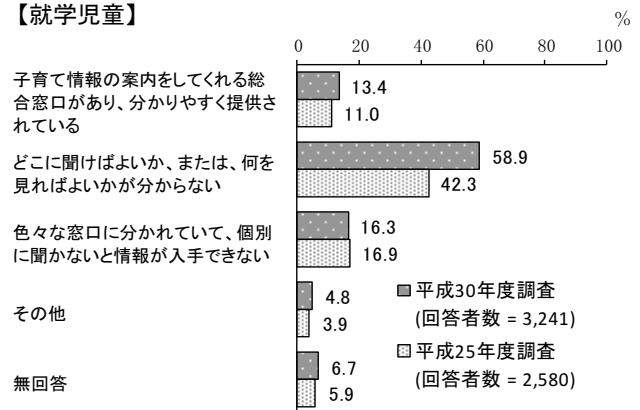
就学前児童では、「どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない」の割合が57.5%と最も高く、次いで「色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない」の割合が23.6%、「子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があり、分かりやすく提供されている」の割合が18.3%となっています。

就学児童では、「どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない」の割合が58.9%と最も高く、次いで「色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない」の割合が16.3%となっています。

【就学前児童】



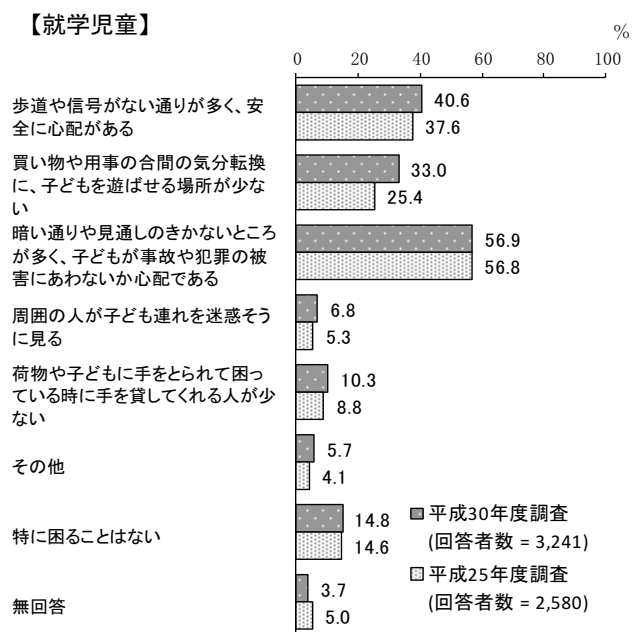
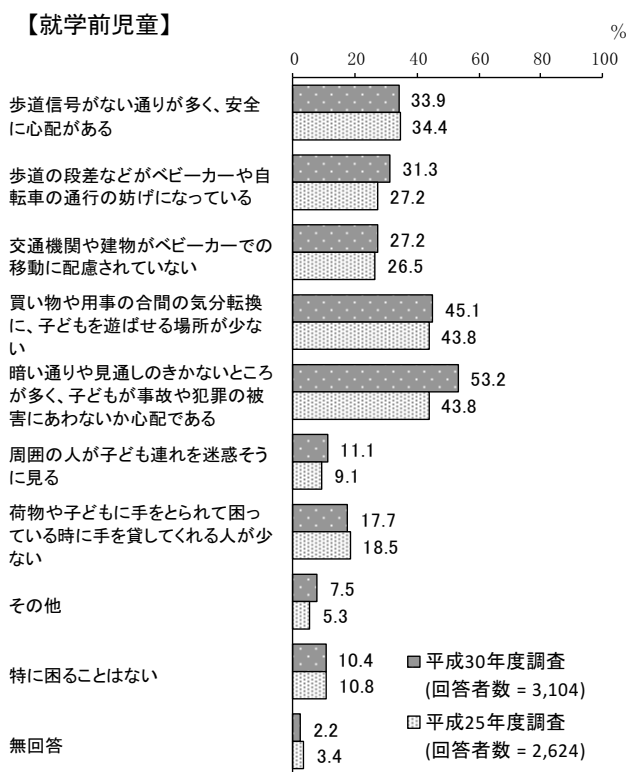
【就学児童】



問 子育てを取巻く環境について、困ることはありますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 43、就学児童：問 34)

就学前児童では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」の割合が 45.1%、「歩道信号がない通りが多く、安全に心配がある」の割合が 33.9%となっています。

就学児童では、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが事故や犯罪の被害にあわないか心配である」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」の割合が 40.6%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」の割合が 33.0%となっています。

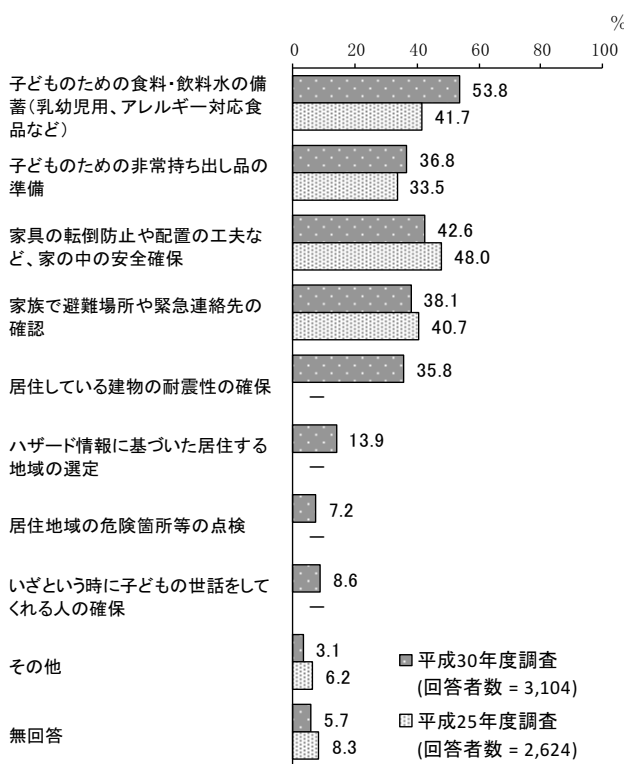


問 近年、日本の各地で地震や豪雨災害等が発生し、大きな被害が出ています。この地域でも南海トラフ地震や洪水、土砂災害、高潮など様々なハザードの想定がされていますが、子どものいる家庭として、どのような防災対策を行っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問 44、就学児童：問 35)

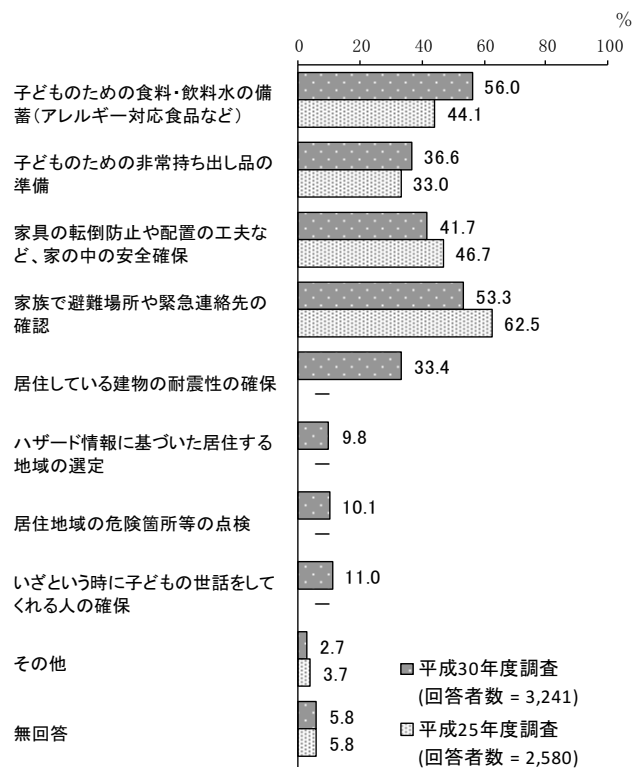
就学前児童では、「子どものための食料・飲料水の備蓄(乳幼児用、アレルギー対応食品など)」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保」の割合が 42.6%、「家族で避難場所や緊急連絡先の確認」の割合が 38.1%となっています。

就学児童では、「子どものための食料・飲料水の備蓄(アレルギー対応食品など)」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「家族で避難場所や緊急連絡先の確認」の割合が 53.3%、「家具の転倒防止や配置の工夫など、家の中の安全確保」の割合が 41.7%となっています。

【就学前児童】



【就学児童】



問 防災に関する知識は何から得ることが多いですか。
(就学前児童：問 45、就学児童：問 36)

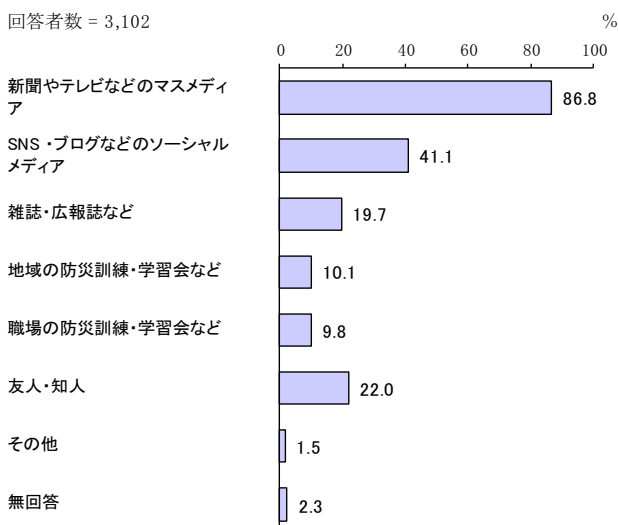
(1) 母親

就学前児童では、「新聞やテレビなどのマスメディア」の割合が 86.8%と最も高く、次いで「SNS・ブログなどのソーシャルメディア」の割合が 41.1%、「友人・知人」の割合が 22.0%となっています。

就学児童では、「新聞やテレビなどのマスメディア」の割合が 87.9%と最も高く、次いで「SNS・ブログなどのソーシャルメディア」の割合が 32.1%、「雑誌・広報誌など」の割合が 22.5%となっています。

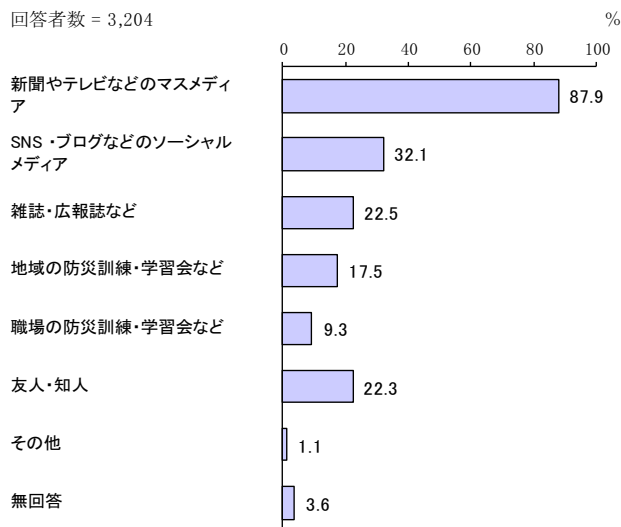
【就学前児童】

回答者数 = 3,102



【就学児童】

回答者数 = 3,204



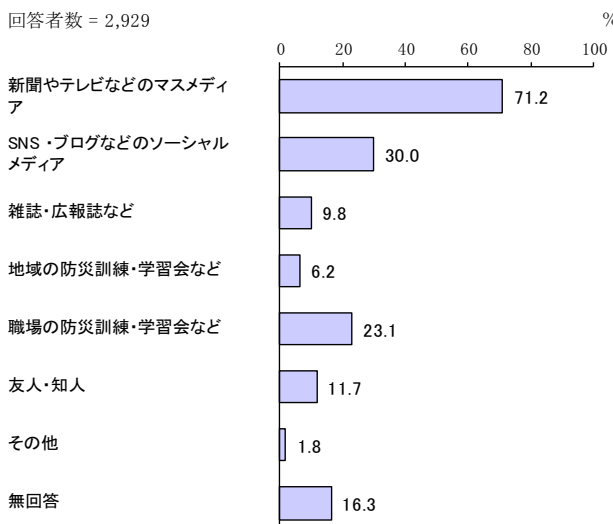
(2) 父親

就学前児童では、「新聞やテレビなどのマスメディア」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「SNS・ブログなどのソーシャルメディア」の割合が 30.0%、「職場の防災訓練・学習会など」の割合が 23.1%となっています。

就学児童では、「新聞やテレビなどのマスメディア」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「SNS・ブログなどのソーシャルメディア」の割合が 26.8%、「職場の防災訓練・学習会など」の割合が 20.6%となっています。

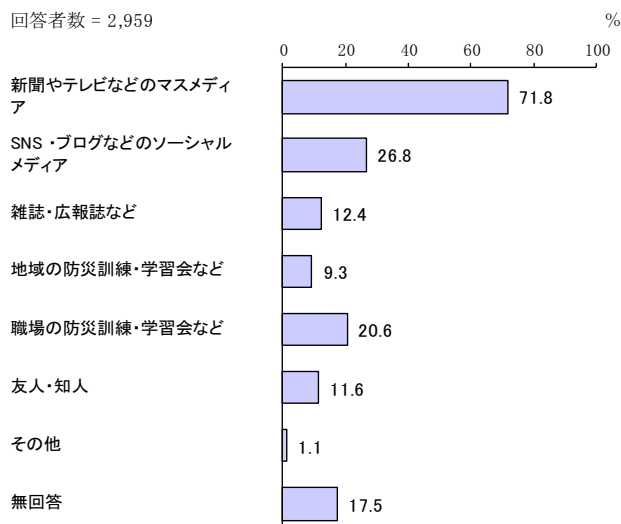
【就学前児童】

回答者数 = 2,929



【就学児童】

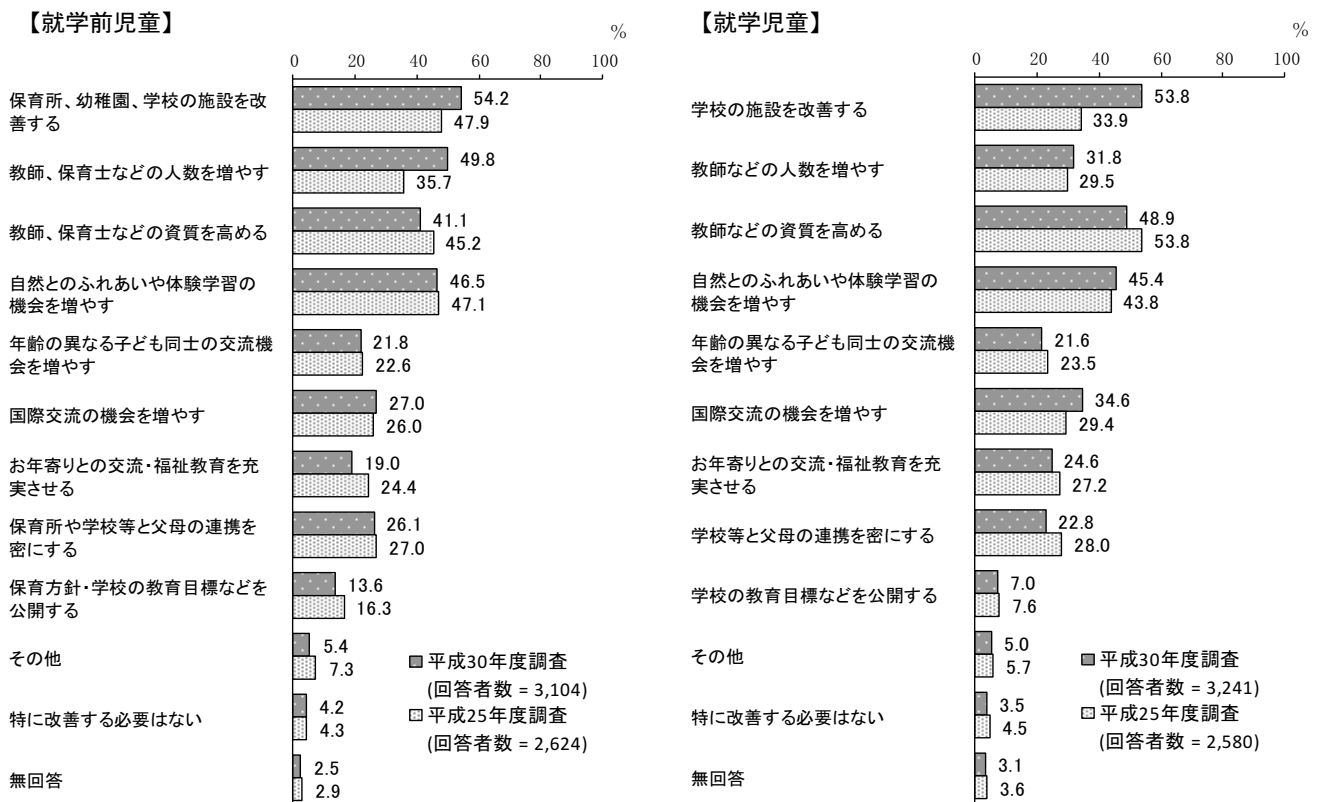
回答者数 = 2,959



問 豊橋市の教育・保育環境をさらに充実させる上で、何を期待しますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。(就学前児童：問46、就学児童：問37)

就学前児童では、「保育所、幼稚園、学校の施設を改善する」の割合が54.2%と最も高く、次いで「教師、保育士などの人数を増やす」の割合が49.8%、「自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす」の割合が46.5%となっています。

就学児童では、「学校の施設を改善する」の割合が53.8%と最も高く、次いで「教師などの資質を高める」の割合が48.9%、「自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす」の割合が45.4%となっています。



Ⅲ 自由意見

複数意見を掲載
【 】内は意見数

1 就学前児童

子どもの育ちをめぐる環境

- ・ 自然に触れ合える環境をつくってほしい。【9】
- ・ 安心安全な食べ物を食べさせてほしい。【6】
- ・ 親子の時間を大切にしたい。【6】
- ・ 子どもがのびのびと成長できる環境をつくってほしい。【5】
- ・ 親の教育に対する意識が必要である。【5】

保護者の労働環境

- ・ 働く親と子育てに関して理解してほしい。【14】
- ・ 子供が病気の時に仕事を休めない。【10】
- ・ 労働環境が良くなってほしい。【4】

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

- ・ 保育料が高いので安くしてほしい。【18】
- ・ 保育園を増やしてほしい。【11】
- ・ 保育園に空調設備を充実させてほしい【10】
- ・ 3人目以降のサポートや支援を充実してほしい。【7】
- ・ 保育士の質を向上させてほしい。【6】
- ・ 保育士の労働環境を見直すべきである。【6】
- ・ 保育料の決め方を公平にしてほしい。【4】
- ・ 幼稚園の時間延長してほしい。【4】
- ・ 保育園の入園の際に就労状況・条件をきちんと確認してほしい。【4】
- ・ 幼稚園無償化は助かっている。【4】
- ・ 習い事教室をつくってほしい。【3】
- ・ 保育園ごとの保育内容を統一してほしい。【3】

土曜・休日保育

- ・ 長期休暇中に預かってくれる施設がほしい。【17】
- ・ 休日の保育施設を増やしてほしい。【13】
- ・ 入園手続きを簡単に分かりやすくしてほしい。【5】

病気の際の対応

- ・ 病児・病後児保育の施設を増やしてほしい。【10】
- ・ 医療費の無料を延長してほしい。【8】
- ・ 病児・病後児保育をもっと利用しやすくしてほしい。【7】

- ・ 医療費の無料は助かっている、延長してほしい。【5】
- ・ 病院の質を上げてほしい。【4】

不定期の教育・保育事業

- ・ 一時預かりを気軽に利用できるようにしてほしい。【9】
- ・ 一時預かりの事業を増やしてほしい。【4】
- ・ 親の休養で子供を預かってほしい【4】

小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・ 学童保育の時間を延長してほしい。【6】
- ・ 学童保育の内容を充実させてほしい。【3】
- ・ 学童保育の定員を増やしてほしい。【3】

出産や子育ての考え方

- ・ 子育てに関する考え方を各々持つべき。【4】
- ・ 男性も育児に積極的にかかわってほしい。【2】

地域との関わり

- ・ 子育てサークルを増やしてほしい。【8】
- ・ 地域全体で子育て、交流できる環境がほしい。【5】
- ・ 地域で見守りを行い、安全確保をしてほしい。【2】

子育て環境や子育て支援サービス全般

- ・ 子育て支援の情報をわかりやすく提供・発信してほしい。【31】
- ・ イベントを増やしてほしい。【16】
- ・ 犯罪や不審者への対策をしてほしい。【7】
- ・ 子育てしやすい市である。【6】
- ・ 災害時の対応が気になる。【5】
- ・ 子育て支援に満足している。【5】
- ・ 子育て情報誌を発行してほしい。【4】
- ・ 親同士相談できる環境がほしい。【2】
- ・ 支援サービスが今後さらに充実するように期待している。【2】
- ・ インターネットやメールやSNSをうまく活用してほしい。【2】

個別の子育て支援制度

- ・ 相談窓口を充実してほしい。【17】
- ・ 相談にあたる職員の質を向上させてほしい。【14】
- ・ 夜間休日診療を充実してほしい。【10】
- ・ 各種予防接種の助成を手厚くしてほしい。【6】

- ・ 子育て教室を増やしてほしい。【5】
- ・ 健診の時間が長い。待ち時間も長い。【4】
- ・ 予防接種を皆受けられるようにしてほしい。【3】
- ・ 新生児訪問を増やしてほしい。【2】

アンケートについて

- ・ アンケートが長すぎる。質問が多すぎる。【17】
- ・ WEB の活用をすべきである。【7】
- ・ アンケートがわかりにくい。【6】
- ・ アンケート今後を活かしてほしい。【5】

子育てに関する経済的状況

- ・ 経済的な支援を増やしてほしい。【15】
- ・ 経済的に不安なため、子どもをこれ以上産めない。【7】
- ・ ひとり親家庭への経済的援助をしてほしい。【5】
- ・ 収入が少なく、生活が苦しい。【2】

公共施設・道路

- ・ 近くに公園など遊べる場所をつくってほしい。【31】
- ・ 公園をきれいに保ち続けてほしい。【17】
- ・ 公園の遊具を整備してほしい。【15】
- ・ 歩道を整備してほしい。【14】
- ・ 気軽に子どもと一緒に出掛けられる場所がほしい。【14】
- ・ 施設をバランスよく配置してほしい。【12】
- ・ 各種施設の駐車場を増やしてほしい。【11】
- ・ 児童館を増やしてほしい。【10】
- ・ 雨の日に遊べる場所・施設がほしい。【10】
- ・ 道路の安全確保をしてほしい。【8】
- ・ 街灯を増やしてほしい。【7】
- ・ 職員、スタッフの質を向上してほしい。【15】
- ・ ここにこの駐車場を増やしてほしい。【7】
- ・ 交通が不便である。【6】
- ・ 公園に駐車場をつくってほしい【6】
- ・ 大型の公園をつくってほしい。【6】
- ・ ベビーカーでも外出しやすくしてほしい。【4】
- ・ 乳幼児の遊べる場所がほしい。【3】

障がいのある子ども

- ・ 障がい児への支援サービスを充実してほしい。(デイサービス、一時預かりなど)【7】
- ・ 障がいのある子どもの受け入れを積極的にしてほしい。【5】

教育・保育施設の要望

- ・ 校区を見直してほしい。【4】
- ・ 施設ごとの連携を密にしてほしい。【3】
- ・ 英語での教育やサポートをしてほしい。【3】

女性と子育てと就労

- ・ 仕事と子育ての両立ができる環境の整備をしてほしい。【9】
- ・ 結婚や出産をすると仕事を続けられない。【6】
- ・ 就労場所がない。【6】

虐待

- ・ 虐待への対処を充実してほしい。【2】

小学校生活

- ・ 教師の質を向上させてほしい。【8】
- ・ 教育の質を上げてほしい【5】
- ・ 小学校が遠いのでスクールバスを導入してほしい。【2】
- ・ 土曜日も授業をしてほしい。【2】
- ・ 学力の向上をしてほしい。【2】

その他

- ・ 住みよいと感じます。【7】
- ・ 支援を続けていただきたい。【2】

2 就学児童

お子さんと家族の状況

- ・ 子育てする親の道徳や知識も必要。【4】
- ・ 母親が子どもと一緒にいる時間は大切。【2】
- ・ 相談できる環境がほしい。【2】

子どもの育ちをめぐる環境

- ・ 安心、安全に生活できる町にしてほしい。【7】
- ・ 学校の整備をしきちんと子どもと向き合う環境を作ってほしい。【4】

保護者の就労状況

- ・ 長期休暇も子どもを預けられる場がほしい。【6】
- ・ 学童の時間を延長し子どもがいても働ける環境が充実してほしい。【6】
- ・ 父親の育児参加が進むと良い。【3】

小学校生活について

- ・ 教育を改革する必要があると思う。(教師、学校、親の質の向上)【16】
- ・ 空調設備を導入してほしい。【9】
- ・ 学校に、もっと子どもの安全を考えてほしい。【9】
- ・ 学校教師の質をあげてほしい。【6】
- ・ 学校の設備を整えてほしい。【6】
- ・ 英語教育を充実させてほしい。【5】
- ・ 台風などの緊急時の対応に困る。【2】
- ・ 制服や体操服の価格を安くしてほしい。【2】
- ・ これからも地域との関わりを大切にしてほしい。【2】
- ・ 学校設備の整備をしっかりしてほしい。【2】
- ・ トイレを整備してほしい。【2】

土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望

- ・ 長期休暇だけ、子どもを預けられる場がほしい。【8】
- ・ 長期休暇も子どもを預けられる場を充実してほしい。【7】
- ・ 放課後や土曜日に、子どもたちだけで遊びにいける場所がほしい。【4】
- ・ 土日、祝日の子どもの預かりを増やしてほしい。【4】

病気の際の対応

- ・ 緊急時の子どもの預け先を充実してほしい。【6】
- ・ 病院の質と料金を改善してほしい【2】

放課後児童クラブについて

- ・ 放課後児童クラブの定員【15】
- ・ 放課後児童クラブ利用時間の拡充【11】
- ・ 学童の利用料を減らしてほしい。(支援の充実)【7】
- ・ 学童保育の施設を充実させてほしい。【6】

地域とのかかわり

- ・ 地域との交流を充実してほしい。【8】
- ・ PTA 活動が負担である。【6】

子育て環境や子育て支援サービス全般について

- ・ サービス利用に関する告知【10】
- ・ 不審者対策をしっかりと行ってほしい【7】
- ・ ガードレール設置など通学路の安全を確保してほしい【6】
- ・ 障がい児を持つ親の支援施策を考えてほしい【6】
- ・ 子どもと母親が集える場を充実させてほしい【6】
- ・ 子育て支援が充実していると思う【5】
- ・ 子育て支援に関する情報をもっと教えてほしい【2】
- ・ 民間学童への補助金を充実してほしい。【2】

個別の子育て支援施策について

- ・ 市から施策の情報発信をもっとしてほしい。【4】
- ・ 子ども手当の充実をしっかりと行ってほしい【3】

アンケートについて

- ・ アンケートの質問事項が多すぎる。【9】
- ・ アンケートを施策に活かしてほしい。【4】
- ・ このアンケートが改善につながるとは思えない。【4】
- ・ わからない設問があった【3】
- ・ アンケート結果が反映された事業内容のわかりやすい公開を求めます。【2】

子育てに関する経済的状況

- ・ 中学生の医療費を無料にしてほしい。【25】
- ・ 経済的支援について【16】
- ・ 子育てに関する経済的負担を減らしてほしい。【11】

- ・ 医療センターの受け入れを復活させてほしい。【4】
- ・ もっと子育てに関する支援をしてほしい。【2】
- ・ 3番目以降の子どもに対しての保育サポートを充実してほしい。【2】

公共施設・道路について

- ・ 市施設を充実、拡充してほしい。【32】
- ・ 広くて安全な公園をつくってほしい。遊具を充実させてほしい。【25】
- ・ ガードレールの設置、歩道の確保など道路の整備をしてほしい。【9】
- ・ 児童館の数を増やしてほしい。【9】
- ・ 相談窓口を拡充してほしい。【9】
- ・ 子どもだけで利用できる遊び場をつくってほしい。【7】
- ・ ここにこの駐車料金を安くしてほしい。【7】
- ・ 地区児童館、図書館の設置、充実【6】
- ・ 雨の日でも利用できる施設を増やしてほしい。【6】
- ・ 通学路の安全について【5】
- ・ 外灯を増やしてほしい。【5】
- ・ 遊具がたくさんある公園があるとよい。【5】
- ・ スポーツ（クラブ活動）ができる施設（体育館）を増やしてほしい。【4】

その他

- ・ 豊橋市は子育てに関する支援が充実していると感じる。【4】
- ・ 住みやすいと感じている。【4】

IV 総括

1 家庭環境

子育てを主に行っている人（就学前児童：問6、就学児童：問6）については、就学前児童、就学児童ともに「父母ともに」の割合が5割を超え最も高くなっていますが、「主に母親」についても就学前児童、就学児童では4割半ばと高くなっています。平成25年度調査と比較すると、子育てを主に行っている人の割合に大きな変化はみられません。

日ごろ子どもをみてもらえる人の有無（就学前児童：問8、就学児童：問8）については、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が就学前児童では6割半ば、就学児童では約6割と最も高くなっており、日常的、緊急時に子どもをみてもらえる人の多くは親族となっています。また、日常的、緊急時に子どもをみてもらえる割合は約9割となっている一方で、子どもをみてもらえる人がいない割合は就学前児童、就学児童ともに約1割となっています。平成25年度調査と比較すると、日ごろ子どもをみてもらえる人の割合に大きな変化はみられません。

母親の現在の就労状況について（就学前児童：問9、就学児童：問9）は、就学前児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が3割半ばと最も高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が約3割となっています。就学児童では、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が約5割、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が2割半ば、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が1割半ばとなっています。平成25年度調査と比較すると、母親の現在の就労状況について、就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が9ポイント減少し、母親の就労が増えていますが、就学児童では大きな変化はみられません。

就学前児童では、フルタイムの割合が2割半ば、パート・アルバイト等の割合が3割半ば、就労していない割合が3割半ば、就学児童では、フルタイムの割合が2割半ば、パート・アルバイト等の割合が約5割、就労していない割合が約2割となっていることから、就学前児童の子どもがいる母親は子育てを機に就労をやめ、就学児童になったころからパート・アルバイト等として働きはじめていることがうかがえます。

2 乳幼児期の教育・保育

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日利用している教育・保育事業（就学前児童：問11-1）については、「認可保育所」の割合が4割半ばと最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が約3割となっています。また、約2割が認定こども園を利用しています。平成25年度調査と比較すると、認可保育所の割合が減少し、認定こども園の割合が増加しています。

年齢別でみると、3歳以上については「認可保育所」の割合が低く、「幼稚園（通常の就園時間）」の割合が高くなっています。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前児童：問 10）は、「認可保育所」を希望する割合が約 5 割と最も高く、次いで「認定こども園」「幼稚園」の割合が 4 割以上と高くなっています。

未就労の母親の就労希望（就学前児童：問 9-1、就学児童：問 9-1）については、約 4 割が 1 年より先に就労したいと希望しています。平成 25 年度調査と比較すると、「1 年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が就学前児童では 7.1 ポイント減少しており、就学児童では 4.6 ポイント増加しています。また、「すぐにでも就労したい」の割合が就学児童では 5.6 ポイント減少しています。フルタイムへの転換希望（就学前児童：問 9、就学児童：問 9）をみると、フルタイムへの転換希望があると回答している人は、就学前児童では約 3 割、就学児童では 2 割半ばとなっています。平成 25 年度調査と比較すると、フルタイムへの転換希望の割合に大きな変化はみられません。

「幼児教育の無償化」による、教育・保育施設の利用希望（就学前児童：問 24）について、「すでに、保育所を利用しており、無償化後も継続して利用する（転園しない）」の割合が約 4 割と最も高く、次いで「すでに、幼稚園を利用しており、無償化後も継続して利用する（転園しない）」の割合が約 2 割となっています。

3 学校以外の子どもの居場所

放課後の過ごし方（就学前児童：問 18、就学児童：問 10）については、「自宅」の割合が就学前児童では 6 割半ば、就学児童では約 8 割と最も高くなっています。

放課後に、子どもが安心・安全に過ごせるために望ましいこと（就学児童：問 13）については、「見守りスタッフが常駐している施設がある」の割合が 5 割半ばと最も高く、次いで、「見通しのよい公園がある」「地域の大人が見守りパトロールをしている」の割合が 4 割半ばとなっています。

4 仕事と子育ての両立

お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（就学前児童：問 21）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が 3 割半ばとなっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 3 割半ばと最も高くなっています。平成 25 年度調査と比較すると、育児休業の取得については、「取得した（取得中である）」の割合が 8.8 ポイント増加しています。一方、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 10.3 ポイント減少し、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が 7.5 ポイント増加しています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が 8 割半ばと最も高くなっており、取得していない理由については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が 3 割半ばと最も高くなっています。平成 25 年度調査と比較すると、育児休業の取得については、大きな変化はみられません。取得していない理由については、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 7.0 ポイント増加しています。

母親で「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」、父親で「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」などの就労環境の内容も高くなっていることから、企業も含めた仕事と子育てが両立できる環境整備が必要であることがうかがえます。

5 出産や子育てについて

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない人の割合（就学前児童：問 22、就学児童：問 18）は、就学前児童で 4 割半ば（3104 人中 1389 人）、就学児童で 3 割半ば（3241 人中 1102 人）となっており、その理由（就学前児童：問 22-1、就学児童：問 18-1）については、就学前児童、就学児童ともに「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が 6 割以上と最も高くなっています。平成 25 年度調査と比較すると、実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由については、就学前児童では「仕事と育児の両立が難しい」の割合が就学前児童では 9.2 ポイント、就学児童では 4.0 ポイント増加しています。

「子育てや教育にかかる費用が大きい」の割合が高いことから、経済的な不安から理想より少ない子どもの数になっていることがうかがえます。

男性と女性が一緒に育児をしながら働き続けることができるために必要なこと（就学前児童：問 25、就学児童：問 19）について、母親、父親ともに就学前児童、就学児童で「夫婦の間で家事・子育て・教育・仕事について十分に話し合う」の割合が最も高くなっています。

6 経済的状況について

市の子育てに関する相談窓口（就学前児童：問 29、就学児童：問 23）を所得状況別でみると、就学児童では収入が低くなるにつれて「相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるとよい」の割合が高くなっています。

これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動（就学前児童：問 31、就学児童：問 25）を所得状況別でみると、就学前児童では収入が高くなるにつれて「自分の特技を生かした支援活動（絵本の読み聞かせなど）」「近所の子どもの面倒を一時的にみること」の割合が高くなる傾向がみられます。就学児童では収入が高くなるにつれて「地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ」の割合が高くなっています。また、収入が低くなるにつれて「活動するつもりはない」の割合が高くなっています。

子育て支援団体の行う支援や活動の利用の有無（就学前児童：問 32、就学児童：問 26）を所得状況別でみると、就学前児童では収入が高くなるにつれて「利用したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。就学児童では収入が高くなるにつれて「利用したことがある」の割合が高くなっています。

子育て支援団体の行う支援や活動への利用意向（就学前児童：問 32、就学児童：問 26）を所得状況別でみると、就学前児童では収入が高くなるにつれて「利用したい」の割合が高くなる傾向がみられます。

子育てを取巻く環境について困ること（就学前児童：問 43、就学児童：問 34）を所得状況別でみると、就学前児童では収入が高くなるにつれて「歩道信号がない通りが多く、安全に心配がある」の割合が高くなる傾向がみられます。

豊橋市の教育・保育環境をさらに充実させる上で期待すること（就学前児童：問 46、就学児童：問 37）を所得状況別で見ると、就学前児童では収入が高くなるにつれて「自然とのふれあいや体験学習の機会を増やす」の割合が高くなる傾向がみられます。

7 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービス

豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じているか（就学前児童：問 34、就学児童：問 28）については、就学前児童では、⑮子どものための医療施設が充実しているで“そう思う”の割合が高くなっています。また、就学児童では、⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している、⑭子どものための医療施設が充実しているで“そう思う”の割合が高くなっています。一方、就学前児童、就学児童ともに⑰女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる（就学児童：⑱）、⑳子育て支援に積極的な企業が多い（就学児童：⑲）、㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している（就学児童：㉒）で“そう思わない”の割合が高くなっています。

また、これからの子育て環境を充実させるために重要だと思うものについては、就学前児童、就学児童ともに⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている（就学児童：⑩）で“重要だと思う”の割合が高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、就学前児童では、「現在」で⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている、⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる、㉒子育て支援に積極的な企業が多い、㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実しているで“そう思う”の割合が 5.0 ポイント以上増加しています。「これから」ではすべての項目で“重要だと思う”の割合が増加しており、特に⑩子育て家庭への経済的援助が充実している、⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる、㉒子育て支援に積極的な企業が多い、㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実しているで 15.0 ポイント以上増加しています。また、就学児童では、「現在」で⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている、⑦子育ての相談窓口が充実している、⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる、⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している、⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している、⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている、⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる、⑲子育て支援に積極的な企業が多い、㉒災害時の子育て支援に関する取り組みが充実しているで“そう思う”の割合が 5.0 ポイント以上増加しています。「これから」ではすべての項目で“重要だと思う”の割合が増加しており、特に⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる、⑲子育て支援に積極的な企業が多い、㉒災害時の子育て支援に関する取り組みが充実しているで 20.0 ポイント増加しています。

区 分	就学前児童			
	(1) 現在(そう思う)		(2) これから(重要だと思う)	
	平成 25 年度 調査	平成 30 年度 調査	平成 25 年度 調査	平成 30 年度 調査
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	57.9	56.1	83.7	92.8
②子どもの教育環境が充実している	60.6	59.4	84.8	94.3
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	59.4	57.1	85.2	94.3
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	26.9	27.7	78.4	93.0
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	27.6	36.1	78.7	93.3
⑥希望した時期に保育サービスを利用できる	52.3	47.9	82.9	93.1
⑦保育所等での多様な保育サービスが充実している	55.0	56.8	82.8	92.0
⑧子育ての相談窓口が充実している	44.3	49.1	80.3	91.3
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	46.9	50.9	81.5	91.4
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	33.9	36.2	78.6	93.6
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	41.6	38.9	81.5	94.6
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	42.5	47.0	78.9	91.5
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	43.2	47.8	74.9	85.7
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	67.6	68.6	84.6	92.9
⑮子どものための医療施設が充実している	73.3	75.1	86.6	94.7
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	57.9	57.8	83.3	92.3
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	45.3	48.2	79.9	86.9
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	40.4	40.1	80.2	90.1
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	23.8	32.2	77.0	92.0
⑳子育て支援に積極的な企業が多い	15.2	20.2	73.4	92.5
㉑災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	16.5	22.3	73.9	93.2

※平成 25 年度調査に比べ増加している項目は、 で網かけをしています。

区 分	就学児童			
	(1) 現在(そう思う)		(2) これから(重要だと思う)	
	平成 25 年度 調査	平成 30 年度 調査	平成 25 年度 調査	平成 30 年度 調査
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	52.9	51.7	79.9	91.4
②子どもの教育環境が充実している	59.1	54.6	81.7	93.5
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	49.0	42.8	78.9	93.1
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	31.0	35.1	75.2	92.9
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	26.9	34.3	74.4	94.0
⑥保育所での多様な保育サービスが充実している	52.1	54.2	79.2	91.2
⑦子育ての相談窓口が充実している	34.6	40.1	75.3	90.7
⑧子育てに関する情報が簡単に入手できる	34.1	42.2	75.3	90.8
⑨子育て家庭への経済的援助が充実している	32.8	36.3	73.7	93.3
⑩子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	36.3	39.0	76.5	94.0
⑪ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	37.9	44.3	74.8	91.9
⑫外国籍家庭への子育て支援が充実している	42.0	47.8	73.0	84.8
⑬妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	62.9	66.1	81.4	92.9
⑭子どものための医療施設が充実している	65.6	68.9	83.3	94.6
⑮子育てが家族や地域の人に支えられている	61.6	57.5	80.5	92.3
⑯同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	32.5	39.8	71.2	85.2
⑰地域で子育てをする環境が整備されている	32.8	37.6	72.9	89.5
⑱女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることができる	21.1	28.0	69.5	91.4
⑲子育て支援に積極的な企業が多い	12.2	20.1	67.1	92.0
⑳災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	16.3	22.6	69.3	93.2

※平成 25 年度調査に比べ増加している項目は、 で網かけをしています。

教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出について

1 考え方

- ・国が示した手引き（H26年1月）に沿って量の見込みを算出した。
- ・現在の利用だけではなく、潜在的ニーズを含めて量の見込みを算出することが基本とされている。
- ・事業の特性に合わせ区域設定（市内9区域または全域（1区域））をし算出した。

2 算出方法

- ・ニーズ調査結果から、基本的に次式により算出した。

$$\begin{aligned} \text{「A 推計児童数（人）」} \times \text{「B 潜在家庭類型（割合）」} &= \text{「家庭類型別児童数（人）」} \\ \text{「家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「C 利用意向率（割合）」} &= \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

3 推計児童数（A）

推計児童数は、H26年度～H30年度の住民基本台帳を基に、「コーホート変化率法※」で算出した。

本市の児童数は減少を続けているが、今後は出生率の高い年代の女性の減少が進むため、出生数の減少がさらに進むとみられる。

※ 「コーホート」とは、同じ年に生まれた集団を指し、例えばH27年度の1歳児がH28年度2歳になるとき何人になるかを算出する場合、過去1歳児が2歳時になるときどのように変化したのかを割合にした「変化率」を現1歳児人口に掛けることにより算出する。

「1歳下」の人口が存在しない0歳児の算出は、15歳～49歳の女性の各年代別の出生率（母親の年代別出生数÷年代別女性の人口）を、将来の女性の年代別人口に掛けて算出する。

4 家庭類型

家庭類型とは、父母の就労状況によりタイプAからタイプFの8種類に区分したものの（次頁の図を参照）。

さらに、就労形態が変化しやすい母親の今後の就労希望から、就労形態の変化（専業主婦→パートなど）を加味したものが「潜在家庭類型（B）」となる。

本市においては、区域ごとに父母の就労形態に特段の違いはないと考え、全市共通の家庭類型とした。

5 利用意向率（C）

ニーズ調査において、各事業の設問に回答した人のうち、家庭類型別に「利用したい」等と回答した人の割合で算出した。

1 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの考え方

(1) 「量の見込み」は、「家庭類型」などから算出します ●●●

① 家庭類型について

特定教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業のニーズ量を把握するためには、1号・2号・3号の認定区分にそれぞれどれだけの家庭が該当するかを想定することが必要です。

このために下表のとおりニーズ調査結果から、対象となる子どもの父母の有無、就労状況によりタイプAからタイプFの8種類の類型化を行います。

類型化した区分を「家庭類型」と言い、“現在の家庭類型”と、母親の就労希望を反映させた“潜在的な家庭類型”の種類ごとに算出します。

父親 \ 母親		ひとり親	フルタイム就労 (産休・育休含む)	パートタイム就労 (産休・育休含む)			未就労
				月 120 時間以上の就労	月 120 時間未満 64 時間以上の就労	月 64 時間未満の就労	
ひとり親		タイプA					
フルタイム就労 (産休・育休含む)			タイプB	タイプC	タイプC'		
パートタイム就労 (産休・育休含む)	月 120 時間以上の就労		タイプC	タイプE			
	月 120 時間未満 64 時間以上の就労				タイプE'		タイプD
	月 64 時間未満の就労		タイプC'				
未就労				タイプD			タイプF

↑ 保育の必要性あり

↑ 保育の必要性なし

- タイプA : ひとり親家庭 (母子または父子家庭)
 - タイプB : フルタイム共働き家庭 (両親がフルタイムで就労している家庭)
 - タイプC : フルタイム・パートタイム共働き家庭 (就労時間: 月 120 時間以上+64 時間~120 時間の一部)
 - タイプC' : フルタイム・パートタイム共働き家庭 (就労時間: 月 64 時間未満+64 時間~120 時間の一部)
 - タイプD : 専業主婦 (夫) 家庭
 - タイプE : パートタイム共働き家庭 (就労時間: 双方が月 120 時間以上+64 時間~120 時間の一部)
 - タイプE' : パートタイム共働き家庭 (就労時間: いずれかが月 64 時間未満+64 時間~120 時間の一部)
 - タイプF : 無業の家庭 (両親とも無職の家庭)
- ※育児・介護休業中の方もフルタイムで就労しているとみなして分類しています。

(2) 「量の見込み」等を算出する項目 ●●●●●●●●

子ども・子育て支援事業計画に定める次の1～14の事業について、ニーズ調査結果を踏まえ、国が定めた全国共通の方法により、教育・保育提供区域における量の見込み（需要）と確保の状況（供給）、さらに不足する場合の確保の方策（整備目標）を定めます。

【 教育・保育の量の項目 】

No	認定区分	対 象 事 業		事業の対象家庭	調査対象年齢
1	1号認定	教育標準時間認定	幼稚園 認定こども園	専業主婦(夫)家庭 就労時間の短い家庭	3～5歳 (3歳以上児)
	2号認定	保育認定	幼稚園	共働きで幼稚園利用のみ希望の家庭	
		保育認定	認定こども園 保育所	ひとり親家庭 共働き家庭	0～2歳 (3歳未満児)
3号認定	保育認定	認定こども園 保育所 地域型保育			

【 地域子ども・子育て支援事業の項目 】

	対 象 事 業	事業の対象家庭	調査対象年齢
2	時間外保育事業（延長保育事業）	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳
3	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	ひとり親家庭 共働き家庭	5歳 1～6年生
4	子育て短期支援事業 （ショートステイ及びトワイライトステイ）	すべての家庭	0～18歳
5	地域子育て支援拠点事業	すべての家庭	0～2歳
6	一時預かり事業 （幼稚園在園児対象の一時預かり）	専業主婦(夫)家庭	3～5歳
	（保育所、ファミリー・サポート・センター等における一時預かり）	ひとり親家庭・共働き家庭	0～5歳
7	病児・病後児保育事業	ひとり親家庭 共働き家庭	0～5歳 1～6年生
8	ファミリー・サポート・センター事業 （子育て援助活動支援事業）	すべての家庭	0～5歳 1～6年生
9	利用者支援事業	すべての家庭	
10	妊婦健康診査事業	すべての妊婦	
11	乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭	
12	養育支援訪問事業	養育支援訪問事業を必要とする家庭	
13	子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業	すべての家庭	
14	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	特別な支援が必要な家庭	

※実費徴収に係る補足給付を行う事業は次年度以降に位置付ける予定

(3) ニーズ量の算出方法 ●●●●●●●●

「量の見込み」等を算出する項目ごとに、ニーズ調査結果から“利用意向率”を算出し、将来の児童数を掛け合わせることで“ニーズ量”が算出されます。

1 段階

【現在の家庭類型の算出】
ニーズ調査回答者を両親の就労状況でタイプを分類します。

タイプAからタイプFの8つの家庭類型があります。

2 段階

【潜在的な家庭類型の算出】
現在の家庭類型からさらに、両親の今後1年以内の就労意向を反映させてタイプを分類します。

市民ニーズに対応できるよう、今回の制度では、潜在的な家庭類型でニーズ調査回答者の教育・保育のニーズを把握することがポイントです。

- 現在パートタイムで就労している母親のフルタイムへの転換希望
- 現在就労していない母親の就労希望

3 段階

【潜在的な家庭類型別の将来児童数の算出】
人口推計を算出し、各年の将来児童数と潜在的な家庭類型を掛け合わせます。

4 段階

【利用意向率の算出】
事業やサービス別に、回答者数を利用希望者数で割ります。

たとえば、病児・病後児保育事業や放課後児童クラブ等は保育を必要とする家庭に限定されています。

5 段階

【事業やサービス別の対象となる児童数の算出】
事業やサービス別に定められた家庭類型等に潜在的な家庭類型別の将来児童数を掛け合わせます。

本当に利用したい真のニーズの見極めが重要です。

6 段階

【ニーズ量の算出】
事業やサービス別に、対象となる児童数に利用意向率を掛け合わせます。

将来児童数をかけあわせることで、2020年度から2024年度まで各年度のニーズ量が算出されます。

2 アンケート調査に基づく「量の見込み」の方法

(1-1) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプC'、潜在タイプD、潜在タイプE'、潜在タイプF：3歳以上のみ

【利用意向率】（就学前調査）

問10（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、「幼稚園」または「認定こども園」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

問10 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用 ※満3歳以上が対象）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ ※満3歳以上が対象）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
13. その他（ ）

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」
「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

(1-2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプA、潜在タイプB、潜在タイプC、潜在タイプE：3歳以上のみ

【利用意向率】（就学前調査）

問11（平日定期的に利用している教育・保育の事業）に回答した者のうち、問11-1で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択した者の割合を算出する。

問11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	⇒ 問11-1へ	2. 利用していない	⇒ p.8 問11-4へ
-----------	----------	------------	--------------

問11で、「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問11-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的

に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） | 2. 幼稚園の預かり保育 |
| 3. 認可保育所 | 4. 認定こども園 |
| 5. 事業所内保育施設 | 6. 居宅訪問型保育 |
| 7. 5、6以外の認可外保育施設 | 8. ファミリー・サポート・センター |
| 9. 児童発達支援事業所（障害児通所施設） | 10. その他（
） |

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

(1-3) 2号認定（認定こども園及び保育所）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプA、潜在タイプB、潜在タイプC、潜在タイプE：3歳以上のみ

【利用意向率】（就学前調査）

問10（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問10で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」から「居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）から、「2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）」の割合を控除した割合を算出する。

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

(1-4) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプA、潜在タイプB、潜在タイプC、潜在タイプE：0歳、1・2歳の区分

【利用意向率】（就学前調査）

問10（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答した者のうち、問10で「認可保育所」から「居宅訪問型保育」のいずれかを選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

※ニーズ補正（0歳）

問8 日頃のサポートの状況で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」人、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人を除いた（理由：日常的にみてもらえる親族、友人・知人のいる人はニーズが発生しないと想定したため）

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる祖父母等の親族や知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒ 問9へ

⇒ 問8-1へ

(2) 時間外保育事業

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプ A、潜在タイプ B、潜在タイプ C、潜在タイプ E：0歳から5歳以下

【利用意向率】（就学前調査）

問 10（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）に回答したもののうち、「認可保育所」から「居宅訪問型保育」のいずれかを選択している、かつ、問 11-2 (2)（利用希望時間）で、「18時以降」と記入してある場合の割合を算出する。（但し、無回答を除いて割り戻す）

問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを〔 〕内に具体的な数字で記入してください。

(1) 現在	1週当たり〔 〕日
	1日当たり〔 〕時間 ⇒〔 〕時～〔 〕時 ※24時間制で記入
(2) 希望	1週当たり〔 〕日
	1日当たり〔 〕時間 ⇒〔 〕時～〔 〕時 ※24時間制で記入

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

※ニーズ補正

教育・保育事業で3号認定に該当しない人を除いた（理由：認定こども園及び保育所、地域型保育を利用しないため）

(3) 放課後児童健全育成事業

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプ A、潜在タイプ B、潜在タイプ C、潜在タイプ E：5歳児、小学生

【利用意向率】（小学生調査）

問 10（放課後の時間の過ごしている場所）で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

問 10 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

(4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：0歳から5歳以下

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

【利用意向率】（就学前調査）

問17（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「子育て支援ショートステイを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。

【利用意向日数】

問17（泊りがけの預け先）の「あった」の「子育て支援ショートステイを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

問17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。

1年間の対処方法		泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	年間〔 〕泊
	イ. 子育て支援ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業)	年間〔 〕泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	年間〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	年間〔 〕泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊
	カ. その他（ ）	年間〔 〕泊
2. なかった		

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

※ニーズ補正

問8 日頃のサポートの状況で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」人、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」人、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人を除いた（理由：日常的、緊急時にみてもらえる親族、友人・知人のいる人はニーズが発生しないと想定したため）

(5) 地域子育て支援拠点事業

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：0歳から2歳のみ

【利用意向（利用意向率×利用意向回数）】

利用意向率と利用意向回数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向回数）を求める。

【利用意向率】（就学前調査）

問36（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「つどいの広場」から「ここにこサークル」に回答した者の人数と、問37（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数で割ったものを算出する。

【利用意向回数】

問36（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「つどいの広場」から「ここにこサークル」に回答した者と、問37（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数

地域における子育て支援についてうかがいます。

問36 あて名のお子さんは、現在、下記にあるような地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・回数	
1. つどいの広場 親子が自由に遊び、情報交換ができる交流の場です。あいトピア、牟呂地域福祉センター、アイプラザ、交通児童館の4か所で、週3日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
2. 地域子育て支援センター 育児相談や遊びの広場、親同士の交流の場の提供、広報紙の発行、育児サークルの活動支援等を行っています。吉田方子育て支援センター、東山子どもセンター、下条子どもセンターKoko、希望が丘子育て支援センター、こじか子育て支援センターばんびの5か所で、週5日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
3. こども未来館の「子育てプラザ」 親子が自由に遊び、ふれあい、交流できる場です。子育ての相談や情報提供も行っていきます。こども未来館の1階にあります。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
4. ここにこサークル 親子が集い、遊びや育児情報の交換、仲間づくりができる場。地域のボランティアの先輩ママさんやスタッフが待っています。市民館等で月1～2回開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1か月当たり〔 〕回程度
5. いずれも利用していない	

問 37 問 36 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいといますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週間当たり 〔 〕回 もしくは 1か月当たり 〔 〕回程度	
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1週間当たり 更に〔 〕回 もしくは 1か月当たり 更に〔 〕回程度	
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由	
1. 利用したいサービスが地域にない	2. サービスの質に不安
3. 利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等）	4. 時間が無い
5. 利用方法が分からない	
6. その他（ ）	

【量の見込みの算出方法】

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数（人）」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

※ニーズ補正

教育・保育事業利用希望の人を除いた（理由：こども未来館の「子育てプラザ」以外は、教育・保育事業利用希望者は利用しないため）

(6) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔病児・緊急対応強化事業を除く〕）

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）>

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

① 1号認定による利用は潜在家庭類型 C'、D、E'、F：3歳から5歳以下

② 2号認定による利用は潜在家庭類型 A、B、C、E：3歳から5歳以下

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。1号認定による利用と2号認定による利用で、算出方法が異なる。

① 1号認定による利用

【利用意向率】（就学前調査）

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）×イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）を算出する。

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）

問 11-1（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で、「幼稚園」または「認定こども園」を選択 かつ 問 16（不定期事業の利用意向）で、「利用したい」と選択した者が、これらの問の回答者数に占める割合

イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）

問 10（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で、「幼稚園」を選択 かつ 問 15（不定期事業の利用状況）で、「一時預かり（一時保育）」から「その他」を選択した者のうち、問 15 で「一時預かり（一時保育）」または「幼稚園の預かり保育」を選択した者の割合

【利用意向日数】（就学前調査）

問 16（不定期事業の利用意向）で「利用したい」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

問 15 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（一時保育） （私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業）	年間〔 〕日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	年間〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
4. 子育て支援トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業）	年間〔 〕日
5. 認可外保育施設・託児所	年間〔 〕日
6. ベビーシッター	年間〔 〕日
7. その他（ ）」	年間〔 〕日
8. 利用していない 上記1～7の事業のうち、今後利用してみたい事業番号（ ）」 利用しなかった・できなかった理由（ ）」	

問 16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 15 の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間〔 〕日
ウ. 不定期の就労	年間〔 〕日
エ. その他（ ）」	年間〔 〕日
2. 利用する必要はない	

【量の見込みの算出方法】

① 1号認定による利用

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数（人）」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人日）」} \end{aligned}$$

※ニーズ補正

利用意向日数を 7.4 日（平成 25 年 10 月の実績）とする（理由：実績値と乖離するため）

② 2号認定による利用

【利用意向率】（就学前調査）

1. 0（「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバー。）

【利用意向日数】（就学前調査）

2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの「就労日数」

※ニーズ補正

問7 日頃のサポートの状況で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人を除いた（理由：2号認定の幼稚園の利用者がすべて定期で預かり保育を利用する算出方法となっているため）

【量の見込みの算出方法】

② 2号認定による利用

「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者」

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

※ニーズ補正

利用意向日数を11.7日（平成25年10月の実績）とする（理由：実績値と乖離するため）

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外>

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：0歳から5歳以下

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

【利用意向率】（就学前調査）

問16（不定期事業の利用意向）に回答した者のうち、「利用したい」を選択した者の割合

【利用意向日数】（就学前調査）

問16（不定期事業の利用意向）で、「利用したい」に回答のあったものの「平均日数」

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」
「家族類型別児童数（人）」×「利用意向」－「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）（1号認定による利用のみ）の利用意向日数」－「（不定期事業の利用状況）における「ベビーシッター」「その他」の利用日数」＝「量の見込み（人日）」

※ニーズ補正

問8 日頃のサポートの状況で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」人、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」人、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人を除いた（理由：日常的、緊急時にみてもらえる親族、友人・知人のいる人はニーズが発生しないと想定したため）

(7) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業]）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

潜在タイプ A、潜在タイプ B、潜在タイプ C、潜在タイプ E：0歳から5歳以下、小学生

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

病児・病後児の発生頻度と利用意向日数を算出し、利用意向（利用頻度×利用意向日数）を求める。

【病児・病後児の発生頻度】（就学前調査）

- ・問 14-1（病気やけがで事業ができなかった場合の対処方法）で、「父親が休んだ」「母親が休んだ」に回答した者のうち、問 14-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、
- ・問 14-1 で「病児（病後児）保育を利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問 19 の回答者全員で割る。

【利用意向日数】（就学前調査）

問 14-2（病児・病後児保育等の利用意向）で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答があった日数の総計と、問 14-1 で「病児・病後児の保育を利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。

先に求めた「日数の総計」について、問 14-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」、問 14-1 で「病児・病後児の保育を利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった人数の合計（「延べ」でなく「実人数」、 0 日回答は除く）で割った数。

問14 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方(問11で1に○をつけた方)にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問14-1へ 2. なかった ⇒ p.10 問15へ

問14で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	年間〔 〕日	⇒問14-2へ
イ. 母親が休んだ	年間〔 〕日	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	年間〔 〕日	⇒p.10 問15へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	年間〔 〕日	
オ. 病児(病後児)保育※を利用した	年間〔 〕日	
カ. ベビーシッターを利用した	年間〔 〕日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	年間〔 〕日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕日	
ケ. その他()	年間〔 〕日	

※「病児(病後児)保育」…病氣中又は病氣回復期に、勤務等で休暇取得できない保護者に代わって保育する事業

問14-1で、「ア。」または「イ。」と答えた方にうかがいます。

問14-2 その際、「できれば病児(病後児)保育を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。次に、⇒の設問についてもお答えください。なお、病児(病後児)保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児(病後児)保育を利用したいと思った

⇒利用したい日数 年間〔 〕日

⇒利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) 4. 家に来てもらい預かる事業 5. その他()

【量の見込みの算出方法】

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数(人)」} \times \text{「潜在家庭類型(割合)」} = \text{「家族類型別児童数(人)」} \\ & \text{「家族類型別児童数(人)」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み(人日)」} \end{aligned}$$

※ニーズ補正

問8 日頃のサポートの状況で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」人、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」人、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」人を除いた(理由:日常的、緊急時にみてもらえる親族、友人・知人のいる人はニーズが発生しないと想定したため)

(8) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児のみ）

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：小学生、（参考：5歳児を対象として就学児を推計）

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

【利用意向率】（就学前調査）

問 18（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

問 18 あて名のお子さんについて、小学生のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。なお、☆印の事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）☆	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕☆ ※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター ☆	週〔 〕日くらい
7. 放課後等デイサービス ☆ ※3	週〔 〕日くらい
8. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

【利用意向日数】（就学前調査）

「ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

(15) 子育て支援トワイライトステイ＜独自＞

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：0歳から5歳以下、就学児

【利用意向（利用意向率×利用意向日数）】

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

【利用意向率】（就学前調査）

問 16（不定期事業の利用意向）に回答した者のうち、「利用したい」を選択した者 かつ 問 15（不定期事業の利用状況）で、「子育て支援トワイライトステイ」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

【利用意向日数】（就学前調査）

問 15（不定期事業の利用状況）で、「子育て支援トワイライトステイ」と回答のあったものの平均日数の割合をもとに、問 16（不定期事業の利用意向）で、「利用したい」に回答のあったものの「平均日数」を算出する。

【量の見込みの算出方法】

$$\text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数（人）」}$$
$$\text{「家庭類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向」} = \text{「量の見込み（人日）」}$$

(16) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（未就学児のみ）＜独自＞

【対象となる潜在家庭類型と年齢】

全ての家庭類型：0歳から5歳以下

【利用意向率】（就学前調査）

問 35（各種子育て支援サービス）の⑩ファミリー・サポート・センターの（3）（今後の利用意向）に回答した者のうち、「利用したい」を選択した者の割合を算出する。

問 35 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとに、（1）～（3）のそれぞれについて、「1.」か「2.」のいずれかに○をつけてください。なお、①～②は今後お子さんができた場合を想定してお答えください。

サービスや施設の種類	(1) 知っていますか	(2) これまでに利用した ことがありますか	(3) 今後、利用 したいですか
⑩ファミリー・サポート・センター 子育ての援助をできる地域住民が、保育所等の送迎 や子どもの一時的な預かり等を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

【量の見込みの算出方法】

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率」＝「量の見込み（人）」

3 各年度における教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

(1) 人口の推計 ●●●●●●●●

2014年（平成26年）から2018年（平成30年）の4月1日の住民基本台帳の人口を基にコーホート変化率法により推計します。

年齢	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
0歳	2,723	2,676	2,642	2,611	2,579
1歳	2,837	2,779	2,732	2,697	2,665
2歳	2,972	2,835	2,777	2,730	2,695
3歳	3,121	2,959	2,824	2,766	2,719
4歳	3,252	3,118	2,956	2,821	2,763
5歳	3,253	3,254	3,119	2,958	2,823
6歳	3,339	3,239	3,240	3,105	2,945
7歳	3,402	3,336	3,236	3,237	3,102
8歳	3,549	3,402	3,336	3,236	3,237
9歳	3,443	3,552	3,405	3,339	3,239
10歳	3,590	3,445	3,554	3,406	3,340
11歳	3,565	3,593	3,447	3,556	3,408

参考：人口（平成26～30年度）

年齢	H26(2014)年度	H27(2015)年度	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度
0歳	3,292	3,179	3,182	3,112	2,913
1歳	3,431	3,379	3,256	3,263	3,137
2歳	3,599	3,430	3,380	3,245	3,268
3歳	3,466	3,552	3,417	3,368	3,254
4歳	3,600	3,451	3,572	3,418	3,353
5歳	3,563	3,586	3,460	3,582	3,421
6歳	3,617	3,548	3,583	3,444	3,552
7歳	3,513	3,593	3,562	3,585	3,439
8歳	3,437	3,512	3,604	3,552	3,585
9歳	3,660	3,417	3,526	3,614	3,561
10歳	3,696	3,654	3,421	3,526	3,623
11歳	3,804	3,695	3,658	3,416	3,537
総計	42,678	41,996	41,621	41,125	40,643

■就学児

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	309	0.10	309	0.10
タイプB フルタイム×フルタイム	650	0.22	741	0.25
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	1120	0.38	1072	0.36
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	340	0.11	406	0.14
タイプD 専業主婦(夫)	547	0.18	436	0.15
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	1	0.00	2	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	1	0.00	2	0.00
全体	2969	1.00	2969	1.00

■低学年(1年生~3年生)

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	135	0.09	135	0.09
タイプB フルタイム×フルタイム	335	0.22	380	0.25
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	575	0.38	540	0.35
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	159	0.10	205	0.13
タイプD 専業主婦(夫)	327	0.21	270	0.18
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	1	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	1	0.00	1	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00	1	0.00
全体	1533	1.00	1533	1.00

■高学年(4年生~6年生)

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	174	0.12	174	0.12
タイプB フルタイム×フルタイム	315	0.22	361	0.25
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	545	0.38	532	0.37
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	181	0.13	201	0.14
タイプD 専業主婦(夫)	220	0.15	166	0.12
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	1	0.00	1	0.00
全体	1436	1.00	1436	1.00

(3) 教育・保育事業 ●●●●●●●●

1. 教育・保育

■0歳家庭のみ

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	2,723	2,676	2,642	2,611	2,579
タイプA ひとり親	人	75	74	73	72	71
タイプB フルタイム×フルタイム	人	649	637	629	622	614
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	157	154	152	150	148
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	6	5	5	5	5
全体	人	886	871	860	850	839
充足率	%	32.5%	32.5%	32.5%	32.5%	32.5%

【注】上記の児童数「全体」は、0歳児人口総数であり、他の家族類型の児童も含まれる。(以下同様)

◆実績 646人(H30.12)

■1・2歳家庭のみ

①<3号認定>(認定こども園及び保育所+地域型保育)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	5,809	5,614	5,509	5,427	5,360
タイプA ひとり親	人	195	189	185	183	180
タイプB フルタイム×フルタイム	人	1,844	1,782	1,749	1,723	1,701
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	962	930	912	899	888
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
全体	人	3,001	2,901	2,846	2,804	2,769
充足率	%	51.7%	51.7%	51.7%	51.7%	51.7%

◆実績 2,714人(H30.12)

■3歳~就学前家庭のみ

①<1号認定>(認定こども園及び幼稚園)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	9,626	9,331	8,899	8,545	8,305
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人	1,190	1,153	1,100	1,056	1,027
タイプD 専業主婦(夫)	人	1,901	1,843	1,758	1,688	1,640
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人	7	6	6	6	6
全体	人	3,098	3,003	2,864	2,750	2,673
充足率	%	32.2%	32.2%	32.2%	32.2%	32.2%

②<2号認定>(幼稚園)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	9,626	9,331	8,899	8,545	8,305
タイプA ひとり親	人	150	146	139	133	130
タイプB フルタイム×フルタイム	人	234	227	216	208	202
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	940	911	869	835	811
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	7	6	6	6	6
全体	人	1,331	1,290	1,230	1,181	1,148
充足率	%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%

◆実績(①+②) 4,281人(H30.12)

③<2号認定>(認定こども園及び保育所)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	9,626	9,331	8,899	8,545	8,305
タイプA ひとり親	人	526	510	486	467	454
タイプB フルタイム×フルタイム	人	2,099	2,035	1,941	1,863	1,811
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	1,718	1,665	1,588	1,525	1,482
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	7	6	6	6	6
全体	人	4,349	4,216	4,021	3,861	3,752
充足率	%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%

◆実績 5,689人(H30.12)

(4) 地域子ども・子育て支援事業 ●●●●●●●●

2. 時間外保育事業

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	18,158	17,621	17,050	16,583	16,244
タイプA ひとり親	人	198	192	186	181	177
タイプB フルタイム×フルタイム	人	1,086	1,054	1,020	992	972
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	216	210	203	197	193
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
全体	人	1,500	1,455	1,408	1,370	1,342
充足率	%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%

◆実績 31,165 人日 (H29)

3. 放課後児童健全育成事業

<低学年>(5歳児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人	389	377	371	362	351
タイプB フルタイム×フルタイム	人	1,706	1,654	1,627	1,588	1,539
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	953	924	909	887	860
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
全体	人	3,048	2,955	2,907	2,837	2,750

<高学年>(5歳児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人	401	400	393	389	378
タイプB フルタイム×フルタイム	人	1,757	1,756	1,725	1,708	1,656
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	982	981	964	954	925
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
全体	人	3,139	3,137	3,082	3,051	2,958

<低学年>(就学児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人	382	370	364	355	344
タイプB フルタイム×フルタイム	人	1,326	1,285	1,264	1,234	1,196
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	1,078	1,045	1,028	1,003	973
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	7	7	6	6	6
全体	人	2,792	2,707	2,662	2,599	2,519

◆実績 2,664 人 (H30)

<高学年>(就学児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人	220	220	216	214	208
タイプB フルタイム×フルタイム	人	365	364	358	354	344
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	259	259	255	252	244
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
全体	人	844	844	829	821	796

◆実績 826 人 (H30)

4. 子育て短期支援事業(ショートステイ)

<0～5歳以下家庭>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	18,158	17,621	17,050	16,583	16,244
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	91	88	85	83	81
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	91	88	85	83	81
充足率	%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%	0.5%

◆実績 43人日(H29)、6人日(H30)

<就学児家庭>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	20,888	20,567	20,218	19,879	19,271
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	14	14	14	13	13
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	155	153	150	148	143
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	7	7	7	7	7
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	177	174	171	168	163
充足率	%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%

◆実績 20人日(H29)、10人日(H30)

5. 地域子育て支援拠点事業

年間

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
推計児童数	人	8,532	8,290	8,151	8,038	7,939
タイプA ひとり親	人回	3,298	3,205	3,151	3,107	3,069
タイプB フルタイム×フルタイム	人回	18,464	17,940	17,639	17,395	17,180
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人回	12,406	12,054	11,852	11,688	11,544
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人回	6,350	6,170	6,066	5,982	5,908
タイプD 専業主婦(夫)	人回	39,943	38,810	38,159	37,630	37,167
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人回	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人回	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人回	0	0	0	0	0
全体	人回	80,461	78,179	76,868	75,803	74,869
充足率	%	943.1%	943.1%	943.1%	943.1%	943.1%

◆実績 55,642人回(H29)

6. 一時預かり他

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	2,242	2,173	2,072	1,990	1,934
タイプD 専業主婦(夫)	人日	4,941	4,789	4,568	4,386	4,263
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	7,182	6,962	6,640	6,376	6,197

◆実績 25,686 人日(H30)

<2号認定による定期的な利用>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	1,757	1,703	1,624	1,560	1,516
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	2,737	2,653	2,530	2,430	2,362
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	11,000	10,663	10,169	9,765	9,490
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	78	75	72	69	67
全体	人日	15,572	15,094	14,396	13,823	13,435

◆実績 110,400 人日(H30)

<上記以外>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	1,848	1,794	1,736	1,688	1,653
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	1,311	1,272	1,231	1,197	1,173
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	5,700	5,531	5,352	5,206	5,099
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	1,128	1,097	1,092	1,088	1,081
タイプD 専業主婦(夫)	人日	2,971	2,889	2,862	2,840	2,815
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	12,959	12,583	12,272	12,019	11,822

◆実績 2,667 人日(H30)

7. 病児病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)

<0～5歳以下家庭のみ>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	197	192	185	180	177
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	1,277	1,239	1,199	1,166	1,142
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	2,571	2,495	2,414	2,348	2,300
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	4,045	3,926	3,798	3,694	3,619

<就学児家庭のみ>

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	409	403	396	389	377
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	330	325	319	314	304
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	369	364	358	352	341
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	1,108	1,091	1,072	1,054	1,022

◆実績(未就学&就学) 560 人日(H29)

8. 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児)

年間

<低学年>(5歳児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	2,499	2,423	2,383	2,326	2,255
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	2,499	2,423	2,383	2,326	2,255

<高学年>(5歳児)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	2,574	2,572	2,527	2,502	2,425
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	2,574	2,572	2,527	2,502	2,425

<低学年>(就学児 低学年)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	700	679	667	651	631
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	人日	698	677	666	650	630
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	1,398	1,355	1,333	1,301	1,261

<高学年>(就学児 高学年)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	0	0	0	0	0

◆実績(未就学&就学) 7,064 人日(H29)、5,478 人日(H30)

その他(トワイライトステイ)

(未就学児家庭)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	626	608	588	572	560
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	194	189	183	178	174
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	821	796	771	750	734

◆実績(未就学) 58 人日(H29)、34 人日(H30)

(就学児家庭)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人日	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	人日	0	0	0	0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	215	211	208	204	198
タイプD 専業主婦(夫)	人日	0	0	0	0	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人日	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	人日	0	0	0	0	0
全体	人日	215	211	208	204	198

◆実績(就学) 11 人日(H29)、0 人日(H30)

その他(子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(未就学児))

(未就学児家庭)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
タイプA ひとり親	人	373	362	350	341	334
タイプB フルタイム×フルタイム	人	2,775	2,693	2,606	2,534	2,482
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人	1,487	1,443	1,396	1,358	1,330
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人	997	968	937	911	892
タイプD 専業主婦(夫)	人	2,419	2,347	2,271	2,209	2,164
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	人	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	人	12	12	12	11	11
タイプF 無業×無業	人	9	9	9	9	8
全体	人	8,073	7,834	7,580	7,373	7,222

◆実績(未就学&就学) 7,064 人日(H29)、5,478 人日(H30)

計画の策定にあたって

1. 社会的背景と国の動向

【社会的背景】

- 急速な少子化の進行
- 晩婚化・未婚化の進行
- 結婚・出産・子育ての希望が叶わない現状
- 仕事と家庭の両立
- 幼児教育・保育の無償化
- 待機児童問題(教育・保育、放課後児童クラブ)
- 障害がある児童や発達に心配のある子どもへの対策
- 子育ての孤立感と負担感の増加
- 子どもの貧困

【子ども・子育て支援法に基づく基本指針の改定(令和元年6月予定)】

【指針追記予定事項】

○幼児教育・保育の質の向上に資するよう、市町村は、教育・保育に関する専門性を有する指導主事・幼児教育アドバイザーの配置・確保等の体制整備に努めること。

○保護者の選択を保障する観点から、幼稚園の利用希望及び保育を必要とする者の預かり保育の利用希望に対応できるよう、市町村等は、適切に量を見込み、確保の内容について公立幼稚園の入園対象年齢の引下げ等も含め検討すること。

○国際化の進展に伴い、教育・保育施設等において、海外から帰国した幼児や外国人幼児、両親が国際結婚の幼児などの外国につながる幼児の増加が見込まれることを踏まえ、当該幼児が円滑な教育・保育等の利用ができるよう、市町村等は、保護者及び教育・保育施設等に対し必要な支援を行うこと。また、事業者等は、運営等に当たり円滑な受入れに資するような配慮を行うことが望ましいこと。

○地域子ども・子育て支援事業についても、市町村支援事業計画の中間年の見直しの要否の基準となること。

※放課後児童クラブについては、「新・放課後子ども総合プラン」に基づき必要な支援を行う。

子育て応援プランの基本理念を引き継ぎ、
平成31年度改定予定の「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」
を元に再構築

2. 次期計画における重点取組み

【教育・保育の充実】

保護者の就労状況が変化しており、母親の早い段階での職場復帰により1～2歳児の保育ニーズは年々高まっていることから、働きながら安心して子育てができる環境を充実。

- ①0～2歳児の受け入れ枠の確保
- ②満2歳児、満3歳児の幼稚園利用促進
- ③潜在保育士活用やICT導入等による保育士の確保
- ④保育コンシェルジュ配置による利用者支援の充実

【放課後児童クラブの充実】

保護者の就労状況が変化しており、子どもの居場所としての放課後児童クラブのニーズは年々高まっていることから、働きながら安心して子育てができる環境を充実。

- ①待機児童の解消のため、今後5年間の利用児童数の動向、全校児童数の推移を見極め、利用者ニーズに対応
- ②夏休み限定児童クラブの開設による児童クラブ利用の平準化

【児童虐待防止対策】

児童虐待防止体制の充実のため、現計画では基本目標1の推進施策の一つとなっていたが、次期計画では「施策の方向」とすることにより、より充実した支援を行っていく。

- ①児童虐待発生予防の充実
- ②児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策における関係機関との連携強化

【子どもの貧困対策】

子どもの貧困対策の充実のため、現計画の基本目標3の推進施策の一つから、次期計画では「施策の方向」とし、平成29年2月に実施した「豊橋子ども調査」の結果をもとに、子どもの貧困対策推進法、子供の貧困対策大綱を踏まえた支援を実施していく。

- ①学習支援の充実
- ②生活支援の充実
- ③見えにくい貧困に気づき、つなぐ支援

次期計画策定スケジュール（計画策定 平成31年度案）

		国	こども未来政策課		庁内会議等	子ども・子育て会議	その他
			県、各課への対応	会議議題等			
4月	上旬			・ニーズ調査の結果 ・次期計画骨子		第1回会議	
	下旬						
5月	上旬						
	下旬			・現計画の進捗・評価 ・次期計画の構成、評価指標(案) ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込と確保方策(案)	第1回幹事会		
6月	上旬				第1回ワーキング		
	下旬		「基本指針」の改定	・次期計画の考え方、評価指標(案) ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込と確保方策(案)	第1回策定会議		
7月	上旬			・現計画の進捗・評価 ・次期計画の方向性及び評価指標(案) ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込と確保方策(案)		第2回会議	社会福祉審議会 児童福祉分科会
	中旬						
	下旬		県ヒアリング	・推計児童数、無償化の影響をふまえた教育・保育利用率など			
8月	上旬		計画策定に係る事業等の各課ヒアリング実施	計画の考え方、評価指標(案)	第1回政策会議		
	下旬			計画の考え方			市議会福祉教育委員会
9月	上旬						
	下旬		県 数値の中間とりまとめ				
10月	上旬			掲載事業案、評価指標(案)		第3回会議	
	下旬						
11月	上旬			豊橋市子ども・子育て応援プラン(案)	第2回幹事会 第2回策定会議		
	下旬						
12月	上旬		「豊橋市子ども・子育て応援プラン」素案について県に協議	豊橋市子ども・子育て応援プラン(案)	第2回政策会議		
	下旬			豊橋市子ども・子育て応援プラン(案)			市議会福祉教育委員会
1月	上旬		【参考】 現計画の協議は協議終了までに2か月かかっている	計画素案の公表及び意見の募集			※1月中旬～2月中旬 パブリックコメント
	下旬						
2月	上旬						社会福祉審議会 児童福祉分科会
	下旬			豊橋市子ども・子育て応援プラン(案)		第4回会議	
3月	上旬			計画策定			
	下旬						